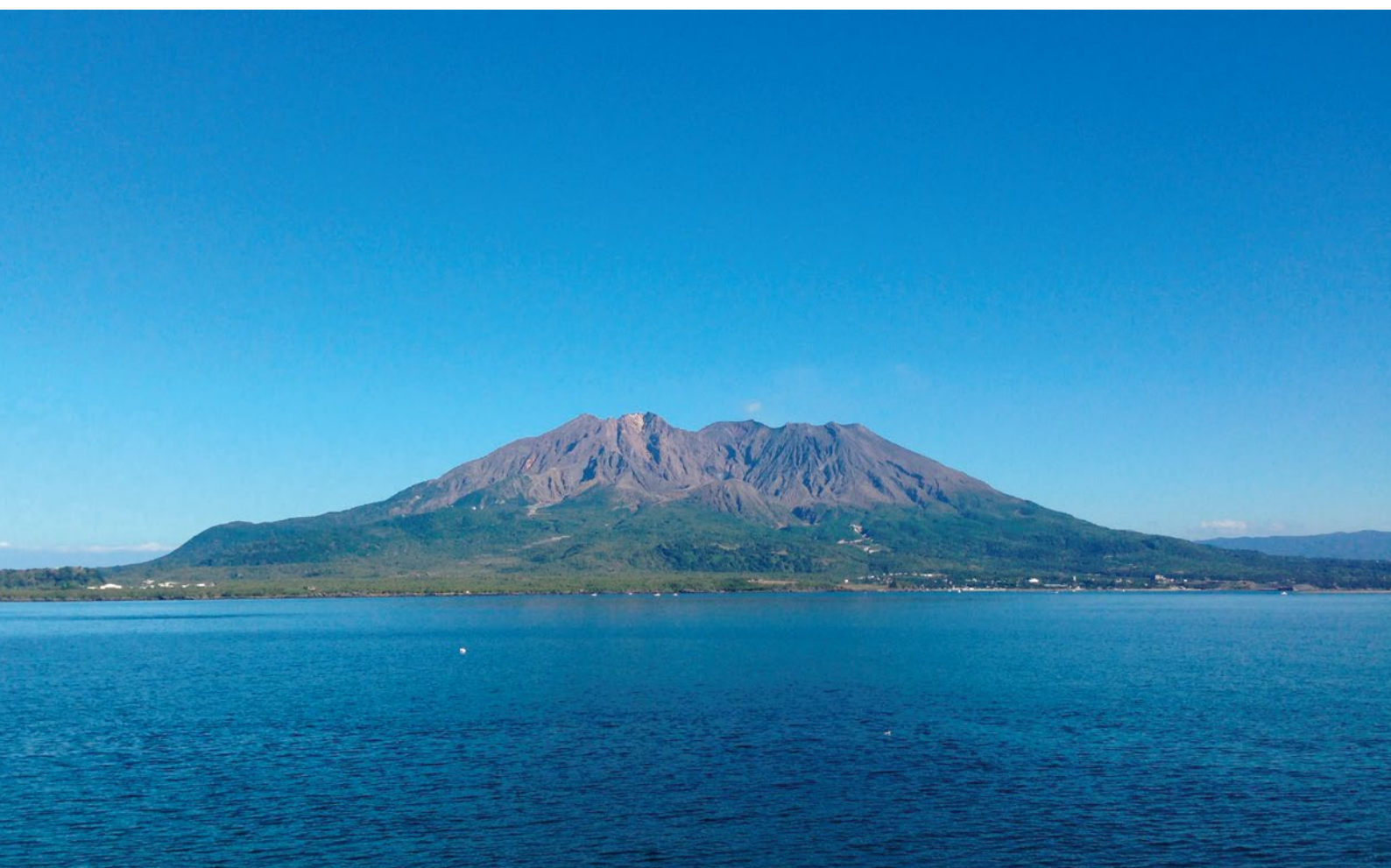


公益財団法人慈愛会 年 報

第⑨号

2024年度



公益財団法人慈愛会

医療の原点は、慈愛にあり。

母が子を慈しみ育てる心、愛を持って病める人の苦しみを除く。
慈しみ、愛する心、その素朴で純粋な気持ちが慈愛会の医療理念です。

患者様を肉親と思い医療の達人（プロフェッショナル）を目指します。

同時に

全職員の物心両面の幸せを追求します。

公益財団法人慈愛会は「医療理念」を実践するために
5つの項目を掲げて質の向上を図っています。

1. 医療を通して地域社会へ貢献します。
2. 良心的な高度医療を提供します。
3. 心に届く慈愛の看護を実践します。
4. 快適な医療環境を提供します。
5. 働きがいのある職場環境を目指します。

目次

巻頭言

公益財団法人慈愛会 理事長 今村英仁	2
公益財団法人慈愛会 会長 納光弘	3

総括

今村総合病院	5
いづろ今村病院	6
谷山病院	7
奄美病院	7
徳之島病院	8
介護老人保健施設 愛と結の街	8
慈愛会在宅支援部	9
鹿児島中央看護専門学校	9
慈愛会クリニック	10
七波クリニック	10
高麗町クリニック	11
かごしまオハナクリニック	11
慈愛会垂水サテライトクリニック	11

概要

法人・病院施設概要	12
病院施設別職員数	17
職種別常勤換算人員表	18

病院施設指標

今村総合病院	19
いづろ今村病院	26
谷山病院	34
奄美病院	40
徳之島病院	45
介護老人保健施設 愛と結の街	49
慈愛会在宅支援部	53
高麗町クリニック	54
慈愛会クリニック	55
七波クリニック	56
かごしまオハナクリニック	56
慈愛会垂水サテライトクリニック	57
鹿児島中央看護専門学校	58

法人業績一覧

論文	60
学会発表	67
第4回慈愛会学会学術集会	84
研究会・講演会	88
受賞	101
マスメディア	102
公的研究	104

医師育成への取り組み

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」	105
慈愛会専門研修プログラム	106

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

看護部門	108
リハビリテーション部門	130
薬剤部門	150
画像診断 / 放射線治療部門	158
臨床検査部門	165
栄養管理部門	170
ソーシャルワーカー部門 (JSW)	175
臨床工学技士 (CE) 部門	188
事務部門	190
医療情報室 慈愛会総合情報システム (J-TIS)	195
教育開発センター	198

一年のあゆみ

慈愛会各施設の一年のあゆみ	215
---------------	-----

編集後記

◎ 巻頭言



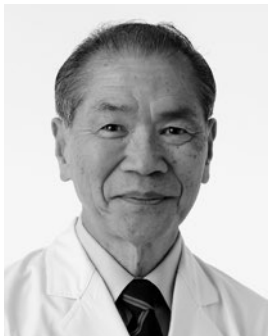
公益財団法人慈愛会
理事長 今村 英仁

2024（令和6）年度を振り返るにあたり、改めて年報作成は医療機関が存続するための必須アイテムの一つと考えるに到る。1961（昭和36）年に始まった国民皆保険制度の下、医療機関は目の前のご利用者・患者さんの診療に専念するだけで医療機関として存続できた時代が終焉した。年報作成を開始した時に、これからはデータマネジメントを行わなければ医療機関としての存続が危うくなると書いたが、その当時はまだそこまで切実な問題ではなかった。それが、ここ数年で急速にこのデータマネジメントができていなければ医療機関が存続できない事態に陥っている。それは、主に二つの理由による。一つは、ますます厳しくなる医業経営の世界でデータマネジメントができなければ今後数年先まで存続できる可能性がほとんど不可能な状況になってきたこと。二つ目は、ご利用者・患者さんのヘルスリテラシーが進み、また、進むほど、データを蓄積している医療機関を選択することで、既にその流れが止まることはない。おそらく医療DXが進むとこの動きが加速すると考えられる。

そうなるとこれからのデータマネジメントは、年次処理から、月次処理、最後は日次処理ができるところまで行かなければならなくなるだろう。そのためには、データマネジメントを誰かに任す方法では、不可能になる。スタッフ全員がデータマネジメントを行うスキルを持ち、実践することが求められてくる。

診療－研究－論文、診療－教育・管理－教育、また、診療－管理といった関係は今まで希薄であったり、二項対立の関係であったりしたものが、これからは全ての項目を結びつける必要が生ずる。そのためには、全スタッフがそれぞれの項目について共通理解できるだけの知識と、担当する部分についての専門的な知識・技術を有し、さらに、その知識や技術を他業種のスタッフにもわかりやすく説明できる能力を持つ必要が出てくる。これからの多職種協働は恐らくこのレベルまで求められることとなる。当法人はこれからもあすなろの精神と亀の一步で皆がスキルアップできるように教育システムを充実させるとともに、誰もが落ちこぼれることなくチームでこれらのことができるようになることを目指していく。

◎ 巻頭言



公益財団法人慈愛会
会長 納 光弘

本年度は厳しい診療費体制のもとで勝ち抜かなければならない勝負の年でした。

そういう中で、慈愛会の各病院・施設が一丸となって頑張って、相応の成果を出した一年だったと言えましょう。

今村総合病院は常盤院長のもとで、全職員が力を結集して、大きな成果を出したと思います。また、他の病院・施設も、この年報の総括で各院長・施設長が述べているように、大変な努力で困難を乗り越えています。今後もこの厳しい医療体制は続きますので、我々の戦いはこれからさらに正念場を迎えます。

勝利に向かって頑張りましょう！

今村総合病院の初期臨床研修プログラム・錦江湾プログラムは、昨年度もフルマッチしましたが、今年度は、昨年に増して病院見学の学生がとて多く嬉しい悲鳴を上げています。県内のみならず、県外の大学からも多数見学に来てくれていることは、今村総合病院の底力を示すものと言えましょう。

2022年より今村英仁理事長が日本医師会常任理事に就任されましたが、帆北修一理事長補佐との連携プレーで、県内各施設や鹿児島大学との協力関係の大きな成果に繋がりました。

また、慈愛会の理事の一人である星北斗先生が参議院議員として活躍され、星先生と今村理事長の連携プレーが政府の医療政策にも影響を与えつつあることも特筆に値することと思います。

今年も今村理事長のリーダーシップのもとで、皆の力を結集して、慈愛会の発展に向け頑張りましょう！

今村総合病院

院長 常盤 光弘



当年度は医療 DX、病院 DX という目標が大きくクローズアップされました。電子カルテの導入こそ当初の計画から 12 カ月ほど遅れる予定になってしまいましたが、今まさに次期電子カルテのスムーズでより効果的な導入に向けて、様々なことが行われています。業務改善のための業務フローの見直しや、クリニカルパスの拡充、院内モバイル端末（iPhone）の試験運用。経営指標を可能な限りリアルタイムで可視化し病院運営に活用するための Robot 導入。さらに院内搬送用ロボットや AI 電話、AI 問診の導入も検討されてきました。これらの中心となっていたのが、DX 推進プロジェクトチームであり DX テクニカルチームです。DX の進展具合を職員の皆さんにも経時的に理解していただくように常に情報発信にも協力していただきました。

垂水市との包括連携協定に基づく同市での産婦人科サテライトクリニックに関しては 2024 年 4 月 29 日にオープニングセレモニーを開催し、運用開始しました。同市住民の方々からは感謝の言葉が多く届いているとご報告いただいております。公益財団法人としての新たな役割として継続的な運営に取り組んでいます。7 月 27 日には第 4 回慈愛会学会学術集会和慈愛会創設 90 周年記念特別講演会を開催しました。両会ともに成功裏に終了し、特に特別講演会では安藤忠雄先生に非常にエネルギッシュなご講演をいただき一般の参加者の皆さんにもご満足いただいたのはもちろん、当会の職員にも多大なる刺激をいただきました。両会を企画運営、そしてご参加

いただきました皆さんにあらためて感謝申し上げます。90 日間にわたるガンマナイフ導入に向けてのクラウドファンディング（「鹿児島県の地域医療の充実を目指して。ガンマナイフ導入にご寄付を！」7/1～9/29）を行いました。我々にとってはまさに未知の企画に対する挑戦でした。寄付をいただけるのかどうかと不安に駆られながらも、当院の広報室を中心に粘り強く活動していただき見事に目標額を超える寄付をいただくことができました。当院の広報力がこれを契機にパワーアップし、また当院に対する認知度も上昇したと考えています。これらの貢献の甲斐あってガンマナイフ治療センターは 2025 年 2 月 22 日にオープニングセレモニーを迎え翌 3 月から稼働を開始しました。約 3 年にわたる準備期間に尽力いただきました皆さん、そして何よりも準備担当医、センター室長として開設以前からご活躍いただきました八代一孝先生に感謝申し上げます。もう一つ 2024 年度内の完了を目指しておりました手術室増室（現行 6 室から 9 室へ）に関しては様々な要因から工期が遅れ 2025 年 5 月 7 日の利用開始へとずれ込んでしまいました。しかし 2025 年度におけるより効率的で安全な手術治療に寄与できるものと心から期待しています。

現在、医療業界は財務的に非常に厳しい状況に晒されています。このような状況を乗り越えていくためには職員の皆さんの力と発想が欠かせません。2025 年度はより良き 1 年でありますように 2024 年度を振り返ってみました。皆さんもご自分のこの 1 年を振り返ってみてください。

いづろ今村病院

院長 長野 真二郎



2024年度の業績を振り返ると、救急車の受け入れ台数、新規入院患者数、紹介患者割合、逆紹介患者割合は増加しました。一方、平均在院日数の低下に伴い延べ患者数が減少した結果、病床利用率が低下し、収益減少を招きました。特に9月以降の落ち込みが激しく、全体として厳しい1年となりました。

診療科別では、緩和ケア内科や皮膚科は堅調でしたが、IBD患者、糖尿病患者、血液疾患の患者数は年々減少傾向にあります。DPC病棟の維持には退院・転棟数90件/月以上が必要ですが、眼科手術後の短期入院に依存する状況が続いており、病棟や病院機能の再編が求められています。

総合診療部は3年目を迎え、内科医2名体制でスタートしましたが、7月以降は1名体制となり、病床利用率低下の一因となりました。糖尿病内科では、治療薬の進歩や専門医の独立開業の影響で教育入院患者数の減少傾向が継続しています。次年度の集患対策として内分泌代謝内科外来の創設準備を進めました。

消化器内科では常勤医の高齢化により内視鏡検査医の確保が困難となり、健診者数制限を余儀なくされています。一方、健康管理センターでは常勤医を増員し、産業医3名体制を整備しました。さらに9月には別館ウエルネスじあいの1・2階へ移転し、健診者増加を目指す体制を整えました。

慈愛会トータルヘルスケアシステム構築では、当院の役割を再確認しつつ、訪問診療部門を拡充し、高麗町クリニックやかごしまオハナクリニックとの連携強化を進めました。また、健康管理センターでは健診者数増加と産業医事業拡大を目指し取り組みを開始しました。

病病・病診連携では、法人内で介護老人保健施設 愛と結の街と協力医療機関協定を締結し、高麗町クリニックおよびかごしまオハナクリニックとの訪問診療部門の連携強化を継続しました。近隣医療機関との協力では、相良病院とのリンパ浮腫外来診療協定締結、井後眼科との開放型病院連携、ひなたクリニックなどとの医療連携協定を締結し、新規患者獲得を目指しています。9月には近隣医療機関との地域連携会を開催し、2025年1月にはケアマネジャー向け研修会を実施しました。

また、地域との交流では、例年の「いづろ今村病院健康まつり」を「いづろ健康・介護まつり」に名称変更し、名山校区コミュニティ協議会と連携して実施しました。甲東中学校吹奏楽部の演奏や、瀬戸山クリニック院長による講演を通じて地域との関係を深めました。さらに、3月には「市民モニター会議」を開催し、地域住民との意見交換を行いました。

2024年度は厳しい状況の中でも、事業計画に基づき多方面で取り組みを進めました。次年度は、職員一丸となってこれらの成果を実現するべく邁進していきます。

谷山病院

院長 福田 恭哉



2024 年 4 月より院長を務めてまいりましたが、2024 年度の谷山病院は順調とはいい難く病床利用率は年度末につれ徐々に回復したものの低下したままでした。

また、現在多くの医療機関では人材不足が顕著となっており谷山病院でも例外ではなく、人材不足が医療の質の低下につながらないように多職種間の意見交換や情報共有を充実させ職員教育に力を入れてきました。

本年度も精神科救急の地域拠点病院として時間外を 162 件（内 109 件入院）受け入れたり、認知症疾患医療センターとしてかかりつけ医や地域包括支援センターと連携を図ったり、結核を合併した精神障害者を 4 名受け入れたり、社会復帰施設と連携して長期入院患者さんの地域移行・地域定着を支援したりと、いつものように頑張りました。

そうして今まで同様、精神科救急を通して多様な精神疾患に対応することで、地域包括ケアシステムの中で病院としての役割も果たしていきたいと思えます。

2025 年度も結果が残せるように、数字に表れない部分も含めて、努力を継続していきたいと思えます。

奄美病院

前管理者 納 光弘



本年度は、当院開設 65 周年、そして慈愛会創設 90 周年という記念すべき年を迎えました。地域の皆様、関係各位の長年のご支援に心より感謝申し上げます。

65 周年記念事業として、数年ぶりに奄美まつりに参加し、職員一同心を一つにして病院を PR しました。パレードや舟こぎ競争を通じた地域の方々との交流は、新型コロナ禍を経て活気を取り戻す良い機会となりました。院内では開設当初からの写真展を開催し、地域の皆様に育まれてきた病院であることを改めて認識いたしました。

精神科地域包括ケアシステムの推進に向けては、旧病棟を活用した精神科デイケアと企業主導型保育園が移転し、リニューアルオープンという新たなスタートを切りました。広々とした空間は、利用者の方々から大変好評を得ています。

一方、病床利用率は 80.8%と目標の 90.2%には届きませんでした。慢性的なマンパワー不足も課題ではありますが、部署間の連携を強化し、「断らない医療」の実現に向けて尽力してまいります。

また、年度末にはグループホームと賃貸アパートを備えた複合施設が完成いたしました。地域移行支援の流れに沿い、患者様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援してまいります。

この記念すべき年を機に、地域の皆様への感謝を胸に、更なる医療の質の向上と地域医療への貢献を目指し、邁進していく所存です。

徳之島病院

前院長 / 名誉院長 末満 純一



2024 年度を振り返り～人材難と経営難を考えて～

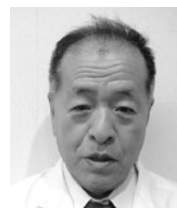
当院は、離島における唯一の精神科としての機能を長年にわたり果たしてきました。しかしながら、近年の人口減少と高齢化の進行、それに伴う患者数の減少により、経営は年々厳しさを増してきました。特に大きな課題は医療スタッフの深刻な人員不足です。中でも看護職の勤務体制の維持は極めて困難でした。これらの状況を受け、病床利用率の低下、サービスの縮小、職員の疲弊、さらには慢性的な赤字経営という悪循環に直面しました。

こうした厳しい環境においても、当院が地域に果たす役割は失われていません。むしろ、「小規模でも柔軟な地域医療の拠点」として求められています。今後は入院治療に依存せず、地域包括ケアシステムの一部としての精神科医療のありかたを考え、また人員不足に対しては「働きやすい勤務体制の再検討」で職員の定着率向上を図る必要があるかと思います。

最後に、「小さくても灯を消さないために」「病院」という形にこだわらず、地域の中で人々に心のケアを届ける仕組みをどう作るか。柔軟な発想こそが、離島医療の未来を切り開く鍵となるはずです。皆さん長いこと有難うございました。

介護老人保健施設 愛と結の街

施設長 海江田 一也



2024 年度を振り返りますと、物価高騰により一段と景気が冷え込み、人材確保もままならず、介護老人保健施設の運営はますます厳しい状況下にあります。

年度初め、4月の入所利用率は85%からのスタートとなり、上半期は大変厳しい運営となりました。年末によりやうく90%の入所利用率となり、年明け2カ月においては実質単月黒字となり若干明るい兆しが見えてきました。

愛と結の街グループとしては、まずは老健本体部分の黒字化を目指し、改めて「回転率重視」から「稼働率重視」への転換を行うべく年末から年始に向けて関係関連部署が取り組んだ結果が、年度末の好転に繋がったと見ております。特に高稼働を維持している事業であるデイケアにおいては、2月からは定員増(25名→30名)を行うなど2025年度に向けた種まきを行いました。

さらには、地に根を生やし花から実となるように「入るを量りて出ずるを制す」を实践すべく収入に見合う経費の削減や既存のサービスの見直しを行い、適材適所のスタッフの配置や助勤体制の拡充を行いつつあります。

今後も愛と結の街グループ7つの事業所が、地域に寄り添い必要不可欠な存在となるべく、スタッフ一丸となってこの難局を乗り越えていきます。信頼され選ばれる存在であること、そして何よりも、一緒にここで働くことがスタッフ個々の楽しい生活の糧となることを胸に日々精進してまいります。

慈愛会在宅支援部

笹貫訪問看護ステーション顧問 中蘭 明子



2024年度の訪問実績は10,915件（目標値：12,000件）と目標値には届きませんでしたが、精神科同行訪問率や訪問看護単価の上昇は、訪問看護質向上の指標としては評価できる結果となりました。これは今年度重点的に取り組んだ「切れ目のない在宅支援連携」が推進でき、それぞれ「点」だったことが「線」につながって大きな成果を生んだことの表れだと思います。今までは、「受け身」の訪問看護ステーションでしたが、病院との「顔の見える連携」も成果指標の一つと言えます。

また、「共に育つ、共有環境づくり」として、法人内の各施設の協力のもと、鹿児島県内初の新卒訪問看護師育成に取り組み、在宅看護の視点を持った看護師を育成することができました。「利用者のえがおをみたい」という理念のもと、地域から選ばれる事業所となるよう更なる努力を重ねていきたいと思っています。

鹿児島中央看護専門学校

前副校長／顧問 久徳 美鈴



鹿児島中央看護専門学校では、本年度も3つの事業目標達成に向け取り組みました。特に本年度は学校在り方検討会を発足させ、学生確保に力を入れました。広報活動の強化の成果もあり、2025年度入学生は44名と学生定員を満たすことができました。また、外国人留学生の受け入れ開始に伴い準備を進めてきました。本校が外国人留学生の看護師資格取得への道を拓くことに貢献できることは、本校や本校の学生にとっても国際交流を育む機会となり価値のある取り組みとなります。

また、本年度は新カリキュラムの完成年度となりました。社会のニーズに対応できる看護実践力の高い看護師の育成に向け、本校が目指す8つのディプロマポリシーに向かって教育活動を実施しました。中でも看護実践力強化において、各学年の技術到達確認、学年交流技術演習や模擬患者への技術演習、卒業前技術到達確認に取り組みました。今後も実践力の高い看護師の育成に向けて教育内容を工夫していきます。

学生一人ひとりの学習支援については、教職員の倫理行動指針のもと学年担当を中心に学業に臨めるよう慈愛の教育を実践してきました。本年度の教育活動の成果は、県内就業率95.3%を含め、国家試験合格率97.6%、卒業時到達評価（4.0基準）3.73であり、新カリキュラムの初の卒業生を輩出することができました。

2025年度も、時代の変化の中で看護学校の抱える課題は山積しています。更なる教育の質の向上を目指し、教職員一丸となって取り組んでまいります。

慈愛会クリニック

院長 今村 尚子



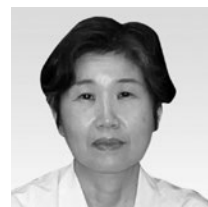
2024年度は、生活習慣病管理料Ⅱやベースアップ評価加算、DX加算を新たに算定し、それに伴う診療の流れの効率化を進めました。外来患者数は過去3年間の中で一番多くなりました。今後も近医の閉院に伴う新患の積極的な受け入れと通院が遠のいている患者への受診勧奨で、外来患者数の増加を目指します。

また、透析予防の指導を行った患者の中でHbA1c、血圧、クレアチニンの数値に改善または維持が認められたものの割合は前年度に比べると減少しましたが70%以上の高値を保つことができています。

本年度も「糖尿病川柳」の募集といづろ今村病院広報誌「にじ」への掲載や、新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン接種を引き続き実施できました。今後もチーム医療で糖尿病外来としての専門性を活かして患者様を支えていきます。

七波クリニック

院長 鮫島 久子



2024年は1カ月平均実患者数1,068名で、前年とほぼ同様でした。2006年開院時の平均実患者数886名から毎年増えている状況です。しかしながら2024年診療報酬改定の影響のためか予算達成できませんでした。今年度は外来データ加算を申請しましたが、データ入力に必要な糖尿病合併症病期の判定など医事部門では難しいところもあり、今後の継続方法が悩ましいところです。昨年度糖尿病教室を実施しましたが、スタッフの日程が合わず開催予定が延期となってしまう2回の施行でした。年間3～4回開講を目標とし、透析予防指導管理へつなげていきたいです。ほか問題点として保険診療で求められる書類作成が増え、以前より診察にかかる時間が延びており、待ち時間が減らせないかが今後の課題です。

高麗町クリニック

院長 木原 浩一



2024 年度の高麗町クリニックは、訪問診療契約患者数が 10 月以降は概ね 110 名を超えた状態で推移しました。外来および訪問診療による報酬、ならびに訪問リハビリによる診療報酬を合わせて、2 年連続で前年度比増収を記録することができました。事業利益も 2024 年度予算値に対して +65.3% を達成することができました。法人内外からの患者紹介を頂いたお陰であり、職員一同感謝を申し上げる次第です。その一方で、昨年度途中には集团的個別指導を受けました。受けた指導内容を検討し、昨年度後半は診療活動の適正化を図ってまいりました。その結果、診療報酬の伸びは鈍化しましたが、何とか予算を上回る成果を挙げることができました。今村総合病院・いづろ今村病院との病診連携を強化してまいりました結果であると存じます。今後ともよろしくお願いします。

かごしまオハナクリニック

院長 林 恒存



2024 年度は、当院の存在や役割を対外的にアピールするための様々な取り組みを実行しました。ウェブサイト充実、公式 SNS 開設、地域連携の集いの開催、協働経験のない訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所、ケアマネジャーとの連携推進、訪問リハビリ、オンライン診療、発熱外来、予約外診療など多岐に実行しました。また常勤医が倍の 4 名体制になり、単位時間あたりの訪問診療数、外来診療数とも増加した結果、事業収益は増加しました。年度後半は事務業務の再編として、業務の属人化解消、1 人あたりの生産性改善、旧態依然とした業務習慣からの脱却に着手しました。診療、事務とも本年度の成果をさらに伸ばし、結果を出す 2025 年度にしたいと思います。

慈愛会垂水サテライトクリニック

院長 貴島 佳子



2024 年 5 月に開院し、火曜日・木曜日の 13:30～16:30 という限られた時間の、産科・婦人科外来のみの診療ですが、2025 年 3 月まで 11 カ月間で延べ人数 374 名の垂水の女性に受診いただきました。年代別受診者数としては、30 代・40 代の女性の受診数が 72 名・77 名と最も多く、仕事や育児に忙しい自分の為の時間を取りにくい働き盛り世代の健康に貢献できている印象です。

2025 年度の課題としては、妊婦さんや高齢女性の受診数を増やすことです。どちらも口コミを聞いて受診を検討する傾向にありますので、今後も今村総合病院産婦人科とのスムーズな連携を軸に、地域の女性に寄り添った専門性の高い医療を提供していきたいと思っております。

概 要

公益財団法人慈愛会

主たる事務所 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号	理事長 今村 英仁 事業所 5病院 1介護老人保健施設 1看護師養成所 5診療所 19併設事業所	職員数 2,408名(2025年3月1日現在) 総病床数 1,567床
従たる事務所 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号		

今村総合病院

管 理 者 常盤 光弘
所 在 地 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町11番23号
T E L 099-251-2221
病 床 数 428床（一般330床、回復50床、精神48床）
標榜診療科 内科、救急科（総合内科）、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、人工透析内科、脳神経内科、外科、消化器外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、気管食道・耳鼻咽喉科、脳神経外科、整形外科、放射線科、精神科、病理診断科、麻酔科、小児科、産科、婦人科、歯科口腔外科、腫瘍内科、感染症内科、肝臓内科、膠原病・リウマチ内科

指定医療機関等

- ・臨床研修病院
- ・救急告示病院
- ・生活保護法指定医療機関
- ・被爆者一般疾病医療機関
- ・労働者災害補償保険法指定医療機関
- ・公害健康被害補償法による医療機関
- ・障害者自立支援法による医療機関（更生医療・精神通院医療）【腎臓に関する医療、免疫に関する医療】
- ・特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・鹿児島県がん診療指定病院
- ・特定行為研修指定研修機関
- ・母体保護法指定医師研修連携施設
- ・第一種協定指定医療機関
- ・第二種協定指定医療機関
- ・重症薬疹診療拠点病院
- ・紹介受診重点医療機関
- ・文部科学省科学研究費助成事業指定研究機関

学会等認定施設

- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定新家庭医療後期研修プログラム
- ・日本透析医学会専門医制度認定施設
- ・日本血液学会認定専門研修認定施設
- ・日本HTLV-1学会登録医療機関
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医指定研修施設
- ・日本脳卒中学会専門医制度研修教育施設
- ・日本神経学会専門医制度教育施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本精神神経学会精神科専門医研修施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）
- ・日本輸血・細胞治療学会認定臨床輸血看護師制度指定研修施設
- ・日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度(I&A制度)認証施設

概要

- ・日本病理学会病理専門医制度研修登録施設
- ・日本臨床神経生理学学会認定施設準教育施設(筋電図・神経伝導分野)
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター
- ・日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
- ・日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
- ・日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科—認定カテゴリー1（血液内科）
- ・日本骨髄バンクならびに日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間骨髄採取認定施設
- ・日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本大腸肛門病学会関連施設
- ・日本胃癌学会認定施設B
- ・日本放射線腫瘍学会（JASTRO）認定施設

その他の認定施設

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver.2.0）
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・鹿児島県消化器がん検診精密検査医療機関
- ・日本診療放射線技師会医療被ばく低減施設
- ・日本診療放射線技師会臨床実習指導施設
- ・日本専門医機構専門医制度総合診療領域専門研修プログラム
- ・日本専門医機構専門医制度内科領域専門研修プログラム
- ・日本医学放射線学会（JRS）画像診断管理認定施設

いづろ今村病院

管 理 者 長野 真二郎

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-2600

病 床 数 115床（一般35床、地域包括ケア58床、緩和ケア22床）

標榜診療科 内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、血液内科、外科、消化器外科、婦人科、放射線科、眼科、緩和ケア内科、皮膚科

指定医療機関等

- ・厚生労働省協力型臨床研修指定病院
- ・開放型病院
- ・救急告示病院
- ・生活保護法指定医療機関
- ・被爆者一般疾病指定医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・特定疾患医療指定医療機関
- ・母体保護法指定医療機関
- ・母子保健法指定医療機関
- ・小児慢性特定疾患医療指定医療機関
- ・労働者災害補償保険法指定医療機関
- ・人間ドック指定病院
- ・健康保険法指定医療機関
- ・労働者災害補償保険法二次健診等給付指定医療機関
- ・各種健診（検診）・予防接種等受託医療機関

学会等認定施設

- ・日本糖尿病学会認定教育施設Ⅱ
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本総合健診医学会・日本人間ドック・予防医療学会 人間ドック健診専門医研修施設

その他の認定施設

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver. 3.0）
- ・日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価認定（Ver. 4.0）
- ・全日本病院内協会日帰り人間ドック実施指定施設
- ・鹿児島県救急災害医療情報システム参加登録病院

通所リハビリテーション ウェルネスじあい

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-5206

指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあい

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-2600

指定居宅介護支援事業所 ウェルネスじあい

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-5207

谷山病院

管 理 者 福田 恭哉
 所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
 T E L 099-269-4111
 病 床 数 392床
 標榜診療科 精神科
 認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver2.0）
- ・生活保護法指定医療機関
- ・身体障害者福祉法による医療機関
- ・被爆者一般疾病医療機関（原爆被爆者援護法）
- ・難病医療費助成指定医療機関
- ・結核指定医療機関
- ・結核患者収容モデル事業（A2病棟5床）
- ・肝炎治療特別促進事業
- ・自立支援医療機関（精神通院医療）
- ・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
- ・精神保健福祉法応急入院指定病院
- ・医療観察法指定通院医療機関
- ・鹿児島県指定認知症疾患医療センター
- ・協力型臨床研修病院（医師臨床研修制度）
- ・精神科専門医制度認定研修施設（日本精神神経学会）
- ・精神科救急地域拠点病院（鹿児島県）
- ・災害時支援中心病院（日本精神科病院協会）
- ・精神科認定看護師教育課程 実習施設（日本精神科看護協会）
- ・DPAT登録病院（鹿児島県）
- ・労働者災害補償保険法指定医療機関

就労支援センター ステップ

所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
 T E L 099-260-5810

地域活動支援センター ひだまり

所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
 T E L 099-260-5865

グループホーム しらゆりの郷

所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町6番1号
 T E L 099-266-3214

奄美病院

管 理 者 （2025年3月まで）納 光弘
 （2025年4月から）坂江 清弘
 所 在 地 〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町170番地
 T E L 0997-53-1200
 病 床 数 （2024年3月まで）348床
 （2024年4月から）326床
 標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver.3.0）
- ・生活保護法指定医療機関
- ・原爆被爆者医療法一般疾病医療取扱病院
- ・臨床研修医制度臨床研修病院（協力型）
- ・自立支援医療機関（精神通院医療）
- ・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
- ・医療観察法にかかる指定通院医療機関
- ・鹿児島県指定認知症疾患医療センター

訪問看護ステーション イルカ
 指定特定相談支援事業所 あゆみ

所 在 地 〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町171番1号
 T E L 0997-57-6750（イルカ）
 0997-57-6633（あゆみ）

概要

指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま

所在地 〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿佐仁金久2838
TEL 0997-54-8911

グループホーム ひまわり

所在地 〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿砂田2879番1号
TEL 0997-54-8787

徳之島病院

管理者 (2025年3月まで) 末満 純一
(2025年4月から) 太田 憲輔

所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5190番地

TEL 0997-83-0275

病床数 206床

標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院 (3rdG: Ver.2.0)
- ・生活保護法指定医療機関
- ・自立支援医療機関 (精神通院医療)

- ・精神保健福祉法第19条の8 (指定病床数8床)
- ・医療観察法指定通院医療機関

グループホーム うんばた

所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5201番1号
TEL 0997-83-2840

訪問看護ステーション わたりどり

所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5190
徳之島病院旧棟 2F
TEL 070-5535-3317

介護老人保健施設 愛と結の街

施設長 海江田 一也

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号

TEL 099-260-6060

入所定員数 100床

指定居宅介護支援センター 愛と結の街
ヘルパーステーション 結の街

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
TEL 099-267-6818 (居宅)
099-267-0177 (ヘルパー)

グループホーム 愛と結の街
デイサービスセンター あしたの風 (認知症対応型)

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番28号
TEL 099-267-0533 (グループホーム)
099-263-6630 (あしたの風)

デイサービス はなぶさ
(通常規模型通所介護事業所)

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号
TEL 099-284-5663

住宅型有料老人ホーム あいゆいの家

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
TEL 099-260-6060

慈愛会在宅支援部

笹貫訪問看護ステーション 愛の街

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
TEL 099-210-0150

慈愛会クリニック

管理者 今村 尚子
標榜診療科 内科, 糖尿病内科所在地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号1F
TEL 099-239-0588

七波クリニック

管理者 鯨島 久子
標榜診療科 内科所在地 〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町51番1号
ニシムタスカイマーケット鴨池内テナント
TEL 099-284-0610

高麗町クリニック

管理者 木原 浩一
標榜診療科 内科
・在宅療養支援診療所所在地 〒890-0051 鹿児島県鹿児島市高麗町39番11号
TEL 099-812-7712

かごしまオハナクリニック

管理者 林 恒存
標榜診療科 内科所在地 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号
TEL 099-263-8787

慈愛会垂水サテライトクリニック

管理者 貴島 佳子
標榜診療科 産婦人科所在地 〒891-2123 鹿児島県垂水市本町77番
TEL 0994-35-1583

鹿児島中央看護専門学校

校長 今村 英仁

3年課程看護科
定員 1学年40名所在地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町12番7号
TEL 099-227-5330

病院施設別職員数 2025年3月1日現在 () は非常勤・パート

	医師		看護部		診療支援部		事務員		その他職員		合計：実働
今村総合病院	124	(69)	415	(34)	236	(9)	116	(13)	21	(15)	1052
七波クリニック	1	(5)	4	(5)	1	(1)	6	(1)			24
かごしまオハナクリニック	2	(2)	5				8				17
慈愛会垂水サテライトクリニック	1	(4)		(1)							6
いづろ今村病院	27	(34)	133	(17)	57	(7)	51	(8)	2		336
慈愛会クリニック	1	(5)	2	(3)	1		4				16
谷山病院	13	(16)	163	(7)	65	(9)	19	(1)	4		297
就労支援センターステップ					7	(1)	1				9
地域活動支援センターひだまり			2		8						10
グループホームしらゆりの郷			3	(1)	3		3				10
奄美病院	6	(6)	113	(12)	34	(21)	17		9		218
指定特定相談支援事業所あゆみ			1		3						4
訪問看護ステーションイルカ			9				1				10
グループホーム ひまわり			3								3
指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま			11	(1)	1		2				15
徳之島病院	4	(5)	50	(11)	29	(5)	7		10	(2)	123
グループホームうんばた			2				1				3
訪問看護ステーションわたりどり			4	(3)	1		1				9
介護老人保健施設愛と結の街		(3)	43.1	(12)	22.2	(7)	5		2	(7)	101.3
居宅介護支援センター愛と結の街			4				2				6
グループホーム愛と結の街			15								15
ヘルパーステーション結の街			4	(9)							13
デイサービスあしたの風			4.4	(1)							5.4
デイサービスはなぶさ			5.3	(4)							9.3
住宅型有料老人ホーム あいゆいの家				(4)							4
在宅支援部 笹貫訪問看護ステーション愛の街			14	(2)	4		2				22
高麗町クリニック	1	(1)	4		2		3			(2)	13
鹿児島中央看護専門学校							3	(2)	11	(2)	18
法人事業本部	3		6				28	(2)			39
合 計	183	(150)	1019.8	(127)	474.2	(60)	280	(27)	59	(28)	2408

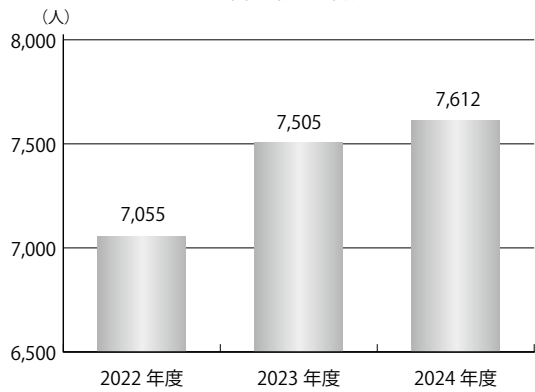
職種別常勤換算人員表（年度推移：人）

	職 種	2022 年度	2023 年度	2024 年度
1	医 師	193.4	192.5	212.3
2	歯 科 医 師	1.6	1.3	1.3
	診 療 部	195.2	193.8	213.7
3	保 健 師	6.9	7.1	9.6
4	助 産 師	11.3	10.7	10.8
5	看 護 師	802.5	782.6	759.4
6	専 任 教 員	11.7	13.0	13.4
7	准 看 護 師	40.9	39.1	37.1
8	看 護 助 手	112.2	103.0	108.9
9	介 護 福 祉 士	171.2	167.4	160.5
10	介 護 支 援 専 門 員	8.0	7.1	6.9
11	ケ ア ワ ー カ ー	0.0	0.0	0.0
12	ヘル パ ー	2.4	2.4	2.4
13	歯 科 衛 生 士	2.2	2.4	2.2
	看 護 部	1169.2	1134.7	1111.2
14	薬 剤 師	46.1	44.3	46.8
15	薬 剤 師 助 手	12.3	12.8	13.2
16	診 療 放 射 線 技 師	31.4	31.6	32.9
17	臨 床 検 査 技 師	39.4	43.8	40.7
18	臨 床 検 査 助 手	2.0	2.6	2.8
19	臨 床 心 理 士	3.3	2.0	2.0
20	臨 床 心 理 技 術 者	0.0	0.0	0.0
21	公 認 心 理 師	4.0	4.2	6.0
22	理 学 療 法 士	69.9	72.2	77.3
23	作 業 療 法 士	58.8	59.3	61.7
24	言 語 聴 覚 士	20.4	20.5	20.8
25	音 楽 療 法 士	0.5	0.3	0.4
26	リ ハ ビ リ 助 手	5.7	6.0	6.4
27	臨 床 工 学 技 士	19.7	20.9	20.1
28	内 視 鏡 検 査 士	3.7	3.6	3.5
29	視 能 訓 練 士	4.0	3.6	4.0
30	管 理 栄 養 士	29.0	27.7	25.6
31	栄 養 士	12.6	13.4	14.7
32	調 理 師	55.9	52.7	50.6
33	調 理 員	28.5	28.7	28.3
34	社 会 福 祉 士	15.6	15.7	14.4
35	精 神 保 健 福 祉 士	45.8	43.8	44.0
36	精 神 保 健 福 祉 士 助 手	0.4	1.8	2.5
37	そ の 他	0.0	1.5	2.3
	診 療 支 援 部	509.1	512.9	521.0
38	事 務 員	251.1	255.8	267.2
39	診 療 情 報 管 理 士	12.0	11.7	13.4
40	シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア	5.0	5.0	5.2
41	売 店	5.0	5.0	5.3
42	施 設 係	33.0	32.7	38.2
43	保 育 士	18.0	19.1	19.3
44	保 育 士 助 手	8.7	7.9	7.3
45	ピ ア サ ポ ー タ ー	0.1	0.3	0.1
46	そ の 他	0.0	1.5	2.3
	事 務 部	332.9	337.5	355.9
	合 計	2206.3	2178.9	2201.7

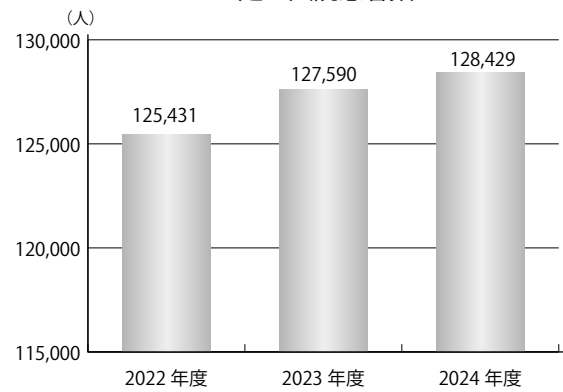
病院施設指標

今村総合病院

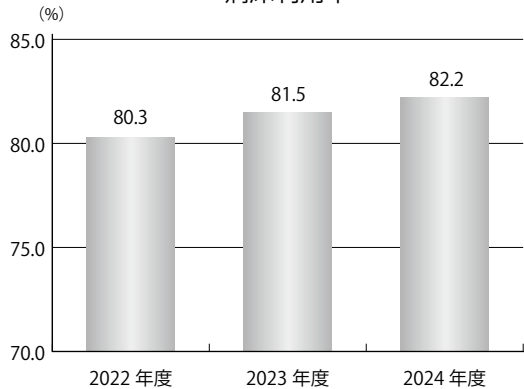
新入院患者数



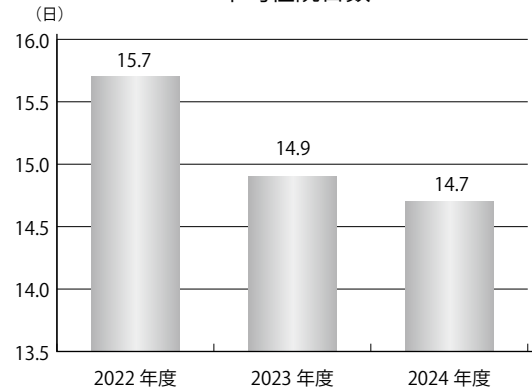
延べ入院患者数



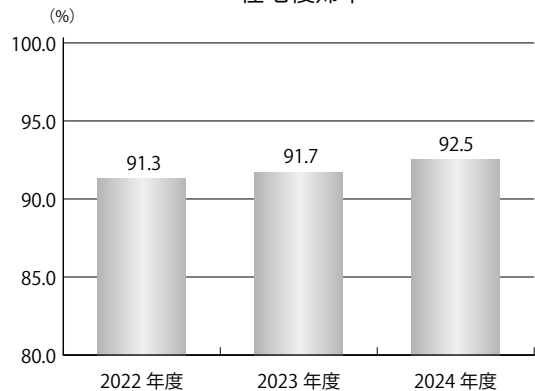
病床利用率



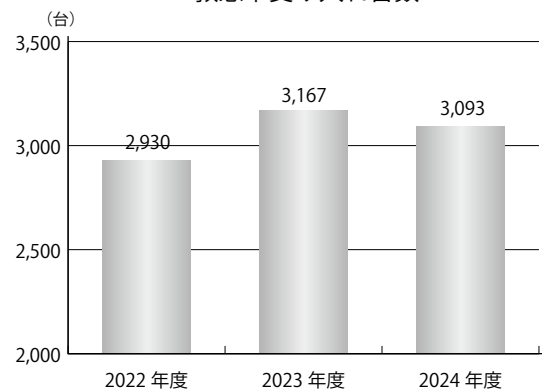
平均在院日数

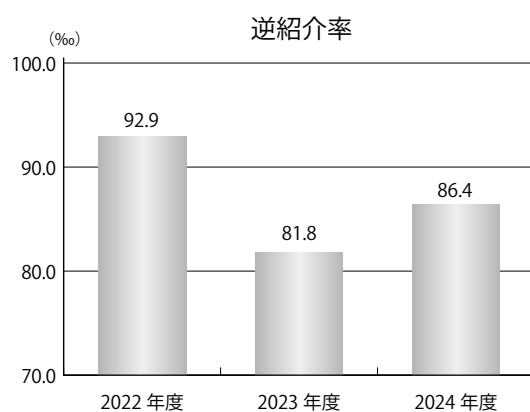
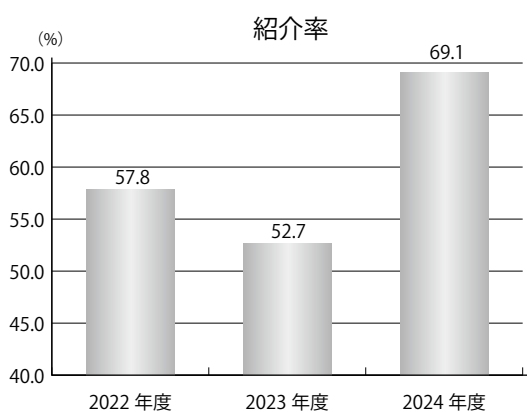
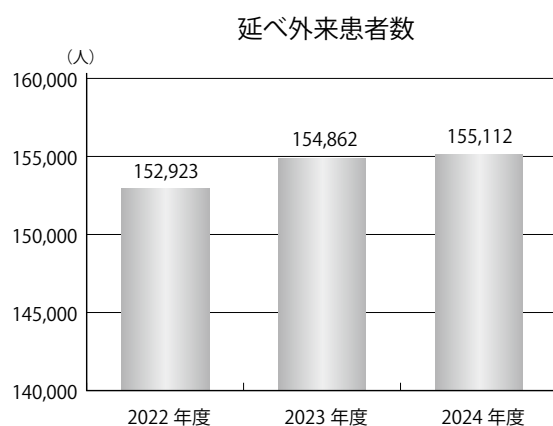
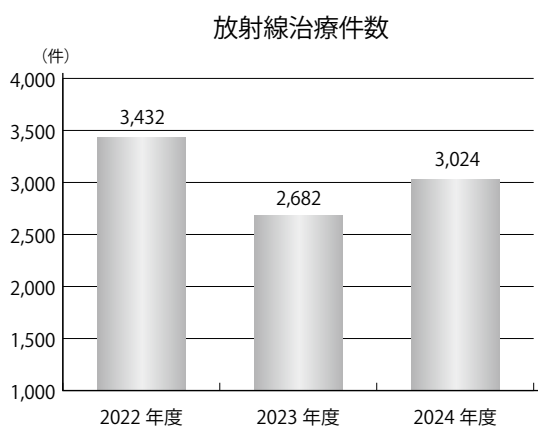
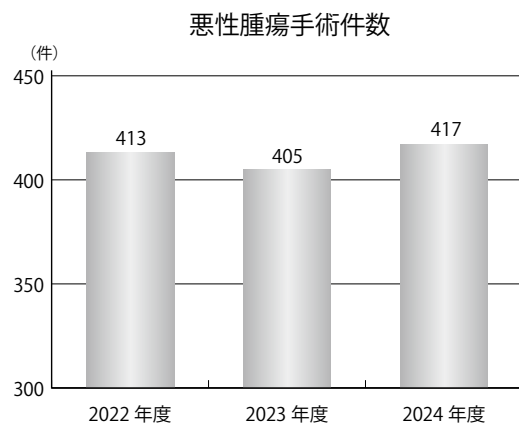
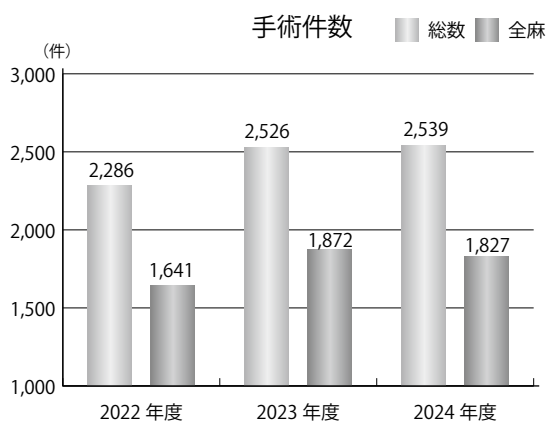


在宅復帰率



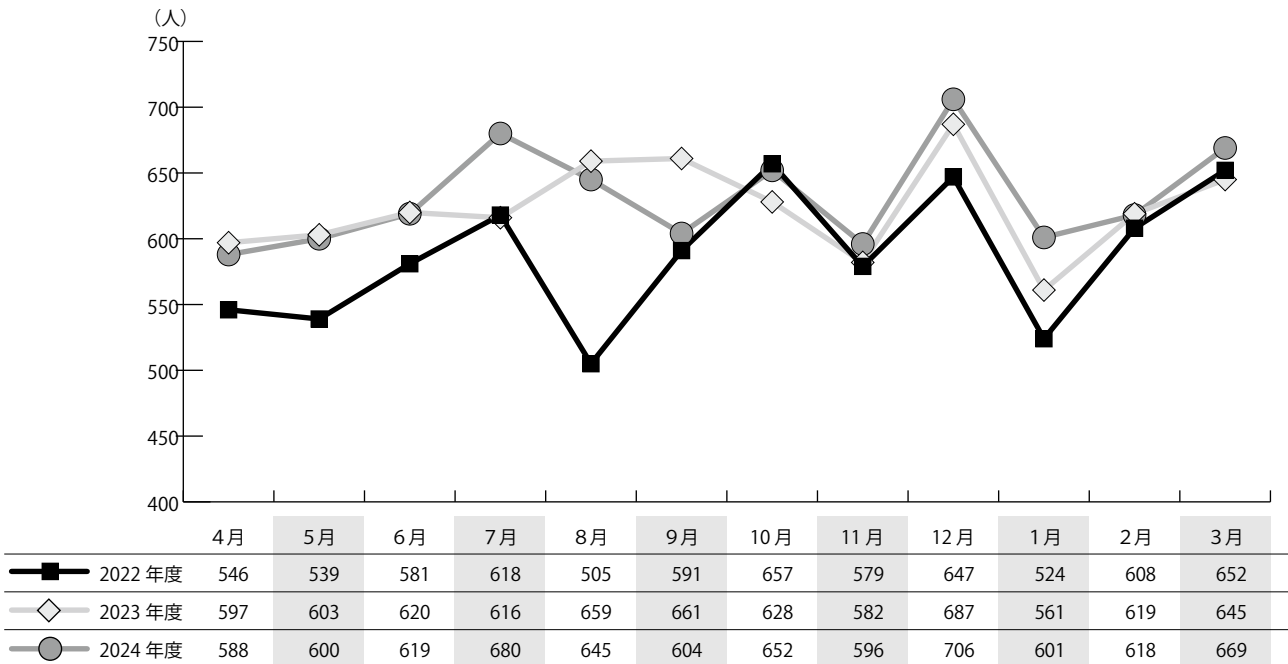
救急車受け入れ台数



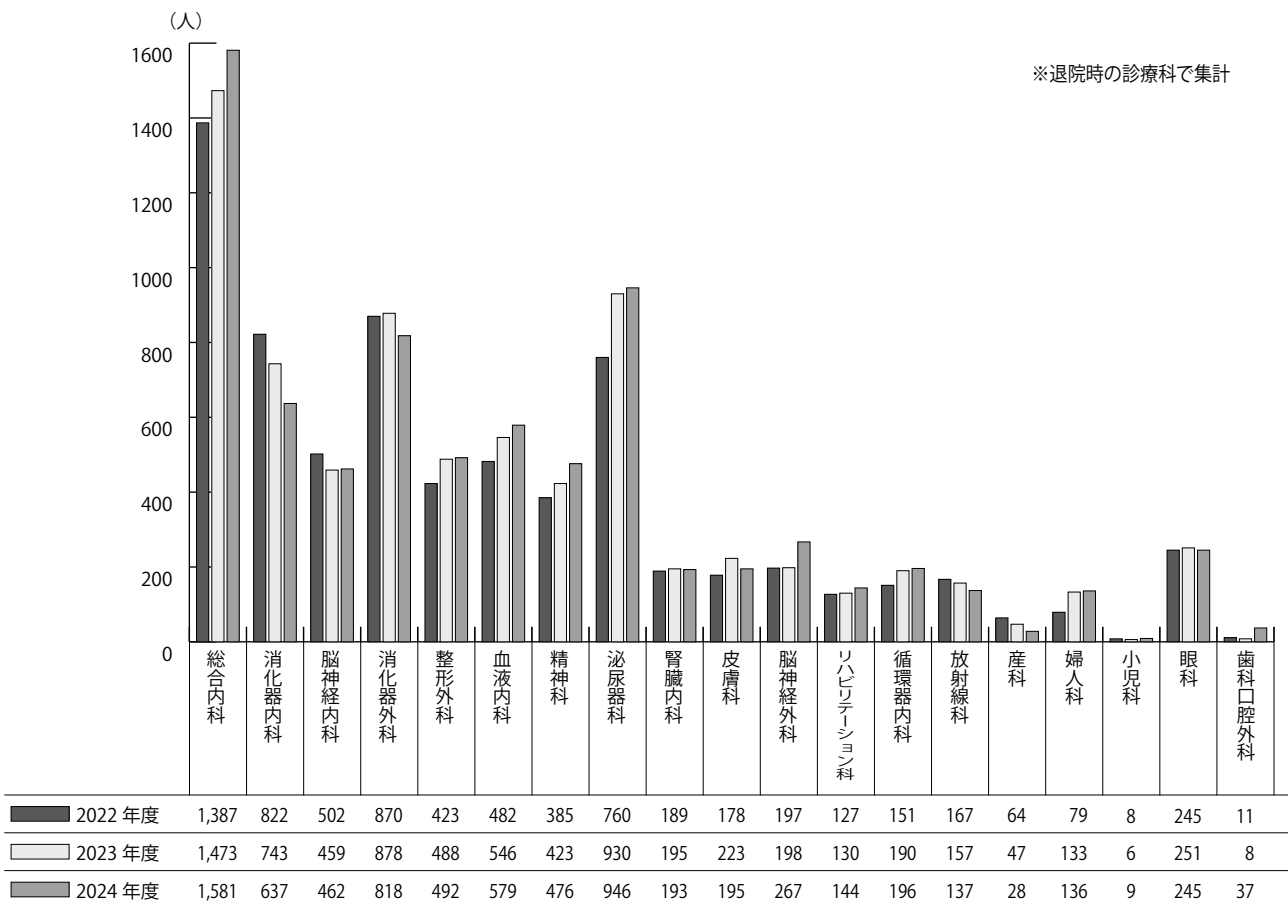


患者動向

年度別月別退院患者数

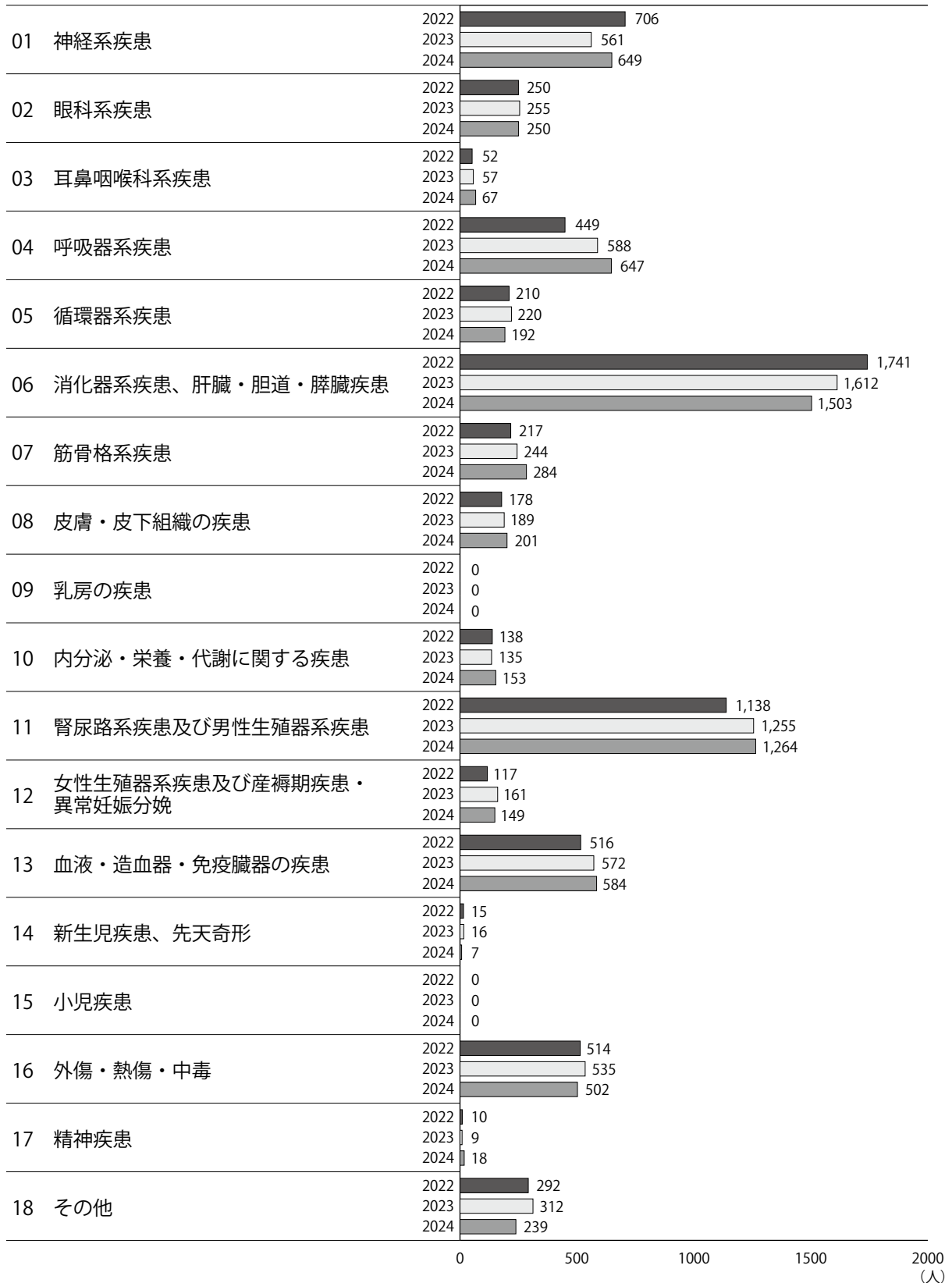


年度別診療科別退院患者数



DPC 統計 (MDC、ICD)

年度別MDC別退院患者数



ICD-10 大分類による診療科別統計 (2022 年度) 2022 年 4 月～2023 年 3 月までの退院患者

大 分 類		総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	放射 線科	脳神経 内科	リハビ リテー ション 科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	眼科	歯科口 腔外科	計
1	感染症および寄 生虫症 (A00-B99)	100	1	9	10	0	0	35	2	3	0	0	2	3	8	0	1	2	0	0	176
2	新生物 (C00-D48)	33	1	399	255	9	212	57	130	1	4	4	2	354	31	0	56	0	0	0	1,548
3	血液および造血 器の疾患ならび に免疫機構の障 害 (D50-D89)	26	1	25	2	0	0	2	0	0	0	0	1	3	5	0	2	0	0	0	67
4	内分泌、栄養お よび代謝疾患 (E00-E90)	71	5	1	0	1	1	0	0	9	0	0	1	16	11	0	1	1	0	0	118
5	精神および行動 の障害 (F00-F99)	8	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	140	0	0	0	0	0	150
6	神経系の疾患 (G00-G99)	49	0	1	5	23	0	1	0	71	2	0	2	0	6	0	0	0	0	0	160
7	眼および付属器 の疾患 (H00-H59)	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	30	0	0	0	243	0	276
8	耳および乳様突 起の疾患 (H60-H95)	5	0	1	0	2	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
9	循環器系の疾患 (I00-I99)	57	12	2	6	72	0	2	10	385	98	0	133	2	21	0	0	0	0	0	800
10	呼吸器系の疾患 (J00-J99)	363	7	11	4	0	3	0	4	1	2	0	5	7	32	0	0	0	0	1	440
11	消化器系の疾患 (K00-K93)	70	2	4	493	0	3	0	17	0	1	0	0	434	52	1	0	1	0	5	1,083
12	皮膚および皮下 組織の疾患 (L00-L99)	43	1	1	0	0	2	77	0	0	0	0	0	4	12	0	0	1	0	5	146
13	筋骨格系および 結合組織の疾患 (M00-M99)	125	3	0	1	1	1	3	0	2	7	63	0	1	8	0	0	1	0	0	216
14	腎尿路生殖器系 の疾患 (N00-N99)	208	139	2	1	0	502	1	0	4	2	0	1	7	24	0	15	0	0	0	906
15	妊娠、分娩およ び産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	2	0	0	0	48
16	周産期に発生し た病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	2	0	0	9
17	先天奇形、変形 および染色体異 常 (Q00-Q99)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	6
18	症状、徴候およ び異常臨床所 見・異常検査所 見で他に分類さ れないもの (R00-R99)	11	0	0	28	0	25	0	2	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	72
19	損傷、中毒およ びその他の外因 の影響 (S00-T98)	46	4	6	14	88	11	0	2	5	9	332	2	9	5	0	2	0	2	0	537
20	傷病および死亡 の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響 をおよぼす要因 および保健サー ビスの利用 (Z00-Z99)	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	24	0	25	0	5	0	0	0	0	61
22	原因不明の新た な疾患の暫定分 類 (U00-U49) 抗菌薬及び抗腫 瘍薬への耐性 (U82-U85)	171	12	14	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	203
計		1,387	189	482	822	197	760	178	167	502	127	423	151	870	385	64	79	8	245	11	7,047

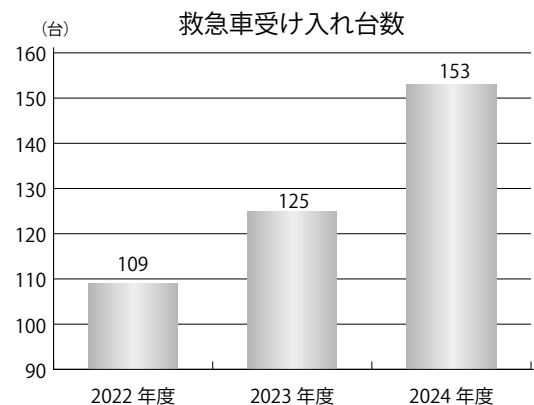
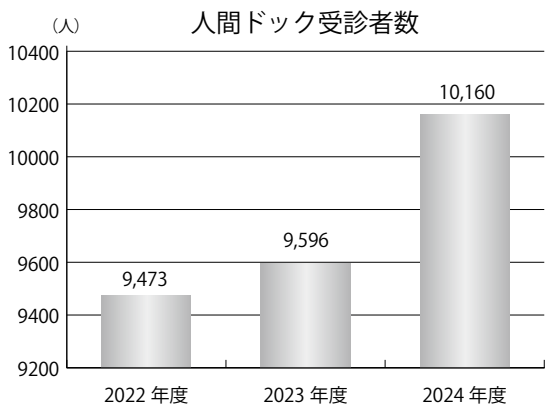
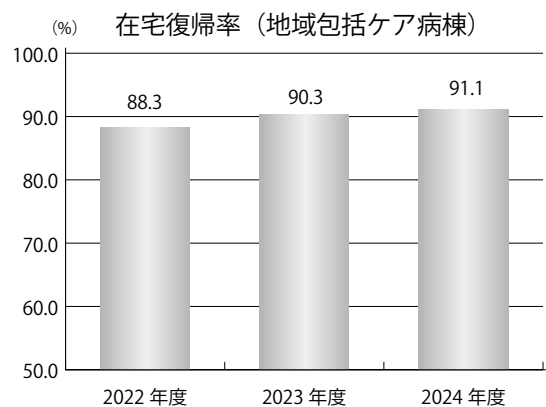
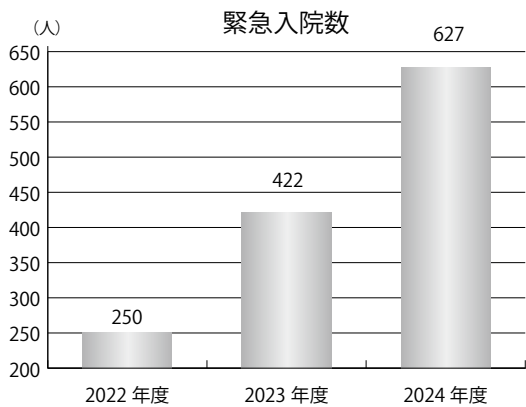
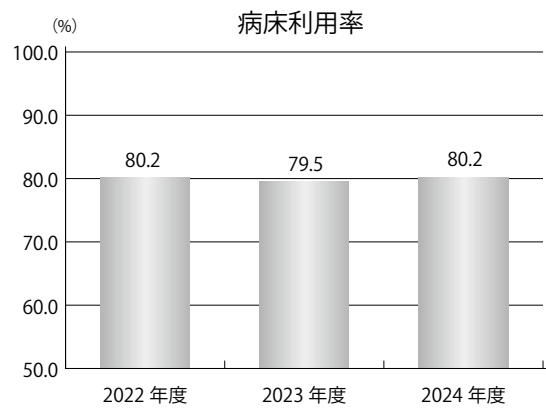
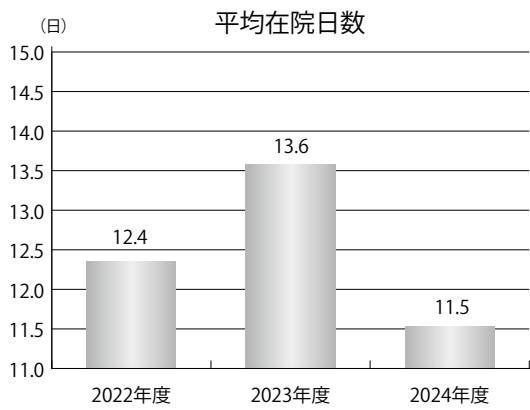
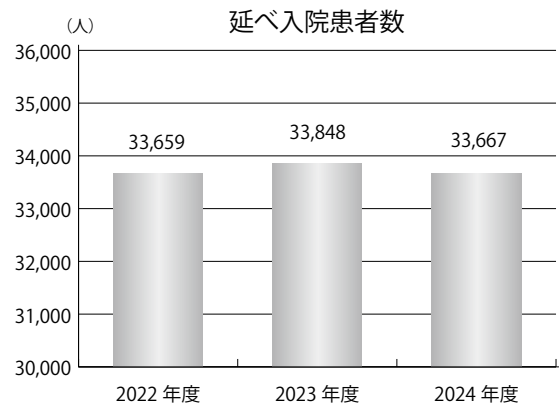
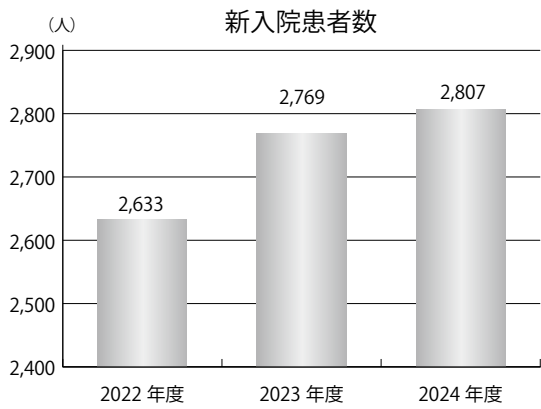
ICD-10 大分類による診療科別統計 (2023 年度) 2023 年 4 月～2024 年 3 月までの退院患者

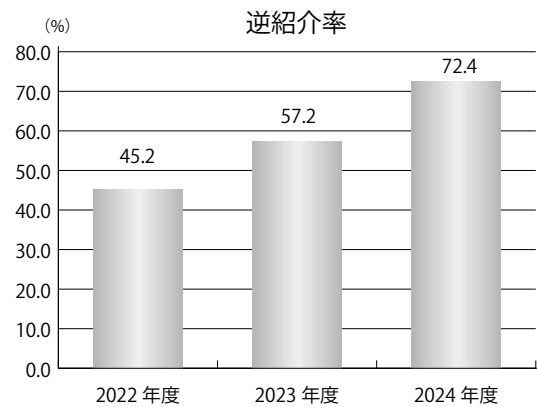
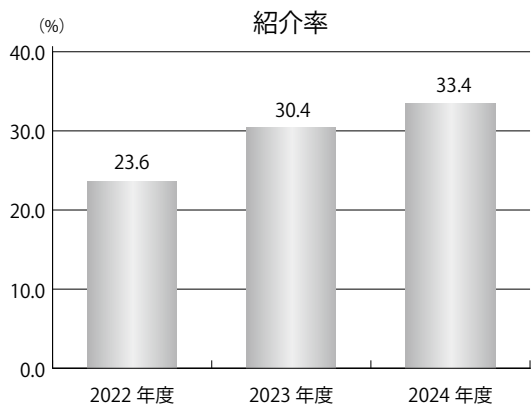
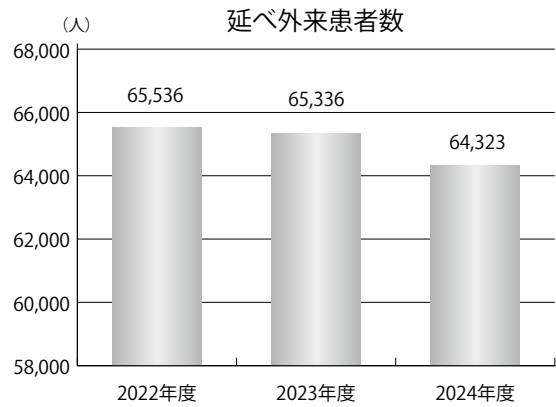
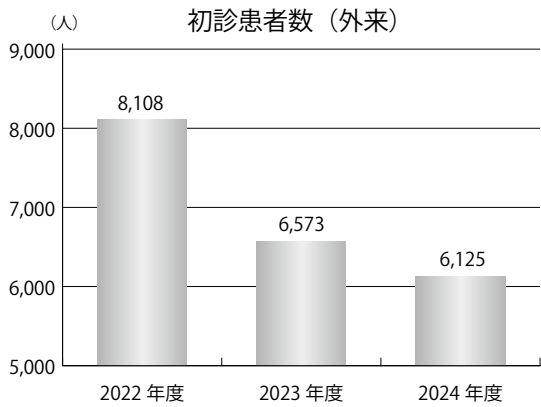
大 分 類		総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	放射 線科	脳神経 内科	リハビ リテー ション 科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	眼科	歯科口 腔外科	計
1	感染症および寄 生虫症 (A00-B99)	122	5	20	10	1	4	45	4	0	0	0	2	5	2	0	1	1	0	0	222
2	新生物 (C00-D48)	32	2	430	175	12	272	84	106	0	4	2	0	314	41	0	93	0	0	0	1,567
3	血液および造血 器の疾患ならび に免疫機構の障 害 (D50-D89)	26	3	30	1	0	1	1	1	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	70
4	内分泌、栄養お よび代謝疾患 (E00-E90)	72	3	3	1	0	0	0	0	4	0	0	3	12	11	0	0	4	0	0	113
5	精神および行動 の障害 (F00-F99)	9	0	0	11	0	0	0	0	2	0	0	0	0	109	0	0	0	0	0	131
6	神経系の疾患 (G00-G99)	23	0	1	10	24	1	0	0	60	1	0	3	0	5	0	0	0	0	0	128
7	眼および付属器 の疾患 (H00-H59)	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	28	0	0	0	250	0	284
8	耳および乳様突 起の疾患 (H60-H95)	3	0	1	0	1	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
9	循環器系の疾患 (I00-I99)	52	9	5	14	83	2	2	12	337	102	0	149	0	18	0	0	0	0	0	785
10	呼吸器系の疾患 (J00-J99)	498	14	25	5	0	3	1	9	6	3	0	8	4	43	0	0	1	1	1	622
11	消化器系の疾患 (K00-K93)	80	2	4	474	0	2	0	17	0	1	0	1	494	84	0	0	0	0	6	1,165
12	皮膚および皮下 組織の疾患 (L00-L99)	39	0	0	0	0	3	86	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	138
13	筋骨格系および 結合組織の疾患 (M00-M99)	156	5	1	4	0	0	2	1	3	4	76	1	3	7	0	0	0	0	0	263
14	腎尿路生殖器系 の疾患 (N00-N99)	202	123	1	3	0	603	0	0	3	1	0	1	5	43	0	38	0	0	0	1,023
15	妊娠、分娩およ び産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	1	0	0	0	39
16	周産期に発生し た病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9
17	先天奇形、変形 および染色体異 常 (Q00-Q99)	0	0	0	0	1	2	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	8
18	症状、徴候およ び異常臨床所 見・異常検査所 見で他に分類さ れないもの (R00-R99)	16	0	2	7	0	20	0	3	1	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	56
19	損傷、中毒およ びその他の外因 の影響 (S00-T98)	38	8	0	11	76	15	1	2	10	12	376	2	15	15	0	0	0	0	1	582
20	傷病および死亡 の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響 をおよぼす要因 及び保健サービ スの利用 (Z00-Z99)	0	0	11	1	0	0	0	0	0	0	34	0	12	0	0	0	0	0	0	58
22	原因不明の新た な疾患の暫定分 類 (U00-U49) 抗菌薬及び抗腫 瘍薬への耐性 (U82-U85)	100	21	12	16	0	2	1	1	16	1	0	17	3	4	0	0	0	0	0	194
計		1,473	195	546	743	198	930	223	157	459	130	488	190	878	423	47	133	6	251	8	7,478

ICD-10 大分類による診療科別統計 (2024 年度) 2024 年 4 月～2025 年 3 月までの退院患者

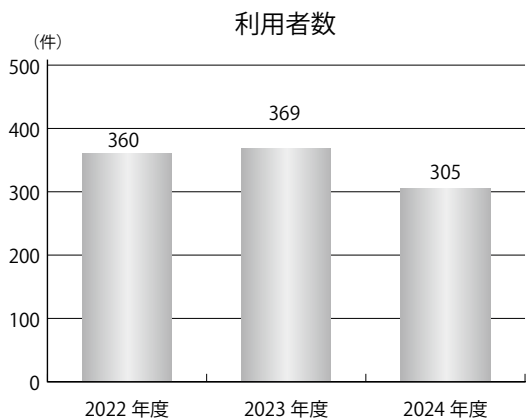
大 分 類		総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	放射 線科	脳神経 内科	リハビ リテー ション 科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	眼科	歯科口 腔外科	計
1	感染症および寄 生虫症 (A00-B99)	98	7	16	9	1	10	33	2	1	0	0	1	7	12	1	0	0	1	0	199
2	新生物 (C00-D48)	29	2	465	192	50	323	68	105	1	2	1	0	286	32	0	108	0	0	1	1,665
3	血液および造血 器の疾患ならび に免疫機構の障 害 (D50-D89)	22	5	25	6	0	2	0	1	0	0	0	2	9	3	0	1	0	0	0	76
4	内分泌、栄養お よび代謝疾患 (E00-E90)	91	4	3	0	0	2	0	2	7	0	0	5	9	12	0	1	9	0	0	145
5	精神および行動 の障害 (F00-F99)	13	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	119	0	0	0	0	0	135
6	神経系の疾患 (G00-G99)	45	1	0	0	23	1	0	0	83	5	0	0	1	5	0	0	0	0	0	164
7	眼および付属器 の疾患 (H00-H59)	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	46	0	0	0	244	0	294
8	耳および乳様突 起の疾患 (H60-H95)	10	0	0	0	3	0	0	0	20	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	34
9	循環器系の疾患 (I00-I99)	47	4	1	3	128	0	2	7	316	110	0	156	0	18	0	0	0	0	0	792
10	呼吸器系の疾患 (J00-J99)	592	10	20	6	1	4	1	1	6	6	0	12	8	51	0	0	0	0	0	718
11	消化器系の疾患 (K00-K93)	59	2	8	376	0	2	1	8	0	2	0	1	455	72	0	0	0	0	31	1,017
12	皮膚および皮下 組織の疾患 (L00-L99)	43	5	2	0	1	0	82	1	1	0	0	0	2	15	0	0	0	0	4	156
13	筋骨格系および 結合組織の疾患 (M00-M99)	193	4	3	0	0	0	2	0	2	3	89	0	0	9	0	0	0	0	0	305
14	腎尿路生殖器系 の疾患 (N00-N99)	202	124	1	1	0	522	0	3	3	1	0	1	8	51	0	26	0	0	0	943
15	妊娠、分娩およ び産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	24
16	周産期に発生し た病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
17	先天奇形、変形 および染色体異 常 (Q00-Q99)	1	1	0	0	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9
18	症状、徴候およ び異常臨床所 見・異常検査所 見で他に分類さ れないもの (R00-R99)	24	0	1	29	0	23	2	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	85
19	損傷、中毒およ びその他の外因 の影響 (S00-T98)	44	9	12	3	57	53	2	2	9	13	369	3	3	26	0	0	0	0	1	606
20	傷病および死亡 の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響 をおよぼす要因 及び保健サービ スの利用 (Z00-Z99)	1	0	17	0	0	0	0	0	0	0	31	0	23	0	0	0	0	0	0	72
22	原因不明の新た な疾患の暫定分 類 (U00-U49) 抗菌薬及び抗腫 瘍薬への耐性 (U82-U85)	67	15	5	12	0	2	1	1	8	2	1	14	3	5	0	0	0	0	0	136
計		1,581	193	579	637	267	946	195	137	462	144	492	196	818	476	28	136	9	245	37	7,578

いづろ今村病院





指定居宅介護支援事業所 ウェルネスじあい



【2024 年度総括】

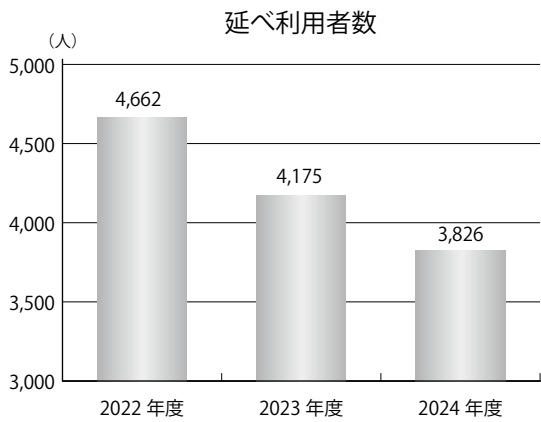
〈目標達成度〉

担当利用者の高齢化に伴い訪問看護利用プランが多くなり、ターミナル者数も目標値年間5件に対し実績35件と大幅に増加。毎月のモニタリングを行う中で、訪問看護等の導入により、専門職による身体状況等の管理が奏功し、入院者数は予定より少なく在宅生活を継続することができました。また、担当利用者の退院時には、退院前カンファレンスに参加し目標値通りの結果となりました。

〈総括〉

担当利用者の高齢化が進む中、老老介護や身体状況の変化により在宅生活の継続が困難な状況があります。在宅療養支援病院内の居宅介護支援事業所の役割としての、在宅医療・介護支援機能の強化のために今後も支援を続けていきます。

通所リハビリテーション ウェルネスじあい



【2024 年度総括】

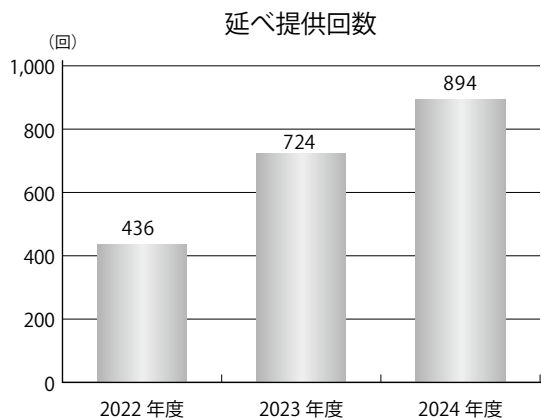
〈目標達成度〉

2024年度延べ利用者数は3,826名（月平均新規利用1.08名、月平均利用割合73.4%）、収益27,563,430円と計画達成。体験利用者数は年13件実施、そのうち10件が実際の利用につながりました。

〈総括〉

2024年度は場所移転に伴い、昨年度より少なめの定員で運営し収益が減少。しかし2024年度の介護報酬改定対策として医師を交えたりハビリ会議を全利用者に実施し、可能な加算の算定・減算項目の除外をすることができ、年度初めの予想収益に比べると実際の収益が上回りました。来年度はハード面を調整し徐々に受入枠を拡大、最終的に一日4名受入を増やす予定。それに伴い収益は上がっていく見通しです。

指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあい



【2024 年度総括】

〈目標達成度〉

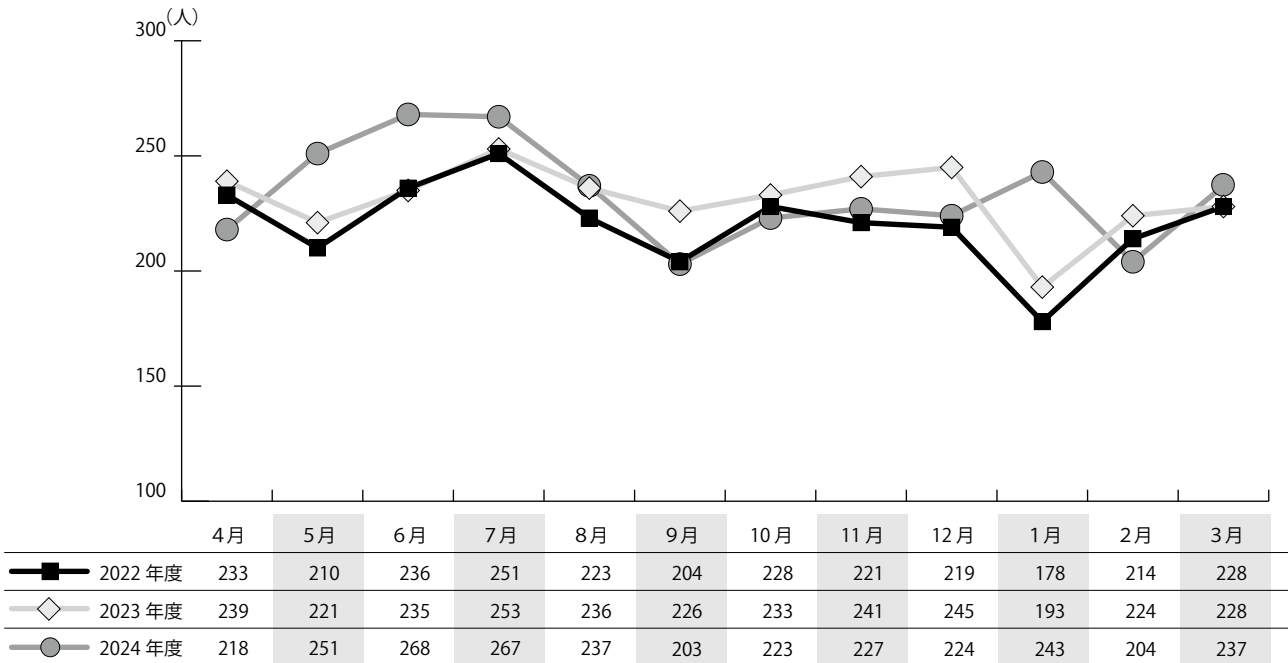
2023年度の延べ提供回数724回から、2024年度は延べ提供回数894回（前年度比23%増）となりました。目標の20%増を、増員なしで何とか達成しましたが、兼務していた通所リハの負担が増大する場面が見られました。

〈総括〉

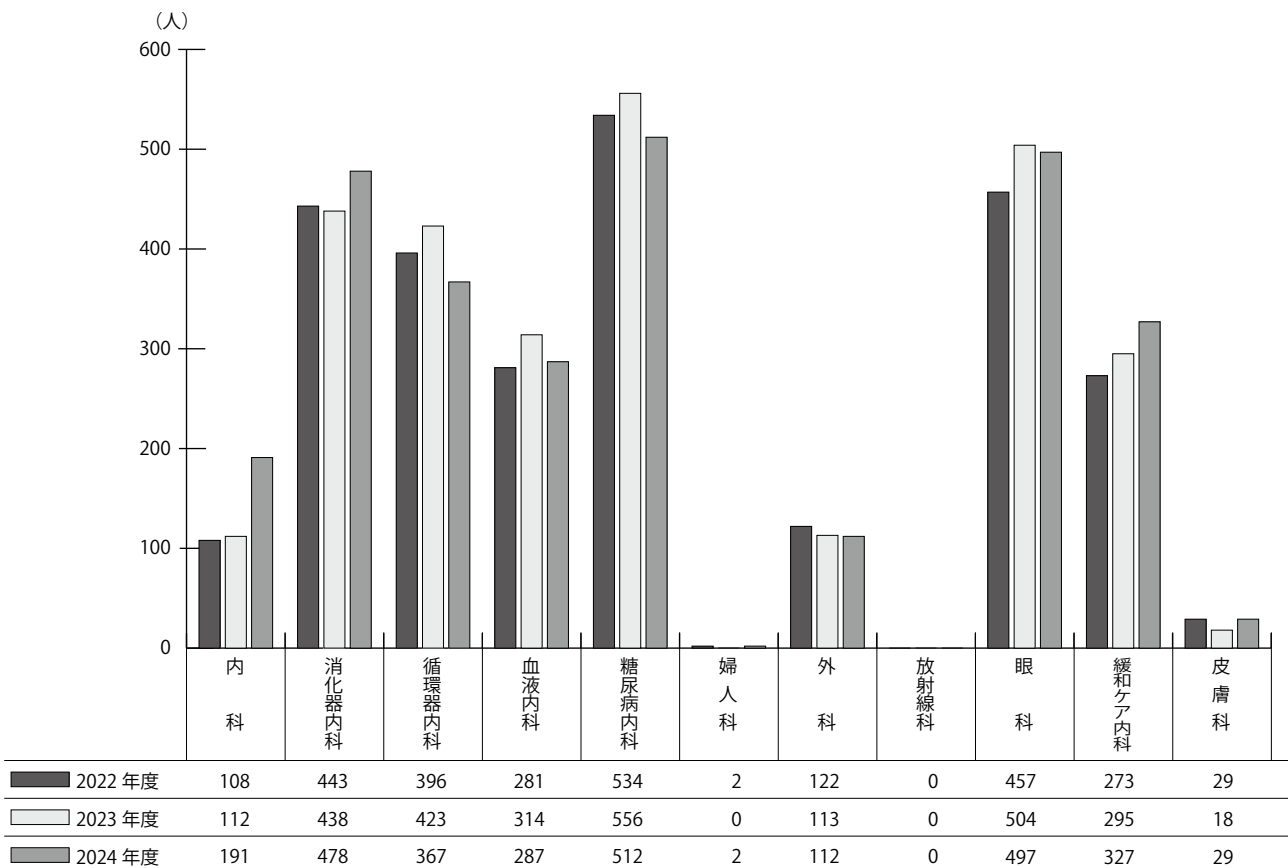
対象者は主に当院退院後の患者様、もしくは当院かかりつけ外来の患者様です。今年度から、事業所外からの訪問リハ依頼も積極的に受注し、より多くの利用者様のニーズに対応できるよう取り組んでいます。スタッフ増も予定しており、今後も地域の皆様のお役に立てよう取り組んでまいります。

患者動向

年度別月別退院患者数

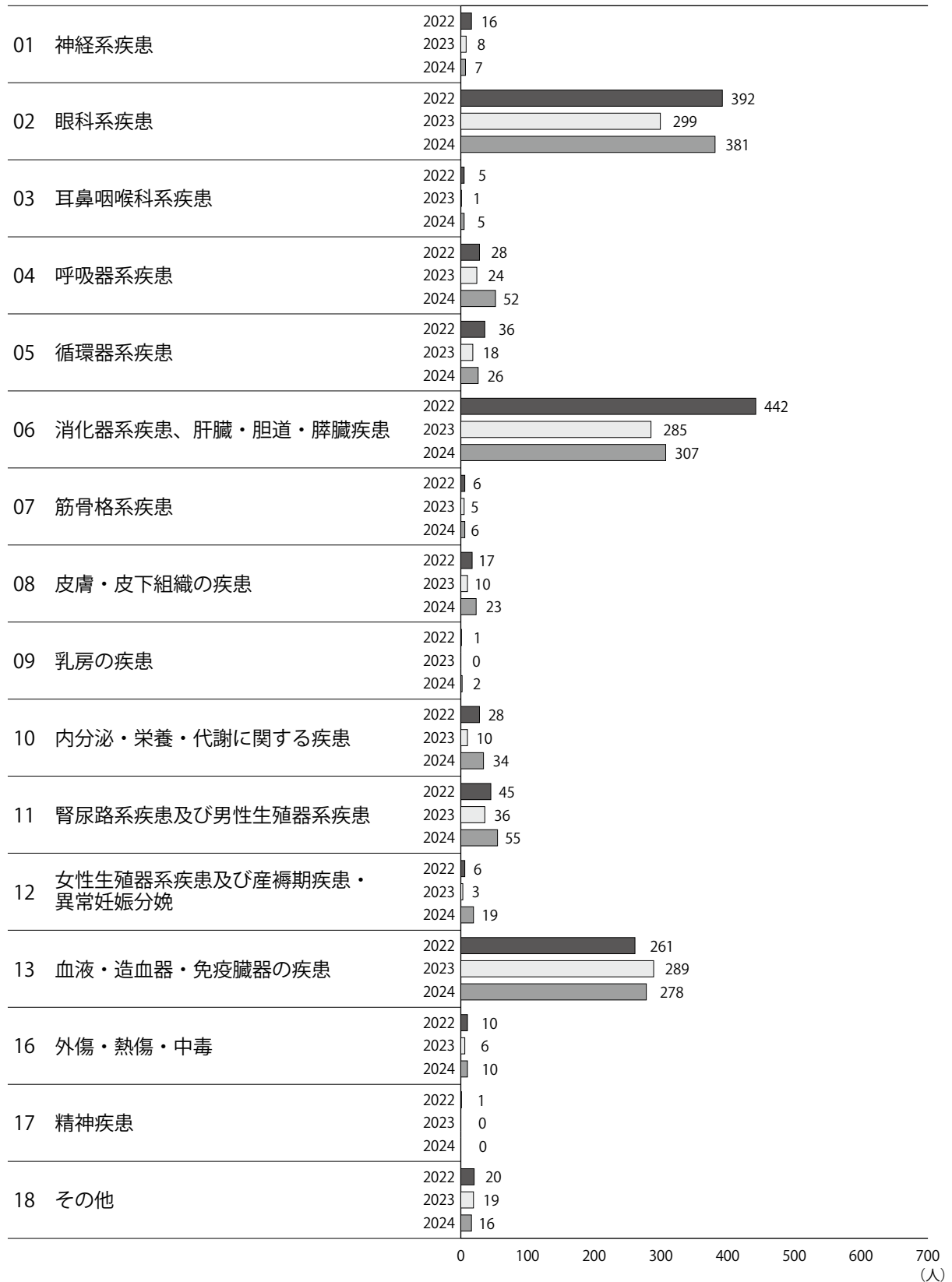


年度別診療科別退院患者数



DPC 統計 (MDC、ICD)

年度別MDC別退院患者数



ICD-10 大分類による診療科別統計 (2022 年度) 2022 年 4 月～2023 年 3 月までの退院患者

大分類	内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	皮膚科	計
1 感染症および寄生虫症 A00-B99	2	15	5		5		2	1		7	37
2 新生物 C00-D48	5	136	248	3	49	1	8	236		3	689
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89	9	1	19	1			1				31
4 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	10	11	1	505	1		2				530
5 精神および行動の障害 F00-F99	15				4		5				24
6 神経系の疾患 G00-G99	4	4		3	2		6				19
7 眼および付属器の疾患 H00-H59	2	1		1			229		454		687
8 耳および乳様突起の疾患 H60-H95	2	1					1				4
9 循環器系の疾患 I00-I99	12	13		3	3		81	1			113
10 呼吸器系の疾患 J00-J99	15	3	6	2	5		10	1			42
11 消化器系の疾患 K00-K93	3	242	1	1	45		6				298
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	2			2	2		6			17	29
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	11	1		3	2		21	3			41
14 腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	12	7	1	8	1	1	7	29			66
15 妊娠、分娩および産褥 O00-O99				1							1
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	4	7		1	3		10	1	3	2	31
22 特殊目的用コード U00-U99		1					1	1			3
計	108	443	281	534	122	2	396	273	457	29	2,645

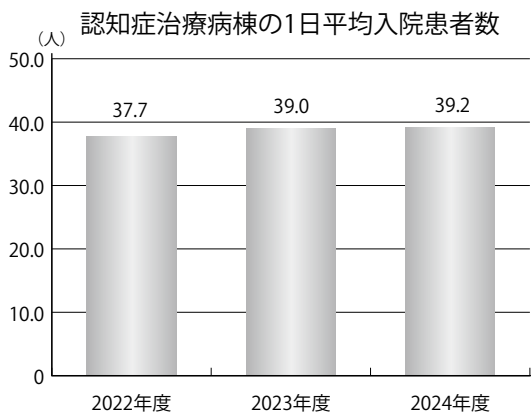
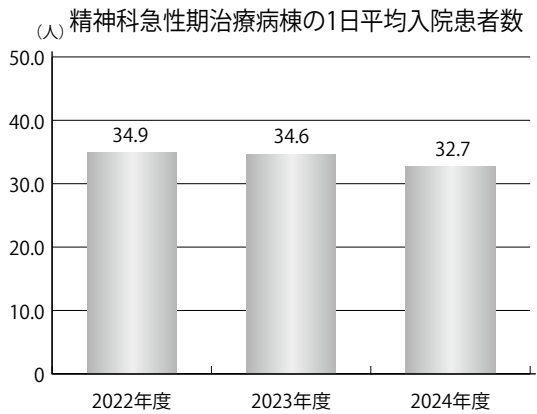
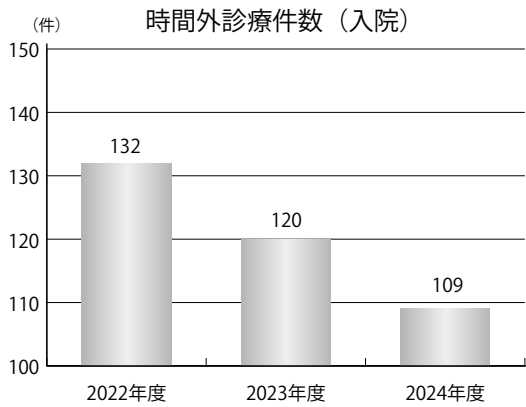
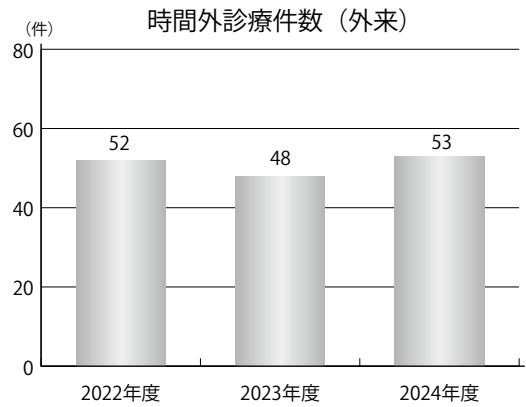
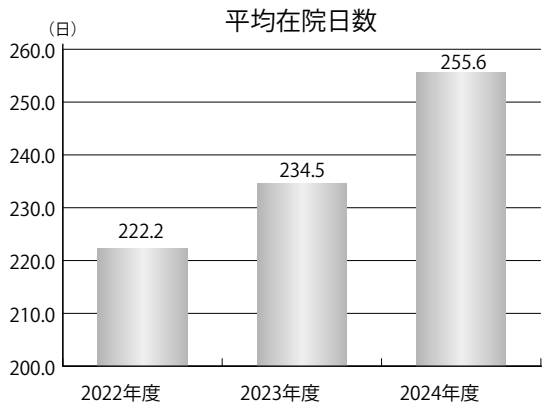
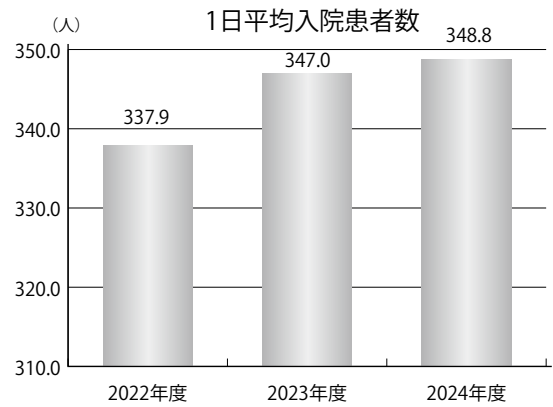
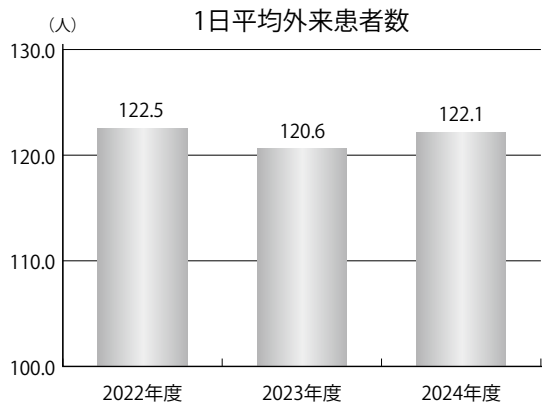
ICD-10 大分類による診療科別統計（2023 年度）
2023 年 4 月～2024 年 3 月までの退院患者

大分類	内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	皮膚科	計
1 感染症および寄生虫症 A00-B99	2	13	6	4	2		3			2	32
2 新生物 C00-D48	8	150	281	5	46		8	254		1	753
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89	6	7	15				3				31
4 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	8	3		512	1		9		2		535
5 精神および行動の障害 F00-F99	10	2		3	2		3	1			21
6 神経系の疾患 G00-G99	4	7		1	1		4	1			18
7 眼および付属器の疾患 H00-H59	1	1		1			251		500		754
8 耳および乳様突起の疾患 H60-H95	4	1					3				8
9 循環器系の疾患 I00-I99	15	9		4	11		74	1			114
10 呼吸器系の疾患 J00-J99	15	4	8	6	8		18	3			62
11 消化器系の疾患 K00-K93	2	226		2	25		4	1			260
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	2		1	5			3	1		13	25
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	17	3			9		26	1			56
14 腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	10	1	2	10	2		5	33			63
15 妊娠、分娩および産褥 O00-O99											
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	5	11	1		6		8		1	2	34
22 特殊目的用コード U00-U99	3			3			1				7
計	112	438	314	556	113	0	423	296	503	18	2,773

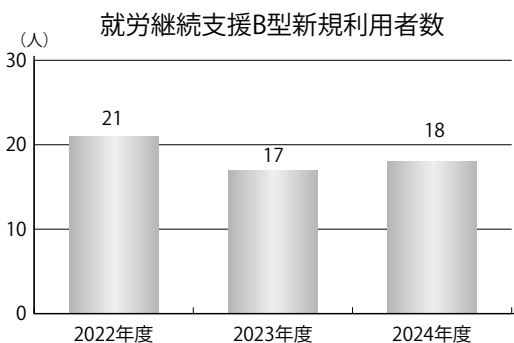
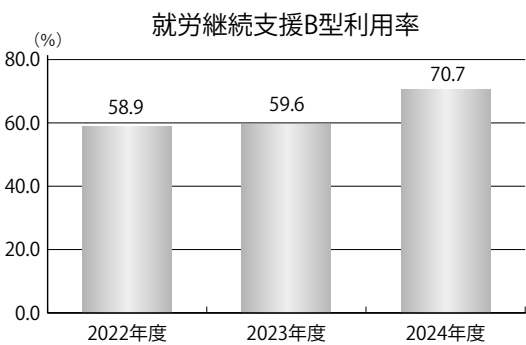
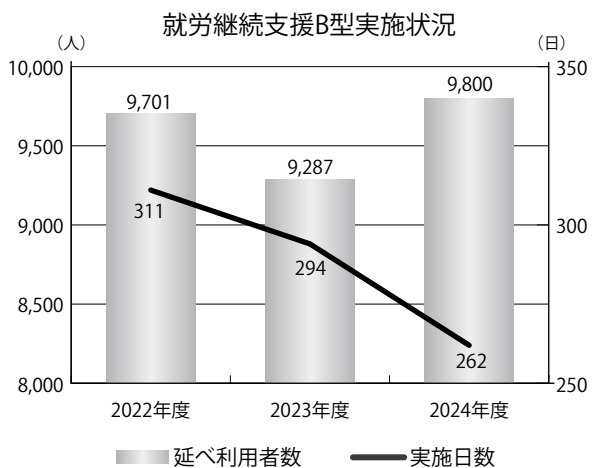
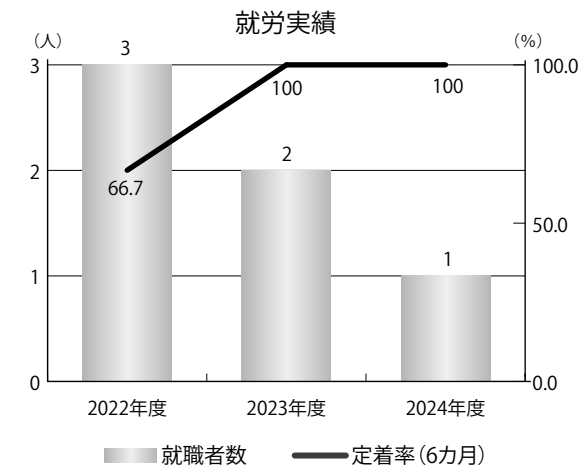
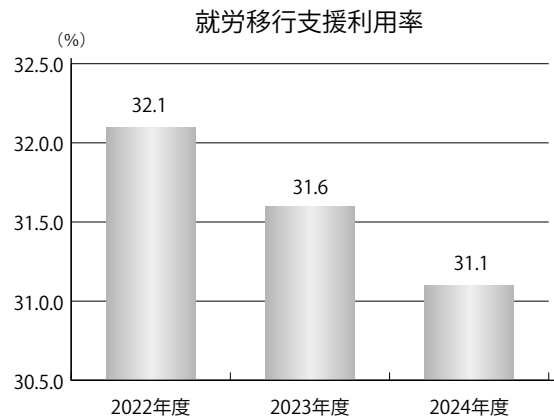
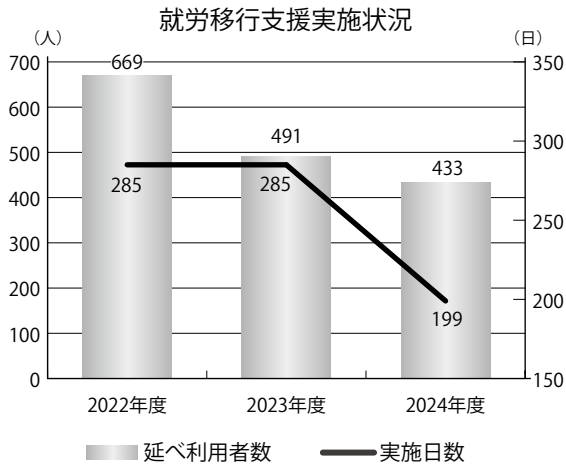
ICD-10 大分類による診療科別統計 (2024 年度)
2024 年 4 月～2025 年 3 月までの退院患者

大分類	内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	皮膚科	計
1 感染症および寄生虫症 A00-B99	8	29	4	2	2		1	1		5	52
2 新生物 C00-D48	10	145	260	1	55	2	4	293		1	771
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89	1	4	11		1						17
4 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	18	8		475	1		4				506
5 精神および行動の障害 F00-F99	8	2			1		8				19
6 神経系の疾患 G00-G99	7	3			1		4				15
7 眼および付属器の疾患 H00-H59							202		496		698
8 耳および乳様突起の疾患 H60-H95	3		1	1			2				7
9 循環器系の疾患 I00-I99	18	23		2	7		79	1		5	135
10 呼吸器系の疾患 J00-J99	58	4	8	4	6		19	3			102
11 消化器系の疾患 K00-K93	8	244		4	20		1	1			278
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	3		1	5	2		6			17	34
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	16	2		2	7		19				46
14 腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	12	6		4	2		5	28			57
15 妊娠、分娩および産褥 O00-O99				1							1
17 先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99							1				1
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	11	8	1	2	6		7	1	1	1	38
22 特殊目的用コード U00-U99	10		1	9	1		4				25
計	191	478	287	512	112	2	366	328	497	29	2,802

谷山病院



就労支援センター ステップ



【2024 年度総括】

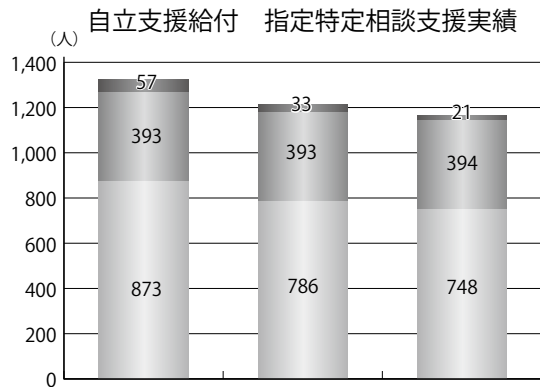
〈目標達成度〉

- ・今年度は、B型780名/月を目標値とし、年間通して概ね目標値は達成できました。
- ・稼働日の少ない2月にイベントを実施、その他個別アプローチを行い、利用者の通所を促し、目標値達成に部署全体で取り組みました。
- ・B型利用者からの就職者1名。
- ・虐待防止や身体拘束の適正化等、整備と必要研修の実施に努めました。
- ・安全安心な作業環境の提供に向けて、BCP訓練の実施等を検討していきます。

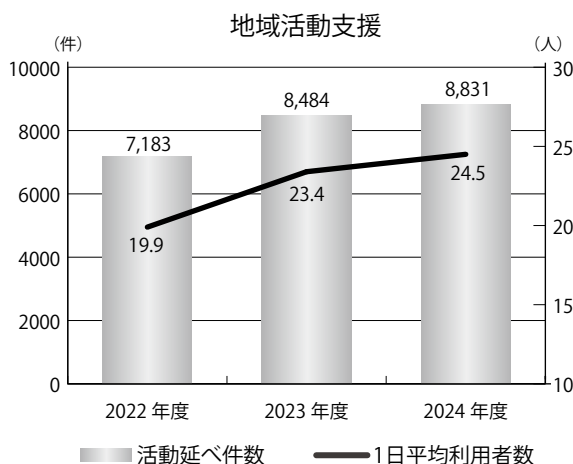
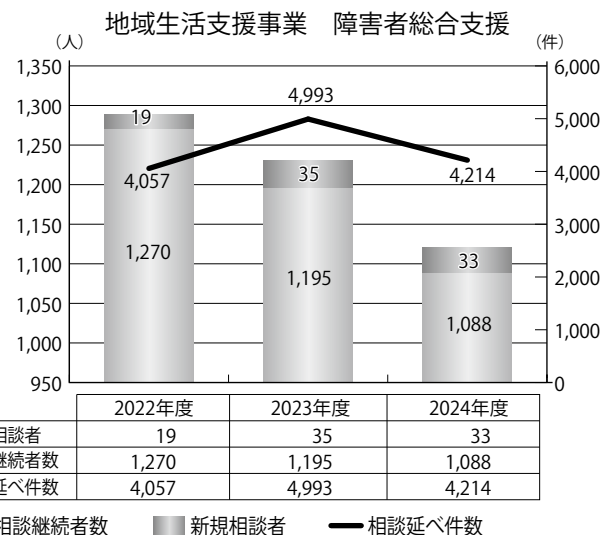
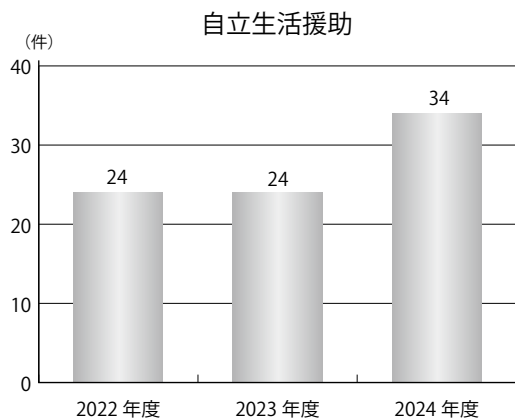
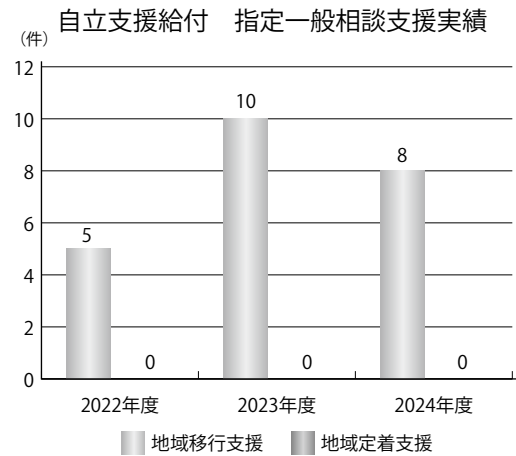
〈総括〉

利用者のニーズの把握や特性に合わせた作業、安全安心な作業環境の提供に努めました。数値的な目標はクリアしたものの、多様化する利用者の特性や働き方のニーズへの対策は必要です。多職種支援ができる事業所は珍しいため、精度の高いアセスメント・治療的アプローチができる事業所を目指します。新たな就労選択支援事業を開始予定。「就労」に対し幅広く対応できるよう、部署全体のスキルアップに注力します。

地域活動支援センター ひだまり



	2022年度	2023年度	2024年度
■ 利用支援(新規)	57	33	21
■ 利用支援(更新)	393	393	394
■ 継続支援(モニタリング)	873	786	748



【2024年度総括】

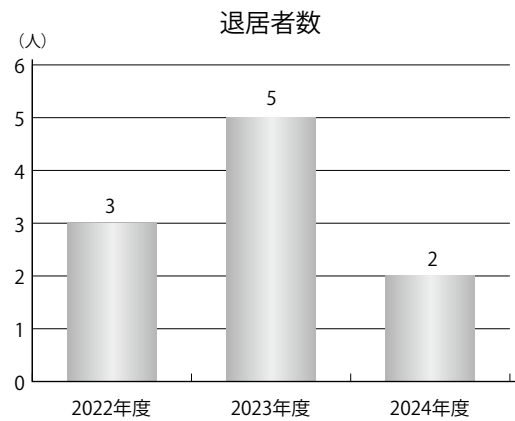
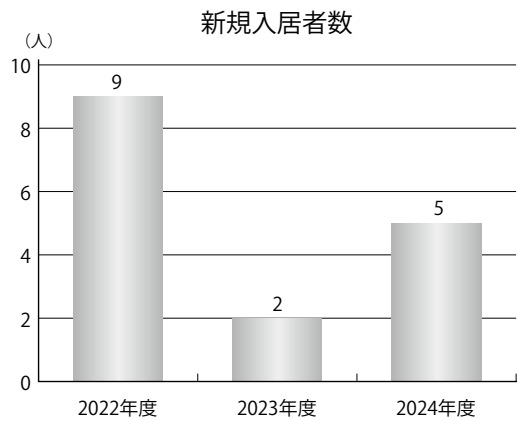
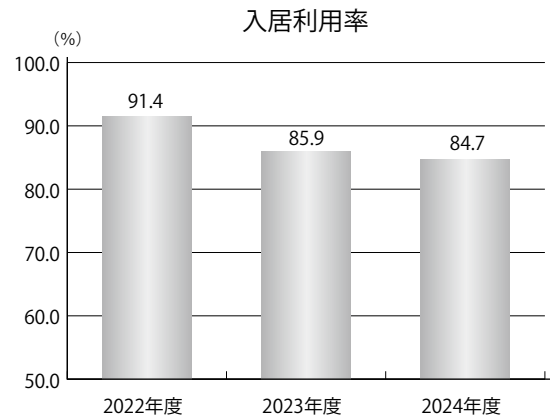
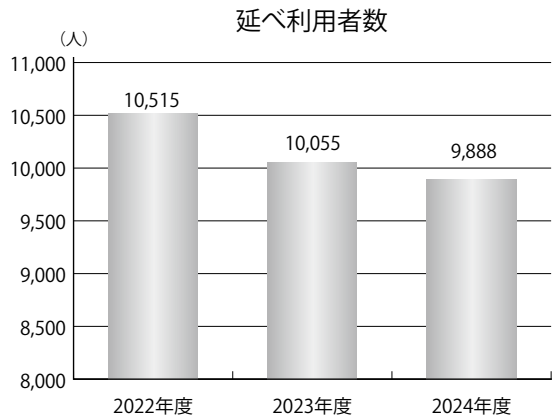
〈目標達成度〉

1. 地域活動支援センター事業の1日平均利用者数は23.4件(年間平均)とコロナ禍以降久しぶりに目標達成。
2. 指定特定相談支援事業における基本報酬は月平均約101件で、わずかに目標達成。しかし、年々実績が減少。
3. 指定一般相談支援事業は2名利用者がおり、実績増加。自立生活援助は毎月利用者がある状況であったが実績に変化なし。

〈総括〉

地域活動支援センター事業の広報活動を強化したことにより(ホームページのリアルタイムな更新と内容の工夫、広報誌の充実)、“ホームページを見た”方から利用についての問い合わせや見学、比較的若年層の新規登録者が増えています。新型コロナによる行動制限が解除されたことにより、サークル活動の充実、イベント再開ができ平均利用者数が増加しました。また、介護保険及び高齢福祉関係との連携強化目的で長寿安心相談センター本部訪問を実施しました。指定特定相談支援事業は年々実績が減少していますが、次年度はシステム変更により事務作業が効率化されることで、今後は新規対応も増えてくるのではないかと考えます。

グループホーム しらゆりの郷



【2024 年度総括】

〈目標達成度〉

平均入居者数は目標30名に対し27.1名と未達成。新規入居者5名、退居者2名で、登録者は増加したが入院者も多く稼働率が上がらなかったことが要因と思われます。収入においては共有の水道光熱費を導入したことにより報酬収入も合わせて昨年度比で1千万円増収となりました。

〈総括〉

個々のニーズに応じた支援を行い中間施設での役割を果たし安心安全な生活環境を提供することを重点目標としており、多様化する個々のニーズは週1回のミーティングで重点的に情報共有・意見交換して本人の意向を踏まえながら日々の支援を行うことができたと考えます。今後は地域包括ケアシステムの中で生活支援として多職種チームで支援の質向上を目指していきます。

3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）における人事交流者数（延べ人数）

		2024 年									2025 年			計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
谷山→徳之島	作業療法士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	看護師	0	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	6
谷山→奄美	薬剤師	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4

認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
認 定 看 護 師	0	2	0
臨 床 実 習 指 導 者	2	1	0

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6 月 30 日現在の在院患者数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	20	25	27
F 01 血管性認知症	1	5	9
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	36	33	25
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	11	11	12
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	220	209	214
F 3 気分（感情）障害	34	26	35
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	17	17	13
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	2	2	1
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	1	1
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	7	6	7
F 8 心理的発達の障害	2	4	3
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	0	0	1
その他	0	0	1
計	351	339	349

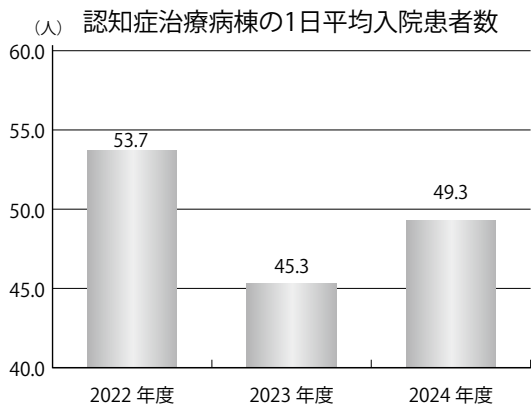
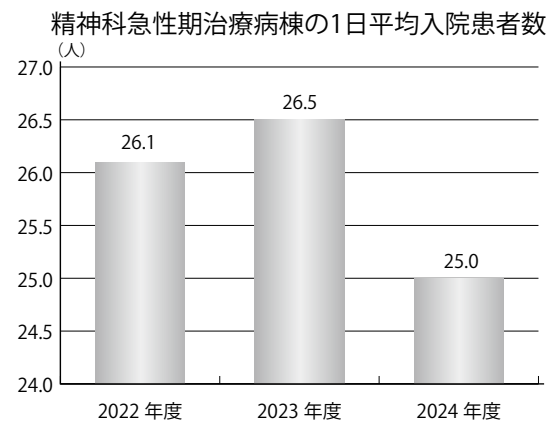
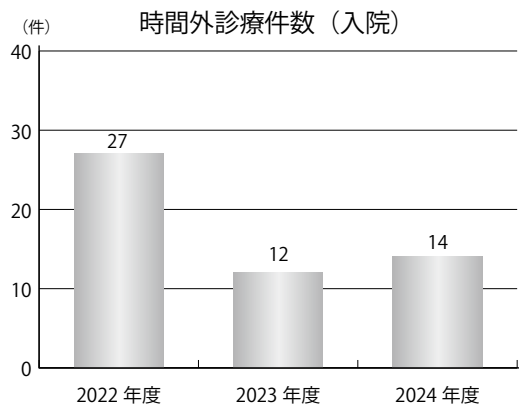
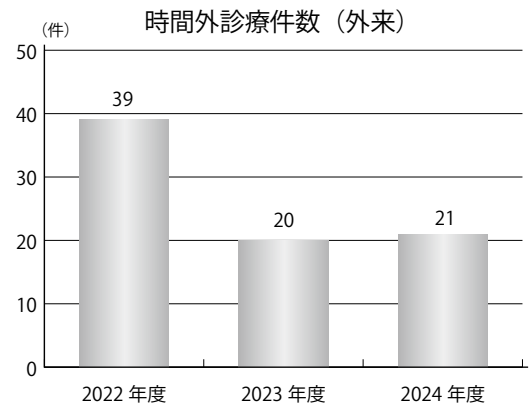
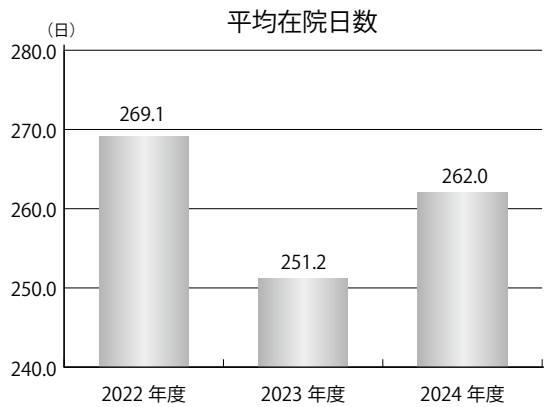
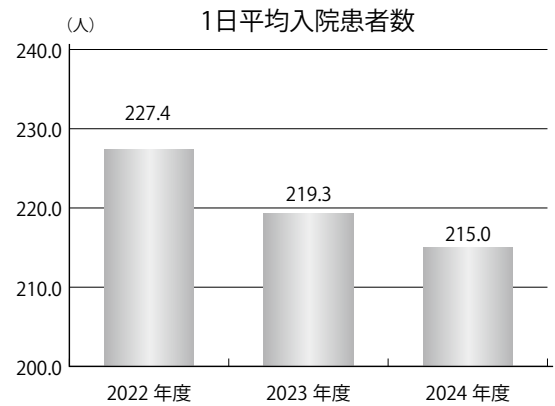
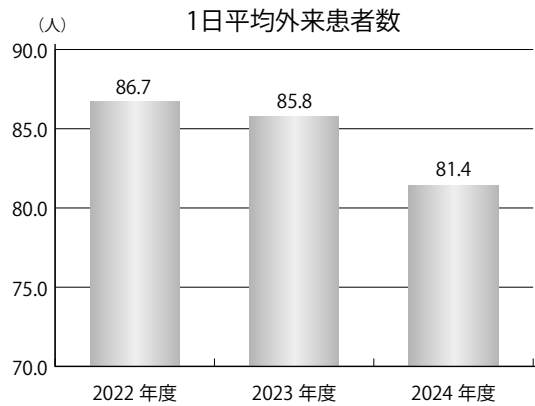
b. 6 月中に退院した患者の退院先

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
家庭復帰等	26	30	21
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	10	7	10
高齢者福祉施設	14	5	3
転院・院内転科	8	5	6
死亡	1	0	4
その他			
計	59	47	44

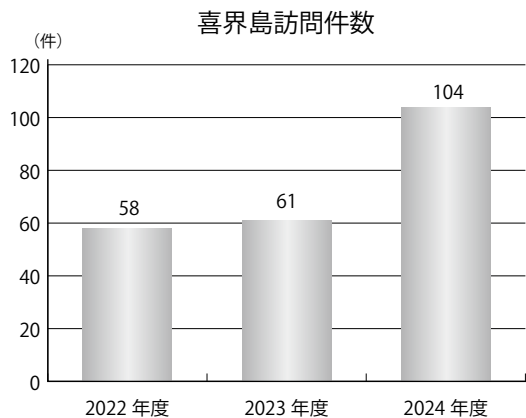
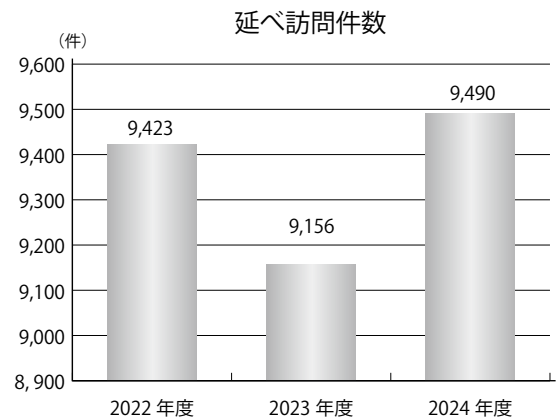
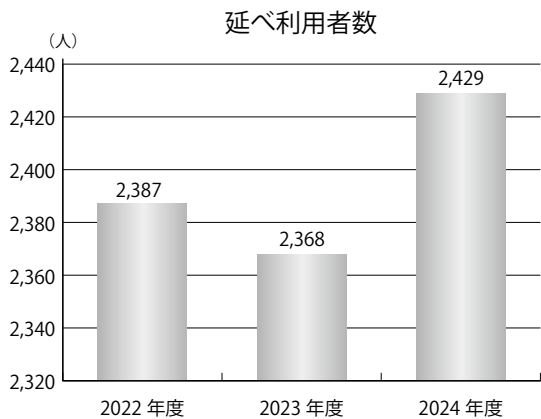
630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

	2021 年度	2023 年度	2024 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	42	57	40
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	21	34	21
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	4	7	5
転院・院内転科	5	7	3
死亡	1	1	2
計	31	49	31
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	11	8	9

奄美病院



訪問看護ステーション イルカ



【2024 年度総括】

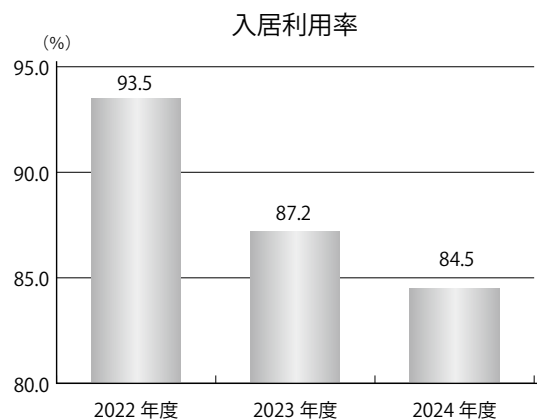
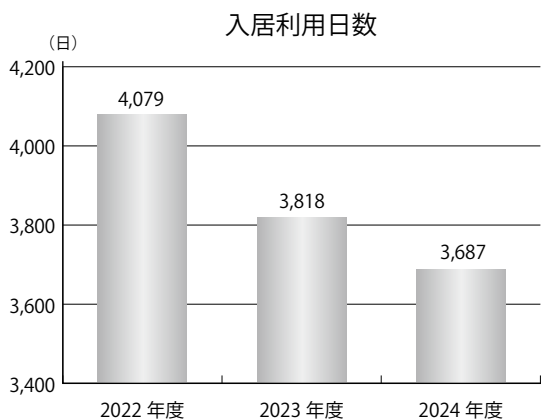
〈目標達成度〉

1. 利用者数 目標200名→202名/月 達成
2. 訪問件数 目標800件→790.8件/月 未達
3. 喜界島訪問件数 目標 70件→104件/年 達成

〈総括〉

2024年6月から喜界島訪問看護を2人体制で実施。プレゼンテーションの効果や利用者への丁寧な説明で、徐々に利用者数の獲得へ繋げることができました。これからも地域や離島支援に力を入れていきます。

グループホーム ひまわり



【2024 年度総括】

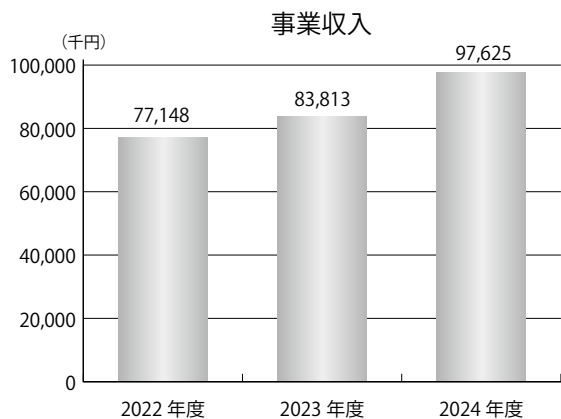
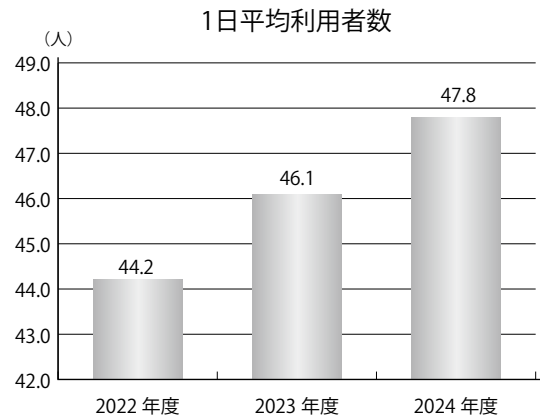
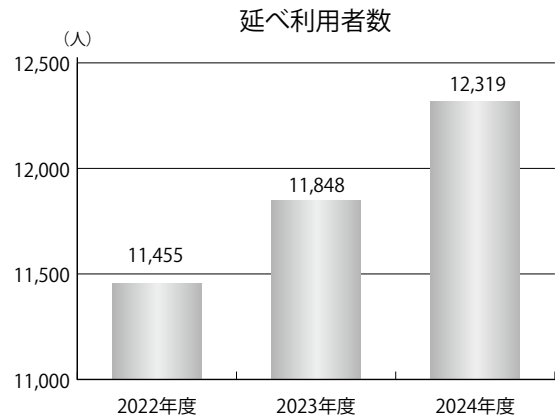
〈目標達成度〉

2024年度は入居率84.5%で目標達成。年々、入居率が減少しているため今後も84%以上を目標にしていきたい。

〈総括〉

病状悪化等で利用者数・入居率共に減少傾向にあるものの、体験外泊を積極的に受け入れ、入居率向上に努めています。今後も、奄美病院と連携を取りながら利用者の精神状態等を把握し、人選委員会を通して空室を無くしていきたい。今後も、入居者が安心して生活できる環境を提供していきたいと思っています。

指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま



【2024年度総括】

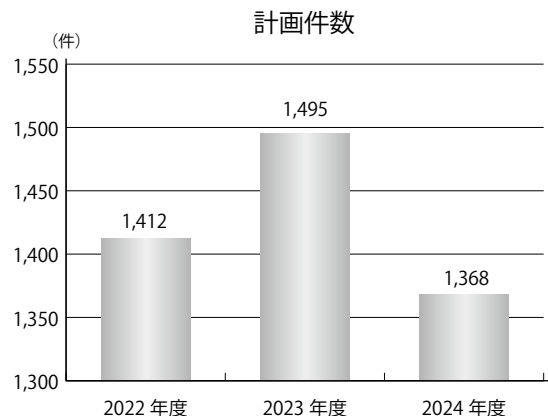
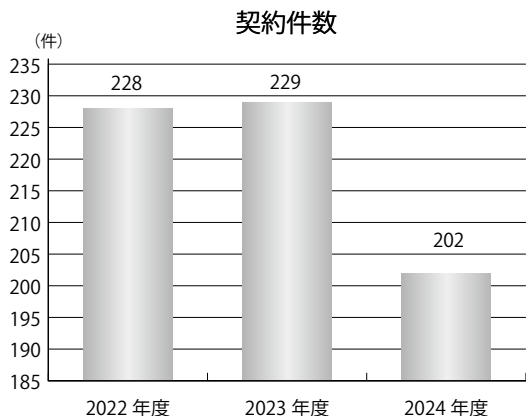
〈目標達成度〉

- ・1日平均利用者数 目標：51名、実績：47.8名
目標未達ながら前年度比104% 参加者総数も前年度比104%
- ・登録者数 目標：75名、実績：81名
新規利用者を積極的に受け入れ、目標達成
- ・事業収入 目標85,000,000円、実績97,625,430円
診療報酬改定に対応し、単価増に加え参加者総数も増加し、目標達成

〈総括〉

マンパワー不足に陥る期間もありながら、サービスの質が落ちないように工夫した年になりました。新規利用者を積極的に受け入れ、定着を目指してケースバイケースで試行錯誤しました。結果として登録者数や利用者数は増加しているため、今後も継続していきたい。利用者の高齢化が進み身体合併症は増加傾向。今後、サービス提供時間の見直しやそれに伴う利用者工賃の見直しを行います。継続して利用可能な体制をつくり、利用者の満足度向上を目指します。

指定特定相談支援事業所 あゆみ



【2024年度総括】

〈目標達成度〉

契約件数は目標230名に対して年度末には202名となり目標を達成できず。計画件数も月平均120件の目標に対して114件の実績。死亡や長期入院者が多数出しており、利用者の高齢化が減少の主な理由。職員の退職に伴い、年度末に利用者を整理したことも減少理由の一つとなりました。

〈総括〉

2024年度は職員不足の状態スタート。7月に新入職者が加わり、利用者数増加を見込んだものの1カ月で退職さらに3月末で退職者が出ることが確定したこともあり、積極的な新規利用者の受け入れができず、昨年と比べて契約件数、計画件数共に減少する結果となりました。6月からは他の相談支援事業所と協働体制を組み請求算定を上げることができ、各種加算を積極的に算定したことで年間請求金額は前年度比110%の増加となりました。

3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）における人事交流者数（延べ人数）

		2024 年									2025 年			計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
奄美→徳之島	看護師	2	2	4	2	6	4	2	6	2	2	2	4	38
谷山→奄美	精神保健福祉士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	作業療法士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	薬剤師	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4

認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
認 定 看 護 師	1	0	0

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2022 年度	2023 年度	2024 年度
11	10	11

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6 月 30 日現在の在院患者数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	19	25	17
F 01 血管性認知症	19	11	11
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	11	15	10
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	11	11	17
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	1	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	141	125	127
F 3 気分（感情）障害	15	12	10
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2	4	0
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	1	1
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	1	1
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	3	3	6
F 8 心理的発達の障害	0	0	0
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	0	1	0
その他	14	3	21
計	236	213	221

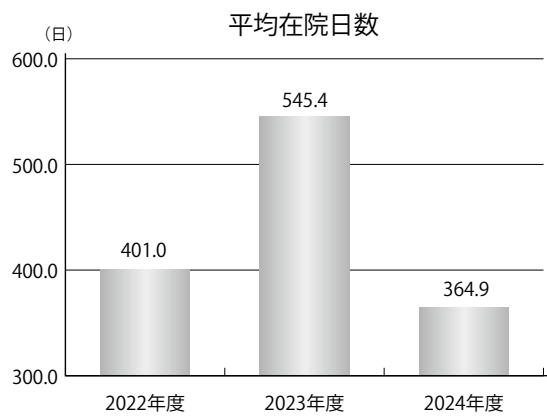
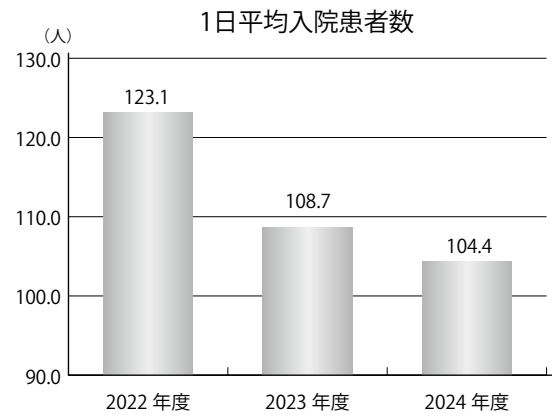
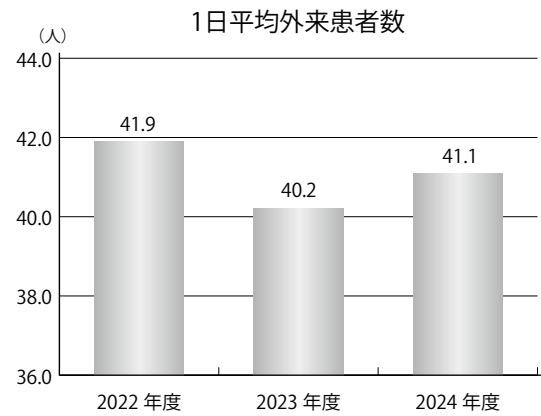
b. 6 月中に退院した患者の退院先

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
家庭復帰等	8	20	13
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	2	2	2
高齢者福祉施設	0	6	2
転院・院内転科	10	4	7
死亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	20	32	24

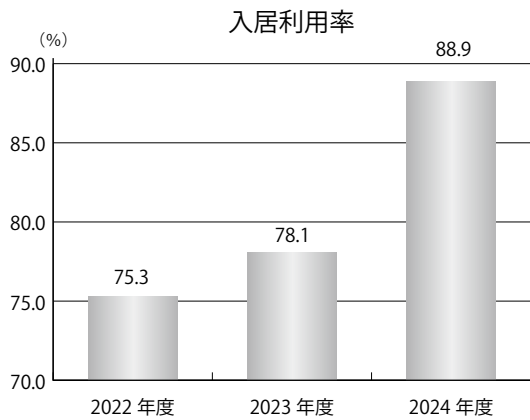
630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	34	21	32
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	22	11	14
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	4	4	4
転院・院内転科	1	0	4
死亡	1	0	2
計	27	15	24
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	6	6	8

徳之島病院



グループホーム うんばた



【2024 年度総括】

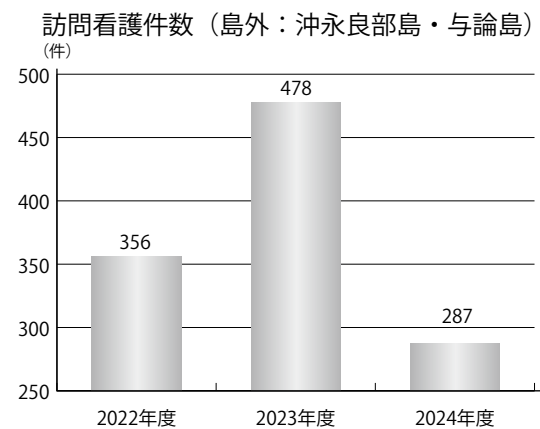
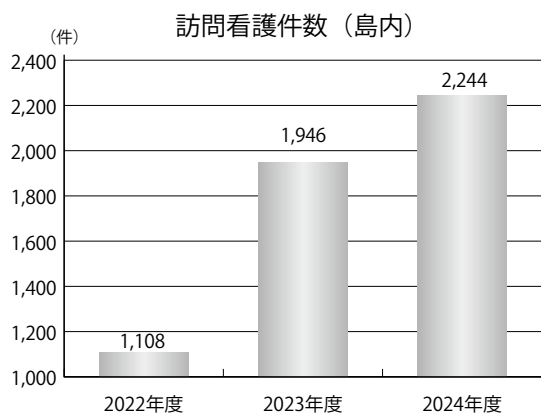
〈目標達成度〉

2024年度は入居率91.7%を目標としました。前年度末の10床/12床から1床でも多く最低でも11床の入所を目指し、7月以降は何とか11床を確保しましたが、年間実績は88.9%となりました。病院からの入所が1名で他施設への移動もなく、町営住宅等の申し込みはしているものの空きが出ない状況です。病院自体の入院患者数の減少、患者の高齢化等もあり、なかなかグループホーム入居に結びつかないケースが今後増えてくると思われます。

〈総括〉

グループホーム入居者の入退所後の総合的な支援として、きめ細やかな個別支援、健康管理、日常生活における生活支援を目標に掲げます。今後の方針として、入所率は満床を目指し入居者の社会復帰促進（一人暮らしへ向けた支援）をより一層進めていきます。

訪問看護ステーション わたりどり



【2024 年度総括】

〈目標達成度〉

年間訪問件数 2,520件以上 →実績：2,531件

月平均訪問件数 210件以上 →実績：211件

〈総括〉

年間訪問件数および月平均訪問件数の数値目標達成のため、計画的な訪問スケジュールの調整や、利用者状況の変化に応じた柔軟な対応を行いました。特に、急な入退院や状態変化に伴う訪問の増減に対しては「引き継ぎの徹底」や「情報共有の強化」を図り、業務の安定化に努めました。看護師の長期休職が発生した際にも、複数名体制による訪問支援を取り組み、利用者への影響を最小限に抑える努力を重ねました。予定どおり利用者への訪問看護サービスを提供できたことは、直接訪問対応と電話支援を適切に使い分けた結果と考えています。2025年度も引き続き、看護師の訪問看護スキル向上と、複数名体制による訪問看護の質の向上を目指して取り組んでいきます。併せて、臨時訪問にも柔軟に対応できる体制強化を進め、サービス提供件数のさらなる増加を目指していきます。

3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）における人事交流者数（延べ人数）

		2024 年									2025 年			計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
谷山→徳之島	作業療法士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	看護師	0	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	6
奄美→徳之島	看護師	2	2	4	2	6	4	2	6	2	2	2	4	38

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2022 年度	2023 年度	2024 年度
9	3	10

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6 月 30 日現在の在院患者数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	1	0	1
F 01 血管性認知症	0	0	0
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	7	3	4
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	2	2	0
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	116	102	93
F 3 気分（感情）障害	2	3	0
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	0	0	0
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	1	0
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	0	0	0
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	1	1	0
F 8 心理的発達の障害	0	0	0
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	1	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	1	1	1
その他	0	1	0
計	130	115	99

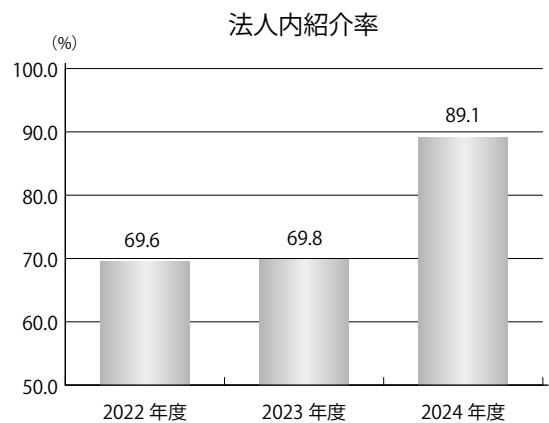
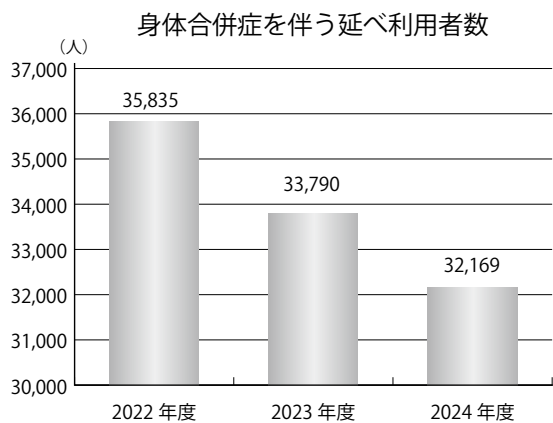
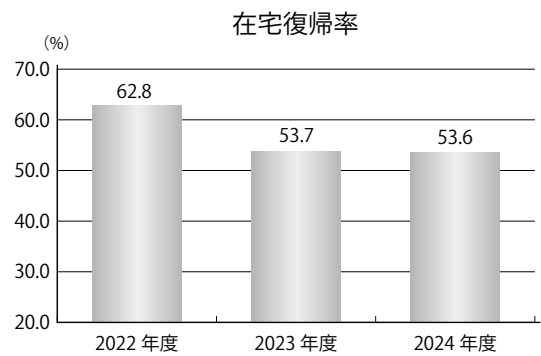
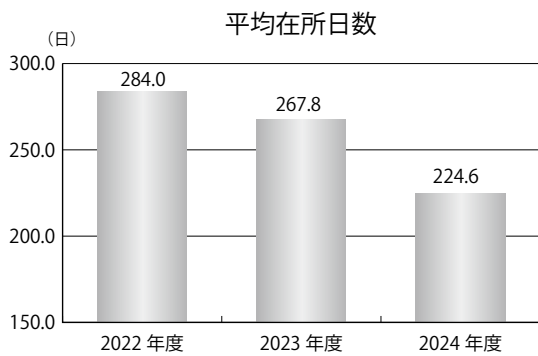
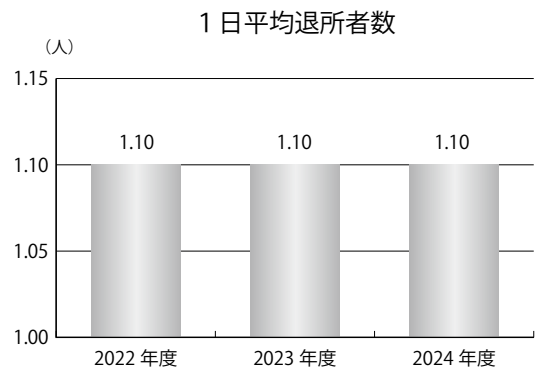
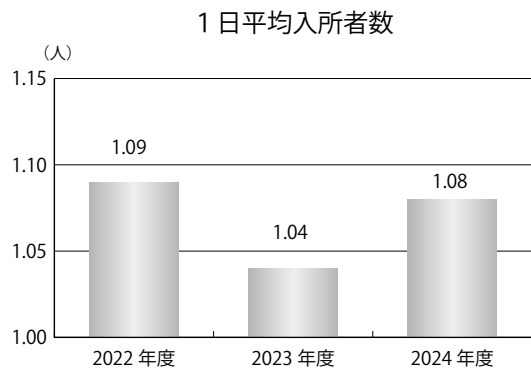
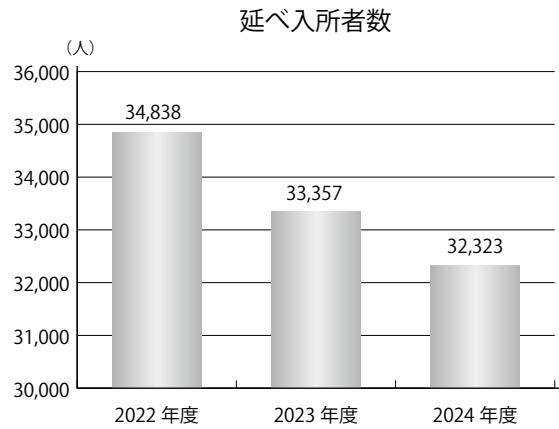
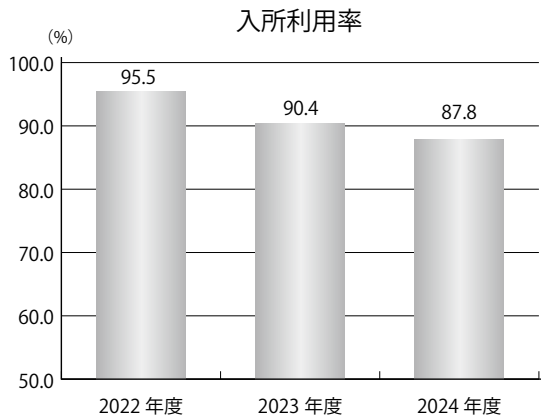
b. 6 月中に退院した患者の退院先

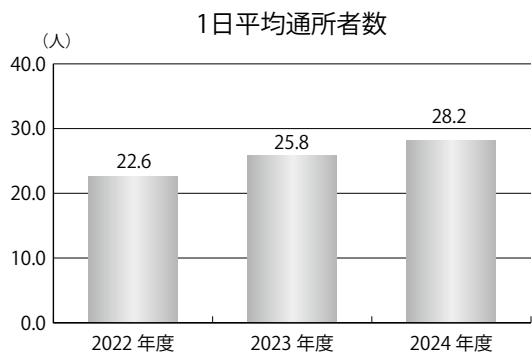
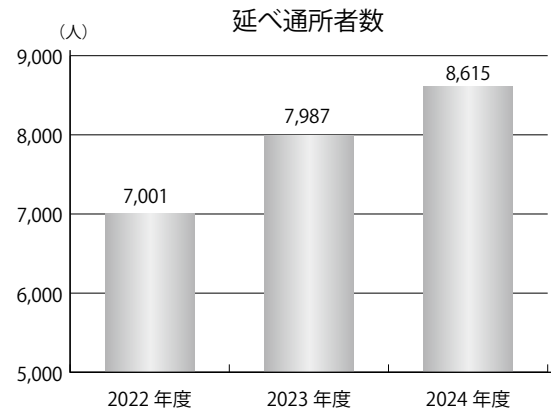
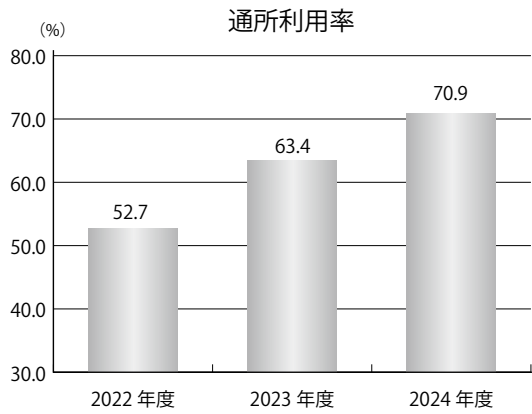
	2022 年度	2023 年度	2024 年度
家庭復帰等	3	2	4
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	1	0	0
高齢者福祉施設	0	0	1
転院・院内転科	4	2	3
死亡	0	0	2
その他	0	0	0
計	8	4	10

630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

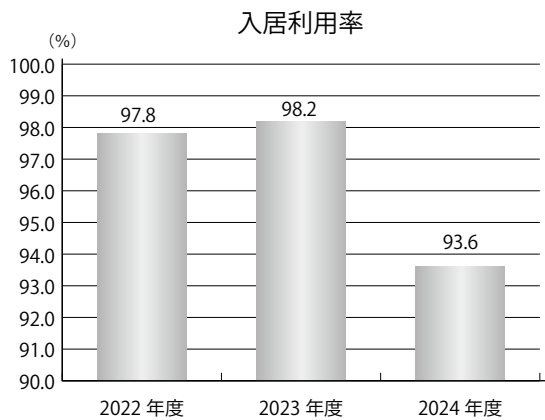
	2022 年度	2023 年度	2024 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	4	1	3
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	2	0	1
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	0	1	0
転院・院内転科	1	0	1
死亡	0	0	0
計	3	1	2
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	1	0	1

介護老人保健施設 愛と結の街





グループホーム 愛と結の街



【2024 年度総括】

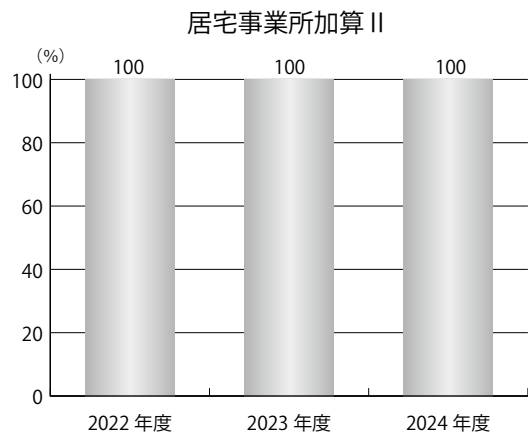
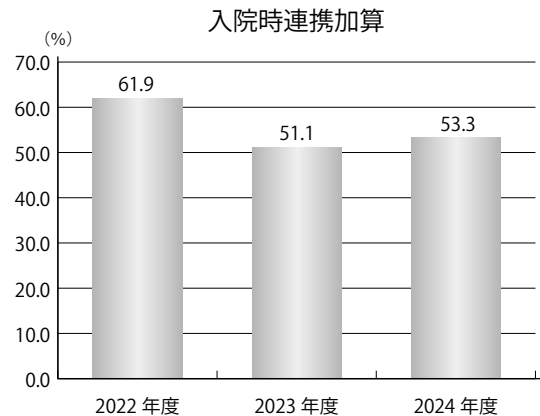
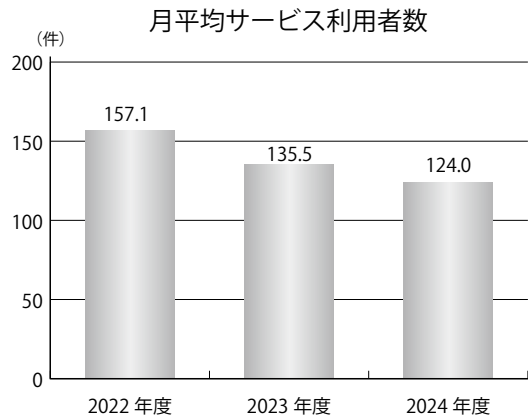
〈目標達成度〉

利用率目標98.4%に対し年間平均稼働93.6%と目標達成に至らず。入院（肺炎など延べ8名）が前年度より増加したことに加え、入院の長期化や新たな入居がスムーズにいかない時期もあり、稼働に大きく響きました。看取りは3名。年々、医療ニーズや介護量が増え重度化してきており、今後さらに予防的視点と多職種との連携が重要と考えます。

〈総括〉

外出は、マスク着用・手指衛生を徹底の上、ドライブ等の短時間での場合に限り再開することができました。また、昨年に続き地域の方々と一緒に防火訓練などに取り組むことができました。今後も地域と共に、ご利用者1人1人の安心・安全な生活を支える事業所を目指していきたい。2024年度は職員の退職や産休等が重なり、新たな人員確保が厳しい状況で職員への負担がより増加してしまいました。今後は1ユニットを休止し、体制の再構築等が必要と考えます。

指定居宅介護支援センター 愛と結の街



【2024 年度総括】

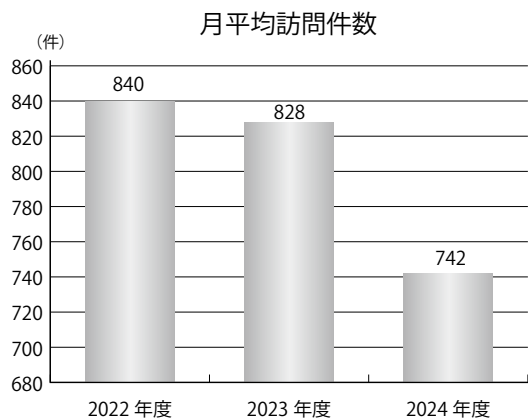
〈目標達成度〉

居宅担当件数月平均140件以上の目標に対し月平均124件、医療機関との連携による入院時連携加算算定は平均70%以上の目標に対し平均53.3%と、いずれも目標達成に至らず。新規受け入れをするも、職員の変動で受け入れ体制が確保できませんでした。2024年度より入院時連携加算の算定要件が入院時から3日以内に短縮したことにより、期日以内の情報提供が確実にできませんでした。

〈総括〉

前年度に引き続き、職員の退職等で事業所体制が安定しない状況ではありましたが、新規受け入れを断らない体制の構築に努めました。今後も、柔軟な対応と、医療および介護の必要なサービスを切れ目なく提供できるように尽力します。

ヘルパーステーション 結の街



【2024 年度総括】

〈目標達成度〉

- ①訪問件数目標850件以上/月に対して、742件と達成できず。内、身体介護の目標件数200件以上/月に対し166件と、こちらも未達。
- ②月2名以上の新規受け入れについても年間で7名の受け入れしかできず。

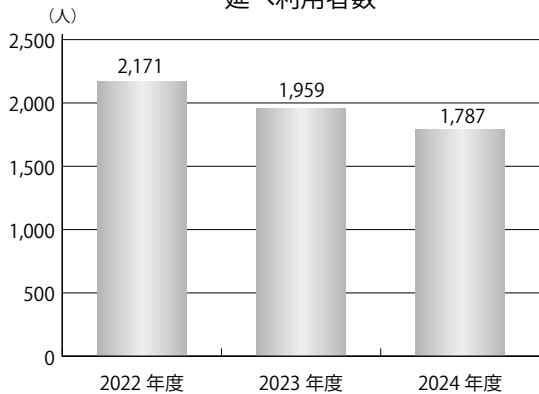
主な要因はスタッフの減少による人員不足。常勤スタッフ、登録ヘルパー合わせて4名が退職または異動となったが1名しか補充できなかったため。

〈総括〉

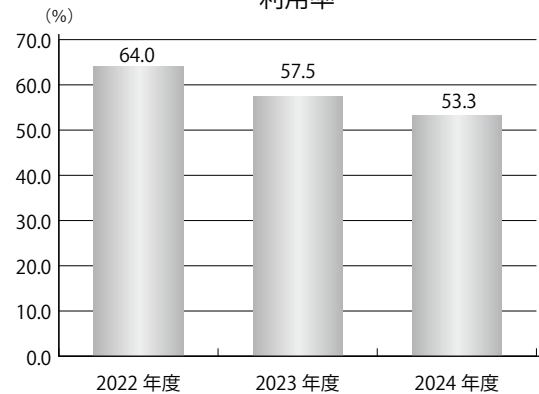
2024年度は、人員不足と柔軟な利用者の獲得に苦慮することが多くありましたが、介護保険、障害支援（居宅介護・重度訪問介護）の組み合わせでの支援体制で在宅生活を支えていくことができました。多様なニーズに対応できる保険外支援においては、人員不足のため前年度の半分程度の件数しか対応できませんでした。今後の在宅支援においては、柔軟な支援体制構築を検討する必要があると考えます。

デイサービスセンター あしたの風

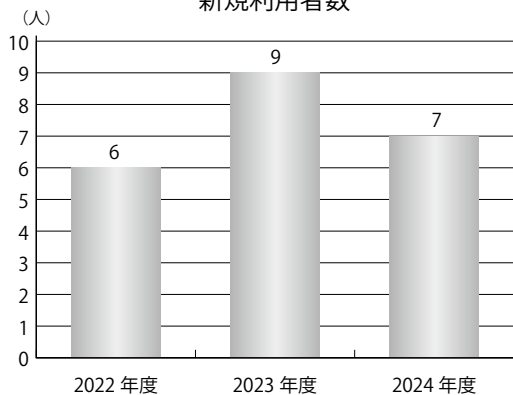
延べ利用者数



利用率



新規利用者数



【2024 年度総括】

〈目標達成度〉

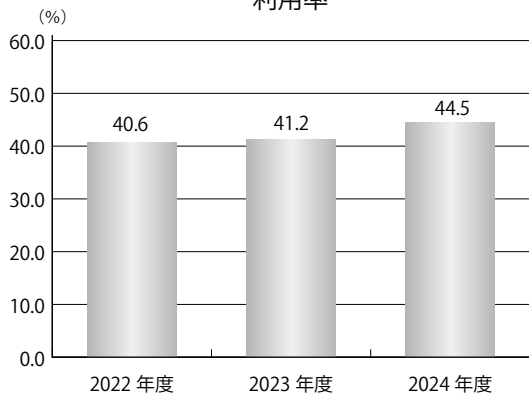
年間平均利用率70%、新規利用者獲得数15名を目指しましたが、それぞれ53.3%、7名と大きく下回る結果となり目標を達成できませんでした。スタッフの退職や異動によるマンパワー不足から、事業所体制が安定せず、新規利用者の積極的な受け入れが困難な状況でした。

〈総括〉

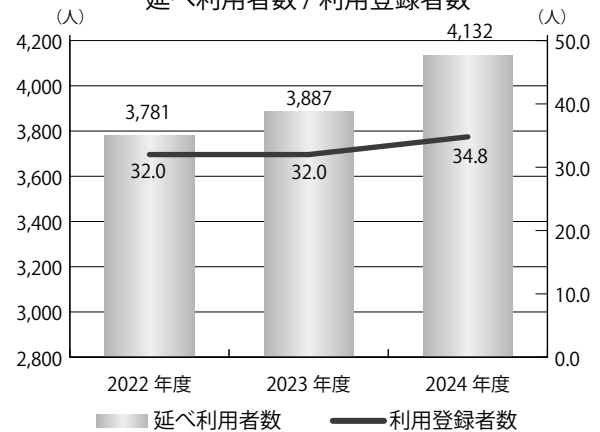
定期的にスケール（MMSE）を用いて個々人の認知機能を客観的に把握・可視化し、機能訓練指導員を中心に個別のプログラムを実践することで認知機能の維持を図ることができました。認知症カフェの開催や、家族会・外出レクリエーションなど定期的なイベント等も実施でき、満足度調査も良い結果となりました。今後も愛と結の街グループ内、法人内の病院と連携を取り、BPSDの緩和や心身機能維持について、より専門性の高いケアを実践し、安心して自宅での生活が維持できるように支援していきます。

デイサービス はなぶさ

利用率



延べ利用者数 / 利用登録者数



他支援事業所割合



【2024 年度総括】

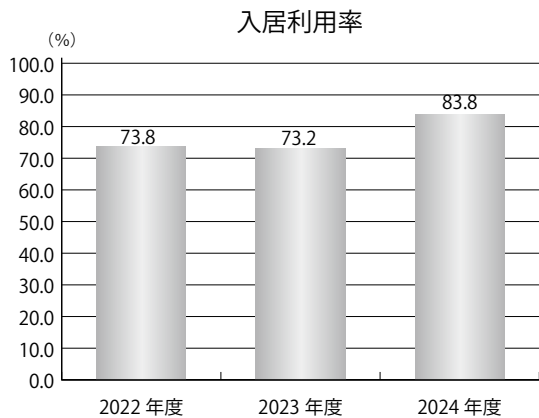
〈目標達成度〉

①年間延べ利用者数4,132名 ②利用率44.5% ③他事業所割合35% ④利用登録者数34.8名（要支援を含む）と全体的に数字は伸びたが人件費率が高く収益はマイナス。家族支援や他事業所との連携により早期に病院に繋がれたケースが多く見られ、重症化せず自宅での生活が維持できたことも昨年より稼働率が伸びた原因と考えられます。2月は雪による営業休止もあり、稼働が落ち込む結果となりました。

〈総括〉

昨年同様、クラブ活動、食事に関しては高評価が得られました（利用者満足度調査より）。報告書やはなぶさ通信などを通して営業活動を行っていましたが、外部の新規ケアマネジャーは4件と少なく他事業所の割合が今後も大きく稼働率に影響すると考えられます。来年度も引き続きはなぶさの知名度向上に努めていきたい。

住宅型有料老人ホーム あいゆいの家



【2024 年度総括】

〈目標達成度〉

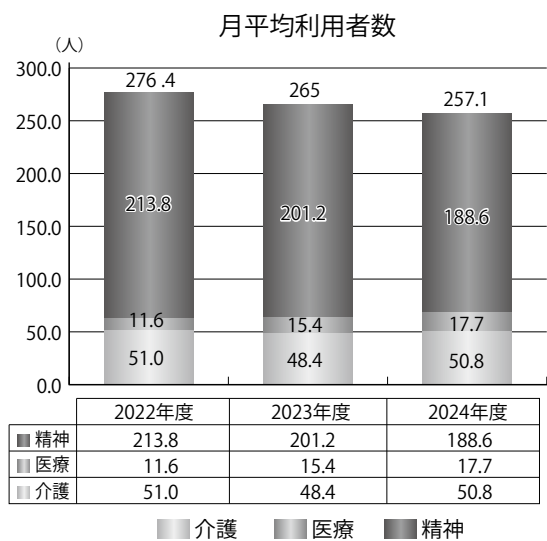
デイサービスはなぶさ利用中の方が自宅での生活の継続が難しくなり、あいゆいの家への入居に繋がるケースが2件。現在、老健への入居者で、あいゆいの家に待機されている方もいる状況で、安定した稼働が今後も見込まれます。年間入居率は83.8%で前年度より約10%上昇しました。

〈総括〉

家族や他事業所の協力もあり、重症化せず早期に病院受診できたことで、重篤化せずあいゆいの家での生活が継続できるケースが多くみられました。毎週木曜日の移動販売は入居者の心身の健康を図る上でとても大事な取り組みの一つになっています。今後も、自宅での生活の維持が難しくなったケースに関して、あいゆいの家への入居を家族とともに柔軟に考えていきたい。

慈愛会在宅支援部

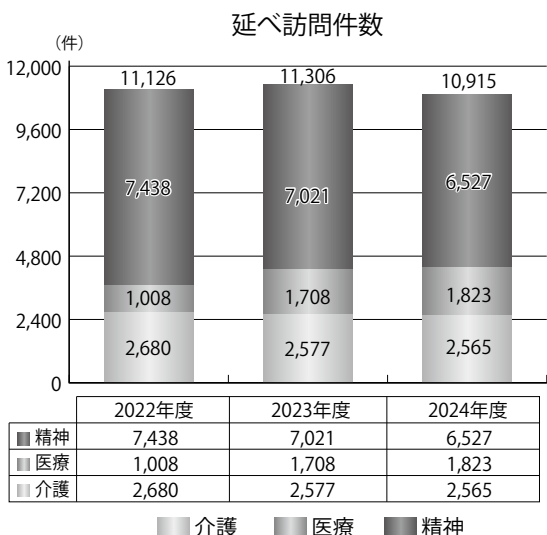
笹貫訪問看護ステーション 愛の街



【2024 年度総括】

〈目標達成度〉

- ・年間訪問看護件数目標12,000件に対して10,915件で前年度より391件減少。目標に到達しなかったが、達成率は90.9%でした。
 - ・精神の利用者で再入院した後、入院が長期化している利用者が増加しています。
- #### 〈総括〉
- ・自身の感染対策を重点に気を付け、利用者への訪問を実施。
 - ・働き甲斐のある職場環境づくりとして、有休取得率平均96.4%を達成。
 - ・訪問用車両を2台購入。安全な運転を心掛けました。

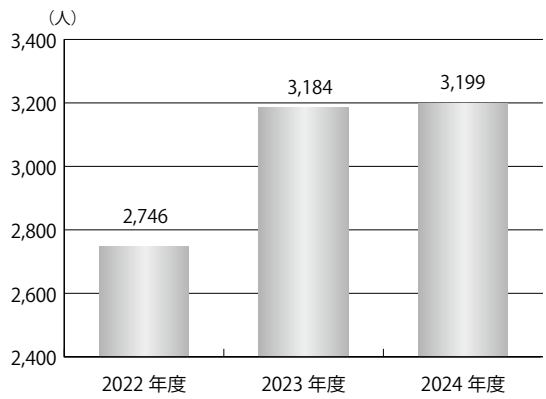


※一般の訪問看護のうち医療保険利用の訪問看護を「医療」、介護保険利用の訪問看護を「介護」として集計。

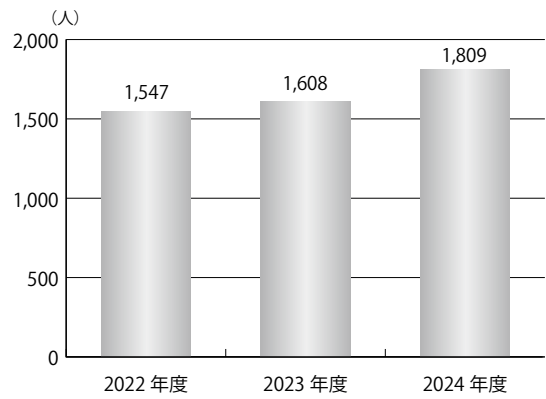
高麗町クリニック

病院施設指標

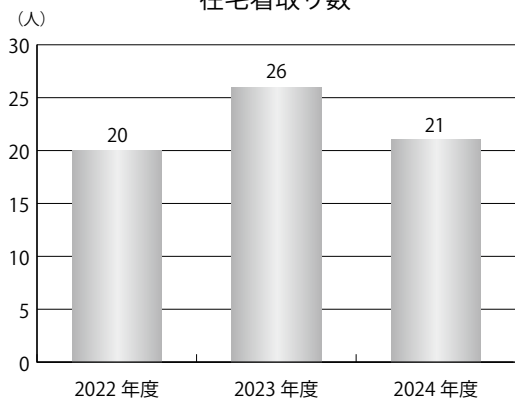
訪問診療延べ患者数



訪問リハ延べ患者数

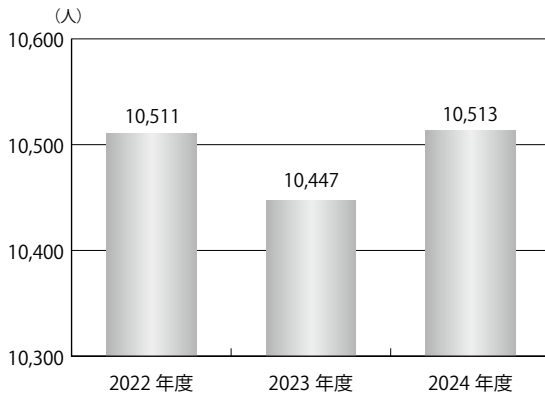


在宅看取り数

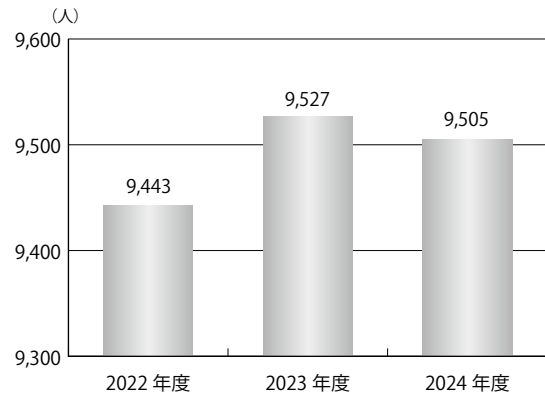


慈愛会クリニック

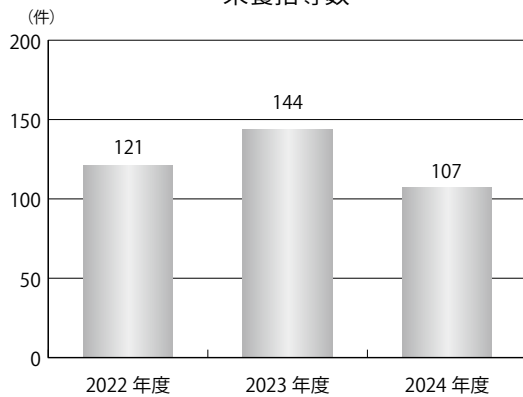
外来患者数



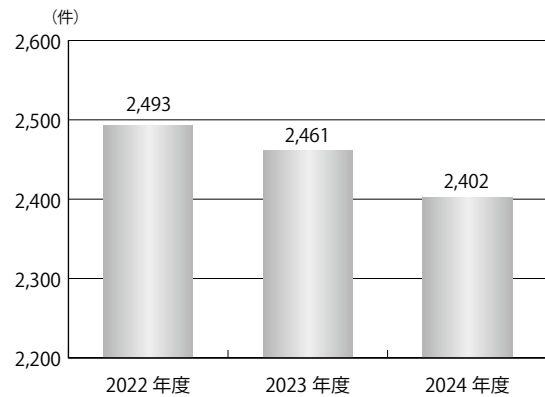
糖尿病患者延べ数



栄養指導数

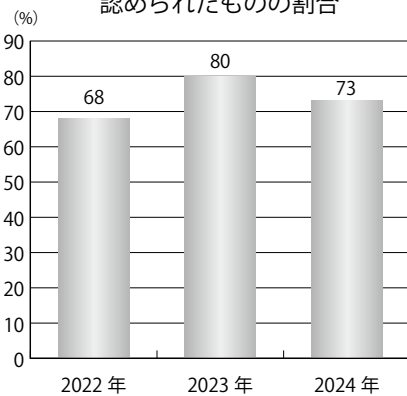


透析予防に関する指導数

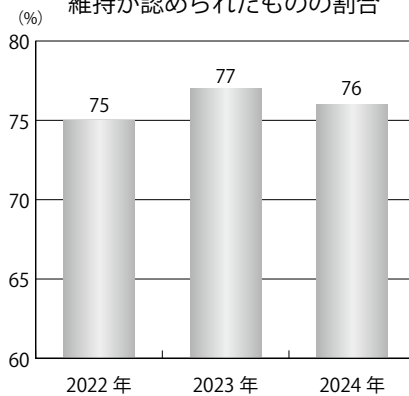


上記の透析予防に関する指導を行った患者における割合

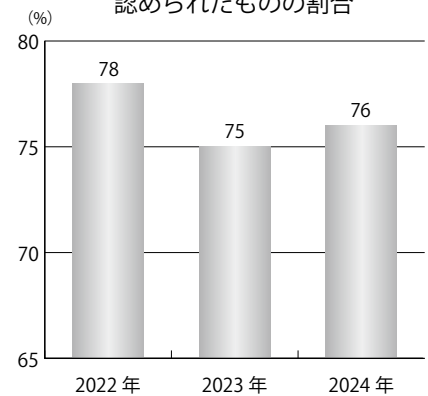
HbA1cの改善または維持が認められたものの割合



クレアチニン・eGFRの改善または維持が認められたものの割合

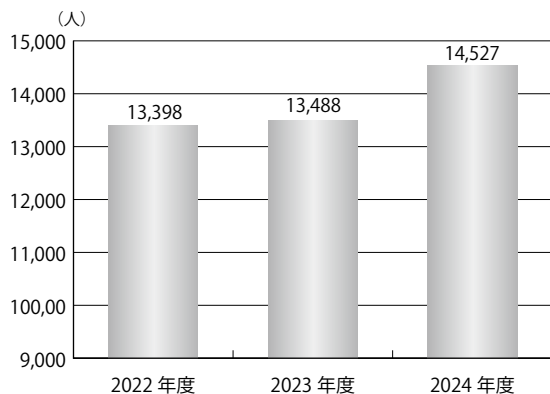


血圧の改善または維持が認められたものの割合

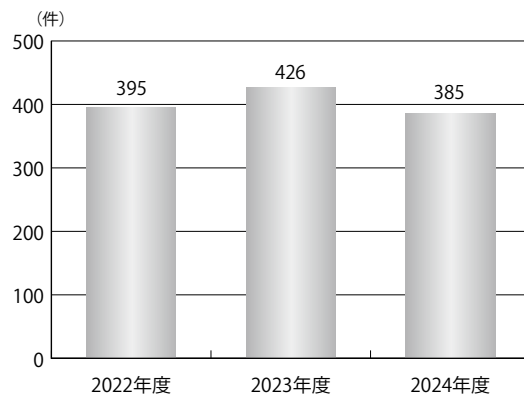


七波クリニック

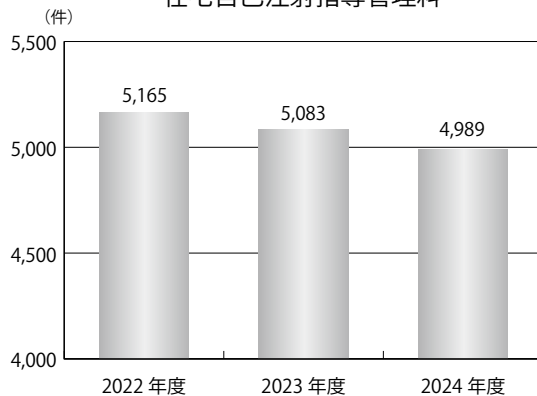
延べ外来患者数



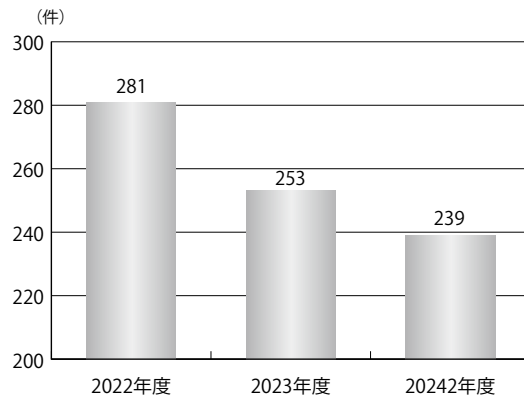
個別栄養食事指導件数



在宅自己注射指導管理料

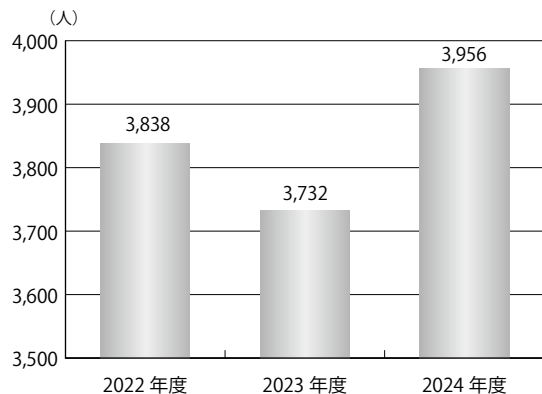


特定健診実施数

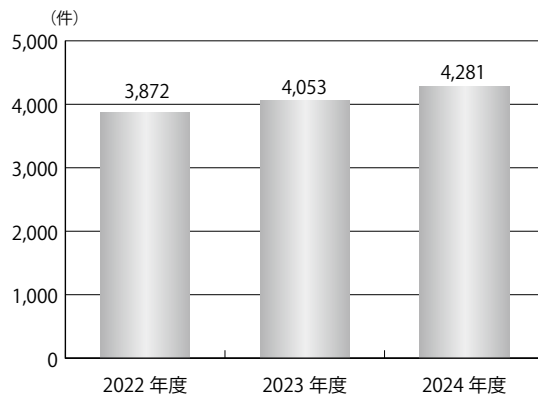


かごしまオハナクリニック

延べ外来患者数



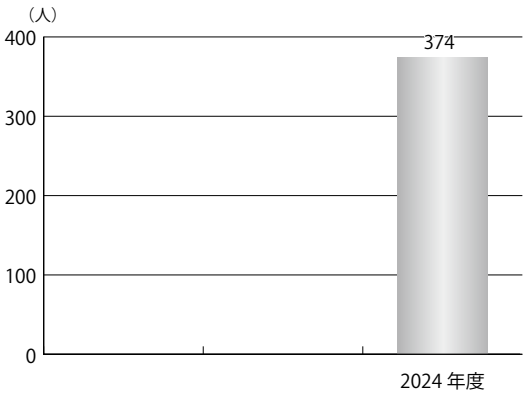
訪問診療件数



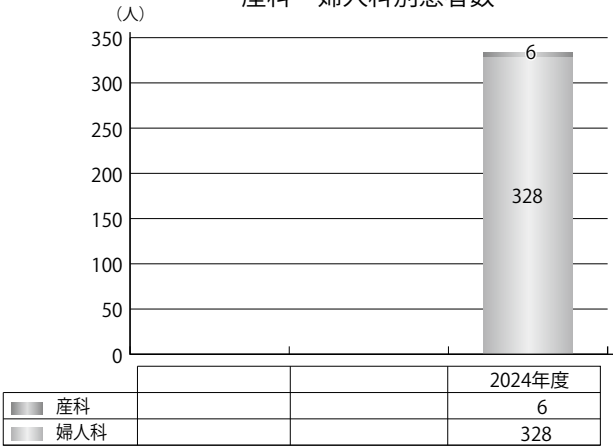
慈愛会垂水サテライトクリニック

※2024年5月診療開始

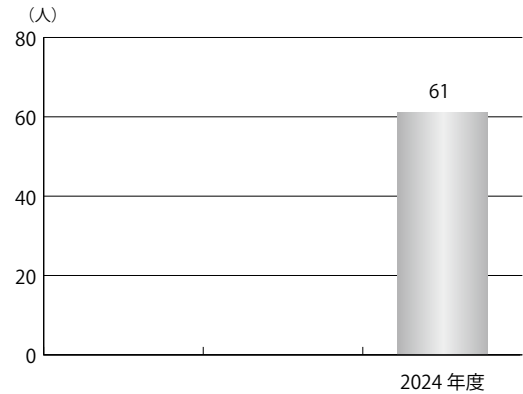
延べ外来患者数



産科・婦人科別患者数

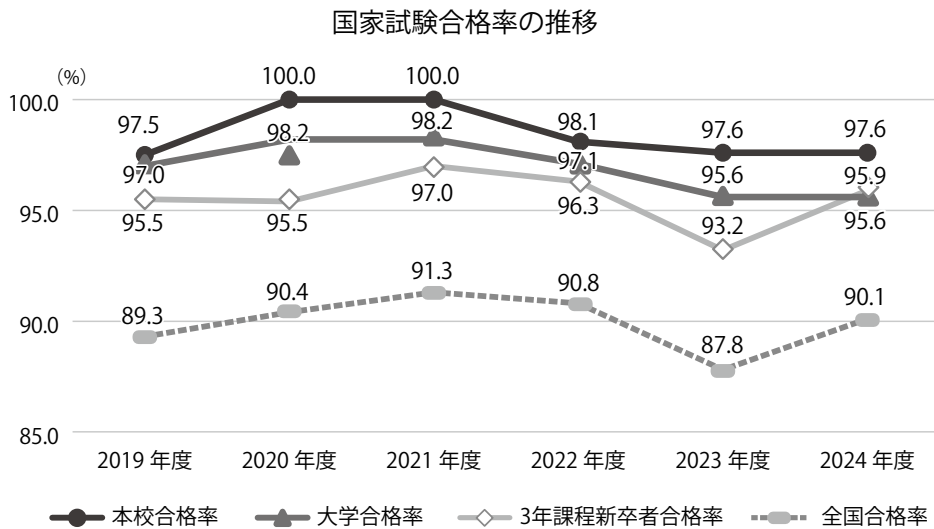
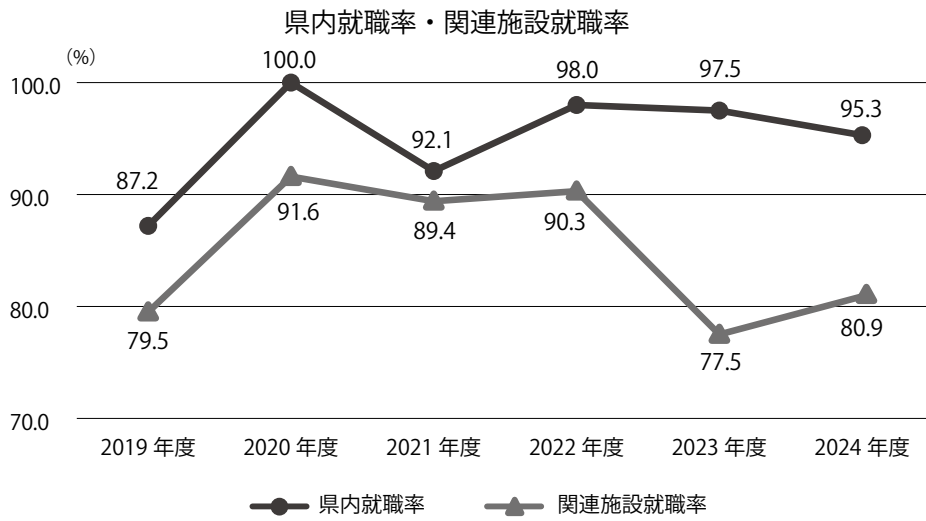


子宮がん検診受診者数

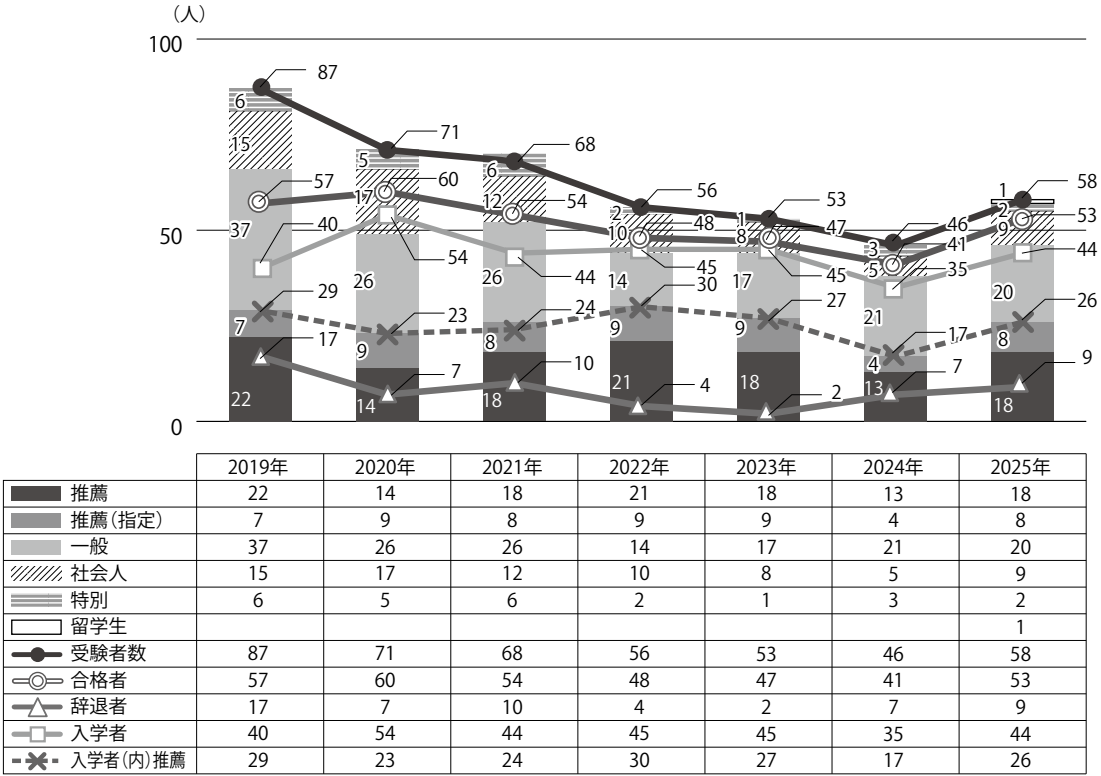


※月別実患者数の累計

鹿児島中央看護専門学校



受験者数・合格者数・辞退者数推移



病院施設指標

法人業績一覧

【論文（論文・著書・雑文）】

血液内科

今村総合病院

<欧文>

1. Miyazono T, Furukawa Y, Miyashita K, Oki H, Tokimura H, Otsuka M, Takehara A : Blood rotation to support the use of RBCs on remote islands under inclement weather and other adverse conditions. Japanese Journal of Transfusion and Cell Therapy 71(1) : 1-8, 2025(Feb)
2. Utsunomiya A, Yasunaga JI, Tabuchi T, Nakano N, Odawara J, Kubota A, Tokunaga M, Miyazono T, Matsuoka M, Ito Y, Tashiro Y : A 25-year clonal resurrection in adult T-cell leukemia-lymphoma relapse. Int J Hematol 121(3) : 416-420, 2025(Mar), doi : 10.1007/s12185-024-03901-1

<欧文><共著>

1. Takekiyo T, Utsunomiya A, Nara S, Nakashima N, Okamura T, Tokunaga M, Miyazono T, Nakano N, Ito Y, Dozono K : Recovery of physical function, muscle mass, and quality of life in patients undergoing allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. Blood Cell Ther 7(3) : 64-74, 2024 (May), doi : 10.31547/bct-2023-034
2. Morishima S, Yoshimitsu M, Shindo T, Utsunomiya A, Ishida T, Ito A, Nakano N, Kawakita T, Eto T, Suehiro Y, Itonaga H, Mori Y, Miyazaki Y, Kanda J, Uchida N, Sawayama Y, Tomori S, Ichinohe T, Atsuta Y, Fukuda T, Kato K : ATL Working Group of the Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy : Individual HLAs affect survival after allogeneic stem cell transplantation in adult T-cell leukaemia/lymphoma. HLA 103(6) : e15555, 2024(Jun), doi : 10.1111/tan.15555
3. Chiba N, Suzuki S, Enriquez-Vera D, Utsunomiya A, Kubuki Y, Hidaka T, Shimoda K, Nakahata S, Yamada T, Morishita K : Succinic semialdehyde derived from the gut microbiota can promote the proliferation of adult T-cell leukemia/lymphoma cells. Heliyon 10(20) : e38507, 2024 (Oct), doi : 10.1016/j.heliyon.2024.e38507
4. Maruyama D, Jacobsen E, Porcu P, Allen P, Ishitsuka K, Kusumoto S, Narita T, Tobinai K, Foss F, Tsukasaki K, Feldman T, Imaizumi Y, Izutsu K, Morishima S, Yamauchi N, Yuda J, Brammer JE, Kawamata T, Ruan J, Nosaka K, Utsunomiya A, Wang J, Zain J, Kakurai Y, Yamauchi H, Hizukuri Y, Biserna N, Tachibana M, Inoue A, Horwitz SM : Valemetostat monotherapy in patients with relapsed or refractory non-Hodgkin lymphoma: a first-in-human, multicentre, open-label, single-arm, phase 1 study. Lancet Oncol 25(12) : 1589-1601, 2024(Dec), doi : 10.1016/S1470-2045(24)00502-3
5. Yoshimitsu M, Tanaka T, Nakano N, Kato K, Muranushi H, Tokunaga M, Ito A, Ishikawa J, Eto T, Morishima S, Kawakita T, Itonaga H, Uchida N, Tanaka M, Akizuki K, Ishitsuka K, Ohigashi H, Ota S, Ando T, Kanda Y, Fukuda T, Atsuta Y, Fuji S : ATL Working Group of the Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy : Comparative outcomes of various transplantation platforms, highlighting haploidentical transplants with post-transplantation cyclophosphamide for adult T-cell leukaemia/lymphoma. Br J Haematol 206(1) : 235-249, 2025(Jan), doi : 10.1111/bjh.19835
6. Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Murase T, Ohtsuka E, Takeshita M, Muto R, Choi I, Iwasaki H, Ito A, Kusumoto S, Nakano N, Tokunaga M, Yonekura K, Tashiro Y, Suehiro Y, Iida S, Utsunomiya A, Ueda R,

- Inagaki H : Clinical significance of NOTCH1 and FBXW7 alterations in adult T-cell leukemia/lymphoma. *Int J Hematol* 121(2) : 206-221, 2025(Feb), doi : 10.1007/s12185-024-03880-3
7. Fuji S, Tokunaga M, Utsunomiya A, Makiyama J, Suehiro Y, Koh KR, Nakashima M, Yamano Y, Uchimaru K : Improving outcome prediction in indolent ATL by subdividing intermediate risk into low- and high-intermediate groups. *Ann Hematol* : Online ahead of print, 2025(Mar), doi : 10.1007/s00277-025-06319-9
8. Sugata K, Takatori M, Reda O, Tan BJY, Tokunaga M, Sato T, Ueda M, Yamano Y, Utsunomiya A, Satou Y : Effect of Viral Antigen Mismatch on Antiviral T-Cell Response and Immunotherapeutic Efficacy Against Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma. *J Infect Dis* 231(3) : 816-821, 2025(Mar), doi : 10.1093/infdis/jiae457

<和文>

1. 宇都宮 興 : HTLV-1 関連疾患の臨床 - 特に、ATL について -. *医療と検査機器・試薬* 47(4) : 314-321, 2024

臨床研究センター

今村総合病院

<欧文>

1. Utsunomiya A, Yasunaga JI, Tabuchi T, Nakano N, Odawara J, Kubota A, Tokunaga M, Miyazono T, Matsuoka M, Ito Y, Tashiro Y : A 25-year clonal resurrection in adult T-cell leukemia-lymphoma relapse. *Int J Hematol* 121(3) : 416-420, 2025(Mar), doi:10.1007/s12185-024-03901-1

<欧文><共著>

1. Chiba N, Suzuki S, Enriquez-Vera D, Utsunomiya A, Kubuki Y, Hidaka T, Shimoda K, Nakahata S, Yamada T, Morishita K : Succinic semialdehyde derived from the gut microbiota can promote the proliferation of adult T-cell leukemia/lymphoma cells. *Heliyon* 10(20) : e38507, 2024(Oct), doi:10.1016/j.heliyon.2024.e38507
2. Sugata K, Takatori M, Reda O, Tan BJY, Tokunaga M, Sato T, Ueda M, Yamano Y, Utsunomiya A, Satou Y : Effect of Viral Antigen Mismatch on Antiviral T-Cell Response and Immunotherapeutic Efficacy Against Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma. *J Infect Dis* 231(3) : 816-821, 2025(Mar), doi:10.1093/infdis/jiae457

<和文>

1. 宇都宮 興 : 特集 2 ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 : HTLV-1 HTLV-1 関連疾患の臨床 - 特に、ATL について -. *医療と検査機器・試薬* 47(4) : 314-321, 2024

外科・消化器外科

今村総合病院

<欧文>

1. Nakashima T, Matsumoto R, Tanoue K, Nakayama C, Sameshima K, Hozaka Y, Arigami T, Matsushita D, Shimonosono M, Tsuruda Y, Sasaki K, Mataka Y, Ohtsuka T : RBBP8 is a prognostic biomarker associated with response to immune checkpoint inhibitors in advanced gastric cancer. *Journal of Immunotherapy* 48(4) : 147-158, 2025, doi: 10.1097/CJI.0000000000000550

＜和文＞＜共著＞

1. 日高翼, 久保莞太, 田辺寛: 腹腔鏡下手術映像におけるアクションセグメンテーションの分類モデルの最適化とアンサンブル手法の検討. 第40回ファジィシステムシンポジウム 講演論文集: 648-653, 2024
2. 出口楽々, 久保莞太, 田辺寛: 腹腔鏡手術映像における手術器具の動作解析に関する基礎検討. 情報処理学会第86回全国大会講演論文集: 641-642, 2024
3. 日高翼, 久保莞太, 田辺寛: 腹腔鏡下手術映像における時系列行動セグメンテーションのアンサンブル手法の提案. 知能と情報 37(1): 571-576, 2025
4. 江藤遥香, 日高翼, 久保莞太, 田辺寛, 出口楽々, 馬場研二, 黒島直樹, 和田真澄, 向田眞志保, 大塚隆生, 小野智司, 重井徳貴: 映像分割手法を用いた CETNet による腹腔鏡下外科手術映像の時系列行動セグメンテーションの改善. 第26回日本知能情報ファジィ学会九州支部学術講演会予稿集: 57-62, 2024

消化器内科

いづろ今村病院

＜著書＞

1. 大井秀久: おなかの不調に効く腸の新常識. JAF メディアワークス, 2024

今村総合病院

＜欧文＞＜共著＞

1. Shirakawa T, Araki T, Shimokawa M, Otsuka T, Nakazawa J, Shimokawa H, Koga F, Oda H, Takeshita S, Arima S, Arita S, Kawaguchi Y, Nishikawa K, Taguchi H, Jikuya K, Sakai T, Ueda Y, Sakae T, Mizuta T, Mitsugi K: A real-world prospective analysis of the relationship between nanoliposomal irinotecan and fluorouracil with folinic acid and neutropenia in patients with pancreatic cancer (NAPOLEON-2 study, NN-2401). *Journal of Clinical Oncology* 43(4): 762, 2025(Jan), https://doi.org/10.1200/JCO.2025.43.4_suppl.762
2. Shinohara Y, Shirakawa T, Shimokawa M, Otsuka T, Shimokawa H, Nakazawa J, Koga F, Oda H, Takeshita S, Arima S, Arita S, Kawaguchi Y, Nishikawa K, Taguchi H, Jikuya K, Sakai T, Ueda Y, Sakae T, Mizuta T, Mitsugi K: Real-world evidence of nanoliposomal irinotecan and fluorouracil with folinic acid in patients with unresectable or recurrent pancreatic cancer: Final results of a multicenter observational study. *Journal of Clinical Oncology* 43(4): 721, 2025(Jan), https://doi.org/10.1200/JCO.2025.43.4_suppl.721

泌尿器科

今村総合病院

＜欧文＞＜共著＞

1. Kawahara I, Yoshino H, Fukumoto W, Arima J, Saito S, Li G, Fukuda I, Mitsuke A, Sakaguchi T, Inoguchi S, Matsushita R, Nakagawa M, Tatarano S, Yamada Y, Enokida H: Targeting metabolic reprogramming to overcome drug resistance in advanced bladder cancer: insights from gemcitabine- and cisplatin-resistant models. *Mol Oncol.* 18(9): 2196-2211., 2024(Sep)
2. Arima J, Yoshino H, Fukumoto W, Kawahara I, Saito S, Li G, Fukuda I, Iizasa S, Mitsuke A, Sakaguchi T, Inoguchi S, Matsushita R, Nakagawa M, Tatarano S, Yamada Y, Enokida H: LncRNA BCYRN1 as a Potential Therapeutic Target and Diagnostic Marker in Serum Exosomes in Bladder Cancer. *Int J Mol Sci.* 25(11): 5955, 2024(May)

皮膚科

今村総合病院

<欧文><共著>

1. Manaka K, Sato J, Hikima Y, Horikoshi H, Taguchi M, Morita A, Suga H, Boki H, Fujimura T, Hirai Y, Shimauchi T, Tateishi C, Kiyohara E, Muto I, Nakajima H, Abe R, Fujii K, Nishigori C, Nakano E, Yonekura K, Funakoshi T, Amano M, Miyagaki T, Yamashita R, Sugaya M, Hamada T, Nangaku M, Iiri T: Bexarotene-induced hypothyroidism and dyslipidemia; a nation-wide study. *Endocr J* 71(8) : 777-787, 2024(Aug), doi: 10.1507/endocrj.EJ23-0699
2. Ohata C, Anezaki H, Yanase T, Katayama E, Kaneko S, Saito K, Yamane M, Nakamaru S, Tsuruta N, Okazaki F, Ito K, Kikuchi S, Koike Y, Miyagi T, Sugita K, Nakahara T, Takezaki D, Saruwatari H, Yoshida Y, Yonekura K, Higashi Y, Sawada Y, Chinuki Y, Yamaguchi K, Imafuku S: Real-world safety and efficacy of biologics in elderly patients with psoriasis: A multicenter observational study. *J Dermatol* 51(12) : 1634-1640, 2024(Dec), doi: 10.1111/1346-8138.17385
3. Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Murase T, Ohtsuka E, Takeshita M, Muto R, Choi I, Iwasaki H, Ito A, Kusumoto S, Nakano N, Tokunaga M, Yonekura K, Tashiro Y, Suehiro Y, Iida S, Utsunomiya A, Ueda R, Inagaki H: Clinical significance of NOTCH1 and FBXW7 alterations in adult T-cell leukemia/lymphoma. *Int J Hematol* 121(2) : 206-221, 2025(Feb), doi: 10.1007/s12185-024-03880-3

輸血管理部

今村総合病院

<和文>

1. 宮園卓宜, 古川良尚, 宮下幸一郎, 大木浩, 時村洋, 大塚真紀, 竹原哲彦: 離島の悪天候時等における血液製剤使用をブラッドローテーションにて支援する研究. *日本輸血細胞治療学会誌* 71(1) : 1-8 (原著), 2025

小児科

今村総合病院

<欧文>

1. Tokunaga M, Seki Y, Horiguchi T, Miura K, Kakimoto H, Morita S, Mizota M, Kusumoto K, Mori T, Sohara E, Uchida S, Okamoto Y: A parent and child with Liddle syndrome diagnosed correctly with the child as the proband: a case report with review of literature. *Endocrine Journal* 72(3) : 319-323, 2025

スポーツ整形外科

今村総合病院

<和文>

1. 前園恵慈, 海江田英泰, 福島佳織: 無血管領域の分類に基づいた足舟状骨疲労骨折の骨折部位と骨折型についての検討. *臨床スポーツ医学会雑誌*: Online ahead of print, 2024
2. 中條正英: 肥満男児における短期間の運動後に生じた両側脛骨近位部ストレス骨折の1例. *日本スポーツ整形外科学会誌* 1(1) : 31-32, 2024

救急・総合内科

今村総合病院

< 著書 >

1. 西垂水和隆, 大塚暢, 畠中成己, 有馬丈洋, 伊藤加菜絵, 市来征仁: 診断につながる・病歴聴取 (新装改訂版). 日本医事新報社, 2024

かごしまオハナクリニック

< 欧文 >

1. Ijichi S, Ijichi N, Sakuma M, Yokoyama D, Hayashi T, Hirota T, King BH: Overlap of genetic factors among craniosynostosis and autism spectrum disorder: the presence of autistic cases without craniosynostosis in carriers of shared variants. J Neurosurg Pediatr: Online ahead of print, 2025, doi: 10.3171/2024.12.PEDS24296

< 著書 >

1. 林恒存: 既往歴 / 胸痛 / 咳嗽・痰・血痰. 診断につながる病歴聴取. 日本医事新報社, pp89-96/195-202/312-321, 2024

以上、診療部

看護部門

今村総合病院

< 和文 >

1. 徳田勝哉: 透析患者における生活目標を取り入れたケアと運動療法の継続とその可能性. 日血浄化技会誌 32(2): 269-273, 2025

< 雑文 >

1. 松山日実子: 専任教員を臨床看護教員として配置し、新人看護師のサポート強化! ~新人の安心につながり、不安なくゴールに向かえるために~. 看護人材育成 21(2), 日総研, pp12-20, 2024

リハビリテーション部門

今村総合病院 理学療法士 (一般総合)

< 欧文 >

1. Takekiyo T, Utsunomiya A, Nara S, Nakashima N, Okamura O, Tokunaga M, Miyazono T, Nakano N, Ito Y, Dozono K: Recovery of physical function, muscle mass, and quality of life in patients undergoing allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. Blood Cell Therapy 7(3): 64-74, 2024, <https://doi.org/10.31547/bct-2023-034>

今村総合病院 理学療法士 (スポーツ整形)

< 和文 >

1. 吉田研吾, 迫田彩夏, 岡弥津希, 白尾泰宏, 海江田英泰, 福島佳織: 骨付き膝蓋腱と膝屈筋腱を用いた膝前十靱帯再建術後における膝筋力値の比較~同性同年代間での検証~. 九州・山口スポーツ医・科学研究会誌 35: 41-44, 2024 年 7 月

谷山病院 作業療法士

<和文>

1. 中山陽平：精神科認知症治療病棟の認知障害高齢者に対するパーソン・センタード・ケアの実践～カンファレンスを通じた介入認識の変化と多職種と連携した専従作業療法士の役割～. 作業療法鹿児島 31(1)：20-26, 2025 年 3 月

愛と結の街 理学療法士

<雑文>

1. 有菌大紀, 村井真由美：多職種連携による生産性向上の取り組み～フロア業務と送迎の検討～. ろうけん鹿児島 No. 118, pp 4-5, 2025 年 1 月

画像診断 / 放射線治療部門

今村総合病院

<欧文> <共著>

1. Tsunemine S, Ozawa S, Nakao M, Miura H, Onishi T, Ichiki M, Sugimoto S, Inoue T, Oki Y, Akasaka H, Hanmura M, Harada H, Nishimura T, Murakami Y, Nagata Y : Improved stoichiometric model for megavoltage computed tomography number conversion and dose calculation within the TomoTherapy delivery system. Physica Medica : Online ahead of print, 2025, <https://doi.org/10.1016/j.ejmp.2025.104915>

法人事業本部

<雑文>

1. 高野正樹, 今村英仁：病院給食の未来を見据え、持続可能なモデルを構築する. 病院経営羅針盤 15(261), 産労総合研究所, pp11-17, 2024 年 9 月

【かごしま慈愛会ジャーナル第3巻】

2024年4月30日刊行

<トピックス>

1. 法人事業本部 看護師 中重敬子：第49回フローレンス・ナイチンゲール記章 受章記念「今村節子先生のご功績」
2. 今村総合病院 医師 福島佳織：今村総合病院スポーツ整形外科のあゆみ～濱里雄次郎先生の御足跡とともに～
3. 今村総合病院 理学療法士 白尾泰宏：今村総合病院スポーツ整形外科“開設から現在までの歩み”と“今後” 故濱里雄次郎先生の功労・足跡
4. 今村総合病院 精神保健福祉士 地頭所孝之：地域医療構想における慈愛会在宅医療の今後の在り方について～オール慈愛会で取り組む在宅医療～ [第3回慈愛会学会学術集会パネルディスカッション まとめ]

<論文>

1. 今村総合病院 看護師 平川あゆみ, 酒井亜希, 松山郁子, 松山日実子：新人看護師成長パスの改良に関する報告
2. 奄美病院 看護師 福長由美, 愛と結の街 看護師 原口悦江, 法人事業本部 看護師 木佐貫涼子, 今村総合病院 看護師 中谷明実, いづろ今村病院 看護師 上原奈津美, 谷山病院 看護師 永迫智子, 徳之島病院 看護師 宮本陽子, 在宅支援部 看護師 中蘭明子, いづろ今村病院 看護師 藪下和代：働き方改革に対する取り組みの実際と課題 第2報～副看護師長の達成感・やりがい感に繋げるための支援～
3. 今村総合病院 看護師 平川あゆみ, 小濱奈々, 中村倫丈, 西村時紘, 医師 西垂水和隆：院内死亡症例から読み解く～Medical Emergency Teamの活動効果～
4. 今村総合病院 医師 保坂優斗, 田辺寛, 馬場研二, 庄亮真, 金城多架良, 飯尾俊也, 吉野春一郎, 平野拓郎, 帆北修一, 上之園芳一：当院におけるロボット支援下直腸切除術導入の経験：助手の立場から
5. 今村総合病院 薬剤師 西元寺慧一, 橋本直美, 松山淳史, 阿部竜也, 鬼丸俊司：転院時処方日数調整による病院負担軽減効果について
6. 今村総合病院 作業療法士 濱田大輔, 新福友果子, 鬼塚博之, 医師 堂園浩一朗：回復期における脳卒中重度片麻痺患者に対する自宅退院に向けた作業療法～「家に帰りたい」を実現するために～
7. 就労支援センターステップ 作業療法士 内村ちひろ, 東上床ゆかり, 小澤孝典, 公認心理師 小川香織：知的障害のある方への就労支援～できることに着目したオーダーメイドの支援で就職に結びついた一例～
8. 介護老人保健施設愛と結の街 作業療法士 村井真由美, 理学療法士 有蘭大紀, 原田良二, 介護福祉士 安森潤子, 上赤栄造, 濱田小百合, 作業療法士 廣田享子, 介護福祉士 室園淳, 看護師 原口悦江：通所リハビリテーションにおける生産性向上の取り組み～フロア業務と送迎の検討～
9. 今村総合病院 言語聴覚士 鮫島悠子, 理学療法士 園田拓史, 松元龍, 梶原良太, 作業療法士 黒肱知弘, 理学療法士 浜田香穂麗：進化するインターネット時代における採用広報戦略
10. いづろ今村病院 看護師 水口理沙, 山下志緒莉, 松下祥子, 中村好美, 角浩美, 若松美穂, 松崎美帆, 榎本真智子, 有村智子, 皆村敦美, 医師 久保田敬子：当施設における要受診判定者の未受診の理由
11. 今村総合病院 看護師 八木笑奈, 永福清香, 長野なつ子：A病院女性看護師の月経前症候群（PMS）とセルフケアの実態
12. 法人事業本部 看護師 竹迫智子, 木佐貫涼子, 事務員 坂元友美：若手看護師の職務満足度と職業継続意志及び離職に対する関連要因の検討
13. いづろ今村病院 事務員 赤尾美咲, 川路由茄, 今蘭美保：発熱外来における未収金へのアプローチ
14. 今村総合病院 理学療法士 岡弥津希, 吉田研吾, 白尾泰宏, 医師 海江田英泰, 福島佳織：腱板断裂患者における上腕二頭筋長頭腱病変の合併率と関節可動域・疼痛の関連について

かごしま慈愛会ジャーナル第3巻

https://www.jiaikai.or.jp//datas/page/2332/page_2037.pdf



【学会発表】

血液内科

今村総合病院

<国際>

1. Nakano N, Takatsuka Y, Tokunaga M, Miyazono T, Odawara J, Fujino S, Takeuchi S, Ito Y, Utsunomiya A : 25-year evolution of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for ATL at Imamura General Hospital. HTLV Conference 2024, 3 June 2024, London
2. Utsunomiya A, Kameda T, Otsuka N, Kubuki Y, Uchida T, Shide K, Kamiunten A, NakanoN, Tokunaga M, Miyazono T, Ito Y, Yonekura K, Kawakita T, Akizuki K, Tahira Y, Karasawa M, Hidaka T, Kogo F, Ueno H, Ishizaki J, Takahashi N, Ikei Y, Hidaka M, Yamaguchi H, Shimoda K : Impaired Humoral Response Following COVID-19 Vaccination in HTLV-1 Carriers. HTLV Conference 2024, 4 June 2024, London

<国際><共同発表>

1. Takatori M, Sugata K, Tan BJY, Sakihama S, Hirose H, Yano H, Katsuya H, Aoyama H, Nakada N, Komohara Y, Tanaka Y, Tokunaga M, Utsunomiya A, Shimamura T, Fukushima T, Karube K, SatouY : Tissue-specific mechanism and tumor heterogeneity in lymphoma-type ATL. HTLV Conference 2024, 3 June 2024, London
2. Sugata K, Tan BJY, Takatori M, Hossain MB, Rajib SA, Reda O, Tokunaga M, Nomura T, Masuda T, Nakasima M, Sato T, Ueda M, Utsunomiya A, Yamano Y, Satou Y : Integrated single cell analysis of HTLV-1 specific CD8 T cells in peripheral blood and cerebrospinal fluid from HAM/TSP patients. HTLV Conference 2024, 3 June 2024, London
3. Niimura K, Sugata K, Rahman A, Tokunaga M, Utsunomiya A, Satou Y : Dynamics and regulatory mechanisms of HTLV-1 gene expression analyzed by single-cell multiome method using CD4+ T cells from ATL patients. HTLV Conference 2024, 3 June 2024, London
4. Karpe S, Artesi M, Wayet J, Durkin K, Uchimar K, Makiyama J, Iwanaga M, Utsunomiya A, Kolijn M, Langerak AW, Marçais A, Hermine O, Burny A, Watanabe T, Georges M, Vanden BA : A viral clonality evenness score to identify HTLV-1 asymptomatic carriers at high risk of progression to ATL. HTLV Conference 2024, 4 June 2024, London
5. Yasunaga J, Yamada A, Liang L, Zhang W, Sunagawa J, Nakaoka S, Iwami S, Kogure Y, Ito Y, Kataoka K, Nakagawa M, IwanagaM, Utsunomiya A, Koh KR, Watanabe T, Nosaka K, Matsuoka M : Anti-HTLV-1 immunity combined with proviral load as predictive biomarkers for adult T-cell leukemia-lymphoma. HTLV Conference 2024, 4 June 2024, London
6. Rahman A, Sugata K, Niimura K, Ueno T, Rajib SA, Sakhor W, Hossain MB, Sithi SN, Jahan I, Yamano Y, Tanaka Y, Tokunaga M, Utsunomiya A, Ono M, Okuma K, Monde K, Satou Y : Intragenic silencer of HTLV-1 plays a key role in retroviral latency by recruiting cellular transcription factors, RUNX1, GATA3 and ETS1. HTLV Conference 2024, 5 June 2024, London
7. Hleihel R, Skayneh H, Yamano Y, Uchimar K, Utsunomiya A, Watanabe T, ElSabban M, deThé H, Hermine O, ElHajj H, Bazarbach A : Primary cells from patients with adult T cell leukemia/lymphoma of different ethnicities depend on HTLV-1 Tax expression for NF-kB activation and survival. HTLV Conference 2024, 5 June 2024, London
8. Tanabe A, Takahashi Y, Yui A, Nakakido M, Nasu T, Uchimar K, Utsunomiya A, Kawana-Tachikawa A, Matano T, Mizukami T, Watanabe T, Tsumoto K, Nakano K : Development of an antibody-drug conjugate

targeting CADM1 in adult T-cell leukemia/lymphoma cells. The 66th ASH Annual Meeting and Exposition, 6 Dec 2024, San Diego

9. Makiyama J, Tokunaga M, Shiratsuchi M, Toyama T, Oka S, Choi I, Yoshida T, Okazuka K, Utsunomiya A: BV-CHP in Previously Untreated Patients with CD30-Positive Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma: A Multicenter Real-World Retrospective Study. The 66th ASH Annual Meeting and Exposition, 10 Dec 2024, San Diego

<国内>

1. 米倉圭, 小田原淳, 齋藤啓太, 中野伸亮, 徳永雅仁, 藤野聡司, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: von Recklinghausen 病を合併した Ph 陽性混合形質性急性白血病の 1 例. 第 345 回日本内科学会九州地方会, 2024 年 5 月 25 日, 宮崎
2. 宮園卓宜: 内科における適正使用の TIPS (パネルディスカッション 8 適正輸血を推進するための tips). 第 72 回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2024 年 6 月 1 日, 東京
3. 伊藤能清, 長藤宏司, 宮本敏浩, 加藤光次, 衛藤徹也, 上村智彦, 宮崎泰彦, 高瀬謙, 和氣敦, 今村豊, 近藤恭夫, 谷本一樹, 藤崎智明, 塚田順一, 黒川敏郎, 内田直之, 河野健太郎, 河野徳明, 米本孝二, 堀壽成, 赤司浩一: 初発 Ph+ALL への dasatinib 持続投与の有用性: FBMTGMRD2014 研究報告. 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月 11 日, 京都
4. 宇都宮沙代, 中野伸亮, 米倉健太郎, 小田原淳, 藤野聡司, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清, 宇都宮與: 再発難治成人 T 細胞白血病/リンパ腫 (ATL) に対するバレメトスタットの有効性および安全性の検討. 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月 12 日, 京都
5. 宇都宮與, 亀田拓郎, 大塚伸昭, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清, 米倉健太郎, 日高道弘, 河北敏郎, 幣光太郎, 田平優貴, 秋月溪一, 上運天綾子, 唐澤賢祥, 池田涼馬, 松本健吾, 日高智徳, 石崎淳三, 高橋尚也, 池井義彦, 久富木庸子, 下田和哉: HTLV-1 キャリアにおける COVID-19 ワクチン 4 回接種後の体液性免疫の回復. 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月 13 日, 京都
6. 小田原淳, 中野伸亮, 藤野聡司, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: トモセラピーによる全骨髄照射 (TMI) を用いた造血幹細胞移植の有効性と安全性の検証. 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月 13 日, 京都
7. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 当院における未治療びまん大細胞 B 細胞性リンパ腫 (DLBCL) 21 例に対する Pola-R-CHP 療法の使用経験. 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月 13 日, 京都
8. 宇都宮與, 倉光球, 齋藤益満, 吉森みゆき, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 小田原淳, 藤野聡司, 相良康子, 伊藤能清: 針刺しによる HTLV-1 感染. 第 10 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2024 年 11 月 8 日, 東京
9. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 当院における ATL 移植後の治療抵抗性急性 GVHD に対するヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注の使用経験. 第 10 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2024 年 11 月 9 日, 東京
10. 徳永雅仁, 米倉健太郎, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 宮園卓宜, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 成人 T 細胞白血病/リンパ腫における新規薬剤の有効性. 第 10 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2024 年 11 月 10 日, 東京
11. 徳永雅仁, 中野伸亮, 藤野聡司, 小田原淳, 宮園卓宜, 米倉健太郎, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 成人 T 細胞白血病 - リンパ腫 (ATL) に対する同種幹細胞移植の方針決定の流れ. 第 47 回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2025 年 2 月 28 日, 大阪
12. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 当院における再発・難治性多発性骨髄腫に対する同種造血幹細胞移植. 第 47 回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2025 年 3 月 1 日, 大阪

<国内><共同発表>

1. 新村光輝, 菅田謙治, Rahman Akhinur, 徳永雅仁, 宇都宮與, 佐藤賢文: ATL 患者末梢血のシングルセルマルチオーム解析による HTLV- 1 遺伝子発現動態および制御メカニズム解析. 第 83 回日本癌学会学術総会, 2024 年 9 月 20 日, 福岡
2. 長藤宏司, 宮本敏浩, 衛藤徹也, 上村智彦, 加藤光次, 宮崎泰彦, 和氣敦, 河野健太郎, 高瀬謙, 今村豊, 内田直之, 谷本一樹, 河野徳明, 黒川敏郎, 近藤恭夫, 伊藤能清, 藤崎智明, 塚田順一, 米本孝二, 堀壽成, 赤司浩一: L-Asp 使用強化による AYA ALL の治療成績向上: FBMTG MRD 2014STUDY. 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月 11 日, 京都
3. 勝屋弘雄, Belal Md Hossain, 前田綾, Benjy Tan Jek Yang, 徳永雅仁, 渡邊俊樹, 内丸薫, 宇都宮與, 木村晋也: HTLV- 1- ヒトゲノムのキメラトランスクリプトはウイルスが組み込まれた宿主遺伝子発現を亢進する. 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月 12 日, 京都
4. 蒔田真一, 福島卓也, 塚崎邦弘, 町田龍之介, 丸山大, 楠本茂, 飯田真介, 徳永雅仁, 宮崎泰司, 吉満誠, 崔日承, 仲地佐和子, 宮崎香奈, 牧山純也, 野坂生郷, 勝屋弘雄, 河北敏郎, 柴田大朗, 福田治彦, 永井宏和: 未治療アグレッシブ ATL に対する upfront 同種移植の検証的単群第 3 相臨床試験: JCOG0907. 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月 12 日, 京都
5. 吉満誠, 田中喬, 中野伸亮, 加藤光次, 村主啓行, 徳永雅仁, 伊藤歩, 石川淳, 衛藤徹也, 森島聡子, 河北敏郎, 糸永英弘, 神田善伸, 福田隆浩, 熱田由子, 藤重夫: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する PTCY を用いた HLA 半合致移植成績. 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月 13 日, 京都
6. 中村大輔, 大渡五月, 宮園卓宜, 中嶋秀人詞, 新居亮彦, 川田英明, 井上大栄, 米倉健太郎, 藤井一恭, 竹内昇吾, 福德聡, 中別府聖一郎, 島晃大, 有馬直佑, 鎌田勇平, 原口浩一, 吉満誠, 伊藤能清, 大塚真紀, 花田修一, 石塚賢治: 鹿児島県における ATL レジストリー (2021 年~ 2022 年). 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月 13 日, 京都
7. 吉森みゆき, 宇都宮與, 切手康加, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 小田原淳, 藤野聡志, 米倉健太郎, 有馬丈洋, 伊藤能清: HTLV- 1 感染者の血液・体液曝露後の曝露者のフォローアップ. 第 10 回日本 HTLV- 1 学会学術集会, 2024 年 11 月 8 日, 東京
8. 菅田謙, ラマンアキヌール, 新村光輝, 上野孝治, 山野嘉久, 田中勇悦, 徳永雅仁, 宇都宮與, 大隈和, 小野昌弘, 佐藤賢文: HTLV- 1 潜伏感染を規定するプロウイルス内サイレンサー領域の同定. 第 10 回日本 HTLV- 1 学会学術集会, 2024 年 11 月 9 日, 東京
9. 新村光輝, 菅田謙治, Rahman Akhinur, 徳永雅仁, 宇都宮與, 佐藤賢文: ATL 患者末梢血のシングルセルマルチオーム解析による HTLV- 1 遺伝子発現動態および制御メカニズム解析. 第 10 回日本 HTLV- 1 学会学術集会, 2024 年 11 月 9 日, 東京
10. 千葉のどか, 鈴木真也, Enriquez-Vera Daniel, 宇都宮與, 久富木庸子, 日高智徳, 下田和哉, 中畑新吾, 山田拓司, 森下和広: 腸内細菌叢に由来するコハク酸セミアルデヒドは ATL 細胞の増殖を促進する. 第 10 回日本 HTLV- 1 学会学術集会, 2024 年 11 月 9 日, 東京
11. 武清孝弘, 堂園浩一郎, 岡村敏之, 中島徳久, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清, 宇都宮與: ATL 患者における同種造血幹細胞移植後の身体機能・筋肉量回復~急性白血病との比較~. 第 10 回日本 HTLV- 1 学会学術集会, 2024 年 11 月 9 日, 東京
12. 菅田謙治, タンジェックヤン, 新村光輝, 高鳥光徳, 徳永雅仁, 中島誠, 佐藤知雄, 植田光晴, 宇都宮與, 山野嘉久, 佐藤賢文: HAM 患者脳脊髄液での特異的 CD 8 T 細胞の遺伝子発現と TCR avidity の解析. 第 10 回日本 HTLV- 1 学会学術集会, 2024 年 11 月 9 日, 東京
13. 亀田拓郎, 宇都宮與, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清, 米倉健太郎, 日高道弘, 河北敏郎, 幣光太郎, 田平優貴, 秋月溪一, 上運天綾子, 久富木庸子, 下田和哉: HTLV- 1 キャリアにおける新型コロナウイルスワクチ

ン接種回数の最適化. 第10回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2024 年 11 月 10 日, 東京

12. 藤重夫, 宇都宮興, 徳永雅仁, 牧山純也, 末廣陽子, 高起良, 中島誠, 内丸薫: JSPFAD の Indolent-DB データベースを用いた indolent ATL における予後予測因子に関する検討. 第10回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2024 年 11 月 10 日, 東京

臨床研究センター

今村総合病院

<国際>

1. Utsunomiya A, Kameda T, Otsuka N, Kubuki Y, Uchida T, Shide K, Kamiunten A, Nakano N, Tokunaga M, Miyazono T, Ito Y, Yonekura K, Kawakita T, Akizuki K, Tahira Y, Karasawa M, Hidaka T, Kogo F, Ueno H, Ishizaki J, Takahashi N, Ikei Y, Hidaka M, Yamaguchi H, Shimoda K : Impaired Humoral Response Following COVID-19 Vaccination in HTLV-1 Carriers. HTLV Conference 2024, 4 June 2024, London

<国際><共同発表>

1. Yonekura K, Muto I, Takenaka M, Aoi J, Fujimura T, Amano M, kanekura T, Miyagi T, Hatano Y, Kiyohara E, Shimauchi T, Watanabe K, Miyake T, Ito T, Uhara H, Fujii K, Sudo A, Watanabe T, Iwatsuki K : A randomized, open-label, multicenter, 2-dose parallel-group, phase II study of bexarotene in patients with ATL (B-1801 study). HTLV Conference 2024, 3 June 2024, London
2. Tanabe A, Takahashi Y, Yui A, Nakakido M, Nasu T, Uchimar K, Utsunomiya A, Kawana-Tachikawa A, Matano T, Mizukami T, Watanabe T, Tsumoto K, Nakano K : Development of an antibody-drug conjugate targeting CADM1 in adult T-cell leukemia/lymphoma cells. The 66th ASH Annual Meeting and Exposition, 6 December 2024, San Diego

<国内>

1. 宇都宮興, 亀田拓郎, 大塚伸昭, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清, 米倉健太郎, 日高道弘, 河北敏郎, 幣光太郎, 田平優貴, 秋月溪一, 上運天綾子, 唐澤賢祥, 池田涼馬, 松本健吾, 日高智徳, 石崎淳三, 高橋尚也, 池井義彦, 久富木庸子, 下田和哉: HTLV-1 キャリアにおける COVID-19 ワクチン 4 回接種後の体液性免疫の回復. 第 86 回日本血液学会学術集会, 2024 年 10 月 13 日, 京都
2. 宇都宮興, 倉光球, 斎藤益満, 吉森みゆき, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 小田原淳, 藤野聡司, 相良康子, 伊藤能清: 針刺しによる HTLV-1 感染. 第10回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2024 年 11 月 8 日, 東京

<国内><共同発表>

1. 吉森みゆき, 宇都宮興, 切手康加, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 小田原淳, 藤野聡志, 米倉健太郎, 有馬丈洋, 伊藤能清: HTLV-1 感染者の血液・体液曝露後の曝露者のフォローアップ. 第10回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2024 年 11 月 8 日, 東京
2. 亀田拓郎, 宇都宮興, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清, 米倉健太郎, 日高道弘, 河北敏郎, 幣光太郎, 田平優貴, 秋月溪一, 上運天綾子, 久富木庸子, 下田和哉: HTLV-1 キャリアにおける新型コロナウイルスワクチン接種回数の最適化. 第10回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2024 年 11 月 10 日, 東京

外科・消化器外科

今村総合病院

<国内>

1. 中嶋太極：進行胃癌における Retinoblastoma-binding protein 8 の新規免疫チェックポイント阻害剤効果予測バイオマーカーとしての可能性の検討. 第 45 回癌免疫外科研究会, 2024 年 5 月 24 日, 横浜
2. 田辺寛, 成尾知紀, 椎葉忠恕, 中嶋太極, 米盛圭一, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一：潰瘍性大腸炎に対する緊急大腸全摘術の検討. 第 49 回日本大腸肛門病学会九州地方会, 2024 年 9 月 21 日, 福岡
3. 益満和人, 田辺寛, 田代幸恵, 二之宮謙次郎, 成尾知紀, 椎葉忠恕, 中嶋太極, 米盛圭一, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一：集学的治療が奏功し腹腔鏡で切除し得た横行結腸癌脾臓転移の 1 例. 第 49 回日本大腸肛門病学会九州地方会, 2024 年 9 月 21 日, 福岡
4. 椎葉忠恕, 田辺寛, 成尾知紀, 中嶋太極, 米盛圭一, 瀧川譲治, 帆北修一, 田代幸恵, 二之宮謙次郎, 上之園芳一：傍大動脈リンパ節と膀胱浸潤を伴う直腸病変と回腸病変が併存した消化管悪性リンパ腫の一例. 第 124 回日本消化器病学会九州支部例会, 2024 年 11 月 15 日, 鹿児島
5. 田辺寛, 成尾知紀, 椎葉忠恕, 中嶋太極, 米盛圭一, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一：当院における腹腔鏡下直腸固定術が直腸脱患者に与える影響. 第 79 回日本大腸肛門病学会, 2024 年 11 月 30 日, 横浜
6. 椎葉忠恕, 田辺寛, 成尾知紀, 中嶋太極, 米盛圭一, 帆北修一, 上之園芳一：下腹壁動静脈の内側への偏移を認めた巨大外鼠径ヘルニアに対して手術施行した一例. 第 37 回日本内視鏡外科学会総会, 2024 年 12 月 5 日, 福岡
7. 宇都宮麻子：ロボット支援下に手術した重複下大静脈を伴う直腸癌の 1 例. 第 37 回日本内視鏡外科学会総会, 2024 年 12 月 5 日, 福岡
8. 中嶋太極, 田辺寛, 宇都宮麻子, 椎葉忠恕, 米盛圭一, 帆北修一, 上之園芳一：高度炎症を伴う大腸憩室症に対する腹腔鏡 IRIS を用いた尿管同定の使用経験. 第 37 回日本内視鏡外科学会, 2024 年 12 月 6 日, 福岡
9. 小丸明日花, 中嶋太極, 宇都宮麻子, 椎葉忠恕, 米盛圭一, 田辺寛, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一：胃内異物に対し創縁保護具を二重装着した単孔式胃内手術を施行した 1 例. 第 61 回九州外科学会, 2025 年 2 月 7 日, 那覇
10. 宇都宮麻子, 田辺寛, 椎葉忠恕, 中嶋太極, 米盛圭一, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一：重症の潰瘍性大腸炎に対する三期的手術の検討. 第 61 回九州外科学会, 2025 年 2 月 7 日, 那覇
11. 椎葉忠恕, 田辺寛, 宇都宮麻子, 中嶋太極, 米盛圭一, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一：結腸悪性腫瘍手術における機能的端々吻合の縫合不全を予防する工夫と対策. 第 89 回鹿児島臨床外科学会医学会, 2025 年 2 月 22 日, 鹿児島
12. 米盛圭一, 宇都宮麻子, 椎葉忠恕, 中嶋太極, 田辺寛, 帆北修一, 上之園芳一：栄養管理に難渋した神経性やせ症による極度の低体重を呈した進行大腸癌の 1 例. 第 19 回鹿児島 NST 研究会, 2025 年 3 月 15 日, 鹿児島

皮膚科

今村総合病院

<国際>

1. Yonekura K, Muto I, Takenaka M, Aoi J, Fujimura T, Amano M, Kanekura T, Miyagi T, Hatano Y, Kiyohara E, Shimauchi T, Watanabe K, Miyake T, Ito T, Uhara H, Fujii K, Sudo A, Watanabe T, Iwatsuki K: A randomized, open-label, multicenter, 2-dose parallel-group, phase II study of bexarotene in patients with ATL(B-1801 study). The 21st Biennial International Conference on Human Retrovirology: HTLV and related viruses, 1-5 June 2024, London

<国内>

1. 米倉健太郎, 武藤一考, 竹中基, 青井淳, 藤村卓, 天野正宏, 金蔵拓郎, 宮城拓也, 波多野豊, 清原英司, 島内隆寿, 渡邊憲, 三宅智子, 伊東孝通, 宇原久, 藤井一恭, 須藤瑛人, 渡邊俊樹, 岩月啓氏：ATL 患者に対するベキサロテン

- の多施設共同、2用量並行デザイン、無作為化、非盲検、第Ⅱ相試験（B-1801 試験）。第 40 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会，2024 年 5 月 10-11 日，宮崎
2. 米倉健太郎：合併症を伴う乾癬患者の全身療法～ HTLV- 1 キャリアへの対応を含めて～．第 40 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 ランチョンセミナー 9，2024 年 5 月 11 日，宮崎
3. 玉井真理子，佐藤浩子，武田浩一郎，久留光博，吉井典子，米倉健太郎：デュピルマブで加療した結節性痒疹の 4 例．第 197 回日本皮膚科学会鹿児島地方会，2024 年 6 月 30 日，鹿児島
4. 米倉健太郎：皮膚病変主体の ATL に対する治療．第 76 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 スポンサーレクチャー 1，2024 年 9 月 7 日，徳島
5. 米倉健太郎：ATL の皮膚病変に対するタルグレチンの有効性と安全性～国内第Ⅱ相試験の結果を中心に～．第 10 回日本 HTLV- 1 学会学術集会 アフタヌーンセミナー，2024 年 11 月 8 日，東京
6. 米倉健太郎：成人 T 細胞白血病リンパ腫（ATL）の治療と皮膚病変に対するタルグレチンの効果．第 88 回日本皮膚科学会東京支部学術大会 ランチョンセミナー 8，2024 年 11 月 16 日，東京
7. 米倉健太郎，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，二之宮謙次郎，田代幸恵：左母指 hybrid schwannoma/perineurioma の 1 例．第 198 回日本皮膚科学会鹿児島地方会，2024 年 12 月 1 日，鹿児島
8. 武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，米倉健太郎，島田祥子，石井文人，古賀浩嗣：高ラミニン 332 抗体陽性の類天疱瘡の 1 例．第 199 回日本皮膚科学会鹿児島地方会，2024 年 12 月 1 日，鹿児島
9. 米倉健太郎：A randomized, open-label, multicenter, 2-dose parallel-group, phase II study of bexarotene in patients with ATL (B-1801 study). 日本研究皮膚科学会第 49 回年次学術大会・総会 ランチョンセミナー 3，2024 年 12 月 6 日，名古屋

病理診断科

今村総合病院

<国内><共同発表>

1. 益満和人，田辺寛，田代幸恵，二之宮謙次郎，成尾知紀，椎葉忠恕，中嶋太極，米盛圭一，瀧川譲治，帆北修一，上之園芳一：集学的治療が奏功し腹腔鏡で切除し得た横行結腸癌脾臓転移の 1 例．第 49 回日本大腸肛門病学会九州地方会，2024 年 9 月 21 日，福岡
2. 宮園卓宜，藤野聡司，小田原淳，中野伸亮，徳永雅仁，田代幸恵，宇都宮與，伊藤能清：ATL 移植後の治療抵抗性急性 GVHD に対するヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注の当院における使用経験．第 10 回日本 HTLV- 1 学会学術集会，2024 年 11 月 8-10 日，東京
3. 徳永雅仁，米倉健太郎，藤野聡司，小田原淳，中野伸亮，宮園卓宜，田代幸恵，宇都宮與，伊藤能清：成人 T 細胞白血病／リンパ腫における新規薬剤の有効性．第 10 回日本 HTLV- 1 学会学術集会，2024 年 11 月 10 日，東京
4. 米倉健太郎，武田浩一郎，玉井真理子，佐藤浩子，二之宮謙次郎，田代幸恵：左母指 hybrid schwannoma/perineurioma の 1 例．第 198 回日本皮膚科学会鹿児島地方会，2024 年 12 月 1 日，鹿児島
5. 徳永雅仁，中野伸亮，藤野聡司，小田原淳，宮園卓宜，米倉健太郎，田代幸恵，宇都宮與，伊藤能清：成人 T 細胞白血病 - リンパ腫（ATL）に対する同種幹細胞移植の方針決定の流れ．第 47 回日本造血・免疫細胞療学会総会，2025 年 2 月 28 日，大阪
6. 宮園卓宜，藤野聡司，小田原淳，中野伸亮，徳永雅仁，田代幸恵，宇都宮與，伊藤能清：当院における再発・難治性多発性骨髄腫に対する同種造血幹細胞移植．第 47 回日本造血・免疫細胞療学会総会，2025 年 2 月 27 日 - 3 月 1 日，大阪
7. 宮園卓宜，藤野聡司，小田原淳，中野伸亮，徳永雅仁，田代幸恵，宇都宮與，伊藤能清：当院における再発・難治性多発性骨髄腫に対する同種造血幹細胞移植．第 47 回日本造血・免疫細胞療学会総会，2025 年 3 月 1 日，大阪

輸血管理部

今村総合病院

<国内>

1. 宮園卓宜：各地域の血液製剤の有効利用の実績と成果・これから ver.3 一皆で共有しよう！有効利用のためにー：本土から距離のある離島群における有効利用への取り組みと問題点。第 72 回日本輸血・細胞治療学会学術総会，2024 年 5 月 30 日 - 6 月 1 日，東京
2. 宮園卓宜：適正輸血を推進するための tips：内科における適正使用の TIPS。第 72 回日本輸血・細胞治療学会学術総会，2024 年 5 月 30 日 - 6 月 1 日，東京
3. 宮園卓宜，藤野聡司，小田原淳，中野伸亮，徳永雅仁，田代幸恵，宇都宮與，伊藤能清：ATL 移植後の治療抵抗性急性 GVHD に対するヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注の当院における使用経験。第 10 回日本 HTLV- 1 学会学術集会，2024 年 11 月 8-10 日，東京
4. 井上彩乃：RhD 陰性血輸血後に抗 D を産生した RhD 陰性患者症例。第 58 回日臨技九州支部医学検査学会 in 鹿児島，2024 年 11 月 9-10 日，鹿児島（Web）
5. 藤山裕輝，宮園卓宜，井上彩乃，川畑理月，平野美香，牧野桃子，小林果蓮，常盤光弘：当院における検査技師への輸血業務に対する再研修。日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第 71 回総会・第 92 回例会，2024 年 11 月 30 日，福岡
6. 藤山裕輝：造血幹細胞移植の実績と適切な血液製剤の選択。鹿児島臨床検査技師会第 6 回輸血細胞治療部門研修会，2025 年 2 月 22 日，鹿児島
7. 宮園卓宜，藤野聡司，小田原淳，中野伸亮，徳永雅仁，田代幸恵，宇都宮與，伊藤能清：当院における再発・難治性多発性骨髄腫に対する同種造血幹細胞移植。第 47 回日本造血・免疫細胞療学会学術総会，2025 年 2 月 27 日 - 3 月 1 日，大阪

<国内><共同発表>

1. 徳永雅仁，中野伸亮，藤野聡司，小田原淳，宮園卓宜，米倉健太郎，田代幸恵，宇都宮與，伊藤能清：成人 T 細胞白血病 - リンパ腫（ATL）に対する同種幹細胞移植の方針決定の流れ。第 47 回日本造血・免疫細胞療学会学術総会，2025 年 2 月 27 日 - 3 月 2 日，大阪

糖尿病内科

いづろ今村病院

<国内>

1. 新中須敦，久保徹，松崎かおり，楠元公士，小木曾和磨，有村愛子，橋口裕，出口尚寿，鎌田哲郎，西尾善彦：2 型糖尿病合併高脂血症患者におけるペマフィブラートによるリポタンパク詳細分画の変化と肝酵素・腎機能との関係（PARADISE in Kagoshima study 第 4 報）。第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会，2024 年 5 月 17-19 日，東京
2. 飯屋毅彦，新中須敦，向井舞，松下敬亮，田川理笑，大重聡彦，上久保定一郎，鎌田哲郎：当院で経験した糖尿病足病変患者で外科的治療により異なった経過を追った 2 例。第 62 回日本糖尿病学会九州地方会，2024 年 10 月 25-26 日，福岡
3. 松下敬亮，新中須敦，飯屋毅彦，向井舞，田川理笑，大重聡彦，上久保定一郎，鎌田哲郎：認知機能低下から自己注射困難となり簡便な治療に調整した高齢者 1 型糖尿病の 3 症例の検討。第 62 回日本糖尿病学会九州地方会，2024 年 10 月 25-26 日，福岡

脳神経内科

今村総合病院

<国内>

1. 青山真祐奈, 有水琢朗, 内村謙吾, 浜田恭輔, 神田直昭: 複視と失調で発症した脳幹梗塞の1例. 第348回日本内科学会九州地方会, 2025年1月25日, 福岡
2. 浜田恭輔: 石灰化塞栓子による主幹動脈閉塞に対して機械的血栓回収療法を施行した3症例. 第50回日本脳卒中学会学術集会, 2025年3月6-8日, 大阪

循環器内科

今村総合病院

<国内>

1. 肥後建樹郎, 伊比隆輔, 立志公史郎, 川畑孟子, 大石充: 無症候性卵巣静脈血栓症の1例. 第136回日本循環器学会九州地方会, 2024年6月29日, 鹿児島

消化器内科

今村総合病院

<国内>

1. 山口天慶, 軸屋賢一, 寺田朋, 寺田芳寛, 松岡慧, 井戸章雄: 精神発達遅滞を背景とした胃内異物及び小腸内異物による麻痺性イレウスに対し、保存的加療で軽快した内視鏡的異物除去とイレウスチューブにて治療し得た一例. 第123回日本消化器病学会九州支部例会 / 第117回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2024年6月21日, 北九州

<国内><共同発表>

1. 小田原成彬, 黒木咲花, 森聡志, 児玉弘毅, 樺山雅之, 伊集院翔, 中村義孝, 田口宏樹, 玉井努, 那須雄一郎, 堀剛, 坪内博仁, 井戸章雄: ループス腸炎を契機に診断に至ったSLEの一例. 第123回日本消化器病学会九州支部例会 / 第117回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2024年6月21日, 北九州
2. 秋元遥, 鯨島洋一, 庄彬亘, 田平悠二, 灰床裕介, 宮之前優香, 川平真知子, 田平悠二, 灰床裕介, 宮之前優香, 川平真知子, 柊元洋紀, 福田芳生, 松木田純香, 平峯靖也, 徳重浩一, 井戸章雄: 肝硬変の腹水コントロール中に下血したS状結腸癌切除術既往のある1例. 第123回日本消化器病学会九州支部例会 / 第117回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2024年6月21日, 北九州

スポーツ整形外科

今村総合病院

<国内>

1. 中條正英: 定量的骨SPECT/CTを用いた変形性膝関節症に対する術前疼痛評価の有用性. 第97回日本整形外科学会学術総会, 2024年5月23-26日, 福岡
2. 前園恵慈: 陸上競技選手の前十字靱帯断裂の疫学についての検討. 日本スポーツ整形外科学会2024(JSOA2024), 2024年9月12-13日, 東京
3. 中條正英: 高位脛骨骨切り術後1年での歩行変化. 第75回鹿児島整形外科集談会, 2024年11月9日, 鹿児島

4. 前園恵慈：陸上長距離選手に生じた仙骨疲労骨折の発生高位と進展様式の検討. 第 35 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2024 年 11 月 16-17 日, 新潟
5. 中條正英：高位脛骨骨切り術後 1 年での膝内反モーメントの減少と対側内反膝の下肢モーメント変化. 第 148 回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2024 年 12 月 21-22 日, 鹿児島
6. 海江田英泰, 前園恵慈, 福島佳織：鏡視下腱板修復術後の再断裂に関する因子について ～危険因子の保有数と再断裂率～. 第 148 回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2024 年 12 月 21-22 日, 鹿児島

< 国内 > < 共同発表 >

1. 吉田研吾, 海江田英泰, 白尾泰宏, 福島佳織：鏡視下腱板修復術後における再断裂と危険因子の保有数について. 第 51 回日本肩関節学会学術集会, 2024 年 10 月 25 日, 京都

膠原病・リウマチ内科

今村総合病院

< 国内 >

1. 上原夕季, 伊藤加菜絵, 大保舞, 市来征仁, 西垂水和隆：全身のリンパ節腫脹と紫斑で発症した超高齢発症 SLE の一例. 日本内科学会 第 347 回九州地方会, 2024 年 11 月 17 日, 熊本

小児科

今村総合病院

< 国内 >

1. 徳永美菜子, 溝田美智代：多臓器合併症を認めた萎縮性甲状腺炎の 7 歳女児. 第 185 回日本小児科学会鹿児島地方会, 2024 年 6 月 2 日, 鹿児島
2. 溝田美智代, 八重倉和朗：鹿児島市学校糖尿検診緊急システムの検討. 第 57 回日本小児内分泌学会, 2024 年 10 月 10-12 日, 横浜
3. 徳永美菜子, 溝田美智代：多臓器障害を合併した萎縮性甲状腺炎の 7 歳女児. 第 57 回日本小児内分泌学会, 2024 年 10 月 10-12 日, 横浜
4. 関祐子, 三浦希和子, 徳永美菜子, 柿本令奈, 森田智, 岡本康裕：二次性徴の欠如を契機に診断された Frasier 症候群の 12 歳女児例. 第 57 回日本小児内分泌学会, 2024 年 10 月 10-12 日, 横浜
5. 溝田美智代, 八重倉和朗, 森田智, 柿本令奈, 関祐子, 徳永美菜子：鹿児島市学校糖尿検診緊急システムの検討. 第 186 回日本小児科学会鹿児島地方会, 2024 年 10 月 20 日, 鹿児島
6. 溝田美智代, 八重倉和朗：鹿児島市学校糖尿検診緊急システムの検討. 第 55 回全国学校保健・学校医大会, 2024 年 11 月 9 日, 宮崎
7. 徳永美菜子, 溝田美智代：思春期早発症の精査で診断に至った Klinefelter 症候群の 10 歳男児. 第 8 回小児内分泌学会九州沖縄地方会, 2025 年 2 月 23 日, 福岡

< 国内 > < 共同発表 >

1. 堀口達史, 関祐子, 柿本令奈, 徳重沙樹, 加藤嘉一, 徳永美菜子, 森田智, 岡本康裕：多科連携により性別決定した卵巣巢性性分化疾患の 1 例. 第 97 回日本内分泌学会学術総会, 2024 年 6 月 6-8 日, 横浜
2. 山本幸代, 馬場常嘉, 木下栄一, 長谷川宏, 松本志郎, 峯苦ゆき子, 井原健二, 澤田浩武, 溝田美智代, 兼次拓也, 稲光毅：学校検尿によって新規に診断される糖尿病の現状と推移：九州沖縄地区としての連携の取り組み. 第 57 回

日本小児内分泌学会, 2024 年 10 月 10-12 日, 横浜

3. 山本幸代, 稲光毅, 馬場常嘉, 木下栄一, 長谷川宏, 松本志郎, 峯苦ゆき子, 井原健二, 澤田浩武, 溝田美智代, 兼次拓也: 学校健診での成長曲線活用の現状とこれから - 九州・沖縄地区における活用推進の取り組み -. 第 55 回全国学校保健・学校医大会, 2024 年 11 月 9 日, 宮崎
4. 山本幸代, 稲光毅, 馬場常嘉, 木下栄一, 長谷川宏, 松本志郎, 峯苦ゆき子, 井原健二, 澤田浩武, 溝田美智代, 兼次拓也: 学校検尿によって新規に診断される小児糖尿病の現状と推移 - 九州沖縄地区での検討について -. 第 55 回全国学校保健・学校医大会, 2024 年 11 月 9 日, 宮崎
5. 坂元沙樹, 徳永美菜子, 関祐子, 加藤嘉一, 柿元令奈, 森田智: 自閉症のために心因性多飲症と判断されていた中枢性尿崩症の 15 歳男子. 鹿児島小児内分泌研究会, 2024 年 11 月 9 日, 鹿児島
6. 坂元沙樹, 徳永美菜子, 関祐子, 加藤嘉一, 柿元令奈, 森田智: 自閉症のために心因性多飲症と判断されていた中枢性尿崩症の 15 歳男子. 鹿児島下垂体疾患セミナー, 2025 年 1 月 17 日, 鹿児島

眼科

今村総合病院

< 国内 >

1. 久保田三義: プリザーフロマイクロシャント挿入術後に悪性緑内障を発症した一例. 第 94 回九州眼科学会, 2024 年 5 月 24 日, 熊本

脳神経外科

今村総合病院

< 国際 >

1. Yatsushiro K: Fractionated radiosurgery with Gamma Knife ICON for the treatment of large metastatic brain tumors. 16th International Stereotactic Radiosurgery Society Congress, 12-15 May 2024, New York City, USA

< 国内 >

1. 竹原雅宣, 樋渡貴昭, 田實謙一郎, 増田圭亮, 槐島健太郎, 中藺俊博, 岩元博史, 花谷亮典: 脳室腹腔シャント術後 26 年経過し細菌性髄膜炎を繰り返したことで判明したシャントチューブが小腸内に迷入した 1 例. 第 147 回日本脳神経外科学会九州支部会, 2024 年 6 月 1 日, 鹿児島
2. 渋谷望美: 頭位性斜頭に対するヘルメット治療の成績. 第 52 回日本小児神経外科学会, 2024 年 6 月 7 - 8 日, 富山
3. 竹原雅宣: 細菌性髄膜炎を繰り返した脳室腹腔シャントチューブが小腸内に迷入した 1 例. 第 26 回日本正常圧水頭症学会学術集会, 2025 年 2 月 8 - 9 日, 東京

緩和ケア内科

いづろ今村病院

< 国内 >

1. 米田孝一, 原田尚毅, 新堂友梨, 田苗愛理, 岩坪博子, 平石敬美, 有村智子, 植木真樹子, 松下格司: 脾臓癌肺転移、がん性胸膜炎に伴う大量の胸水貯留に対してほぼ毎週、胸水を排液する事により 1 年程度の自宅療養を支えた症例. 第 29 回日本緩和医療学会学術大会, 2024 年 6 月 14 日, 神戸
2. 米田孝一, 松下格司, 原田尚毅, 瀧川譲治, 時任大吾, 内大久保恵, 岩坪博子, 白澤美穂, 有村智子: 癌関連膿瘍

へのドレナージと人生のトラウマへの精神療法によりトータルペインを緩和することのできた大腸癌症例. 第 29 回
日本緩和医療学会学術大会, 2024 年 6 月 14 日, 神戸

健康管理センター

いづろ今村病院

<国内>

1. 久保田敬子, 緒方三千恵, 内田久美子, 吉福士郎:動脈硬化の検査で労作性狭心症の診断・治療に結びついた 1 症例.
第 65 回日本人間ドック・予防医療学会学術大会, 2024 年 9 月 6 - 7 日, 横浜

かごしまオハナクリニック

<国内>

1. 横山大輔: シンポジウム『誰ひとり取り残さない専門研修支援を考える』. 第 15 回日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会, 2024 年 6 月 8 - 9 日, 静岡 (Web)
2. 横山大輔: KOPe100 回記念. 日本プライマリ・ケア連合学会第 19 回九州支部総会・学術大会, 2025 年 1 月 12 日,
福岡

以上 診療部

看護部門

今村総合病院

<国際>

1. Tokuda K: Experience sharing from Japan ~ Puncture education for vascular access ~ Speaker. Subject:
Invitation for Virtual Talk at AVF Care Workshop – 2025, 23 March 2025, Gurgaon, India(Web)

<国内>

1. 中村倫丈, 小濱奈々, 平川あゆみ, 西垂水和隆: 当院の Rapid Response System (RRS) 導入後の経過と課題. 第
28 回日本救急医学会九州地方会, 2024 年 6 月 15 日, 鹿児島
2. 鰐坂いつみ: 患者情報の一元化と共有化を目指して. 第 26 回日本医療マネジメント学会, 2024 年 6 月 21-22 日, 福岡
3. 池田清夏, 井手扶紗, 上山りえ, 尾方智恵子, 小村友子, 吉森みゆき, 中谷明実: 尿道カテーテル関連尿路感染症
予防のための抜去プロトコル導入. 第 26 回日本医療マネジメント学会, 2024 年 6 月 21-22 日, 福岡
4. 小村友子, 尾方智恵子, 上山りえ, 池田清夏, 吉森みゆき, 中谷明実: 内服薬確認の標準化と統一に向けた取り組み.
第 26 回日本医療マネジメント学会, 2024 年 6 月 21-22 日, 福岡
5. 吉森みゆき: 特定行為研修修了者の現状と課題. 第 26 回日本医療マネジメント学会, 2024 年 6 月 21-22 日, 福岡
6. 嘉村早苗, 中村倫丈, 上野志織: 当院 ICU における特定行為の実態調査. 第 20 回日本クリティカルケア看護学会
学術集会, 2024 年 6 月 22-23 日, 沖縄
7. 仲武勇斗, 菅原智恵, 稲森さくら, 中村倫丈, 福留由香利, 嘉村早苗: 当院 ICU における皮膚トラブル発生の実態
調査. 第 20 回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 2024 年 6 月 22-23 日, 沖縄
8. 平川あゆみ: これからの災害支援・災害看護について 1) 日本医師会災害医療チーム (JMAT) 活動報告 鹿児島
県から第 1 陣として派遣された際の活動報告. 鹿児島救急医学会第 52 回看護部会学術集会, 2024 年 9 月 14 日, 鹿
児島
9. 徳田勝哉: VA に対するデータと看護 (シンポジウム). 第 28 回日本透析アクセス医学会学術集会・総会, 2024 年
10 月 5 - 6 日, 京都

10. 徳田勝哉：Patient-centered standard outcome の看護師の役割. 第 30 回日本血液透析濾過医学会学術集会, 2024 年 11 月 3 日, 長崎
11. 徳田勝哉:VA 看護スコアシートを活用した看護介入の 1 例. 第 27 回日本腎不全看護学会学術集会, 2024 年 11 月 10 日, 富山
12. 徳田勝哉：生活目標と SDM Life Targets Making ; LTM & Shared Decision Making ; SDM (シンポジウム). 第 30 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2024 年 11 月 10 日, 福岡
13. 上山りえ：患者情報の一元化と共有化を目指して. 日本医療マネジメント学会 第 21 回九州・山口連合大会, 2024 年 12 月 6 日, 佐賀
14. 池田清夏, 井手扶紗, 上山りえ, 尾方智恵子, 小村友子, 吉森みゆき：尿道カテーテル関連尿路感染症予防のための抜去プロトコル導入. 日本医療マネジメント学会 第 21 回九州・山口連合大会, 2024 年 12 月 6 日, 佐賀
15. 尾方智恵子:内服薬確認の標準化と統一に向けた取り組み. 日本医療マネジメント学会 第 21 回九州・山口連合大会, 2024 年 12 月 6 日, 佐賀
16. 吉森みゆき：特定行為研修修了者の現状と課題. 日本医療マネジメント学会 第 21 回九州・山口連合大会, 2024 年 12 月 6 日, 佐賀
17. 谷村利行:周術期病棟における当院の特定看護師の活動と見えてきた課題. 日本医療マネジメント学会 第 21 回九州・山口連合大会, 2024 年 12 月 6 日, 佐賀
18. 池田清夏, 井手扶紗, 上山りえ, 尾方智恵子, 小村友子, 吉森みゆき:尿道留置カテーテル管理の適正化への取り組み. 日本医療マネジメント学会 第 21 回九州・山口連合大会, 2024 年 12 月 6 日, 佐賀
19. 尾方智恵子, 小村友子, 上山りえ, 池田清夏, 井手扶紗, 吉森みゆき, 中谷明実:内服フローの活用と定着～シングルチェックへの現状と課題～. 日本医療マネジメント学会 第 21 回九州・山口連合大会, 2024 年 12 月 6 日, 佐賀
20. 大久保珠里：フットケア実技広場（演者）. 第 6 回日本フットケア・足病医学会 九州・沖縄地方会学術集会, 2025 年 2 月 8-9 日, 鹿児島
21. 永田衣里, 徳満莉奈, 南由希美, 上山りえ：同種造血幹細胞移植後に再発し、再移植となった事例の分析～意思決定に至るまでの患者の背景と問い～. 第 47 回日本造血・免疫細胞療学会総会, 2025 年 2 月 28 日, 大阪
22. 中村倫丈, 越口晋伍, 嘉村早苗, 小濱奈々, 平川あゆみ, 西垂水和睦：RRS 導入後の経過を振り返る -障壁にハシゴをかける-. 第 52 回日本集中治療医学会学術集会, 2025 年 3 月 14-16 日, 福岡
23. 越口晋伍：RRS 導入後の経過を振り返る. 第 52 回日本集中治療医学会学術集会, 2025 年 3 月 14-15 日, 福岡
24. 中村倫丈, 高嶺あゆみ, 嘉村早苗：当院 ICU の災害対策初めの一歩 -アクションカードの活用に向けての取り組み-. 第 52 回日本集中治療医学会学術集会, 2025 年 3 月 14-16 日, 福岡
25. 高嶺あゆみ:ICU における災害対策に関する取り組み. 第 52 回日本集中治療医学会学術集会, 2025 年 3 月 14-15 日, 福岡
26. 渡邊喜代美, 上荒磯ひとみ：自宅で行える運動療法の周知・実践を目指して～透析センター公式 LINE を用いた運動配信～. 第 15 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2025 年 3 月 15-16 日, 横浜
27. 徳田勝哉：「元気臨床」 良い組織には 8 つの「遊び」が必要 !!. 第 4 回日本臨床腎臓病看護学会学術集会, 2025 年 3 月 22 日, 福岡
28. 徳田勝哉：患者のための VA 穿刺と VA 看護～ DANTE. 第 22 回日本インターベンショナルネフロロジー学会学術集会, 2025 年 3 月 29 日, 静岡

いづろ今村病院

<国内>

1. 中窪尊子：家族で紡ぐ亡き母の想い. 第 47 回日本死の臨床研究会年次大会, 2024 年 10 月 12 日, 札幌
2. 今井朋子：途切れない緩和ケアのために 病院と在宅の連携について. 第 47 回日本死の臨床研究会年次大会, 2024

年 10 月 12-13 日, 札幌

3. 宮内智美, 宮田美穂, 池上いずみ: 経鼻内視鏡検査を増加するための取り組み ～人間ドック受検者への普及を試みて～. 第 86 回九州消化器内視鏡技師学会, 2024 年 11 月 16 日, 鹿児島
4. 有村智美, 田中美奈子, 櫻井雅子: 多職種で充実させる看護計画の実践. 日本医療マネジメント学会 第 21 回九州・山口連合大会, 2024 年 12 月 6-7 日, 佐賀

谷山病院

<国内>

1. 葛和麻美, 福島愛: 新型コロナウイルス感染症患者の身体拘束と看護師の意識調査. 日本精神科看護学会, 2024 年 6 月 28 日, 熊本
2. 福盛衣真, 田中聖将, 三好久美子, 福島愛: 精神科病院における新型コロナウイルス感染症患者受け入れから得た学び. 日本精神科看護協会鹿児島県支部看護研究発表会, 2024 年 10 月 19 日, 鹿児島
3. 児玉智子, 山下美希: 精神科慢性期病棟で勤務する看護師の患者家族に対する思いの変化 患者家族へ定期連絡を行って. 日本精神科看護協会鹿児島県支部看護研究発表会, 2024 年 10 月 19 日, 鹿児島

奄美病院

<国内>

1. 肥後友嘉: 飲水量の自己調節の意識づけをはかる取り組みートークンエコノミー法を活用してー. 第 31 回日本精神科看護専門学会 in 山口県, 2024 年 10 月 26-27 日, 山口
2. 川畑美由紀, 榮明葉: アロマテラピーを活用した食事療法ーブラックペッパー香料を活用した食欲増進への取り組み. 第 31 回日本精神科看護専門学会 in 山口県, 2024 年 10 月 26-27 日, 山口

リハビリテーション部門

今村総合病院 理学療法士(一般総合)

<国内>

1. 武清孝弘, 堂園浩一朗, 岡村敏之, 中島徳久, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清, 宇都宮興: ATL 患者における同種造血幹細胞移植後の身体機能・筋肉量回復 - 急性白血病との比較 -. 第 10 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2024 年 11 月 8-10 日, 東京
2. 武清孝弘, 堂園浩一朗, 奈良聡一郎, 吉田一成, 堂園充代, 下山秀一郎, 中島徳久, 藤野聡司, 小田原淳, 徳永雅仁, 中野伸亮, 宮園卓宜, 伊藤能清, 宇都宮興: 同種造血幹細胞移植を 2 回受けた患者の移植前後の身体機能変化. 第 47 回日本造血・免疫細胞療法学会, 2025 年 2 月 27 日 - 3 月 1 日, 大阪

今村総合病院 理学療法士(スポーツ整形)

<国内>

1. 迫田彩夏, 白尾泰宏, 福島佳織: 女性における膝前十字靱帯再建術後 8 ヶ月における WBI に関連する因子について. 第 10 回日本メンズヘルス・ウィメンズヘルス理学療法学会学術大会, 2024 年 10 月 19 日, 川崎
2. 吉田研吾, 海江田英泰, 福島佳織: 鏡視下腱板修復術後の再断裂と危険因子の保有数について. 第 51 回日本肩関節学会, 2024 年 10 月 25 日, 京都
3. 迫田彩夏, 轟原与織, 多田克史, 白尾泰宏, 福島佳織: 足部トレーニングによる膝前十字靱帯再建術後の足部アライメントと歩行の変化. 第 11 回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2025 年 1 月 25 日, 横浜
4. 轟原与織, 吉田研吾, 白尾泰宏, 海江田英泰: 高校野球投手に対する肩肘検診 - 投球障害の有無と関節可動域について -. 第 11 回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2025 年 1 月 25 日, 横浜

第 11 回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2025 年 1 月 26 日, 横浜

5. 轟原与織, 吉田研吾, 岡弥津希, 白尾泰宏, 海江田英泰: 鹿児島県内の高校野球部に所属する投手を対象とした肩肘検診の結果報告. 第 38 回鹿児島県理学療法学会, 2025 年 2 月 9 日, 鹿児島

今村総合病院 作業療法士

<国内>

1. 門田良子, 村田耕一, 鯨島悠子, 浜田香穂麗: 日本初! ? 片手でも髪を結べる簡単な自助具ができた! . 第 58 回日本作業療法学会, 2024 年 11 月 9-10 日, 札幌
2. 村田耕一, 門田良子, 桑野大介, 若松藍: キャリア開発ラダーの作成と運用により期待されること. 第 58 回日本作業療法学会, 2024 年 11 月 9-10 日, 札幌

今村総合病院 言語聴覚士

<国内>

1. 鯨島悠子: 言語聴覚士が在籍しない医療機関における嚥下リハビリテーションへの支援. 第 25 回日本言語聴覚学会, 2024 年 6 月 21-22 日, 神戸
2. 田中光: 皮膚筋炎による嚥下障害へのアプローチ. 第 25 回日本言語聴覚学会, 2024 年 6 月 21-23 日, 神戸
3. 福元麻衣: 表出面に重度の障害を持つ患者に対して拡大代替コミュニケーションを導入し「活動」～「参加」を中心に検討した一例. 第 25 回日本言語聴覚学会, 2024 年 6 月 21-24 日, 神戸
4. 岡元芽育: アウェアネス向上により主訴が具体化し訓練意欲が変容した一症例. 第 13 回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会鹿児島大会, 2025 年 3 月 22-23 日, 鹿児島

谷山病院 作業療法士

<国内>

1. 中山陽平: 精神科認知症治療病棟の認知障害高齢者に対するパーソン・センタード・ケアの実践. 第 33 回鹿児島県作業療法学会, 2024 年 9 月 8 日, 鹿児島

愛と結の街 理学療法士

<国内>

1. 有蘭大紀, 村井真由美, 原田良二, 安森潤子, 原口悦江: 多職種連携による生産性向上の取り組み ～フロア業務と送迎の検討～. 第 23 回九州ブロック介護老人保健施設大会, 2024 年 7 月 11-12 日, 宮崎

愛と結の街 作業療法士

<国内>

1. 宮田雅士: 当施設の地域貢献活動について～現状と課題～. 第 29 回鹿児島県老人保健施設大会, 2025 年 2 月 19 日, 鹿児島

愛と結の街 言語聴覚士

<国内>

1. 寺尾香織, 大脇万喜, 川崎友義: グループホームとの連携と今後の課題～よりよい食支援に繋げるために～. 第 35 回全国介護老人保健施設大会岐阜, 2024 年 11 月 14-15 日, 岐阜

薬剤部門

今村総合病院

<国内>

1. 堀口大輔, 橋本直美, 鬼丸俊司: 大腸がん化学療法におけるペバシズマブ + トリフルリジン / チピラシル療法の治療成績と薬剤師の介入効果. 第14回日本臨床腫瘍薬学会 学術大会 2025, 2025年3月15-16日, 横浜
2. 橋本直美, 堀口大輔, 鬼丸俊司: がん薬物療法時のインシデント・アクシデントに対する薬剤師の介入の重要性 (血管外漏出対応を中心に). 第14回日本臨床腫瘍薬学会 学術大会 2025, 2025年3月15-16日, 横浜

いづろ今村病院

<国内>

1. 田原七海, 遠矢素子, 古澤夕紀子, 東屋敷史織, 東條知子, 内山ゆかり, 神門孝典: インスリンボール発現患者への教育介入により血糖コントロール改善を認めた症例について. 第83回九州山口薬学大会, 2024年10月13日, 鹿児島
2. 遠矢素子, 東屋敷史織, 古澤夕紀子, 内山ゆかり, 東條知子, 田原七海, 松山淳史, 神門孝典: イメグリミンの効果・安全性に関する検討. 第8回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2025年2月16日, 鹿児島

谷山病院

<国内>

1. 稲森志織, 染川考佑, 四本晶子, 新留亜希子, 永井未仁, 長曾我部翔, 新村味穂子, 吉永浩之: クロザピン服用患者に対する薬剤師の介入効果. 第83回九州山口薬学大会, 2024年10月13-14日, 鹿児島
2. 新留亜希子, 新村味穂子, 四本晶子, 染川考佑, 永井未仁, 長曾我部翔, 青崎春菜, 神門孝典, 吉永浩之: 谷山病院における持続性注射 (LAI) に対する取り組み. 第8回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2025年2月16日, 鹿児島

画像診断 / 放射線治療部門

今村総合病院

<国内>

1. Ichiki M, Ozawa S, Makino T, Takayama D, Tsuru S, Nakata Y, Megumi T: Analysis of beam control in different delivery modes with High-Speed Plastic Scintillator Detector. 第127回日本医学物理学学会学術集会, 2024年4月11-14日, 横浜
2. 馬場隆行: 角度計測テンプレートと補助具を活用した高精度手関節 TRUE LAT 撮影法. 鹿児島県診療放射線技師会 令和6年度春季学術大会, 2024年6月16日, 鹿児島
3. 馬場隆行, 中馬修平, 福田萌乃, 松元遥, 下茂大輝, 上川翔美, 小林晃也, 蓑田辰則: X線撮影を受ける幼児へのプレパレーションの取り組み: マッピングシートを活用したディストラクションの実際. 第1回日本放射線医療技術学術大会, 2024年10月31日 - 11月3日, 沖縄県宜野湾市 (Web)

いづろ今村病院

<国内>

1. 脇田慎一: 当院における静脈路確保業務への取り組み. 第19回九州放射線医療技術学術大会, 2024年12月21-22日, 宮崎

臨床検査部門

今村総合病院

<国内>

1. 炭谷一行：当院におけるファブリー病検査の現状. 第58回日臨技九州支部医学検査学会 in 鹿児島, 2024年11月9-10日, 鹿児島(Web)
2. 井上彩乃:RhD陰性血輸血後に抗Dを産生したRhD陰性患者症例. 第58回日臨技九州支部医学検査学会 in 鹿児島, 2024年11月9-10日, 鹿児島(Web)
3. 藤山裕輝：当院における日当直スタッフへの輸血業務再教育と支援体制について. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第71回総会・第92回例会, 2024年11月30日, 福岡
4. 藤山裕輝：造血幹細胞移植の実際と適切な血液製剤の選択. 鹿児島臨床検査技師会第6回輸血細胞治療部門研修会, 2025年2月22日, 鹿児島

臨床工学部門

今村総合病院

<国内>

1. 中鶴良登, 竹之内聖三, 田淵智久, 中村英仁, 坂口政人：ビタミンE固定化膜使用前後での栄養状態の比較. 第69回日本透析医学会学術集会・総会, 2024年6月7-9日, 横浜

栄養管理部門

いづろ今村病院

<国内>

1. 萬福有理, 内田紗弥, 下野真央, 中園智美, 植祐美, 藏元まどか, 濱崎静夏：食事ガイドライン改訂後での高齢者糖尿病患者の栄養評価とBMI別評価（外来栄養指導の聞き取り情報から）. 第67回日本糖尿病学会年次学術集会, 2024年5月17-19日, 東京

ソーシャルワーカー部門

谷山病院

<国内>

1. 別府千尋：鹿児島市における認知症疾患医療センターの活動と今後の課題. 第59回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会, 2024年9月28日, 姫路

奄美病院

<国内>

1. 西牟田智子, 森越志保：認知症支援の啓発「しまロバ隊」で鹿児島をオレンジに染める～SNSやオンラインツールで離島の距離的ハンデを強みに変えて～. 第25回日本認知症ケア学会, 2024年6月15日, 東京
2. 西牟田智子, 濱平真維：認知症企画展しまロバ隊～SNSを活用した合同展示で鹿児島の離島をオレンジに染める. 第59回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会, 2024年9月28日, 姫路

事務部門

今村総合病院 事務部

<国内>

1. 鈴木大輔：高齢化が進む地域コミュニティとの包括連携協定について－人材確保が困難な時代における地域との支え合い－. 全国病院経営管理学会 第59回大会, 2024年11月15日, 東京

今村総合病院 診療情報管理室

<国内>

1. 前田雄介：重症度、医療・看護必要度を用いた転倒転落リスク因子の検討. 第50回日本診療情報管理学会学術大会, 2024年8月22-23日, 福岡

今村総合病院 医師事務補助課

<国内>

1. 溝口天馬：泌尿器科退院時サマリー代行業務におけるマニュアル作成とダブルチェックの重要性. 日本医師事務作業補助者協会第13回全国学術集会, 2024年10月20日, 東京

鹿児島中央看護専門学校

<国内>

1. 大磯陽子, 中村栄子：A校学生の臨地実習における社会人基礎力の変化と属性による特徴～看護基礎教育での社会人基礎力育成に向けて（第1報）. 第36回日本看護学校協議会学会, 2024年8月1-2日, 名古屋

【第4回慈愛会学会学術集会】

2024年7月27日 カクイックス（かごしま県民）交流センター

（所属・氏名は抄録に基づく）

＜パネルディスカッション＞

Jiaikai2040 未来を先取りする創造力を

コーディネーター：今村総合病院 院長 常盤光弘

パネリスト：法人事業本部 事務員 今村英香，ニプロ株式会社 メディカル営業本部 平山拓三先生，今村総合病院 データマネジメント室 室長 福康浩，奄美病院 業務課長 碩弘一朗，かごしまオハナクリニック 院長 林恒存

＜口演＞

第Ⅰセッション

1. 今村総合病院 看護師 室屋朗子，上山りえ，鯉坂いつみ，吉森みゆき，中谷明実：患者情報の一元化と共有化を目指して～看護記録の現状と課題～
2. 今村総合病院 看護師 田中ひとみ，別府恵，池田玲香：入退院支援センターで支援を受けた患者・家族への満足度調査
3. 地域活動支援センターひだまり 精神保健福祉士 佐澤佳史朗：地域活動支援センター事業における現状と今後の課題～TQM 活動を通して見えた地域を巻き込んだ今後の事業展開について～ ＊口演発表奨励賞
4. 谷山病院 作業療法士 川井田翔悟，東泊由紀，松元咲絵，迎雄作：当院精神科デイケアの運動プログラムに関する報告～参加者主体で作るプログラム～
5. 谷山病院 看護師 藤元美枝子，上敷領あゆみ，春成宏美，有木攻，内田宏貴：精神科病院での対面会再開への取り組み
6. 社会福祉法人慈愛会 幼保連携型認定こども園 おひさまこども園 看護師 稲盛なおみ，保育教諭 若松幸夏，濱島百花，福留恵美，中川美恵子，竹内香代子：医療的ケア児受け入れの取り組み～質問紙調査から見えてきた課題～

第Ⅱセッション

1. いづろ今村病院 薬剤師 東屋敷史織，遠矢素子，医師 生駒今日子，大井秀久，看護師 盛岡沙織，山元優佳子，管理栄養士 中蘭智美，理学療法士 西賢一郎，公認心理士 片山秀実，クラーク 星田幸子，社会福祉士 南尚江：いづろ今村病院 IBD チームの活動について～症例を通して見えてきた課題～
2. いづろ今村病院 医師 生駒今日子，大井秀久，時任大吾：潰瘍性大腸炎に対するタクロリムス用量調整法についての検討
3. 今村総合病院 医師 福島佳織，前園恵慈，上蘭直弘，海江田英泰：当院における関節鏡下前十字靱帯再建術の変遷と臨床成績 ＊口演発表最優秀賞
4. 今村総合病院 看護師 野元海輝，山本朱音，馬込愛香，桑野恵理子，川崎由衣，井手扶紗：術前オリエンテーションの統一化とその効果～オリエンテーションのパンフレット作成と指導～ ＊今村節子賞
5. 今村総合病院 看護師 井手扶紗，池田清香，上山りえ，尾方智恵子，小村友子，吉森みゆき，医師 西垂水和睦：尿道留置カテーテル関連尿路感染症予防のための抜去プロトコル導入（第1報）～看護師の抜去に対する意識調査～
6. 今村総合病院 看護師 上山りえ，尾方智恵子，小村友子，池田清香，井手扶紗，吉森みゆき，薬剤師 橋本直美：内服薬確認の標準化と統一に向けた取組（第一報）

第Ⅲセッション

1. 社会福祉法人慈愛会 きずな保育園 保育士 帖佐智子：慈愛の保育の実践～多様性（国の違い）を認め合う保育～
*口演発表奨励賞
2. 鹿児島中央看護専門学校 専任教員 大磯陽子, 中村栄子：本校学生の実習過程における社会人基礎力の変化と属性による特徴～看護基礎教育での社会人基礎力育成に向けて（第1報）～ *口演発表奨励賞
3. 今村総合病院 看護師 松山日実子, 松山郁子：臨床看護教員の配置による効果～新人看護師の不安の軽減と離職率低下の一助になりえたか～
4. いづろ今村病院 看護師 平石敬美, 今村総合病院 看護師 松山郁子, 谷山病院 看護師 伊地知綾美, 法人事業本部 看護師 吉原章子, 木佐貫涼子：中途採用看護職員支援プログラムの改訂～キャリアアップし働き続けられるための支援強化～ *口演発表奨励賞
5. 今村総合病院 事務員 松ヶ野佳子, 福留亮：初期臨床研修医 コメディカル研修の報告について
6. 慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト委員会 法人事業本部 医師 帆北修一：慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクトについて

第Ⅳセッション

1. いづろ今村病院 薬剤師 田原七海, 神門孝典, 内山ゆかり, 東條知子, 東屋敷史織, 古澤夕紀子, 遠矢素子：インスリンボールの影響により血糖コントロール不良を認めた症例について *特別賞
2. 今村総合病院 医師 肥後建樹郎, 伊比隆輔, 立志公史郎, 川畑孟子, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医師 大石充：Diffusion-weighted Whole body Imaging with Background Suppression(DWIBS) で血管炎症を可視化し得た2 症例の報告
3. 今村総合病院 医師 武田浩一郎, 玉井真理子, いづろ今村病院 医師 川上延代, 今村総合病院 医師 佐藤浩子, 米倉健太郎：当院における水疱性類天疱瘡の治療
4. 今村総合病院 看護師 吉森みゆき, 嘉村早苗, 上山テルヨ, 中谷明実, 医師 西垂水和隆：今村総合病院における特定行為研修修了者の現状と課題 *口演発表優秀賞
5. 今村総合病院 看護師 横峯日和, 新原優季, 内野夢羽, 加藤めぐみ, 室屋朗子：ER に一晩入室する患者の睡眠を阻害する環境因子の実態調査
6. 今村総合病院 看護師 宮脇茜, 大原麻央, 西俣香歩, 中村貴子：術後訪問実施の定着化に向けた取り組み～看護を語る会を通じたスタッフの意識の変化～

第Ⅴセッション

1. 今村総合病院 臨床検査技師 宮原加奈子, 新村泰子, 轟木泰代, 長崎佳菜子, 野元将太郎, 南蘭輝, 事務員 楫野雪子：クラスⅡ安全キャビネットの導入及び運用について
2. 今村総合病院 薬剤師 鬼丸俊司, 松山淳史, 橋本直美：冷所保管医薬品の在庫管理運用
3. 今村総合病院 臨床工学技士 井上元紀, 木場菜月希, 神ノ川喬伍, 松田歩美, 今村莉那, 看護師 渡邊喜代美, 上荒磯ひとみ, 川元みつ子：当院での透析患者向けコミュニケーションアプリの活用について
4. かごしまオハナクリニック 事務員 木原翔：デジタル化推進による恩恵と課題～訪問診療スケジュール管理ソフト導入による業務改善への挑戦～ *口演発表優秀賞
5. 今村総合病院 事務員 池田祐太：RPA(Robotic Process Automation) の活用による業務改善 *口演発表奨励賞
6. 今村総合病院 事務員 佐々木大輔, 池田祐太：EXCEL を活用した低コストでの集計業務の負担軽減 *口演発表優秀賞

＜ポスター＞

1. グループホームしらゆりの郷 介護福祉士 護摩所孝, 精神保健福祉士 満窪圭吾, 看護師 深瀬美鶴: 長期入院患者が退院後に地域で生活をするために～不安に寄り添う生活支援～
2. 奄美病院 精神保健福祉士 吉村あゆみ, 有村美幸, 看護師 中村美千代, 上原匡史: 長期入院者の退院支援へ向けた取り組み～病院在宅連携委員会での実践を通して～
3. 谷山病院 作業療法士 瀧迫なる光: 退院への不安が強い長期入院患者に対する支援～退院準備プログラムを通して患者の悩みを知る～ ***ポスター発表優秀賞**
4. 今村総合病院 理学療法士 本室勝彦, 高麗町クリニック 理学療法士 西村允宏, 永田祥吾, 医師 木原浩一: 訪問リハビリテーションからみた施設間連携について～在宅生活の維持につなげる情報共有の方法～ ***ポスター発表優秀賞**
5. いづろ今村病院 診療放射線技師 下田知佳, 白石真樹, 前田麗安, 徳永遥佳, 尾上弥生, 脇田慎一: マンモグラフィ検診に対する意識調査
6. 今村総合病院 診療放射線技師 西田崇友, 川上真司, 榊大樹, 吉見敦, 恵智徳: 造影 CT 時の適切な静脈路確保について ***ポスター発表優秀賞**
7. 今村総合病院 臨床検査技師 炭谷一行: 当院におけるファブリー病検査の現状～尿検査の視点から～ ***ポスター発表最優秀賞**
8. 今村総合病院 診療放射線技師 小林晃也, 松元遥, 下茂大輝, 上川翔美, 蓑田辰則, 馬場隆行: 膝関節正面 X 線撮影における脛骨上関節面の double plateau 解消と定量化
9. 今村総合病院 看護師 吉岡映吏子, 川尻美緒, 萩志穂, 池田清夏: 急性期病棟における身体拘束の解除に成功した事例の実態調査
10. 今村総合病院 看護師 萩原千聖, 飯田ひかり, 永池結菜, 深川友里, 上山りえ: 同種移植患者のイメージ相違に関する実態調査
11. いづろ今村病院 看護師 牧大空海, 検見崎統矢, 盛岡沙織, 林和宏, 岩切郁美: セン妄に対する看護師の意識調査～カンファレンスによるせん妄への意識変化～
12. いづろ今村病院 看護師 岩坪博子, 内大久保恵, 徳永真凜, 有村智子: 緩和ケア病棟におけるプライマリナーズとしての意識調査～ホワイトボードを活用した取り組み～
13. 今村総合病院 看護師 恵真紀, 中谷明実, ナースエイド 梶智子, 事務員 前田亮介, 福留亮: 入院セット導入の効果
14. 今村総合病院 診療情報管理士 牧原尚紀, 事務員 登美奈子: 業務フロー活用事例の報告～院内の業務改善をめざして～ ***ポスター発表優秀賞**
15. 介護老人保健施設愛と結の街 介護福祉士 坂野初代, 海平由起子, 徳謙志郎, 切田諒, 山添裕美, 永井智喜, 看護師 福元利英: 利用者のケアをみんなで支える～業務改善を実施して～ ***ポスター発表優秀賞**
16. 谷山病院 介護福祉士 満富陽子, 大茂千鶴, 看護師 坂口純也: 入浴業務の負担軽減の取り組み～QC 活動での取り組み～
17. 谷山病院 看護師 永田里沙, 石塚貴志, 上之園晴夫, 上米良豊: 精神科病院における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に対応した看護師の心理的ストレス
18. 今村総合病院 事務員 日高奈津美: 皮膚科医師事務作業補助者業務～2 人体制確立への道～
19. いづろ今村病院 クラーク 堂前成絵, 田中智子, 金井真紀, 事務員 今藺美保, 医師 鎌田哲郎, 新中須敦: 糖尿病専門外来におけるクラークの役割
20. 今村総合病院 診療情報管理士 濱村寿明, 森里子, 田中真帆, 前田雄介: 入院診療計画書の量的監査を実施して
21. いづろ今村病院 看護師 茅場由香, 假屋敬子, 柳井谷みさき, 遠矢良江, 大野ひとみ, 尾堂ゆかり: 動画を使用した眼科術前オリエンテーション導入の取り組み～充実した術前訪問をめざして～

22. 今村総合病院 理学療法士 津曲麻美, 納村千夏, 瀬戸口綾子, 浜田香穂麗: 当院の産前産後リハビリテーションの取り組み *ポスター発表奨励賞
23. いづろ今村病院 臨床検査技師 飯谷弘美, 白田歩実, 紺屋仁: 輸血管理システムの新規導入による成果
24. 今村総合病院 臨床工学技士 松元彰洋, 坂口政人, 越智秀美, 原康隆, 高岡大: 点検サポートツールを導入して得られた知見や見えてきた今後の課題
25. デイサービスセンターあしたの風 看護師 徳田めぐみ, 介護福祉士 前屋敷さよ子: 「Let's! 脳トレ」～MMSEから見えてくる効果～
26. 谷山病院 作業療法士 中屋みつぎ: 活動性の低かった症例への取り組み～活動性の向上を目指して～
27. 徳之島病院 看護師 桑水流裕介, 眞形昌悟, 秋丸明日香, 作業療法士 古田慎吾: 行動制限最小化と向き合う離島精神科看護～身体拘束が長期化する患者への取り組み～ *ポスター発表奨励賞
28. いづろ今村病院 言語聴覚士 松元潤: 当院緩和ケア病棟における不顕性誤嚥スクリーニング検査の陽性率および咳反射惹起時間の特徴～セレネースまたはミダゾラムを投与した群と非投与群の比較～
29. いづろ今村病院 事務員 中武知史, 森太一: 今すぐに出来るコスト削減 *ポスター発表奨励賞
30. 谷山病院 看護師 鵜狩功一, 橋口めぐみ: 軟膏の管理方法の見直しでムダを減らす取り組み
31. 谷山病院 薬剤師 永井未仁, 四本晶子, 染川考佑, 稲森志織, 新留亜希子, 長宗我部翔, 新村味穂子: 谷山病院の薬局における残薬ボックスの運用
32. いづろ今村病院 臨床検査技師 紺屋仁, 飯谷弘美, 泉琴美: 超過勤務削減への取り組み
33. 谷山病院 作業療法士 小川晃久: 前頭側頭葉変形症患者への外来精神科作業療法での取り組み～安心して過ごせる場の提供を目指して～
34. 谷山病院 精神保健福祉士 佐々木奈美, 前田結華, 濱田凌: 精神障害者の地域移行～地域移行推進会議に参加して～
35. 谷山病院 作業療法士 中山陽平, 看護師 池澤真代, 川野紀子, 川添千茄, 坂口純也: 精神科認知症治療病棟の認知障害高齢者に対するパーソン・センタード・ケアの実践～カンファレンスを通じた介入認識の変化と多職種と連携した専従作業療法士の役割～
36. いづろ今村病院 社会福祉士 岡田美鈴, 南尚江, 看護師 大垣美紀: 地域包括ケアシステムの構築を目指し在宅療養支援病院としてできること～レスパイトに焦点をあてた研修会を開催して～ *ポスター発表奨励賞
37. 今村総合病院 事務員 東雅美, 日高奈津美, 大迫真由美, 福元純, 溝口天馬: 共通マニュアル「DA 虎の巻」創刊～DA にとって最強の1冊～
38. 笹貫訪問看護ステーション愛の街 看護師 安藤理恵子, 堀添豪男, 西田雅子, 指宿敏江: 訪問看護実習における学生の実習環境について～実習環境づくりに向けた職員の取り組み～ *ポスター発表奨励賞
39. 今村総合病院 臨床工学技士 松田宣明, 里葵衣, 古川正貴, 坂口政人, 樋元祐輔: 透析システム導入時の新入職者の取り組み
40. 奄美病院 看護師 千田多摩希: キャリア開発ラダーへの支援を考える～意識調査から見えてきた課題～ *ポスター発表優秀賞

【研究会・講演会】

血液内科

今村総合病院

1. 宇都宮興, 徳永雅仁, 下田和哉, 亀田拓郎: HTLV-1 キャリアにおける COVID-19 ワクチン 4 回接種後の体液性免疫応答の回復. 日本医療研究開発機構研究費 (革新的がん医療実用化研究事業)「ATL 新規治療標的の同定と、個別化医療への展開」(研究開発代表者 下田和哉) 令和 6 年度 第 1 回班会議, 2024 年 5 月 2 日, 東京
2. 宇都宮興: HTLV-1 について知りましょう. Symbio Medical Profession Lecture SYMPLE Thema: HTLV-1 キャリアについて学ぶ, 2024 年 5 月 17 日, Web
3. 宮園卓宜: 本土から距離のある離島群における有効利用への取り組みと課題点. 第 72 回日本輸血・細胞治療学会学術総会 (共催シンポジウム 1「各地域の血液製剤の有効利用の実態と成果・これから ver.3」一皆で共有しよう! 有効利用のために一), 2024 年 5 月 30 日, 東京
4. 徳永雅仁: ATL の治療戦略～新規治療薬を中心に～. Meiji Seika ファルマ株式会社 Web カンファレンス, 2024 年 7 月 24 日, Web
5. 宇都宮興: ATL 治療の変遷と最新治療. 鹿児島大学市民公開講座 教えて! ATL と HAM のこと, 2024 年 9 月 8 日, 鹿児島
6. 宇都宮興: ATL/HTLV-1 についての現状を知る. 令和 6 年度 HTLV-1 対策講習会, 2025 年 1 月 31 日, 鹿児島
7. 宇都宮興: あなたもキャリアかも. 鹿児島に多い成人 T 細胞白血病. 骨髄バンク支援「命をつなぐ」コンサート医療講演会, 2025 年 2 月 9 日, 鹿児島
8. Utsunomiya A: Current status of ATL clinical practice and treatment in Japan. Japan - Australia HTLV-1 Research Symposium, 2025 年 2 月 26 日, Melbourne

臨床研究センター

今村総合病院

1. 宇都宮興, 徳永雅仁, 下田和哉, 亀田拓郎: HTLV-1 キャリアにおける COVID-19 ワクチン 4 回接種後の体液性免疫応答の回復. 日本医療研究開発機構研究費 (革新的がん医療実用化研究事業)「ATL 新規治療標的の同定と、個別化医療への展開」(研究開発代表者 下田和哉) 令和 6 年度 第 1 回班会議, 2024 年 5 月 2 日, 東京
2. 宇都宮興: HTLV-1 について知りましょう. Symbio Medical Profession Lecture SYMPLE Thema: HTLV-1 キャリアについて学ぶ, 2024 年 5 月 17 日, Web
3. 宇都宮興: ATL 治療の変遷と最新治療. 鹿児島大学市民公開講座 教えて! ATL と HAM のこと, 2024 年 9 月 8 日, 鹿児島
4. 宇都宮興: ATL/HTLV-1 についての現状を知る. 令和 6 年度 HTLV-1 対策講習会, 2025 年 1 月 31 日, 鹿児島
5. 宇都宮興: あなたもキャリアかも. 鹿児島に多い成人 T 細胞白血病. 骨髄バンク支援「命をつなぐ」コンサート医療講演会, 2025 年 2 月 9 日, 鹿児島

皮膚科

今村総合病院

1. 米倉健太郎: 当院における乾癬診療の実際～ビンゼレックスの使用経験～. UCB Psoriasis Short Seminar ～膿疱性乾癬・乾癬性紅皮症編～, 2024 年 5 月 23 日, 鹿児島
2. 米倉健太郎: PsD を考慮した乾癬治療と最近の当科での取り組み. Biologic Clinical Seminar in Kurume, 2024 年 7 月 19 日, 久留米

3. 米倉健太郎：アトピー性皮膚炎と皮膚リンパ腫について. アドトラザ発売記念講演会 in MIYAZAKI, 2024 年 7 月 24 日, 宮崎
4. 米倉健太郎：アトピー性皮膚炎と皮膚リンパ腫について. LEO AD Web seminar, 2024 年 7 月 31 日, 伊那 (Web)
5. 米倉健太郎：皮膚科での ATL 治療. 第 77 回 WEB ライブセミナー, 2024 年 9 月 10 日, 鹿児島
6. 米倉健太郎：PsD 治療における病院の役割. UCB Psoriasis Seminar 鹿児島, 2024 年 9 月 18 日, 鹿児島
7. 米倉健太郎：アトピー性皮膚炎とリンパ腫について. LEO Dermatology WEB Seminar, 2024 年 9 月 26 日, 富山 (Web)
8. 米倉健太郎：膿疱性乾癬の診断と治療～スベピゴの使用経験も含めて～. GPP WEB seminar, 2024 年 9 月 27 日, 鹿児島
9. 米倉健太郎：Opening Remarks. ブイタマクリーム 1% 発売記念セミナー, 2024 年 10 月 16 日, 鹿児島

いづろ今村病院

1. 川上延代：難治性の下腿潰瘍「うっ滞性皮膚潰瘍」の創処置. 日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会 九州・沖縄地区床ずれセミナー, 2024 年 9 月 28 日, 鹿児島

輸血管理部

今村総合病院

1. 宮園卓宜：鹿児島県合同輸血療法委員会の活動内容について. 令和 6 年度九州各県合同輸血療法委員会関係者会, 2024 年 8 月 30 日, Web
2. 宮園卓宜：安全で適正な輸血の推進に関して～中小医療機関における輸血機能評価 I & A 制度の考え方～. 第 5 回 2024 年度中小医療施設での輸血医療向上のための WEB 研修会, 2024 年 12 月 7 日, Web
3. 小林果蓮：当院の適正な輸血に対する臨床輸血看護師の取り組み. 第 5 回 2024 年度中小医療施設での輸血医療向上のための WEB 研修会, 2024 年 12 月 7 日, Web
4. 宮園卓宜：鹿児島県の離島における輸血医療～適正輸血への取り組みと問題点～. 令和 6 年度大分県合同輸血療法委員会合同会議, 2024 年 12 月 14 日, 大分
5. 宮園卓宜：血液製剤使用適正化の推進について. 第 65 回鹿児島県血液対策推進協議会, 2025 年 2 月 12 日, 鹿児島

糖尿病内科

いづろ今村病院

1. 鎌田哲郎：鹿児島県の糖尿病治療の歩み 2024. Diabetes Update in 鹿児島, 2024 年 4 月 22 日, 鹿児島
2. 鎌田哲郎：メトホルミン アップデート. 第 500 回始良地区内科医会 記念講演, 2024 年 5 月 31 日, 始良
3. 新中須敦：当院における GLP-1 受容体作動薬の使用経験. GLP-1 講演会 in Kanoya, 2024 年 6 月 14 日, 鹿屋
4. 鎌田哲郎：インスリン治療中の独居認知症患者さんの治療. 第 31 回鹿児島市糖尿病治療連携講習会, 2024 年 7 月 16 日, 鹿児島
5. 新中須敦：当院における糖尿病治療の取り組み. DUAL Seminar 慈愛会病診連携 糖尿病学術講演会, 2024 年 8 月 30 日, 鹿児島
6. 鎌田哲郎：糖尿病専門医からみた DKD 治療のポイント：食事療法から薬物療法まで. DKD 治療と診療報酬改定と医師と栄養士と, 2024 年 8 月 30 日, 鹿児島
7. 新中須敦：2 型糖尿病患者への早期治療介入における DPP-4 阻害薬の役割. DiaMond Live Seminar, 2024 年 9 月 3 日, 鹿児島 (Web)
8. 鎌田哲郎：高齢化社会の糖尿病治療～入院から在宅まで～. Diamond Seminar in 鹿児島, 2024 年 9 月 11 日, 鹿

児島

9. 鎌田哲郎：糖尿病外来治療ワンポイントレッスン (10) ①糖尿病と腸内細菌 ② DKD の薬物療法に役立つ情報。第 11 回糖尿病地域連携セミナー, 2024 年 10 月 25 日, 鹿児島
10. 新中須敦：糖尿病治療薬の移り変わりから考える。かごしまサステナブルミーティング, 2024 年 11 月 9 日, 鹿児島
11. 鎌田哲郎：糖尿病専門医が考える患者さんの対応 No.2. 第 32 回鹿児島市糖尿病治療連携講習会, 2024 年 11 月 19 日, 鹿児島
12. 鎌田哲郎：メトホルミンとイメグリミンの臨床～その違いと有用性～. DUAL Seminar in 奄美群島, 2024 年 11 月 29 日, 奄美
13. 鎌田哲郎：糖尿病合併症進行例における眼科と内科の連携. 鹿児島県・眼科×糖尿病・合併症治療 Meeting, 2024 年 12 月 12 日, 鹿児島
14. 鎌田哲郎：基幹病院からのメッセージ～糖尿病内科の立場から～. 鹿児島市糖尿病性腎症重症化予防対策推進協議会, 2025 年 1 月 22 日, 鹿児島
15. 新中須敦：GLP-1 受容体作動薬の使用経験. ダイアベティス クリニカル アップデート in 川内, 2025 年 1 月 31 日, 川内
16. 鎌田哲郎：2 型糖尿病治療における臨床上の疑問に答える. 第 83 回鹿児島 SDM 研究会, 2025 年 2 月 1 日, 鹿児島
17. 新中須敦：いづろ今村病院の取組み～教育入院を中心として～. Kagoshima Diabetes Joint Meeting, 2025 年 2 月 27 日, 鹿児島

眼科

今村総合病院

1. 土居範仁：アイフレイル？眼の老化。症状、診断、治療について。目の健康講座(鹿児島県眼科医会), 2024 年 7 月 21 日, 鹿児島

脳神経外科

今村総合病院

1. 八代一孝：脳腫瘍治療は手術しない時代へー最新型ガンマナイフの導入ー. 市民公開講座, 2024 年 7 月 1 日, 鹿児島
2. 八代一孝：進化するガンマナイフ治療－Elekta Esprit への期待ー. 市民公開講座, 2024 年 7 月 1 日, 鹿児島
3. 八代一孝：脳定位放射線治療. 鹿児島大学医学部医学科 チュートリアル講義, 2024 年 10 月 3 日, 鹿児島
4. 八代一孝：進化するガンマナイフ治療－Elekta Esprit への期待ー. ガンマナイフ学術講演会, 2025 年 1 月 16 日, 奄美

膠原病・リウマチ内科

今村総合病院

1. 伊藤加菜絵：乾癬性関節炎治療における IL-17 製剤の役割. 乾癬性関節炎治療セミナー, 2024 年 5 月 22 日, 鹿児島 (Web)
2. 伊藤加菜絵：D2TRA にしないための RA 治療とは. インターネットライブセミナー 関節リウマチの治療戦略, 2024 年 5 月 28 日, 鹿児島 (Web)
3. 伊藤加菜絵：乾癬性関節炎治療における IL17 製剤の役割. Immunology Joint Seminar, 2024 年 5 月 31 日, 鹿児島 (Web)

4. 伊藤加菜絵:統合失調症を合併した重症の悪性関節リウマチに対する治療経験. 鹿児島リウマチの臨床とケア研究会, 2024年6月22日, 鹿児島
5. 伊藤加菜絵: SLE 病態から考えるサフネローの意義. SLE Seminar in 鹿児島, 2024年6月25日, 鹿児島 (Web)
6. 伊藤加菜絵: 乾癬性関節炎の治療における IL17 製剤の役割. 患者 QOL を見据えた乾癬性関節炎診療を考える会, 2024年6月29日, 沖縄 (Web)
7. 伊藤加菜絵: SLE 治療中に発熱、腎障害で紹介となった症例. 第52回鹿児島膠原病研究会, 2024年7月18日, 鹿児島
8. 伊藤加菜絵: リウマチ内科医の視点から考える乾癬性関節炎の診断と治療. Psoriasis Web Seminar in Kagoshima, 2024年7月24日, 鹿児島 (Web)
9. 伊藤加菜絵: 乾癬性関節炎の治療における IL17 製剤の意義. UCB joint Seminar, 2024年8月6日, 鹿児島 (Web)
10. 伊藤加菜絵: PsA 診療について. ヤンセンファーマ株式会社 社内講演会, 2024年8月20日, 鹿児島 (Web)
11. 伊藤加菜絵: リウマチ内科医の視点から考える乾癬性関節炎の診断と治療. 鹿児島県皮膚科医部会学術講演会, 2024年9月11日, 鹿児島 (Web)
12. 伊藤加菜絵: ANCA 関連血管炎 病気との付き合い方. 鹿児島県医療相談会, 2024年10月12日, 鹿児島
13. 伊藤加菜絵: WoCBA 世代の RA に対する治療戦略. RA Expert Meeting Kyusyu ~ Revisiting structural Features ~, 2024年10月19日, 福岡
14. 伊藤加菜絵: 当院における EGPA の治療経験 - メボリズマブを使う意義とは -. EGPA management web seminar, 2024年11月18日, 鹿児島 (Web)
15. 伊藤加菜絵: 膠原病内科専門医から見たアバコパンの使用経験. 鹿児島県透析医会学術講演会, 2024年11月19日, 鹿児島 (Web)
16. 伊藤加菜絵: 乾癬性関節炎の病態を見据えた治療アプローチ. 乾癬性関節炎診療セミナー鹿児島, 2024年12月9日, 鹿児島
17. 伊藤加菜絵: RA 診療について. 大正製薬 社内講演会, 2025年1月20日, 鹿児島 (Web)
18. 伊藤加菜絵: SLE 診療について. 大塚製薬株式会社社内講演会, 2025年1月27日, 鹿児島 (Web)
19. 伊藤加菜絵: 症例提示. Psoriasis Treatment Collaboration Web Seminar, 2025年1月31日, 鹿児島
20. 伊藤加菜絵: 当院におけるアバコパンの使用経験. AAV Conference, 2025年2月13日, 鹿児島 (Web)
21. 伊藤加菜絵: 乾癬性関節炎の病態を見据えた治療アプローチ. UCB PsA Seminar @大分, 2025年2月15日, 大分
22. 伊藤加菜絵: RA 治療の実践 TNF 阻害薬を中心に. RA Expert Meeting in Kagoshima, 2025年3月22日, 鹿児島
23. 伊藤加菜絵: EGPA の現状と課題. EGPA Management Forum in KAGOSHIMA, 2025年3月28日, 鹿児島

小児科

今村総合病院

1. 溝田美智代: 成長曲線を活用した児童・生徒の健康管理について. 令和6年度鹿児島市養護教諭等研修会, 2024年4月16日, 鹿児島
2. 溝田美智代: 成長曲線を活用した児童・生徒の健康管理について. 霧島市小・中学校養護教諭等研修会, 2024年4月23日, 霧島
3. 溝田美智代: 成長曲線の作成と活用について. 令和6年度新規採用養護教諭研修第2回校外研修, 2024年5月15日, 鹿児島
4. 溝田美智代: 小児の成長と学校での成長曲線活用について. 令和6年度学校給食衛生管理等研修会, 2024年8月6日, 鹿児島

スポーツ整形外科

今村総合病院

1. 海江田英泰:障害予防教室 in 奄美. スポーツ選手のためのパフォーマンスアップ&予防セミナー, 2024年6月15日, 大島郡龍郷町
2. 前園恵慈:障害予防教室 in 奄美. スポーツ選手のためのパフォーマンスアップ&予防セミナー, 2024年7月13日, 大島郡龍郷町
3. 前園恵慈:障害予防教室 in 奄美. スポーツ選手のためのパフォーマンスアップ&予防セミナー, 2024年9月22日, 大島郡知名町
4. 海江田英泰:投球障害の基礎知識. 薩摩おいどんリーグ 2025, 2025年3月9日, 鹿児島

精神科

徳之島病院

1. 片岡悠哉:こころがつらい時のサイン. 徳之島町職員向けメンタルヘルス講演会, 2025年1月16日, 大島郡徳之島町
2. 吉田知弘:徳之島病院の現状について. 徳之島地区地域移行・地域定着部会, 2025年1月30日, 大島郡徳之島町
3. 片岡悠哉:こころがつらい時のサイン. 伊仙町職員向けメンタルヘルス講演会, 2025年2月18日, 大島郡伊仙町
4. 片岡悠哉:こころがつらい時のサイン. 天城町職員向けメンタルヘルス講演会, 2025年2月20日, 大島郡天城町

緩和ケア内科

いづろ今村病院

1. 松下格司:地域連携における緩和ケア内科の役割. 糖尿病連携セミナー, 2024年10月25日, 鹿児島 (Web)

かごしまオハナクリニック

1. 林恒存:日本内科学会 JMECC/ICLS コース (インストラクター). 宮崎大学 JMECC(内科救急) /ICLS コース, 2024年6月15日, 宮崎
2. 林恒存:認知症を理解する. 鹿児島市認知症介護教室, 2024年6月20日, 鹿児島
3. 横山大輔:在宅医療について. 第3回かもいけ健康まつり, 2024年9月21日, 鹿児島
4. 林恒存:認知症の予防とケア. 世界アルツハイマーデー記念講演会, 2024年9月28日, 鹿児島
5. 林恒存:日本内科学会 JMECC/ICLS コース (インストラクター). 今村総合病院 JMECC (内科救急) /ICLS コース, 2024年10月5日, 鹿児島
6. 横山大輔:在宅医療と ACP. 鴨池校区コミュニティ協議会福祉研修委員会, 2024年11月9日, 鹿児島
7. 林恒存:日本内科学会 JMECC/ICLS コース (インストラクター). 宮崎県立宮崎病院 JMECC (内科救急) /ICLS コース, 2025年1月18日, 宮崎
8. 林恒存:事例から学ぶ在宅現場での臨床推論. 今村総合病院 第6回特定行為研修フォローアップ研修会, 2025年2月22日, 鹿児島
9. 林恒存:救急科講義「高齢者」. 鹿児島県消防学校 救急科講義, 2025年3月3日, 鹿児島

以上、診療部

看護部門

今村総合病院

1. 柳田貴子：医療安全 医療安全管理の実践。鹿児島中央看護専門学校，2024 年 4-11 月，鹿児島
2. 平川あゆみ：成人看護学援助論Ⅴ 救急看護。鹿児島中央看護専門学校，2024 年 4- 5 月，鹿児島
3. 中村倫丈：成人看護学援助論Ⅰ 呼吸機能障害看護。鹿児島中央看護専門学校，2024 年 4- 6 月，鹿児島
4. 中村倫丈：医療安全 医療安全管理の実践。久木田学園看護専門学校，2024 年 4- 7 月，鹿児島
5. 浜辺恵里佳：社会福祉Ⅱ。鹿児島中央看護専門学校，2024 年 4- 7 月，鹿児島
6. 厚地絵理：総合保健医療論Ⅱ。鹿児島中央看護専門学校，2024 年 5 月 1 日，鹿児島
7. 浜辺恵里香：ソーシャルワーカーの未来を考えたことがあるか？何を大事にしながら、何を未来図として描いていくべきなのか？。第 72 回公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会，2024 年 6 月 15 日，大分
8. 中村倫丈：在宅におけるフィジカルアセスメント 入門編。鹿児島県看護協会訪問看護師養成研修「入門コース」，2024 年 6 月 22 日，鹿児島
9. 福元優一：成人看護学援助論Ⅰ 循環機能障害看護。鹿児島中央看護専門学校，2024 年 6- 9 月，鹿児島
10. 中村倫丈：高齢者の心身の理解。鹿児島県高齢者権利擁護推進事業における看護実務者研修会，2024 年 7 月 4 日，鹿児島
11. 吉森みゆき：COVID-19 感染対策の現状。医療法人良整会 よしのぶクリニック，2024 年 7 月 23 日，鹿児島
12. 中村倫丈：在宅におけるフィジカルアセスメント 実践編。公益社団法人日本訪問看護財団訪問看護 e ラーニングを活用した訪問看護師養成講習会，2024 年 7 月 26 日，鹿児島
13. 吉森みゆき：集団発生時の対応。老人福祉施設協議会，2024 年 7 月 27 日，鹿児島（Web）
14. 中村倫丈：共通基本技術Ⅱ。久木田学園看護専門学校，2024 年 7-10 月，鹿児島
15. 浜辺恵里香：入退院支援～多職種との連携と協働～。鹿児島県看護協会教育研修，2024 年 8 月 7 日，鹿児島
16. 吉森みゆき：新型コロナウイルス感染症の現状～持続可能な感染対策。医療法人佑志会 守屋病院，2024 年 8 月 23 日，鹿児島
17. 上山りえ：成人看護援助論Ⅰ 造血器・アレルギー看護。鹿児島医療福祉専門学校，2024 年 8-10 月，鹿児島
18. 池田清夏：成人看護援助論Ⅰ 造血器・アレルギー看護。鹿児島医療福祉専門学校，2024 年 8-10 月，鹿児島
19. 徳田勝哉：ハンズオンセミナーエコー下穿刺。第 12 回 九州アクアセスライブフォーラム 2024，2024 年 9 月 8 日，福岡
20. 平川あゆみ：これからの災害支援・災害看護について。鹿児島救急医学会 第 52 回看護部会，2024 年 9 月 14 日，鹿児島
21. 徳田勝哉：患者のための穿刺～DANT～。VA 看護ハンズオンセミナー，2024 年 9 月 15 日，東京
22. 中村倫丈：フィジカルアセスメント研修。鹿児島県看護協会大島地区看護研修会，2024 年 9 月 21 日，奄美
23. 大久保珠里：フットケアについて。第 4 回かもいけ健康まつり，2024 年 9 月 21 日，鹿児島
24. 大久保珠里：穿刺時の疼痛緩和セミナー。扶桑薬品株式会社 セミナー，2024 年 9 月 24 日，鹿児島
25. 梅本ゆかり：成人看護方法論Ⅳ 体液調節機能障害をもつ患者の看護。鹿児島医療技術専門学校，2024 年 9-10 月，鹿児島
26. 大久保珠里：成人看護学援助論Ⅲ 腎機能障害看護。鹿児島中央看護専門学校，2024 年 9-11 月，鹿児島
27. 浜崎彩：成人看護学援助論Ⅲ 脳・神経機能障害看護。鹿児島中央看護専門学校，2024 年 9-11 月，鹿児島
28. 宇都沙智子：母性看護学援助論Ⅱ。鹿児島中央看護専門学校，2024 年 9-12 月，鹿児島
29. 中谷明実：看護管理教育課程ファーストレベル研修「労務管理」。鹿児島県看護協会，2024 年 10 月 9 日，鹿児島
30. 徳田勝哉：穿刺に必要な DANTE と VA 看護。琵琶湖透析セミナー，2024 年 10 月 13 日，滋賀県近江八幡市
31. 徳田勝哉：シャント穿刺について。透析医療連携セミナー，2024 年 10 月 17 日，大阪（Web）
32. 徳田勝哉：災害対策と日常管理。第 14 回秋田県腎不全看護セミナー，2024 年 10 月 20 日，秋田

33. 徳田勝哉: ACP と SDM と生活目標. CKD ビリーブメントカンファレンスセミナー (JSCNN), 2024 年 11 月 17 日, 沖縄
34. 米澤美智代: 褥瘡ケア (予防と治療). 鹿児島県看護協会教育研修会, 2024 年 11 月 14 日, 鹿児島
35. 吉森みゆき: 集団発生時の対応～ポイントを知ろう!. 鹿児島市地域密着型サービス連合会研修会「介護事業所における感染対策について」, 2024 年 11 月 15 日, 鹿児島 (Web)
36. 中村倫丈: 当院 ICU の栄養管理について. 株式会社大塚製薬工場主催 鹿児島集中治療・ケアセミナー, 2024 年 11 月 21 日, 鹿児島
37. 徳田勝哉: 初級・中級・上級者の穿刺の違い & エコーガイド下穿刺の基礎. 第 3 回宮崎県透析看護ネットワーク研究会, 2024 年 11 月 24 日, 宮崎
38. 梅本ゆかり: 慢性腎臓病 (CKD) 予防と看護. 鹿児島県看護協会研修, 2024 年 11 月 28 日, 鹿児島 (Web)
39. 前田真紀子: 特別講義 放射線療法の看護. 鹿児島中央看護専門学校, 2024 年 11 月, 鹿児島
40. 谷村利行: 特別講義 特定行為実践. 鹿児島中央看護専門学校, 2024 年 11 月, 鹿児島
41. 中谷明実: 看護における情報科学. 鹿児島中央看護専門学校, 2024 年 11-12 月, 鹿児島
42. 松山日実子: 機能病態学Ⅱ 消化機能. 鹿児島中央看護専門学校, 2024 年 11-12 月, 鹿児島
43. 徳田勝哉: エコーガイド下穿刺の基礎. バスキュラーアクセスハンズオンセミナー in 沖縄, 2024 年 12 月 1 日, 沖縄
44. 浜辺恵里香: ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現. NPO 法人鹿児島県介護支援専門員協議会 令和 6 年度主任介護支援専門員研修, 2024 年 12 月 19 日, 鹿児島
45. 厚地絵理: 認知症職員研修. 守屋病院, 2024 年 12 月 19 日, 鹿児島
46. 米澤美智代: 特別講義 褥瘡・皮膚管理. 鹿児島中央看護専門学校, 2024 年 12 月, 鹿児島
47. 徳田勝哉: チームで取り組む VA 管理の中の VA 看護～Redesign アクセス管理～. 第 19 回 九州・沖縄臨床工学会 第 31 回 鹿児島県臨床工学会, 2025 年 1 月 19 日, 鹿児島
48. 松山日実子: 臨床判断Ⅰ 概論. 鹿児島中央看護専門学校, 2025 年 1-3 月, 鹿児島
49. 徳田勝哉: カフ型カテーテルの対象・管理・トラブル時の対応 & アクティブライフと VA. びわこバスキュラーアクセスセミナー 2025, 2025 年 2 月 9 日, 滋賀
50. 浜辺恵里香: Let's collaboration ～医療・介護の連携推進に向けて～. 鹿児島県看護協会 訪問看護師と居宅介護支援事業所の意見交換会 (鹿児島県訪問看護供給体制総合支援事業), 2025 年 2 月 14 日, 鹿児島
51. 浜辺恵里香: ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現. NPO 法人鹿児島県介護支援専門員協議会 令和 7 年度主任介護支援専門員研修, 2025 年 2 月 20 日, 鹿児島
52. 吉森みゆき: 微生物と感染症. 鹿児島中央看護専門学校, 2025 年 2-3 月, 鹿児島
53. 浜辺恵里香: 在宅ケアに活かす多職種連携. かがしま臨床栄養連携研究会, 2025 年 3 月 9 日, 鹿児島
54. 浜辺恵里香: Let's collaboration ～医療・介護の連携推進に向けて～. 鹿児島県看護協会 訪問看護師と居宅介護支援事業所の意見交換会 (鹿児島県訪問看護供給体制総合支援事業), 2025 年 3 月 14 日, 出水
55. 吉森みゆき: 感染対策 個人防護具の正しい着用. 医療法人佑志会 守屋病院, 2025 年 3 月 21 日, 鹿児島
56. 徳田勝哉: バスキュラーアクセス・エコーガイド下穿刺ハンズオン. 第 22 回日本インターベンショナルネフロロジー学会学術集会, 2025 年 3 月 29 日, 静岡

いづろ今村病院

1. 中窪尊子: 緩和ケア論「Total pain (苦痛) への対処の実践」. 鹿児島純心女子大学, 2024 年 6 月 18 日, 鹿児島
2. 中窪尊子: 生き生きと輝きながら看護する職場風土作り. 鹿児島県看護協会 新任看護師長研修, 2024 年 9 月 12 日, 鹿児島
3. 櫻井雅子: 認知症と看護. 令和 6 年度 新人看護職員卒後研修, 2024 年 9 月 19 日, 鹿児島
4. 中窪尊子: 「M1: エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護」「M9: 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア」. 日本

ホスピス緩和ケア協会 第10回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム, 2024年9月21-22日, 10月5日, 福岡 (Web)

5. 山元優佳子：当院における IBD 患者様とのかかわり. 南薩地区 IBD 医療連携の会, 2024 年 10 月 4 日, 鹿児島
6. 櫻井雅子：看護職員認知症対応力向上研修. 鹿児島県看護協会, 2024 年 10 月 18 日, 鹿児島
7. 尾堂ゆかり：糖尿病患者の療養を支えるフットケア. 令和 6 年度糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修, 2024 年 11 月 7 日, 鹿児島
8. 中窪尊子：「M1：エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護」「M9：高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア」. 日本ホスピス緩和ケア協会 第 11 回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム, 2024 年 11 月 23-24 日, 北九州
9. 中窪尊子：家族看護. 鹿児島中央看護専門学校, 2024 年 12 月 10・17 日, 2025 年 1 月 7・21・28 日, 2025 年 2 月 4・18 日, 鹿児島

谷山病院

1. 杉田真人：精神疾病論. 久木田学園看護専門学校, 2024 年 4 - 5 月, 鹿児島
2. 杉田真人：精神看護援助論. 加治木看護専門学校, 2024 年 4 - 8 月, 始良
3. 内田宏貴：臨床薬理学. たちばな医療専門学校, 2024 年 6 - 8 月, 霧島
4. 杉田真人：精神看護学概論・精神保健・精神看護学各論. 龍桜高等学校看護専門課程, 2024 年 8 月 - 2025 年 2 月, 始良
5. 有木攻：性被害・性加害に遭わないためのよりよい人間関係について. 鹿児島市立谷山北中学校 (鹿児島市教育委員会 / 鹿児島県看護協会 性に関する指導推進事業), 2024 年 10 月 4 日, 鹿児島
6. 有木攻：性被害・性加害に遭わないためのよりよい人間関係について. 鹿児島市立甲東中学校 (鹿児島市教育委員会 / 鹿児島県看護協会 性に関する指導推進事業), 2024 年 10 月 10 日, 鹿児島
7. 内田宏貴：当院の LAI チームの取り組みについて. 大塚製薬 web seminar, 2025 年 2 月 28 日, 鹿児島 (Web)

愛と結の街

1. 川崎愛：生活支援～食事について～. 鹿児島医療福祉専門学校介護福祉科, 2024 年 6 月 15・22 日, 5 月 13・20・27 日, 6 月 3・10・17・24 日, 7 月 1・8・18・22 日, 9 月 2・9 日, 鹿児島
2. 山口めぐみ：老年看護学方法論 I. 鹿児島医療技術専門学校看護科, 2024 年 9 月 4・18 日, 鹿児島
3. 今西由香：老年看護学方法論 I. 鹿児島医療技術専門学校看護科, 2024 年 9 月 11・25 日, 鹿児島
4. 川崎友義：チームマネジメント. 鹿児島女子短期大学, 2024 年 9 月 25 日, 10 月 2・9・16・30 日, 11 月 27 日, 12 月 7・11・18 日, 1 月 8・15・22 日, 鹿児島

リハビリテーション部門

今村総合病院 理学療法士 (一般総合)

1. 村山芳博：チーム医療の実践. 鹿児島大学医学部保健学科, 2024 年 6 月 11 日, 鹿児島
2. 武清孝弘：移植リハビリテーション. 第 33 回 西福岡臨床血液研究会, 2024 年 6 月 18 日, 福岡
3. 武清孝弘：造血細胞移植リハビリテーションの実際 ～移植前から LTFU まで～. 第 4 回 造血細胞移植地域拠点病院事業 造血細胞移植患者に対するリハビリテーションの現在地, 2024 年 11 月 20 日, 京都
4. 武清孝弘：造血幹細胞移植リハビリテーションの質向上を目指して. 第 52 回四国理学療法士学会 教育セミナー, 2024 年 11 月 23 日, 松山
5. 村山芳博：CVA 理学療法の評価 (OSCE 実践). 鹿児島大学医学部保健学科, 2024 年 12 月 9 日, 鹿児島

6. 武清孝弘：同種造血幹細胞移植患者の身体機能と動作困難感。第9回鹿児島SCT研究会，2025年2月22日，鹿児島
7. 武清孝弘：造血幹細胞移植早期におけるリハビリテーションと身体機能変化 ～長期的変化も含めて～。第47回日本造血・免疫療法学会 リハビリワークショップ，2025年2月28日，大阪
8. 宮島康輔：レッツ！家庭でできるリハビリテーション。手足のつっぱり「痙縮」市民公開講座，2025年3月29日，鹿児島

今村総合病院 理学療法士(スポーツ整形)

1. 白尾泰宏：臨床推論と腰部に対する徒手理学療法。鹿児島県理学療法士協会運動器専門領域研修会，2024年6月9日，鹿児島
2. 吉田研吾：オーバーヘッドスポーツに必要な筋力や柔軟性について。奄美障害予防教室（上肢編），2024年6月15日，奄美
3. 白尾泰宏：膝関節障害に対する徒手療法（触診・評価・治療）。鹿児島県理学療法士協会霧島・始良地区研修会，2024年7月6日，霧島
4. 多田克史：ケアの重要性と動きの度台作り。奄美障害予防教室（腰部・下肢編），2024年7月14日，奄美
5. 轟原与織：鹿児島県ウエイトリフティング協会障害予防。鹿児島県スポーツ医科学委員会スキルアップ事業，2024年8月8日，鹿屋
6. 多田克史：ケアの重要性と動きの度台作り。沖永良部障害予防教室，2024年9月22日，大島郡知名町
7. 轟原与織：鹿児島県ボウリング連盟障害予防について。鹿児島県スポーツ医科学委員会スキルアップ事業，2024年10月6日，鹿児島
8. 轟原与織：県警コンディショニング事前研修会について。鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部研修会，2024年10月20日，鹿児島
9. 岡弥津希：成長期の障害予防。垂水中央中学校 体育授業，2024年10月23日，垂水
10. 多田克史：県警察コンディショニング術講習会。鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部，2024年11月6日，鹿児島
11. 吉田研吾：高校球児のための肩肘検診。鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部，2024年11月24日，鹿児島
12. 轟原与織：県警察コンディショニング術講習会。鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部，2024年11月27日，伊佐
13. 轟原与織：理学療法士による病院と地域のスポーツサポート。鹿児島県理学療法士協会大隅地区研修会，2024年12月6日，Web
14. 白尾泰宏：足部機能障害の診方。鹿児島県理学療法士協会運動器専門領域研修会，2024年12月8日，鹿児島
15. 轟原与織：小学生におけるスポーツ活動でのケガ予防。鹿児島県理学療法士協会小児・学校保健部研修会，2024年12月21日，鹿児島
16. 吉田研吾：高校球児のための肩肘検診。鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部，2025年1月12日，奄美
17. 白尾泰宏：膝関節障害に対する徒手療法（触診・評価・治療）。鹿児島県理学療法士協会奄美地区研修会，2025年2月1日，奄美

いづろ今村病院 理学療法士

1. 土井敦：人材不足の世の中において理学療法士の役割とは。公益社団法人 日本理学療法士連盟，2024年6月28日，Web
2. 西賢一郎：姿勢と運動の呼吸への影響。2024年度第1回大隅地区研修会，2024年7月11日，Web
3. 土井敦：福祉用具と生活環境支援。公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会，2024年7月21日，鹿児島
4. 土井敦：介護技術習得に向けて現場で役立つ基礎的知識。公益財団法人介護労働安定センター 介護実務者研修，2024年10月31日，鹿児島

5. 土井敦：運動学Ⅳ. 学校法人 原田学園 作業療法学科 2 年 後期授業, 2024 年 10 月 -2025 年 3 月, 鹿児島
6. 土井敦：基本動作と生活環境. 鹿児島 POS 連絡協議会 訪問リハ研究会 実務者研修, 2024 年 11 月 30 日, 鹿児島 (Web)
7. 土井敦：快適な住環境整備と介護. 鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修, 2025 年 2 月 21 日, 鹿児島

谷山病院 作業療法士

1. 田畑典子：精神科分野における調理活動. 原田学園鹿児島医療技術専門学校作業療法学科 1 年 特別講義, 2024 年 12 月 6 日, 鹿児島

薬剤部門

今村総合病院

1. 堀口大輔：小学生を対象としたがん教育授業. 令和 6 年度外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業, 2025 年 1 月 11 日, 鹿児島

いづろ今村病院

1. 東屋敷史織：当院における薬剤師と IBD 患者様との関わり. 霧島始良地区 IBD 医療連携の会, 2024 年 4 月 19 日, 鹿児島
2. 神門孝典：医療安全について. 第 46 回新任薬剤師研修会, 2024 年 8 月 25 日, 鹿児島
3. 神門孝典：チームで取り組む糖尿病療養指導～当院薬剤師の関わり～. Diabetes Seminar in Kagoshima, 2024 年 9 月 12 日, 鹿児島 (Web)
4. 東屋敷史織：当院薬剤部における糖尿病患者への関わり～体重管理を含めた糖尿病治療の実践～. 第 17 回九州糖尿病看護スキルアップ Web セミナー, 2025 年 2 月 9 日, Web

谷山病院

1. 染川考佑：精神科領域における薬剤師の役割と魅力. 令和 6 年度日本病院薬剤師会新人研修会, 2024 年 6 月 30 日, 東京

画像診断 / 診療放射線部門

今村総合病院

1. 上川翔美：放射線概論Ⅰ. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 4 月 23 日, 鹿児島
2. 川上眞司：臨床画像Ⅱ 救急画像 (STAT 画像). 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 4 月 10 日, 鹿児島
3. 牧野竜大：臨床画像Ⅱ 肝胆脾. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 4 月 17 日, 鹿児島
4. 蓑田辰則：臨床画像Ⅱ 上肢. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 4 月 24 日, 鹿児島
5. 恵智徳：臨床画像Ⅱ 透視画像 1. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 5 月 1 日, 鹿児島
6. 吉見敦：臨床画像Ⅱ 頭頸部 1. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 5 月 8 日, 鹿児島
7. 川上眞司：臨床画像Ⅱ 胸部 (マンモ含む). 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 5 月 15 日, 鹿児島
8. 牧野竜大：臨床画像Ⅱ 消化器. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 5 月 22 日, 鹿児島
9. 蓑田辰則：臨床画像Ⅱ 下肢. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 5 月 29 日, 鹿児島
10. 恵智徳：臨床画像Ⅱ 透視画像 2. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 6 月 5 日, 鹿児島

11. 恵智徳：キャリア開発とマネジメント。熊本放射線外科診療放射線技師向け研修，2024年6月8日，鹿児島
12. 吉見敦：臨床画像Ⅱ 頭頸部2。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年6月12日，鹿児島
13. 川上眞司：臨床画像Ⅱ 循環器（心臓を含む）。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年6月19日，鹿児島
14. 牧野竜大：臨床画像Ⅱ 泌尿器・婦人科。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年6月26日，鹿児島
15. 蓑田辰則：臨床画像Ⅱ 脊椎。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年7月3日，鹿児島
16. 吉見敦：臨床画像Ⅱ 頭頸部3。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年7月3日，鹿児島
17. 馬場隆行：「闊達自在！ライブなCアーム業務を上達するための秘訣を簡単解説すべてはそこで結実する。第2回 Moments!」，2024年9月21日，Web
18. 吉見敦：臨床画像Ⅰ 放射線診断学概論。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年10月2日，鹿児島
19. 馬場隆行：馬場ちゃんの部屋 明日から撮影の達人 ～膝関節 後編～。第2回九州島津ユーザー会，2024年10月5日，福岡 (Web)
20. 牧野竜大：臨床画像Ⅰ 脊椎・脊髄の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年10月9日，鹿児島
21. 川上眞司：臨床画像Ⅰ 腹部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年10月16日，鹿児島
22. 小林晃也：臨床画像Ⅰ 胸部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年10月23日，鹿児島
23. 馬場隆行：一般撮影におけるトモシンセシスの臨床有用性。第1回日本放射線医療技術学術大会ランチョンセミナー，2024年10月31日，宜野湾 (Web)
24. 牧野竜大：臨床画像Ⅰ 消化管の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年11月6日，鹿児島
25. 蓑田辰則：臨床画像Ⅰ 頭部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年11月13日，鹿児島
26. 川上眞司：臨床画像Ⅰ 骨盤部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年11月20日，鹿児島
27. 高山大史：臨床画像Ⅰ 上肢の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年11月27日，鹿児島
28. 蓑田辰則：文部科学省委託事業：放射線に関する教職員研修及び出前授業。嬉野市立塩田中学校，2024年12月3日，佐賀
29. 吉見敦：臨床画像Ⅰ 血管・リンパの画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年12月4日，鹿児島
30. 西田崇友：臨床画像Ⅰ 脳神経の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年12月11日，鹿児島
31. 高山大史：臨床画像Ⅰ 下肢の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年12月18日，鹿児島
32. 牧野竜大：臨床画像Ⅰ 頸部画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年1月22日，鹿児島
33. 前田裕介：施設紹介。第43回鹿児島核医学技術検討会，2025年2月8日，鹿児島 (Web)
34. 牧野竜大：当院の小児撮影。夜間急病センター 当直者研修会，2025年2月12日，鹿児島
35. 前田裕介：育児休業を経験して。令和6年度鹿児島さくらRT研修会，2025年2月27日，Web
36. 市来守，小澤修一，牧野竜大，高山大史，中田有希乃，恵智徳：高速プラスチックシンチレーション検出器を利用した静的 TomoTherapy における MLC の品質管理手法の検討。第1回広島神戸放射線治療研究交流会，2025年3月1日，神戸 (Web)
37. 市来守，小澤修一，牧野竜大，高山大史，中田有希乃，恵智徳：The”裏技”。第6回九州山口トモセラピーユーザーズフォーラム，2025年3月22日，福岡 (Web)

いづろ今村病院

1. 上釜健作：これからの超音波に期待すること（シンポジウム）。第340回鹿児島超音波医学研究会春季大会，2024年4月19日，Web
2. 脇田慎一：医療コミュニケーション講座。日本診療放射線技師会令和6年度フレッシューズセミナー，2024年7月28日，鹿児島
3. 上釜健作：実技指導。2024年度鹿児島超音波医学研究会実技講習会，2024年8月4日，鹿児島
4. 脇田慎一：実技指導。鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科，2024年8月7日，鹿児島
5. 脇田慎一：実技指導。日本放射線技師会，2024年8月11日，鹿児島
6. 脇田慎一：実技指導。鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科，2024年8月16日，鹿児島
7. 上釜健作：膀胱癌の1例。第345回鹿児島超音波医学研究会，2024年9月24日，Web
8. 脇田慎一：実技指導。日本放射線技師会，2024年10月13日，鹿児島
9. 上釜健作：症例から学ぶ ～腹部領域～。第26回鹿児島超音波研究会，2024年10月23日，Web
10. 脇田慎一：業務拡大に伴う統一講習会。日本放射線技師会，2024年11月17日，鹿児島
11. 上釜健作：画像解剖学・超音波。鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科，2025年1月8日，鹿児島
12. 脇田慎一：実技指導。日本放射線技師会，2025年1月12日，鹿児島
13. 脇田慎一：画像解剖学・乳房&消化管。鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科，2025年1月23日，鹿児島
14. 上釜健作：小児上腕撮影の1例。夜間急病センター 当直者研修会，2025年2月12日，鹿児島
15. 林里紗：検診2次精査で偶発的に見つかった症例。第77回鹿児島消化器画像研究会，2025年2月19日，Web

臨床工学部門

今村総合病院

1. 中鶴良登：当院のブラッドアクセス管理について。かごわい2024，2024年10月19日，鹿児島

栄養管理部門

今村総合病院

1. 中村ひとみ：生活習慣病と食事。社会福祉協議会 介護講習会，2024年7月20日，鹿児島

いづろ今村病院

1. 中菌智美：病院栄養士の体験から。鹿児島県立短期大学キャリアデザイン，2024年9月18日，鹿児島
2. 内田紗弥：糖尿病の食事療法～上手に付き合うためのコツ～。市民のための糖尿病講演会，2024年11月20日，鹿児島
3. 萬福有理：腎臓を守るためにできる、食事の工夫。世界腎臓デー in かごしま 慢性腎臓病（CKD）予防講演会，2025年3月15日，鹿児島

ソーシャルワーカー部門

谷山病院

1. 佐々木奈美：地域移行・地域定着の実践に向けて。令和6年度鹿児島県精神障害者地域移行・地域定着推進研修会，2025年2月10日，鹿児島

奄美病院

1. 森越志保：認知症について。龍郷町介護保険専門員研修会，2024年9月17日，大島郡龍郷町
2. 西牟田智子：地域における精神障害者の自立支援。鹿児島県生活保護ケースワーカー研修会，2024年12月3日，鹿児島

事務部門

今村総合病院 診療情報管理室

1. 前田雄介：診療情報管理士 医療管理各論（病院管理、医療安全・医療の質管理）。鹿児島キャリアデザイン専門学校，2024年4月15・22日，6月10・17・24日，7月8日，9月2日，鹿児島
2. 前田雄介：診療情報管理士 医療管理総論。鹿児島キャリアデザイン専門学校，2024年10月7・28日，11月11・18日，12月2・9日，2025年1月20日，鹿児島

鹿児島中央看護専門学校

1. 久徳美鈴：専門領域別看護論演習（看護の統合と実践）（講師）。令和6年度鹿児島県専任教員養成講習会，2024年7月12日，鹿児島
2. 久徳美鈴：令和4年度認定看護管理者教育課程サードレベル終了者フォローアップ研修（演習支援）。鹿児島県看護協会，2024年8月17日，鹿児島

法人事業本部

1. 今村英仁：病院給食を再考する。一般社団法人医療関連サービス振興会，2024年4月22日，東京

【受賞】

血液内科

今村総合病院

1. 米倉圭，指導医 小田原淳：「von Recklinghausen 病を合併した Ph 陽性混合形質性急性白血病の 1 例」初期研修医 奨励賞・指導医賞，日本内科学会 第 345 回九州地方会，2024 年 5 月 25 日
2. 徳永雅仁：JSPFAD コホート研究 5500 検体登録貢献者表彰，第 10 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2024 年 11 月 8 日
3. 中野伸亮：JSTCT Working Group Research Award，第 47 回日本造血・免疫細胞療法学会学術集会，2025 年 2 月 27 日

臨床研究センター

今村総合病院

1. 徳永雅仁：JSPFAD コホート研究 5500 検体登録貢献者表彰，第 10 回日本 HTLV-1 学会学術集会，2024 年 11 月 8 日

看護部門

今村総合病院

1. 柏木美恵子：鹿児島県看護協会会長賞表彰，鹿児島県看護協会，2024 年 5 月
2. 浜辺恵里香：鹿児島県 MSW 協会功労賞，鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会，2024 年 5 月

徳之島病院

1. 屋綾子：鹿児島県医師会看護業務功労者表彰，鹿児島県医師会，2024 年 7 月

薬剤部門

いづろ今村病院

1. 東屋敷史織：「週 1 回 GLP-1 受容体作動薬の使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討～薬剤適正使用への取り組みと課題～」優秀発表賞，第 7 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会，2024 年 6 月

【マスメディア】

今村総合病院

1. 常盤光弘：鹿児島市の病院 最新型医療機器導入へクラウドファンディング. NHK 鹿児島 NEWS WEB, 2024 年 7 月 5 日
<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kagoshima/20240705/5050027464.html>
2. 常盤光弘：「ガンマナイフ」購入資金 クラウドファンディング. NHK 鹿児島放送局 情報 WAVE かごしま, 2024 年 7 月 5 日

血液内科

今村総合病院

1. 宇都宮典：ATL 治療の変遷と最新治療. 日本 HTLV-1 学会ウェブサイト内 講演動画配信：鹿児島大学市民公開講座「教えて！ATL と HAM のこと」, 2024 年 9 月 8 日
https://www.youtube.com/playlist?list=PLTcABFId1WKWK8TdH__N5zefQaCHCNyx5
2. 宇都宮典：ATL とのかかわり. MP-navigation (株式会社ミノファージェン製薬), 2024 年 11 月 5 日
https://mp-navigation.jp/column9/?utm_source=system&utm_medium=mail&utm_campaign=column9

臨床研究センター

今村総合病院

1. 宇都宮典：ATL 治療の変遷と最新治療. 日本 HTLV-1 学会ウェブサイト内 講演動画配信：鹿児島大学市民公開講座「教えて！ATL と HAM のこと」, 2024 年 9 月 8 日
https://www.youtube.com/playlist?list=PLTcABFId1WKWK8TdH__N5zefQaCHCNyx5
2. 宇都宮典：ATL とのかかわり. MP-navigation (株式会社ミノファージェン製薬), 2024 年 11 月 5 日
https://mp-navigation.jp/column9/?utm_source=system&utm_medium=mail&utm_campaign=column9

脳神経外科

今村総合病院

1. 八代一孝：広がる治療の選択肢 脳腫瘍対応 最新ガンマナイフ. 南日本新聞, 2024 年 7 月 30 日
2. 八代一孝：最新ガンマナイフ導入 今村総合病院治療を開始. 南日本新聞, 2025 年 3 月 18 日

糖尿病内科

いづろ今村病院

1. 新中須敦：「ペットボトル症候群」夏場の水分補給の“落とし穴”に要注意. MBC 南日本放送 NEWS NOW, 2024 年 7 月 17 日
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1300736>

眼科

今村総合病院

1. 土居範仁：テーマ「眼科疾患」. MBC ラジオ ここが聞きたい!ドクタートーク, 2024 年 10 月 5・12・19・26 日
<https://www.kagoshima.med.or.jp/people/doctortalk/>

産科・婦人科

今村総合病院

1. 貴島佳子：思春期の娘さんのために、親として「今」できること ～子宮頸がんワクチンというプレゼント～. 鴨池校区広報誌 LL かもいけ第 131 号, 2025 年 1 月 25 日
<https://llkamoike.com/back-number/ll-131/>
2. 貴島佳子：どのような症状の時に産婦人科を受診したらいいの?. 鴨池校区広報誌 LL かもいけ第 133 号, 2025 年 3 月 29 日
<https://llkamoike.com/back-number/ll-133/>

看護部門

今村総合病院

1. 徳田勝哉：第 30 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 シンポジウム 3「SDM の進展～多様なニーズとの協調～」演題「生活目標と SDM」. 糖尿病診療・療養指導のための医療情報ポータル 糖尿病リソースガイド (DMRG)【学会レポート】, 2025 年 2 月 7 日
<https://dm-rg.net/>
2. 徳田勝哉:対談 02- ① 臨床から元気にしたい!腎臓病看護のボトムアップ!. ほぼバスキュラーアクセス ラジオ【ながら視ちゃんねる】スナックかわさん, 2025 年 2 月 8 日
<https://www.youtube.com/watch?v=SmJonSepPyY&t=191s>
3. 徳田勝哉:対談 02- ② 透析していない時の生活に目を向けてほしい!元々あった VA 看護という考え方を言語化して共有していく取り組み. ほぼバスキュラーアクセス ラジオ【ながら視ちゃんねる】スナックかわさん, 2025 年 2 月 16 日
<https://www.youtube.com/watch?v=Q6JNp7jftDM&t=618s>

リハビリテーション部門

今村総合病院 作業療法士

1. 黒肱知弘：入院患者が気持ちを表現 水彩画の個展. NHK 鹿児島放送局 情報 WAVE かごしま, 2025 年 1 月 21 日

ソーシャルワーカー部門

奄美病院

1. 森越志保, 西牟田智子：認知症啓発. あまみエフエム, 2024 年 9 月 21 日
2. 森越志保, 西牟田智子：世界アルツハイマー月間の取り組みについて. 南海日日新聞, 2024 年 9 月 22 日

【公的研究】

臨床研究センター

今村総合病院

＜日本医療研究開発機構（AMED）研究費＞

1. 宇都宮 興：『HTLV-1 水平感染の動向と検査法・検査体制の整備』研究分担者（研究代表者：長崎大学 三浦清徳）
2. 宇都宮 興：『ATL 新規治療標的の同定と、個別化医療への展開』研究分担者（研究代表者：宮崎大学 下田和哉）
3. 宇都宮 興：『成人 T 細胞白血病 / リンパ腫の治療を目指した HTLV-1 ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立：薬事承認を目的とした第Ⅱ相医師主導治験』研究分担者（研究代表者：九州がんセンター 末廣陽子）
4. 宮園 卓宜：『アグレッシブ成人 T 細胞白血病リンパ腫を対象とした全国一元化レジストリ・バイオレポジトリ研究』研究分担者（研究代表者：国立がん研究センター中央病院 福田隆浩）

＜厚生労働科学研究補助金＞

1. 宮園 卓宜：『へき地・離島等での血液製剤の有効利用のための研究』研究分担者（研究代表者：東京医科大学八王子医療センター 田中朝志）
2. 徳永 雅仁：『「HTLV-1 総合対策」推進におけるキャリア対策の基盤整備と適正な研究開発の推進に資する包括的評価と提言のための研究』研究分担者（研究代表者：聖マリアンナ医科大学大学院 渡邊俊樹）

＜国際共同研究加速基金＞

1. 宇都宮 興：『HTLV-1a/c 亜型の疫学調査と独自の病原性発現機構解明に向けた日豪共同研究』研究協力者（研究代表者：東京大学大学院 中野和民）

医師育成への取り組み

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」公益財団法人慈愛会は、人材育成の重要な柱の一つとして、初期臨床研修医の育成に力を注いできました。初期研修の制度ができた初年度の2004年度から今村病院（現いづろ今村病院）を基幹型病院とする「じあいプログラム」をスタートさせました。その後、2010年度からは、「じあいプログラム」に併設する形で「錦江湾プログラム」をスタートさせました。

「錦江湾プログラム」は今村総合病院が基幹型病院を務め、いづろ今村病院、谷山病院、奄美病院、鹿児島大学病院を含む20の協力病院群からなる初期研修プログラムです。発足初年度は規定により2名の定員枠でしたが、次年度は5名の定員枠が認められ、2012年度には定員枠が7名に増えました。「じあいプログラム」は10年目の2013年度をもって終了させ、2014年度より定員枠を10名に増やす形で「錦江湾プログラム」に一本化し、現在に至ります。この間、両プログラム合わせて168名の研修医を育ててきました（現在進行中の研修医を含む）。

「錦江湾プログラム」は学生の間で、今とても人気が高い状況です。人気が高い大きな理由は、各診療科の医療のレベルが高いだけでなく、スタッフの人材が揃っており、研修医を育てようという意気込みが学生に伝わっているからとのこと。

私たちは、全国から人材が集まってくるような、日本有数の教育病院に育てようと全力を挙げて取り組んでおり、着実に研修医が育ちつつあります。さらに2025年度から定員枠を12名に増やし、今後もより多くの研修医育成に尽力していきます。

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	総数
錦江湾プログラム	2名	5名	7名	5名	8名	7名	6名	10名	9名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	119名

【基本方針】

基本目標として将来の専門性にかかわらず医学・医療の社会ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようにプライ・マリケアの対応能力を習得することを基本方針とする。

【研修プログラム】

◆プログラム・スケジュール

内 科	麻酔科	救急科	外 科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目
24週（※1）	8週	12週	8週	4週	4週	4週	4週	36週

※1一般外来4週を含む

❗ 錦江湾プログラムは下記の病院群と機能を分担して実施する。

必修研修	内 科	24週	今村総合病院（一般外来研修含む）・いづろ今村病院・鹿児島大学病院	
	外 科	8週	今村総合病院	
	救 急	12週	今村総合病院	
	麻酔科	8週	今村総合病院	
	小児科	4週	今村総合病院・鹿児島大学病院・鹿児島こども病院・霧島市立医師会医療センター	
	産婦人科	4週	今村総合病院・鹿児島大学病院・いまきいれ総合病院・愛育病院・鹿屋医療センター	
	精神科	4週	今村総合病院・谷山病院・奄美病院・鹿児島大学病院	
	地域医療	4週	高麗町クリニック・五反田内科クリニック・倶知安厚生病院・小林市立病院・かごしまオハナクリニック	
自由選択	36週		今村総合病院	全診療科
			いづろ今村病院	全診療科
			介護老人保健施設 愛と結の街	保健
			鹿児島大学病院	全診療科
			鹿児島医療センター	循環器内科
			聖マリア病院	救急
			浦添総合病院	救急
			飯塚病院	内科
			中央病院	循環器内科

慈愛会専門研修プログラム

慈愛会では、専門医を育成するため、内科と総合診療の専門研修プログラムを開設しています。

● 慈愛会内科専門研修プログラム

2018 年度にスタートした慈愛会内科専門研修プログラムは、急性期病院である今村総合病院を基幹施設として、鹿児島県内、福岡県内、東京都内、および北海道内にある連携施設で内科専門研修を行っており、11 名の専攻医が在籍しています。

総合内科専門医は単に各専門科を全て経験すればよいということではなく、多くの診療科にまたがる症例や、逆にどこかの診療科にも属しにくいような症例、症状を解決していく能力が必要となります。

当プログラムでは、総合内科の specialist を育成するため、最大の特徴として基幹病院である今村総合病院の救急・総合内科で研修を行うとともに、他の院内診療科や連携施設とは、より専門性の高い研修を受けることができるよう連携しています。

● 慈愛会総合診療専門研修プログラム

2018 年度に慈愛会総合診療専門研修プログラムがスタートし、これまでに 2 名が修了しました。

当プログラムでは院内の各診療科はもとより連携施設とも連携し、総合診療医として、予防医療、プライマリケア（急性期対応）、総合内科知識・技能・亜急性期・慢性期、そして終末期のいずれの段階の医療にも対応できる能力の習得、または病院総合医、地域の開業医、在宅医療、老健施設での慢性期医療など、将来どのような環境でも活躍できるようなオールラウンドプレイヤー養成を基本としています。

●膠原病・リウマチ内科プログラム

2023 年度に今村総合病院 膠原病・リウマチ内科専門研修カリキュラムがスタートし、現在 2 名の専攻医が内科専門プログラムと並行して研修しています。県内では膠原病の専門研修施設が少ない現状ですが、当院では総合病院である強みを生かして、他科と連携しながら、複数臓器にまたがる膠原病疾患を多く経験することが可能です。主に病棟主治医として精査・治療開始、合併症管理を担当しますが、症例によっては外来フォローまで上級医と相談しながら担当することができます。整形外科ローテーションでは鹿児島赤十字病院と連携しており、また希望があれば東京医科歯科大学、多摩総合医療センターなど県外で高いレベルの教育を受けることもできるようになっています。生物学的製剤や JAK 阻害薬の登場で膠原病診療は日進月歩の進化を遂げており、それに対応できる専門医を育成することが目標です。

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

看護部門

中長期計画	2024年度 事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
看護実践能力の高い人材育成とキャリア支援	(1)キャリア開発プログラム (看護師・訪問看護師・認定/特定看護師・ナースエイド、介護福祉士) 活用によるキャリア支援	・新人看護職員研修4/2 (慈愛会看護部概要) ・キャリア開発ラダー認定証発行 レベルⅠ：39名、レベルⅡ：63名、レベルⅢ：54名、レベルⅣ：12名、レベルⅤ：13名 計181名 申請率80.7% 認定率61.5% ・マネジメントラダー認定証発行 レベルⅠ：4名、レベルⅡ：5名、レベルⅢ：2名、レベルⅣ2名 副看護部長レベル：2名 看護部長レベル：1名 計16名 申請率：Ⅰ93% Ⅱ88% Ⅲ23% Ⅳ22% 副部長33% 看護部長50% 認定率Ⅰ31% Ⅱ71% Ⅲ67% Ⅳ50% 副部長100% 看護部長50%	キャリア開発ラダー、マネジメントラダーは前年度と比較し申請率は低下認定率は上昇した。年度初めの動機付けや申請後の支援状況の確認を行い支援強化が必要。全看護師の成長支援として、管理者は年度初め目標面接の段階で具体的な計画立案を支援し、1年後の認定に向けての成長過程を支援することが必須である。管理者の意識改革・管理能力強化を図るとともに、現場のキャリアアップへの意識付けも必要。スタッフ個々の能力を見極め、意図的に伸ばし成長できる環境を整える。また認定率が上昇しない原因を明らかにし、要因分析検討を行い、チャレンジしたい、キャリアアップしたいと思える職場風土や、目指したい看護管理者(モデル)を創出できる機会をつくる。特にシャドー研修は効果的であったため、今後はレベル別に機会を設けることを検討する。	キャリア開発ラダーは申請認定ともに上昇したがマネジメントラダーの申請率上昇が継続課題である。申請率が増加しない要因や意識調査等から、キャリアアップの課題を明らかにして修正改善する。現在ラダー内容を改定中で、給与改定が施行され新人事評価制度も検討されているため、慈愛会看護部全体として看護師のキャリアアップ支援の方向性についても再検討する。 特に看護管理者(マネジメントラダー)にチャレンジする人数が減少しているため、若手リーダー看護師が看護管理者への道を選択したいと思えるような関わりも必要と考える。看護管理者と直接接しその思考ややりがい等を学べる機会をつくり、モデルとなる存在を持ちながら目標達成に向けて努力できるような機会環境を整えその過程を支援する。
	(2)スペシャリストの計画的育成と活動支援	・認定看護師会議 5/22・11/14・3/12 ・特定行為研修受講者数 今村総合病院11名・奄美病院1名 ・認定看護師研修受講 計2名 がん薬物療法看護(久留米大学認定看護師教育センター：今村総合病院) 集中ケア(東海大学認定看護師キャリア支援センター)	認定看護師受講は2024年度2名、認定合格者は集中ケア1名と感染管理1名。キャリア支援として計画的に育成し割合を増やしていきたい。取得後の活躍状況は人によって差がみられる。配置にも影響されるが、自己の役割を果たすことができ、所属病院内や慈愛会内全体で活躍できるようなシステムづくりも必要である。	取得後は取得した能力を発揮できるよう育成も必要。自組織だけでなく慈愛会内外で活躍できるように支援する。
	(3)管理者マネジメント力育成 成マネジメントラダー活用	看護部長ミーティング 4/24・5/22・6/19・7/26・9/25・10/23・11/16・12/18・1/29・2/26・3/26 BSCの取り組み・研修企画・人材確保活動・マネジメントラダー等の検討 副看護部長ミーティング 4/19・4/30 心に届く慈愛の看護報告会企画 看護管理者協議会 2024年度 第1回看護管理者協議会 7/26 2024年度 第2回看護管理者協議会 10/31 2024年度 第3回看護管理者協議会 2/14 管理者研修 ・新任副看護部長研修 8/9 13:30-17:30 参加者10名 (今村総合病院1・いづろ今村病院2・谷山病院3・奄美病院2・愛と結の街1・高麗町クリニック1) ・新任看護部長研修 7/12 8:30-17:30 参加者5名 (今村総合病院1・いづろ今村病院1・谷山病院1・奄美病院1・徳之島病院1) ・副看護部長研修 11/29 8:30-12:30 参加者6名 (いづろ今村病院1・今村総合病院2・谷山病院1・愛と結の街1・奄美病院1) ・副看護部長研修 2/1 8:30-17:30 参加者51名 (今村総合病院28・いづろ今村病院7・谷山病院14・愛と結の街1・訪看護愛の街1) ・看護部長研修 10/31 9:00-14:20 参加者8名 (いづろ今村病院1・今村総合病院1・谷山病院1・奄美病院1・愛と結の街1・看護部支援室3) ・ファーストレベル研修 参加者5名 (今村総合病院2・奄美病院2・在宅支援部1) ・セカンドレベル研修 参加者2名 (今村総合病院2) ・認定看護管理者 認定3名 (今村総合病院1・谷山病院2)	看護管理者のマネジメント力強化については、月1回の看護部長ミーティングで毎月BSCの取組報告による進捗管理を行い、管理者対象研修企画への参画を通して看護管理者に必要な能力強化に取り組むことができた。また各現場の課題対応・問題解決への相談や、看護管理上共通する課題については全体で共有し、課題解決のプロセスを踏まえ現場に持ち帰るといった看護管理支援体制を強化し、慈愛会全体での看護管理の支援強化につなげた。徳之島病院看護部支援は継続的に検討した。次年度継続課題としては看護管理者育成・看護師確保・医療DXへの取り組み等、慈愛会看護管理者のネットワークを強化し情報共有しながら取り組む必要がある。看護管理者協議会については連絡事項は最小とし、テーマ・検討事項に時間をかけ、目標達成のための看護部の方向性を明らかにしたり課題解決の具体的な方策を導き出したりして目標達成支援の場とした。慈愛会看護部全体で互いの状況を理解しあい支援しあう組織づくりに向けて、今後も活性化した会議のあり方を検討する。 看護管理者研修の各研修企画に看護部長が参画し、必要な研修内容の検討プログラムの立案・実施・評価を行った。現場の課題や状況を踏まえてどのような能力を高めることが必要かを考えるとともに、主体的な参画を目指して工夫した。また研修内容や研修状況を各組織の看護管理者と共有することで研修後の支援につなげていけるようにした。今後若い世代の看護管理者を増やす仕組み、魅力的な研修企画を考える。	看護管理者育成は慈愛会全体での取り組み事項として重要項目となる。特に次年度の看護部長・副看護部長の配置については役割任期制度も見据えて、キャリアアップを支える視点と、視野拡大、看護管理実践力向上の両側面から、有りたい姿やモデルを描き、意欲を持てるような仕組みや研修企画を考え、実施する。 看護部長ミーティングや協議会の場合は、活性化した場づくりや主体的参画の場づくりを意識して成果の見える会議となるよう企画する。 慈愛会全体の看護管理者による相互支援体制を構築し、マネジメント力を高めあえる組織づくりに取り組み、問題共有・解決に向けた方策・取り組みまでの一連のマネジメント活動を情報共有し、各部署への活用を推進する。

中長期計画	2024年度 事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
看護実践能力の高い人材育成とキャリア支援	(4)慈愛会内外組織横断支援ナース育成ハイブリッド活用による認定看護師・特定看護師不在地域への介入、地域看護力向上	・徳之島人事交流研修 年間219日 計46名 (今村総合病院4・いづろ今村病院10・谷山病院5・奄美病院20・訪看護の街1・看護部支援室1・愛と結の街5)	徳之島病院業務応援については、看護部長ミーティングを活用して加算取得状況を確認し合い、可能な限り計画的に支援できるよう努めた。年度後半には派遣からの確保が安定的となってきたため、支援なしでの加算取得に至ることができた。	徳之島病院の人員確保・加算取得に関しては、派遣からの確保に依存しており、今後不安定さを伴うため、次年度も看護師確保について看護部長ミーティングでチェック機構を持ち、継続的検討事項として慈愛会看護部全体で支援する。
	(5)看護＋介護一体化による強力な看護チーム構築認知症高齢者や単身高齢者への対応	・介護福祉士・ナースエイド合同研修 参加者計254名 目的：患者・利用者の尊厳を守り人権を尊重し、慈愛の心を届けるケアの提供ができる	介護福祉士・ナースエイドの教育に関しては倫理的視点の強化が重要となる。前年度は倫理的視点での事例検討を実施したが、2024年度は目的を「相手の立場に立つことの視点で患者・利用者の理解を深め理念の実践について考えを深める」とし、「ユマニチュード」について理解を深め日頃の実践に活用できるようになることを目標とした研修を実施した。要項や資料を慈愛会看護部長会全体で検討・作成し、全部署で実施し254名が参加した。「ユマニチュード」について再学習することで、ケアの本質を再確認し、慈愛の心を届ける看護・介護につなげることができる、という反応が多くあった。	介護福祉士・ナースエイドの教育は、倫理的視点の強化が重要となるため、毎年継続的に実施する。研修内容を慈愛会全体で検討し同内容で研修開催しており、全体の底上げにつながっている。またアンケートや研修後のレポート内容から現場の実践に役立っているとの成果が認められるため、今後も実践力を高める研修企画を継続する。
	(6)臨床教育の充実看護実践スキル向上教育	・第1回臨地実習指導者・教員合同会議 4/20 ・第2回臨地実習指導者・教員合同研修 10/5 参加者82名		
	(7)看護・介護人材の確保と適正配置および教育 大学卒業生獲得、福岡を拠点とした九州北部大学へのリクルート活動拡大、奨学金制度の見直し及び大学生向け奨学金制度活用	・2024年度採用試験を1回追加し、計5回実施（臨時試験も実施） ・2025年4月1日採用者数 新卒看護師	大学卒業生獲得、福岡を拠点とした九州北部大学へのリクルート活動を拡大した。2024年度初めて九州全体の学校訪問を実施し県外の大学専門学校トータル95回の訪問を実施した。年度前半は鹿児島慈愛会を知っていたから訪問から始まり、奨学金の紹介、年度後半は学校主催ガイダンスへの参加、病院見学への誘導等を、複数回の訪問で情報提供に注力した。年度後半になると訪問した学校からの資料請求やオンライン説明会へのエントリー、マイナビ（熊本・福岡）説明会の慈愛会ブースへの参加等、成果が見えてきている。 結果、2025年4月1日の新卒入職者数は前年度より増加した。	2024年度開始した学生向け奨学金を広報し、確実な人材確保につなげることを次年度強化する。奨学金広報の強化期間を3～5月頃として学校訪問を実施し奨学生を確保したい。 九州全域の広報活動については2年目を迎えるため、昨年度の訪問先からターゲットを選択肢し連絡・訪問等を行う。 広報に関してはオンラインやウェブサイト、SNS等メディアを活用し工夫しながら複数回アクセスできる仕掛けをつくり、学生のニーズを捉え最終的に見学・採用につながるように工夫する。
	病院見学者枠を広げ（平日ほぼ毎日）見学者数の増加への取り組み	・病院見学会 ほぼ毎日募集 今村総合病院見学者数	既卒看護師12名、介護福祉士4名（既卒2・新卒2）、ナースエイド1名(新卒) ・学校訪問 大学卒業生獲得、福岡を拠点とした九州北部大学へのリクルート活動拡大 鹿児島県内36 回、鹿児島県外95 回（福岡41・佐賀11・長崎6・大分3・熊本16・宮崎14・沖縄4） ・奨学生 鹿児島国際大学1名、赤塚学園1名	全病院でのオンライン説明会開催は学生の希望日に対応し、いつでもアクセスできるように工夫している。マイナビ説明会でも全病院でのオンライン説明会を広報し、そこからのエントリーにつながってきている。
学生アルバイト増加による病院見学者増加および現場の業務負担軽減	・看護職員（パート含む）・アルバイト募集ポスター 各病院掲示・ウェブサイト掲出 ・アルバイト時給増額 897→1,000円	時給を1,000円にアップしたことでコンスタントに各病院にアルバイト生を獲得でき、夕方や夏休み等の業務負担軽減につながった。学生の慈愛会に対するイメージアップ等で今後の就職にもつながることを期待している。国家試験不合格者のアルバイトも受け入れ、継続的に支援し、学校への学生に関する情報提供を行ったことで、学校との連携強化にもつながった。	学生アルバイト増加による病院見学者増加および現場の業務負担軽減については、次年度も継続的とする。業務負担軽減のほか、アルバイトを通して慈愛会の雰囲気を感じていただき、口コミで慈愛会のイメージアップを図り結果的に人材確保へつなげていく。	
学生の興味をひく広報内容の検討	・看護師募集ポスターメール便九州沖縄配送 5,000名	Instagramによる広報や説明会等の申し込みフォームの活用等、学生にとってアクセスしやすい方法を使用するように変化させた。		

中長期計画	2024年度 事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)																																																								
看護実践能力の高い人材育成とキャリア支援	新たな人材確保	・ 特定技能職員採用 第1回採用面接2/19（インドネシア）通常採用5名、育成採用10名 ・ 2024年度施設別看護師離職率 <table><tr><th></th><th>2023年度</th><th>2024年度</th></tr><tr><td>いづろ今村病院</td><td>14.8</td><td>5.9</td></tr><tr><td>今村総合病院</td><td>15.8</td><td>13.0</td></tr><tr><td>谷山病院</td><td>14.4</td><td>14.8</td></tr><tr><td>奄美病院</td><td>11.2</td><td>9.6</td></tr><tr><td>徳之島病院</td><td>15.6</td><td>6.5</td></tr><tr><td>愛と結の街</td><td>22.2</td><td>7.4</td></tr><tr><td>訪看護愛の街</td><td>0</td><td>7.7</td></tr><tr><td>全数</td><td>13.5</td><td>11.4</td></tr></table> ・ 訪問看護ステーションへの新卒看護師受け入れ構築 2024年度 1名 新卒訪問看護師育成情報交換会 鹿児島県看護協会・訪問看護ステーションみなみ風・笹貫訪問看護ステーション愛の街 5/29・10/16・3/12		2023年度	2024年度	いづろ今村病院	14.8	5.9	今村総合病院	15.8	13.0	谷山病院	14.4	14.8	奄美病院	11.2	9.6	徳之島病院	15.6	6.5	愛と結の街	22.2	7.4	訪看護愛の街	0	7.7	全数	13.5	11.4	新たな人材確保策として、初めて特定技能職員採用を実施した。入国開始は2025年8月頃予定。まとまった人数が異国の地での生活や仕事を開始することから、受け入れに向けてプロジェクトを立ち上げ、長期にわたり継続して働ける環境を整えるとともに、介護福祉士免許取得に向けた育成が順調にすすむよう支援準備の必要性がある。 新たな取り組みとして、訪問看護ステーションに新卒看護師を初めて採用した。鹿児島県でも初の試みであり、県看護協会や他施設(訪問看護ステーションみなみ風)と連携しながらの受け入れとなった。受け入れに向けたクリニカルパス・育成計画の作成や環境整備等を行うとともに慈愛会の各病院の協力も得て、交換研修も取り入れ育成した。採用者は1年間計画に基づき研修を受けながら順調に成長することができた。	特定技能職員受け入れ体制整備のプロジェクトを開始し、退職者を出さず、資格取得を含めて支援体制を完全に整えていく。また受け入れ後は定期的な評価を行い、必要な支援を見直し、体制の修正を行う。8月5名・2026年2月10名の受け入れとなるため、前期の受け入れで状況をつかみ後期受け入れに反映させる。今後人材確保において外国人採用は1つの方法となるためシステム化する必要がある。 新卒看護師が2年目を迎えるため、1年目の評価を踏まえ予定されている育成プログラムは評価内容を加味して修正し、継続的な支援を実施する。県看護協会や他施設(訪問看護ステーションみなみ風)との協議を2年目も継続し、新卒看護師の訪問看護ステーション受け入れのためのプログラムを、実際活用できるものとして修正することで今後他施設での資料となるよう整える。																													
		2023年度	2024年度																																																									
	いづろ今村病院	14.8	5.9																																																									
	今村総合病院	15.8	13.0																																																									
谷山病院	14.4	14.8																																																										
奄美病院	11.2	9.6																																																										
徳之島病院	15.6	6.5																																																										
愛と結の街	22.2	7.4																																																										
訪看護愛の街	0	7.7																																																										
全数	13.5	11.4																																																										
	(8)定期異動体制構築(管理者、職員)による職場活性化・質の均てん化 看護教員と臨床の定期異動体制 2024年度 看護学校→谷山病院 いづろ今村病院→看護学校	(8)定期異動体制構築(管理者、職員)による職場活性化・質の均てん化 ・看護教員と臨床の定期異動体制 2024年度 看護学校→谷山病院 いづろ今村病院→看護学校																																																										
	(9)J-seaty研修継続による慈愛会職員育成	(9)J-seatyナース研修 全8コース40名参加 ※P118-120参照	J-seatyナース研修は各組織の強み(看護の得意分野)の内容で研修を企画し、慈愛会看護職員は希望の研修に参加でき、看護師として視野拡大できる慈愛会ならではの研修である。また専門的知識の獲得だけでなく多職種連携、慈愛会組織の理解、視野拡大、医療連携の重要性を理解する機会にもなっている。参加者は現場の課題を整理した上で研修に参加しており、研修後は学びを生かして現場で実践し、現場への還元を期待されている。看護管理者は研修参加者の研修後の支援を継続し役割を果たせるようにするとともに、現場スタッフも学びを得られるようにする。 慈愛会の強みであるJ-seatyナース研修については次年度慈愛会外の病院や施設への公開を検討中であり、他医療機関への貢献や連携強化へつながることが期待される。	慈愛会の強みであるJ-seatyナース研修については、次年度慈愛会外の病院や施設への公開を項目別で検討する。地域貢献や、医療連携強化のためにも、1項目でも公開できることを目指し、公開決定の際は、広報を早めに行い参加者の獲得にも力を入れる。J-seatyナース研修の慈愛会職員参加者に対する研修後のフォローアップや活用の推進を組織的に考える。																																																								
急性期、回復期、在宅医療サービス向上	(1)訪問看護部の設置、訪問看護ステーション一元管理 年間の目標訪問件数：愛の街12,000件、イルカ9,600件、わたりどり2,520件 3訪問看護ステーション定期会議	・ 3訪問看護ステーション合同会議（定例会議）の開催 月1回 (笹貫訪問看護ステーション愛の街・訪問看護ステーションイルカ・訪問看護ステーションわたりどり) 訪問延べ件数/月 <table><tr><th></th><th>愛の街</th><th>イルカ</th><th>わたりどり</th></tr><tr><td>4月</td><td>861</td><td>824</td><td>248</td></tr><tr><td>5月</td><td>857</td><td>859</td><td>227</td></tr><tr><td>6月</td><td>929</td><td>789</td><td>218</td></tr><tr><td>7月</td><td>925</td><td>843</td><td>217</td></tr><tr><td>8月</td><td>888</td><td>761</td><td>182</td></tr><tr><td>9月</td><td>872</td><td>758</td><td>190</td></tr><tr><td>10月</td><td>917</td><td>834</td><td>210</td></tr><tr><td>11月</td><td>913</td><td>793</td><td>210</td></tr><tr><td>12月</td><td>872</td><td>794</td><td>214</td></tr><tr><td>1月</td><td>970</td><td>743</td><td>212</td></tr><tr><td>2月</td><td>915</td><td>722</td><td>181</td></tr><tr><td>3月</td><td>1,047</td><td>770</td><td>222</td></tr><tr><td>月平均</td><td>913.8</td><td>790.8</td><td>210.9</td></tr></table>		愛の街	イルカ	わたりどり	4月	861	824	248	5月	857	859	227	6月	929	789	218	7月	925	843	217	8月	888	761	182	9月	872	758	190	10月	917	834	210	11月	913	793	210	12月	872	794	214	1月	970	743	212	2月	915	722	181	3月	1,047	770	222	月平均	913.8	790.8	210.9	慈愛会内の3訪問看護ステーションが月1回の会議で、訪問件数・抱えている問題等を情報交換すること、問題解決につなげることができた。特に利用者との電話相談体制については、夜間受け持ち看護師の対応から夜勤担当者への電話へと一本化することで、全ステーションの業務改善につながった。患者からのクレームはない。共通する問題については話し合いの中で改善方法を導き出したり、工夫点を共有して自部署に持ち帰る等の情報交換の場として有効であった。次年度は目標値達成に向けた施策について毎月検討することとした。患者獲得や、オンライン診療等の新たな取り組みについても今後共有しながら慈愛会内の連携強化についても考えられるようにする。	慈愛会3訪問看護ステーション会議は、情報共有だけでなく業務改善につなげたり業務内容に反映させたりと効果的な会議になっている。次年度は、目標達成に向けた施策について月ごとに検討する場としても活用することで、訪問件数増加、増患対策についても共有し、結果を活用できるようにする。
	愛の街	イルカ	わたりどり																																																									
4月	861	824	248																																																									
5月	857	859	227																																																									
6月	929	789	218																																																									
7月	925	843	217																																																									
8月	888	761	182																																																									
9月	872	758	190																																																									
10月	917	834	210																																																									
11月	913	793	210																																																									
12月	872	794	214																																																									
1月	970	743	212																																																									
2月	915	722	181																																																									
3月	1,047	770	222																																																									
月平均	913.8	790.8	210.9																																																									

中長期計画	2024年度 事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
急性期、回復期、在宅医療 サービス向上	(2)病床稼働率向上のための 具体策の策定と実施による 経営参画 土日月の入退院集中緩和 対 (3)外来機能の明確化・連携か かりつけ機能の強化と外 来看護専門性の向上 自施設内外人事交流 (かごしまオハナクリニック、他施設)	・2025年3月より 徳之島病院看護加算 20対1 から15対1へ		
医療と介護、 協力体制整備による連携強化、	(1)慈愛会内外との連携強化 (情報連携強化)、連携推 進 (2)アセスメントシート活用 の効率化 (整理)	(1)慈愛会連携推進会議 2カ月に1回開催 連携事例の検討、連携強化に向けた施策の検討、慈愛 会連携シートは自動入力による業務効率への移行の部分 で要検討。	2カ月に1回の連携推進会議である が慈愛会全体で医療連携を考える 場として大切な会議となっている。 慈愛会連携シートはフォーマット は完成したが、データの自動入力力 の問題があり、次年度の継続課題と なった。慈愛会内の紹介事例の検討 の場としているが、より良い慈愛会 内携体制についての検討が今後必要 となる。 年3回の慈愛会看護管理者協議会 でも改善に向けた検討を主とした会 議に変更し、討議内容を現場に持ち 帰り改善改革に役立てる場として各 看護部長が主体的参画を行った。	慈愛会内の医療連携強化に ついての会議は本会議が中心 となっており、より連携強 化を図れるよう、会議の在り 方を再検討する。慈愛会連携 シートの活用についても検討 し、次年度は連携強化のツ ールとして活用したい。
看護職の働き方改革 (働く環境の整備、子育て介護支援、ICT活用、人的支援、働き方改善、等)	(1)働きやすい労働環境の整備 (夜勤時間の検討、超 過勤務の削減、部署に よる休暇取得日数の格差縮 小)による職場満足度向 上 業務改革による超過勤務 の削減 現状より20%以 上削減 (2)ICT等のテクノロジー活用 による業務負担軽減、 生産性向上 (記録の効率 化・看護記録の音声入力、 医療・介護在宅現場をつな ぐ情報共有システム、会 議・研修等への活用推進)	2024年度看護管理者協議会 (1)看護管理者協議会 7/26 ・将来の慈愛会看護部の人材育成についての方向性を見 出す (2)看護管理者協議会 10/31 ・夜勤職員の負担軽減 ・ふれあい看護体験について ・5年後を見据えた看護管理者の育成 (3)看護管理者協議会 2/14 ・医療DX推進のために、看護の質向上に必要なデータと は、業務改善のためのリアルデータ、DXが望ましい看 護システムは何か ・各病院別業務改善進捗状況 (一部抜粋)	労働環境改善による職場満足度向 上については、それぞれの病院単位 で5項目の業務改善を打ち出し1年 間かけて取り組んだ。 ICT活用による業務改善について も医療DXに関わるチームに看護部 も参加し、業務フローを踏まえた上 で、多職種連携も含めた業務改善に 現在取り組んでいる。 各病院が5項目の業務改善項目を 設定し取り組みを行ったが、多職種 協働で改善する項目が多く、タス クシェア・タスクシフトの視点での 取り組みとなった。成果が得られた 項目と未達の項目があるため今後も 継続して取り組む必要がある。医療 DXへの取り組みについても他職種 と協働して進められた。"	労働環境の整備や業務改善 については次年度医療DXと 絡めて、業務フロー作成及び 多職種連携のもと取り組むこ とが求められている。より効 率的な協働のあり方、DXに よる業務効率向上の検討につ いて看護部代表者がより主体 的に情報を持ちながら参画す ることが求められる。 また、部長ミーティングで 情報交換や進捗状況管理を行 い、足並みを揃えながら慈愛 会看護部全体の改善につなげ ていく。 年3回の慈愛会看護管理者 協議会の在り方を更に活性化 させ、主体的な変革促進や組 織づくりにつなげられる場と する。 継続課題に今後も取り組み 改善が進むよう進捗管理し、 評価修正を積み重ねて根気強 く取り組めるように支援する。
	(3)子育て支援・介護支援・プ ラチナナース支援の充実 (4)タスクシフティング・タス クシェアリング ミドルマネジメント研修 後の活動継続	(3)子育て支援便り 年2回発送 (6月・2025年1月)		

中長期計画	2024年度 事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)										
看護職の働き方改革（働く環境の整備、働き方改善、子育て介護支援、ICT活用、人的支援、働き方改善、等）	(5)縁結び応援プロジェクト活動の拡大 年3企画以上実施	(5)・縁結び応援プロジェクト企画(2回開催) ・新入職者懇親会 12/7 参加者38名 ・慈愛会ボウリング大会 2/12 参加者19名	縁結び応援プロジェクト企画としては、コロナ禍においては懇親会を実施していなかったが、新入職者を対象としてStep研修の後に懇親会を開催した。新入職者は入職から9カ月経過し、慈愛会全体の同期懇親会ということで、交流を深める場となった。例年実施しているボウリング大会についても開催時期が年度末となっていたが、参加者同士職種を超えて交流が深まる機会となった。	実施計画と広報が遅くなったという課題があり、次年度は年間計画を立てる等の工夫が大切。開催内容によって年齢別がよいのか、取って年齢の縛りがなく実施したほうがよいのか、企画の目的に応じて考えたい。参加を促し、慈愛会全体の交流ができる企画を今後も検討する。										
	(6)各職種の処遇改善・給与反映の検討 新給与体系による改善 定年後勤務継続	・アルバイト時給 897→1,000円 ・新給与体系の導入	2024年度は新給与体系の導入が行われた。導入経緯や目的について正しい情報の浸透には不足感がある。役割等級制度の理解に加え評価制度の改訂に向けて現在ラダー内容の検討を開始した。	給与改定に続き次年度は新人事制度の導入となる。制度の目的を正しく理解し、役職任期制度等に対応していくために、看護管理者の理解を促し、現場への説明の徹底やラダー整備等を行う。										
継続計画・災害への対応力強化、業務	(1)新興感染症・災害時業務継続計画策定と定期シミュレーション 災害支援ナース研修受講	・今村総合病院DMATの立ち上げ J-seatyナース研修に災害看護の内容を盛り込む（今村総合病院）	災害対応力強化に対する現場意識は向上してきている。病院レベルでの訓練等も実施されているが慈愛会看護部として災害看護の知識強化のためJ-seatyナース研修に内容が盛り込まれた。慈愛会看護部として災害対応力強化は今後の継続課題である。	次年度も慈愛会看護部全体として災害への対応力強化は継続課題である。発災時の組織体制や知識・技術力強化に向けて組織的取り組みの進捗状況は看護部長ミーティングでも確認・検討を継続する。										
	(2)地域への活動支援体制整備													
多職種連携チームによる安全で質の高いサービス提供多職種連携チーム活動	(1)摂食嚥下チーム 感染対策チーム 認知症ケアチーム 緩和ケアチーム等活動推進チーム活動の成果の可視化	全組織感染対策チーム活動あり <table><tr><td>今村総合病院</td><td>リエゾンチーム 認知症ケアチーム 院内急変救急対応チーム (MET) 呼吸ケアサポートチーム 栄養サポートチーム (NST) 緩和ケアチーム</td></tr><tr><td>いづろ今村病院</td><td>認知症ケアチーム CDE (日本聴覚療養士) ACP NST 褥瘡制御 行動制限 最小化 口腔ケアプロジェクト 摂食嚥下プロジェクト IBD 緩和ケアチーム</td></tr><tr><td>谷山病院</td><td>WLB LAI TOM 発達障害 アルコールリハビリ 心理教室</td></tr><tr><td>奄美病院</td><td>褥瘡ケア、認知症カフェ</td></tr><tr><td>徳之島病院</td><td>褥瘡ケア</td></tr></table>	今村総合病院	リエゾンチーム 認知症ケアチーム 院内急変救急対応チーム (MET) 呼吸ケアサポートチーム 栄養サポートチーム (NST) 緩和ケアチーム	いづろ今村病院	認知症ケアチーム CDE (日本聴覚療養士) ACP NST 褥瘡制御 行動制限 最小化 口腔ケアプロジェクト 摂食嚥下プロジェクト IBD 緩和ケアチーム	谷山病院	WLB LAI TOM 発達障害 アルコールリハビリ 心理教室	奄美病院	褥瘡ケア、認知症カフェ	徳之島病院	褥瘡ケア	各病院で必要な医療提供に関する多職種連携チーム活動を実施できている。チーム活動における成果について全体での共有の場があることでその活動の拡大につながることも考えられる。 全体での共有や有効事例の報告等を他病院でも共有できると拡大できる可能性もある。チームに関わっている認定看護師による情報拡大についても確認が必要。	多職種連携による成果については、慈愛会全体で共有できればより良い活動への示唆を得ることもつながる。認定看護師会等の年間評価を踏まえ次年度活用できる知識やノウハウ、新たな取り組み等を共有する場を設け、より良い多職種連携活動につながってほしい。
今村総合病院	リエゾンチーム 認知症ケアチーム 院内急変救急対応チーム (MET) 呼吸ケアサポートチーム 栄養サポートチーム (NST) 緩和ケアチーム													
いづろ今村病院	認知症ケアチーム CDE (日本聴覚療養士) ACP NST 褥瘡制御 行動制限 最小化 口腔ケアプロジェクト 摂食嚥下プロジェクト IBD 緩和ケアチーム													
谷山病院	WLB LAI TOM 発達障害 アルコールリハビリ 心理教室													
奄美病院	褥瘡ケア、認知症カフェ													
徳之島病院	褥瘡ケア													

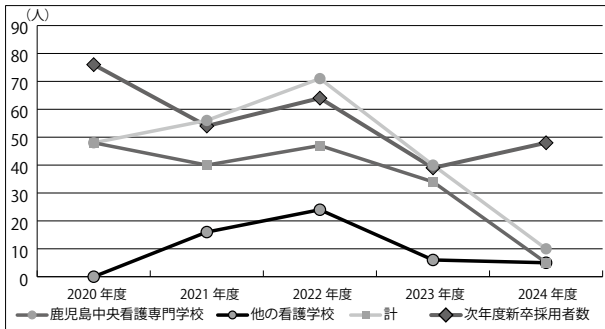
2024年度は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の年となった。また、医療DXの推進、役割等級制度導入に伴う給与改定、クリニカルラダー・マネジメントラダー改定への取り組み等、新たな変化を生み出すことを求められた年となった。戦略的な看護管理を行い看護部の責務を果たすことが重要となる。

看護部支援室は、看護職員人材確保と人材育成の役割を担っている。2023年度頃より鹿児島市内公的病院の人員不足や看護学校の閉校等が影響し、慈愛会外からの看護職員確保が減少し、現場の負担感は大きくなっている。2024年度もこれら人材確保困難の状況に対し、積極的な学校訪問、広報活動、採用試験を実施した。新たな取り組みとして、学校訪問を九州全体に拡大し、鹿児島県外の学校訪問を年間95校実施した。また、病院見学や就職説明会はウェブサイトを活用した広報・募集を開始、オンライン説明会の開催、インスタグラムでの広報

等新たな企画を実施した。人材確保の一環で看護補助者として特定技能職員（外国人）の採用を実施した。

2024年度も慈愛会看護部で一丸となり毎週人材確保ミーティングを継続し、具体的な人材確保に向けた活動に取り組んだ。結果、2025年4月1日の入職者は新卒看護師が48名（前年度は46名）、既卒看護師は12名、介護福祉士4名（既卒2名 新卒2名）、ナースエイド1名と、前年度の4月1日より採用者数は増加した。

慈愛会主催就職説明会の来場者状況（過去5年間）



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
鹿児島中央看護専門学校	48	40	47	34	5
他の看護学校	0	16	24	6	5
計	48	56	71	40	10
次年度新卒採用者数	76	54	64	39	48

※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の為

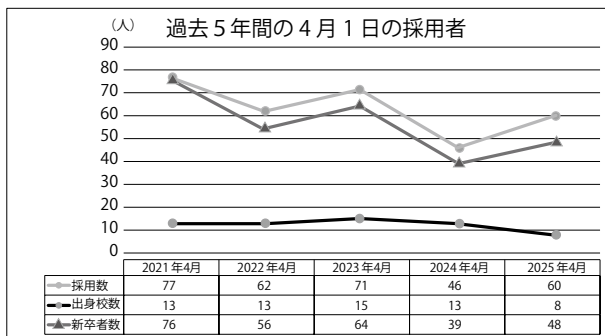
鹿児島中央看護専門学校以外の学生への就職説明会は未実施

※2021年度は感染対策の為鹿児島中央看護専門学校と他の看護学校の2回に分けて開催

※2023年度は学校主催のガイダンスが増加し、慈愛会就職説明会への参加が減少したと考えられる

※2024年度は急性期病院グループと精神科病院(谷山病院)の2コースでのバスツアーとランチ会・就職説明会を合わせた企画を実施。オンライン説明会も全病院別で開催

看護師採用状況



病院別看護師採用数

	2021年4月	2022年4月	2023年4月	2024年4月	2025年4月
今村総合病院	50	43	45	24	31
いづろ今村病院	9	7	13	8	14
谷山病院	12	7	10	5	11
奄美病院	2	2	2	6	2
徳之島病院	4	3	0	1	2
愛と結の街	0	0	0	1	0
訪問看護愛の街	0	0	1	1	0
	77	62	71	46	60

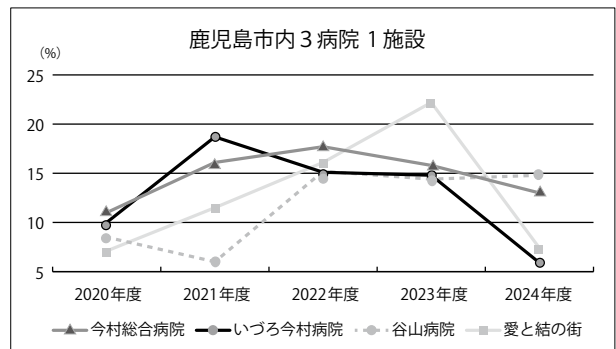
鹿児島中央看護専門学校生以外の看護学生に対する奨学金制度が導入され、2024年度は2名（大学生1名、専門学校生1名）の奨学生を獲得でき、以降奨学金希望者の病院見学や相談が増えるなど、慈愛会看護部全体での取り組みの成果が表れてきている。病院見学は可能な限り毎日開催（毎日対応可）することで応募者が自由に自己の希望する日程で申し込めるようにしてSNSやウェブサイトで広報した。学生アルバイト支給額増額によるナースエイドの確保、入職支度金の期間限定増額、潜在看護師への復職支援教育企画、業者登録者へのメール便5,000人へ発送するなど2024年度は広報活動の拡大の新たな取り組みを実施した。結果病院見学者の増加、学生アルバイト申請増加、入職支度金を活用した入職増加など

の効果も見られた。今後も引き続きより効果的人材活動に取り組んでいく。

また、離職率低下・職場定着にも取り組んだ。前年度の離職率13.5%が2024年度は11.4%と、約2%減少した。人材不足による負担感を軽減するために周辺業務の多職種との協働や業務改善を推進した。各施設で業務改善を5項目リストアップし、積極的に成果目標を掲げて取り組んだ。目標達成できていない項目があり、継続的に取り組むことで、看護職員の環境改善を図り、看護ケアの充実と看護職員の働き甲斐につなげられるようにしたいと考えている。社会背景を踏まえ、これまで以上に、人材確保策と離職防止対策を強化することが求められている。

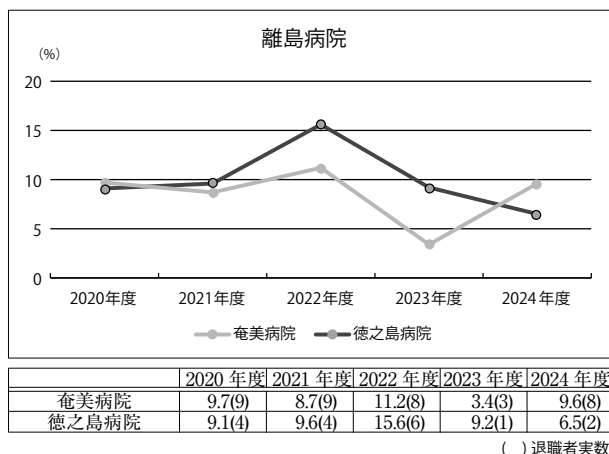
2024年度は鹿児島県看護協会が鹿児島県から訪問看護供給体制確保推進事業の委託を受け、当法人と他訪問看護ステーション2施設で新卒者訪問看護師育成支援を開始した。2024年4月、笹貫訪問看護ステーション愛の街に新卒訪問看護師1名が入職した。鹿児島県看護協会新卒等訪問看護師人材育成プログラムを基本とした慈愛会訪問看護師育成プログラムを活用し新卒看護師の訪問看護師としての育成・支援を開始した。慈愛会看護部、慈愛会各組織の協力（研修への参加や各施設での勤務）のもと、1年間無事に過ごし訪問看護師として成長することができた。また鹿児島県看護協会・他訪問看護ステーションと新卒訪問看護師育成情報交換会を2回開催し、支援内容や成長状況の情報交換を行った。次年度2年目となるが継続して大切に育み、在宅で生活する人々を支える訪問看護師として成長できるよう育成を支援したい。

離職率状況



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
今村総合病院	11.0(40)	16.1(61)	17.7(64)	15.8(57)	13.0(45)
いづろ今村病院	10.0(10)	18.7(19)	15.1(14)	14.8(14)	5.9(6)
谷山病院	8.5(14)	6.0(9)	15.2(22)	14.4(19)	14.8(19)
愛と結の街	7.1(2)	11.5(3)	16.1(2)	22.2(3)	7.4(1)

() 退職者実数



組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 慈愛会の急性期医療・慢性期医療・終末期医療・在宅医療の連携強化

各施設の地域連携担当者、看護部ベッドコントロール者による慈愛会連携推進会議の活動により連携は強化され、顔の見える関係づくりは充実してきている。今後は慈愛会トータルケアシステム・慈愛会地域包括ケアシステムの構築に向けて、更に組織化し、具体的にシステム構築がすすめられるように取り組む。

1) 看護管理者協議会（3回/年 7月・10月・2月開催）

慈愛会看護部長ミーティング（1回/月）

《主な協議・確認事項》

人材確保・定着、人材育成、管理者の育成、感染対策、働き方改革、医療DX、業務改善、経営参画、入院受け入れ体制、人事計画、新卒訪問看護師採用計画、看護学校の在り方等を検討協議した。連絡事項は最低限で、検討事項の協議・検討を中心に会議を実施した。看護管理者にとって管理上の問題解決のヒントが得られ、視野拡大、切磋琢磨できる場になり結果につなげられるよう調整・改善する。

2024年度は新卒訪問看護師が入職し1年間育成を行った。鹿児島県看護協会と連携し作成した、新卒訪問看護師教育プログラムを使用した。順調に成長しており2年目も継続した育成を実施する。

2) 慈愛会看護部教育委員会（1回/月）

新人教育、3年目研修や実習指導者・教員合同研修企画と運営等、慈愛会全体の教育活動を実践し教育レベルの質向上を図っている。現場看護師の実践力向上に向けて、今どのような実践力強化を求めら

れているかを明らかにしたうえで研修内容を決定する必要がある。2025年度は研修評価内容も踏まえて新たな研修企画を実施する。

3) 慈愛会連携推進委員会（1回/2月）

慈愛会で用いる多職種協働のサマリーの統一化を検討しACPの導入・推進を図った。地域包括ケアに関わる資質の向上のため、多職種プロジェクトによるACPを取り入れた慈愛会連携シート（案）を作成したが、自動入力などDX化に至っていないため次年度は導入に向けた取り組みを進める。また、慈愛会内でタイムリーなベッド調整を行い患者に必要な医療の提供および病床有効活用を推進するシステム構築に2025年度は取り組む。

2. 在宅支援部（訪問診療・看護）の機能強化

2023年7月に徳之島病院訪問看護ステーション「わたりどり」が開設され2023年度より笹貫訪問看護ステーション愛の街・奄美病院訪問看護ステーションイルカ・徳之島病院訪問看護ステーションわたりどりによる、「3訪問看護ステーション会議」を定期開催している。会議では訪問看護ステーションの経営状況の共有、経営改善策や看護の質向上に関する協議を行い経営向上に努めている。2024年度は患者の電話相談について情報交換を行い、業務改善につなげることができた。2025年度は経営目標達成への施策について、情報交換を行い達成に向けて、改善策を考え、実施、評価する場となるよう会議を企画する。慈愛会各病院と訪問看護ステーションの連携強化の部分では、患者状況を共有する場をシステムとして設ける必要があり2025年度の課題とする。

3. 看護師確保について

1) 採用試験実施

定期採用試験は5回（5月・6月・8月・11月・2月）、臨時採用試験を2回実施した。受験者数は前年度と比べ増加した。要因は新たな人材確保対策が功を奏したのではないかと考える。また各現場の努力で退職者率は前年度に比べやや減少したため、2024年度のスタートは前年度よりは充実することができた。これは慈愛会全体で人材確保に取り組んだ成果と考える。徳之島病院の看護師確保については、派遣会社からの継続した派遣ができたことにより2025年3月、20対1から15対1へと加算の変更を

実施できた。しかし、派遣会社からの供給だけでは不安定であるため離島の看護師確保は継続的課題であり、慈愛会全体での人材育成・看護管理者育成における新たな仕組みを検討する必要もある。

2) 看護学生向け奨学金制度の新設

これまで鹿児島中央看護専門学校生対象の奨学金制度のみであったが、2024年度より看護大学、看護専門学校生に対する奨学金制度が新設された。ウェブサイト、学校訪問等で広報し現時点では看護大学生1名専門学校生1名計2名が申し込みし受理された。奨学金申し込みに向けた見学応募や問い合わせが複数ある状況であり、継続的に奨学生獲得に向けたアピール活動を強化する。

3) 採用活動

2024年度は九州圏内をリクルート活動の対象に拡大して慈愛会就職説明会、学校訪問、業者によるガイダンスを活用した人材確保を実施した。これには看護大学との連携を深めていく目的も含んでいる。慈愛会看護部で一丸となり定期的に人材確保の検討を行い、就職ガイダンスへの各病院からの参加、病院ごとのオンライン就職説明会開催、オンライン病院見学会等を開催し、全施設が主体的に人材活動に参画し人材確保に関する準備や実施状況も活性化した。

看護大学生からの病院見学等への申請があり、将来への人員確保につながっている。今後さらに広報を強化し、慈愛会入職者獲得に努める。

合同研修会

2024年度 管理者・職員・臨地実習指導者研修会一覧

		開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価（レポート・評価表）	研修プログラム	開催場所	参加者数
管理者研修	1	2024/10/31 (木) 9:00-14:20	看護部長 全看護部長	人材育成能力・人的資源活用能力向上	1) 市場における看護師を取り巻く状況・職場選択の決定要因等を知り、現状に即した人材確保、離職防止対策を打ち出すことができる。 2) 外国人労働者受け入れに関する実践に学び、自施設看護部の考えや方針を明確にできる。 3) トップマネジャーとして人事制度改定での役割等級制度と現マネジメントラダーの整合性について検討し、マネジメントラダー改訂に取り組み、整合性のあるマネジメントラダーを構築する。 4) 新マネジメントラダー改訂を機会に若い世代が看護管理者をめざせる仕組みとする。	【事前レポート】 ①マネジメントラダー評価（看護部長職レベル） ②新人事制度の役割等級制度改定による慈愛会看護部マネジメントラダーの改訂点 ③自病院（自施設）の現状を踏まえ0ベース思考による多様で柔軟な働き方への提言・外国人労働者受け入れに関する看護部長としての考え ④トップマネジャーとしてマネジメントラダー活用推進による看護管理者育成の現状と課題 ⑤②について、自己が考える改訂点を第2版マネジメントラダーにマーカーしてくる。可能な限り表現の案や改訂内容を明確にし意見交換に臨む。	・各看護部長事前課題③④について発表 ・外国人労働者受け入れ報告/外国人技能実習生受け入れとメリットや課題 (1)徳之島病院 技能実習生受け入れ（5分） 福長看護部長 (2)今村総合病院 EPA（5分） 中谷看護部長 ・グループワーク（0ベース思考） 「慈愛会看護部として多様で柔軟な働き方への提言・外国人労働者受け入れへの対策」 【講義】マイナビ 茂木峻 「市場における看護師を取り巻く状況・職場選択の決定要因等を知る」 ・意見交換「安定した人材確保、離職防止対策一選ばれる組織になる」 ・マネジメントラダーのねらいと自病院(施設)の次世代を見据えた人材育成に関する方針 1) 新人事制度の役割等級制度と現第2版マネジメントラダーとの整合性と改訂内容の検討 事前課題発表/今後の進め方検討 ・マネジメントラダー活用推進への方針	かごしま オハナビル 3階 中会議室	いづろ：1名 総合：1名 谷山：1名 奄美：1名 愛結：1名 学校：1名 合計：6名
	2	【全体】 2024/11/16 (土) 8:30-12:30 【各自】 看護部長 シャドー研修 終日	慈愛会に勤務する副看護部長 8名	マネジメント力向上を高める	1) 自施設の看護サービス向上への自己課題を明確にし、行動できる。 2) 自施設の人事育成に積極的に関与できる。 3) マネジメントラダー（副看護部長職）の理解と今後の課題が明確にできる。	【事前レポート】 ①キーワードを2～3個あげ、労務管理に関するスタッフとの関りで困った場面を、状況が分かるようにまとめる ②マネジメントラダー 副看護部長職評価 【事後レポート】 ①看護部長シャドー研修での看護管理に関する学び、今後の自己の看護管理にどのように生かすか	【講義①】 労務管理について 【全体討議】 テーマ：働きやすい職場作り～労務管理について考える～ 【全体討議】 自己の管理行動につなげる	かごしま オハナビル 3階 大会議室	いづろ：1名 総合：2名 谷山：1名 奄美：1名 愛結：1名 合計：6名
	3	2024/7/12 (金) 8:30-17:30	新任看護部長 研修会	看護部長としての資質の向上を図る	①看護管理に必要な専門的知識を修得し、実践に活かすことができる。 ②看護部長の役割と自覚が芽生え、目標管理を実践できる。 ③看護部長としての能力を自己評価し、自己の課題が明確になる。 ④マネジメントラダーⅡ認定に向けた、自己の課題と取り組みを立案し実践できる。	【事前課題】 資質評価表 「eラーニング看護管理コース」視聴管理者としてこれだけ知っておきたい労務管理入門看護にかかわる労働関係法令看護にかかわる労務管理に関する業務 看護の現場にありがちな労働管理に関する困りごと 働きやすい組織をつくるためのマネジメントのポイント 【事前レポート】 ①「看護部長としての自己課題」 ②看護管理者資質評価表 【事後課題】 研修受講後、看護部長会で研修内容を伝達 伝達内容を「研修後伝達用紙」に記載し提出	【グループワーク①】 看護部長となって想うこと～想いを吐き出そう～先輩看護管理者の語り 【看護を語る】 【講義①】 労務管理について 【講義②】 組織が求める看護部長への期待 【講義③】 マネジメントラダーと管理者に求められる資質 【グループワーク②】 「現状の課題（事前レポート）に向けた今後の取り組み・マネジメントラダーレベルⅡを達成するために」 具体的行動目標・計画 グループ発表	かごしま オハナビル 3階 大会議室	いづろ：1名 総合：1名 谷山：1名 奄美：1名 徳之島：1名 計：5名

		開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価（レポート・評価表）	研修プログラム	開催場所	参加者数
管理者研修	4	2025/2/1 (土) 8:30-17:30	公益財団法人 慈愛会に 所属する 副看護師長 (新任副看護 師長除く)	副看護管理者としての役割を理解し、 中間看護管理者としての資質向上を図る	①実践モデルとしての副看護師長の 役割を認識できる。 ②部署の問題を分析し、看護サービ スの向上への取り組みができる。 ③看護管理者としての視野を拡大 し、問題解決のヒントを得て役割 行動につなげることができる。 ④マネジメントラダーレベルⅠの自己 の課題に取り組むことができる。	【事前レポート】 1) 令和6年度の目標達成に けた取り組み内容の中から 1項目について、「看護管理 実践計画書」の1. テーマ選 定理由～7. 12月時点の実 施・評価 までを記載。(別 紙参照) 2) 管理者に求められる資質 評価・マネジメントラダーⅠ 評価 3) 副看護師長として、課題(重 要だと考えている事)と思っ ていることについて、具体 的に記載する。 【研修後レポート】 1) テーマ「研修を通しての学び」 A 4用紙1枚に800字程度、 テーマ、所属部署、氏名、 内容を記入 2) 研修を受講して「看護管 理実践報告」(8～10.ま とめ)を記載。	【発表】 「目標達成への取り組み」6例(発表6分以内)(3例 発表毎に意見・感想発表) ※ 今年度の実践計画に活かす 【グループワーク】 各自の目標達成への取り組み進捗状況について。発表 (5分程度)・意見交換・今後の取り組みへの反映 【発表】 看護管理者シャドー研修からの学び 2例(今村総合 病院)、感想の共有 【講義】よりよい組織と人を育てる～人を動かすために 必要なこと～ 【グループワーク】 テーマ1:「看護管理者としての課題(重要だと考えて いること)と知っていることについて共有し、副師長と して今後どのように臨んでいくか」 グループ発表:意見交換内容の発表 テーマ2:「いきいきとした看護管理者を目指して」 研修を通しての学び、感想、今後に向けた思いを共有 する グループ内発表	慈愛会ビル 3階会議室・ 4階会議室	いづろ:7名 総合:27名 谷山:14名 奄美:8名 徳之島:3名 愛結:1名 在宅:1名 合計:61名
	5	2024/8/9 (金)	2023年7月 以降に副看護 師長に昇任した者	副看護師長の役割を認識し、中間看護管理者 としての資質の向上を図る。	①副看護師長の役割を認識できる。 ②副看護師長としての資質を自己評価し、自己の課題が明確になる。 ③看護師長の補佐としての自覚が芽生え、自部署の目標達成の意義が理解できる。	【事前レポート】 1) テーマ「副看護師長となり 管理者として現場で取り組 んでいること、もしくは取り 組もうと考えている課題の中 で、困っていることなどを具 体的に記載する」 2) マネジメントラダーレベル Ⅰ評価表(自己評価のみ) 【事後レポート】 テーマ「自身の課題達成に向 けた今後の取り組み～マネジ メントラダーⅠ達成に向けて～」 2) マネジメントラダーレベル Ⅰ評価表(自己評価のみ) 自身の課題達成に向けた取 り組みの結果と自己分析を 記入	【グループワーク①】 「事前レポートと初期キャリア支援研修の学びを通して副看護師長として思うこと」「先輩看護管理者の語り」 【講義①】「看護管理とは」「看護管理者に求められる資質(マネジメントラダーの理解)」 【グループワーク②】 「自身の課題(事前レポート)達成に向けた今後の取り組み～マネジメントラダーⅠを達成するために～」 【研修のまとめ】	かごしま オハナビル 3階 大会議室	いづろ:2名 総合:2名 谷山:2名 奄美:2名 愛結:1名 高麗町CL:1名 合計:10名
職員研修	6	2024/10/19 (土) 8:30-17:30 2024/11/9 (土) 8:30-17:30	卒後3年目 看護師48名 総合35名 いづろ6名 谷山6名 徳之島1名	看護理論を活用して危機的状態にある患者の 看護実践ができる看護状態の育成	(1)危機的状態の患者・家族の心理 や受容過程を理解する (2)危機のプロセスに応じた看護介入 方法を学ぶ (3)学んだことを今後の看護実践で活かすことができる	【事前課題】 ①振り返りシート ②振り返りシート閲覧:研修前 日までにグループ内の振り返 りシートを閲覧する。 【事後課題】 ①実践レポート:研修で学んだ ことを実践し、感じたこと をまとめる	【講義①】「危機的状態の患者家族の看護」 Ⅰ. 発病による危機のプロセスの理解 Ⅱ. 発病による危機のプロセスに沿ったケア Ⅲ. 発病による危機のプロセスに沿ったケア Ⅳ. 再発・転移時の心理とケア 【講義②】「対象者の全人的理解」 個人ワーク:「対象者の理解シート」「受講後の学びシート」 講義での学びを活かしたりフレクション (1)患者・家族の心理、受容過程 (2)危機のプロセスに応じた看護介入方法 【グループワーク①】 大切にしたい看護を語り合う 危機的状態の患者・家族の心に届くケアについて考える 【グループワーク②】 学んだことを実践につなげるために 1) 具体的な行動として「堪忍袋の緒を解く声かけ」を考える 2) グループ毎に発表 3) 意見交換	かごしま オハナビル 3階 大会議室	【1回目】 総合:20名 いづろ:1名 谷山:6名 徳之島:1名 小計:28名 【2回目】 総合:13名 いづろ:5名 小計:18名 合計:46名
臨地実習	7	2024/10/5 (土) 8:30-12:30	慈愛会の実習指導者 教育担当副 看護部長 教育担当副 看護師長 副看護部長 看護部長 看護部長 鹿兒島中央 看護専門学校専任教員	基礎教育において質の高い 臨地実習環境を提供するための 実習指導者・教員の育成	1) 臨地実習における学生に、効果的指導方法を見出すことができる。 2) 臨地実習において、学生が、自ら考え、気づき、学ぶようなかわり方を考えることができる。 3) 指導者と教員が互いに学びあい、学生指導に対する関係性の重要性を理解できる。	実習指導に関して各施設での 取り組み事例・成功事例を考 えてくる。	【実践報告】 「実習目標を達成するための実習支援」 報告後に意見交換 【グループワーク】 テーマ「実りある実習の土壌作り」 グループ発表・質疑応答	慈愛会ビル 3階会議室・ 4階会議室	いづろ:9名 総合:26名 谷山:10名 愛結:6名 在宅:4名 鹿中看:10名 本部:3名 リモート 奄美:9名 徳之島:1名 合計:78名

技能能力向上に向けた取り組み

キャリア開発

1. 看護師のキャリア開発ラダー取得状況

キャリア開発ラダーの申請率・認定率ともに前年度より上昇した。年度初めの動機付けや、申請後の進捗状況の確認を行い継続的・計画的支援を継続する。年度初め

目標面接の段階で具体的な計画立案を確認し、1年後の認定に向けての習得過程に対する進捗状況の把握も継続する。看護管理者チャレンジの意識付けを図り、看護管理者のモデルの存在をつくることも重要となる。スタッフ個々の能力を見極め、意図的に伸ばし成長できる環境を整えたい。現在、看護協会との整合性をとるため、看護師のキャリア開発ラダーの改訂に取り組んでいる。より活用しやすくチャレンジしやすいものへと改訂する。

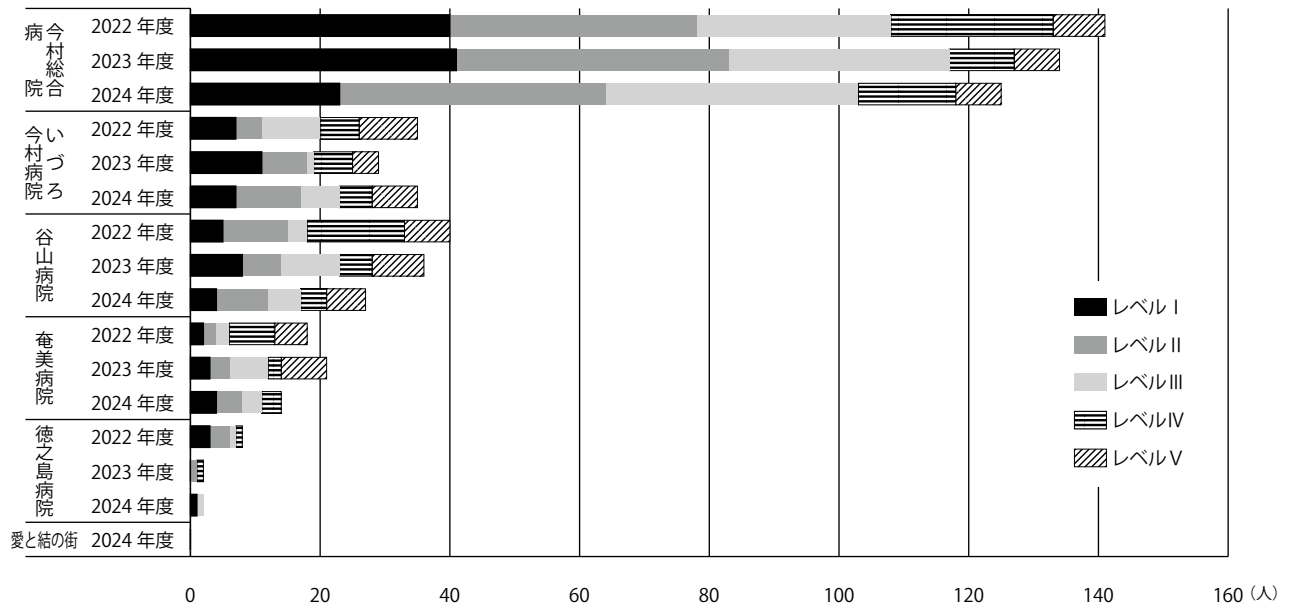
慈愛会看護部 看護師キャリア開発ラダー認定状況

		1. 認定申請率 ※対象者に対する		2. 全体の認定率 ※対象者に対する		3. 今年度の認定合格率 ※申請者に対する		4. 認定合格者 (数)	5. 今年度の対象者 (数) ※看護管理者除外 全体の対象者 (数) ※看護管理者除外	6. これまでに1回も 申請がない(人数) これまでに1回も 認定されていない (人数)
		対象者の中で 申請者数	申請率	対象者の中で 認定者数	認定率	申請者のうち 認定合格者数	合格率			
今村総合病院	今年度の 新たな認定者・更新者	195	75.6%	125	48.4%	125	64.1%	125	258	0
	全体の認定者	313	100.0%	313	100.0%	313	100.0%	313	313	0
いづろ今村病院	今年度の 新たな認定者・更新者	56	94.9%	35	59.3%	35	62.5%	35	59	0
	全体の認定者	68	100.0%	68	100.0%	48	70.6%	68	68	0
谷山病院	今年度の 新たな認定者・更新者	60	95.2%	27	42.9%	27	45.0%	27	63	0
	全体の認定者	81	100.0%	81	100.0%	46	56.8%	81	81	0
奄美病院	今年度の 新たな認定者・更新者	17	68.0%	14	56.0%	14	82.4%	14	25	0
	全体の認定者	29	100.0%	29	100.0%	26	89.7%	29	29	0
徳之島病院	今年度の 新たな認定者・更新者	2	50.0%	2	50.0%	2	100.0%	2	4	0
	全体の認定者	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%	2	2	0
全体	今年度の 新たな認定者・更新者	330	80.7%	203	49.6%	203	61.5%	203	409	0
	全体の認定者	493	100.0%	493	100.0%	435	88.2%	493	493	0

- (注) 1. 認定申請率 …………… 対象者とは、副看護師長以上の看護管理者を除く看護師（助産師）
2. 全体の認定率 …………… 常勤（嘱託）の副師長以上の管理職を除く看護師（助産師）に対する認定率（レベル取得した者の率）
3. 今年度の認定合格率 …………… 今年度に申請し今年度の年度末に合格した合格率
4. 認定合格者 …………… 過去の認定者も含めて全体でレベルⅠ～Ⅳ
5. 対象者 …………… 年度末（3月31日）時点の対象者総数とする

キャリア開発ラダー認定者数 一覧

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
今村総合病院	2022年度	40	38	30	25	8
	2023年度	41	42	34	10	7
	2024年度	23	41	39	15	7
いづろ今村病院	2022年度	7	4	9	6	9
	2023年度	11	7	1	6	4
	2024年度	7	10	6	5	7
谷山病院	2022年度	5	10	3	15	7
	2023年度	8	6	9	5	8
	2024年度	4	8	5	4	6
奄美病院	2022年度	2	2	2	7	5
	2023年度	3	3	6	2	7
	2024年度	4	4	3	3	
徳之島病院	2022年度	3	3	1	1	0
	2023年度	0	1	0	1	0
	2024年度	1	0	1	0	0
愛と結の街	2024年度	0	0	0	0	0



2. J-seatyナース研修

2024年度は8コースを開催した。「感染管理」は、台風のため急遽延期となったが、年度後半の開催へと変更したことで参加者数は増加した。2024年度は慈愛会全体でJ-seatyナース研修参加者は40名であった。参加者は、意欲的に学び知識・技術を習得している。さらに、自施設に還元することで組織全体の質向上につながっている。

今年度新たに、総合病院の研修に「災害看護」の内容が盛り込まれた。今後はコース内容の編成を検討する。既に次年度いづろ今村病院で「糖尿病看護」のコースを

開催することが決定している。また、「感染管理」は、各病院に認定看護師が在籍していること、基本的な感染対策や感染管理・看護は現場でも理解されているため、今後は研修内容をより専門的な内容に変更することを検討している。

J-seatyナース研修は慈愛会のトピックとなる研修であることから、一部の研修について、地域の看護師への公開参加を検討している。引き続き、慈愛会内の研修受講者を増やしながらかも、地域貢献や院外看護師との交流という意味でも、より充実した研修へと変化させる。

2024年度 J-seatyナース研修一覧

研修名	開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価 (レポート・評価表)	研修プログラム	開催場所	参加者数
1 離島における精神科看護・南三島精神科訪問看護と地域・行政とのかわり	6/12PM-6/14AM	①受け入れ人数は合計2名以内 ②研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 ③臨床経験 看護師経験3年以上 ④精神科看護を学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	①徳之島の特性と地域における精神病院の役割、機能が理解できる。 ②精神医療における治療薬とその管理について理解できる。 ③精神医療における治療と看護について理解できる。 ④精神科リハビリテーション、栄養について理解できる。 ⑤精神科訪問看護の役割と活動の実際が理解できる。 ⑥長期入院患者への退院促進に向けた多職種連携について理解できる。	【事前レポート】 「精神科看護研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「精神科看護研修での学び及び学びを自施設での具体的な活用」	【6月12日(水)】 ・徳之島病院の役割・離島での薬剤管理・精神保健福祉士の役割・精神科リハビリテーション・治療と栄養・訪問看護研修(訪問看護情報収集) 【6月13日(木)】 ・訪問看護・リフレクション 【6月14日(金)】 ・病棟シャドー・デイケア体験・グループワーク、発表、意見交換・学びの共有	徳之島病院	谷山：1名 合計：1名
2 離島を含む精神医療	6/12PM-6/14AM	①各病院から1名 ②研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 ③臨床経験 看護師経験3年以上 ④離島の精神科医療に関心があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	①奄美大島の特性と地域における精神病院の役割、機能が理解できる。 ②急性期治療病棟における看護の役割について理解できる。 ③長期入院患者への退院促進に向けた多職種連携について理解できる。 ④地域生活を支援する社会資源活用について理解できる。 ⑤精神科訪問看護の役割と活動の実際が理解できる。 ⑥地域包括ケアシステムにおける看護の継続と連携について理解できる。	【事前レポート】 「精神科看護研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「精神科看護研修で学んだこと・自施設での具体的な活用」	【6月12日(水)】 ・病院見学・地域包括ケアシステムにおけるデイケアの役割・精神科看護の実際、急性期治療病棟の役割・グループホームの役割について 【6月13日(木)】 ・他施設間の連携の実際を学ぶ・訪問看護における在宅での生活継続支援・意見交換会 【6月14日(金)】 ・指定障害者福祉サービス事業所の見学・認知症患者の看護、作業療法の見学・研修のまとめ、学びの共有	奄美病院	総合：1名 谷山：1名 学校：1名 合計：3名

	研修名	開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価 (レポート・評価表)	研修プログラム	開催場所	参加者数
3	看護基礎教育	6/18-6/20	① 現場で教育に携わっている管理者(副部長、教育師長、病棟師長、副師長等) ② 看護基礎教育について興味を持ち、所属長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療、教育の場で学び、自己の知識・技術・態度などの専門能力を向上させ、自施設においての人材育成に活用できる。	① 看護基礎教育の変遷を知り、目指す看護師像に向かって行われている教育活動の実際を知り、現任教育に活かすことができる。 ② 現代の看護学生の背景、成人学習者としての支援方法の実際を知ることで、新人教育の在り方を考えることができる。 ③ 看護基礎教育における新たな教育方法や活用方法を理解し、現場での教育支援に活かすことができる。 ④ 研修を通して、臨床と学校での看護師の育成の在り方を共に考えることができる。	【事前レポート】 「看護基礎教育研修(教員研修)で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「看護基礎教育研修(教員研修)の学び、及び学びの自施設での具体的活用」	【6月18日(火)】 ・フィジカルアセスメントⅠのねらいや講義方法の理解・看護教育の変化、本校教育が目指しているものについて説明と意見交換・実技：フィジカルアセスメントⅠの実技参加・基礎看護技術の卒業時到達についての説明と意見交換・SHR 【6月19日(水)】 ・SHR見学・実習関連会議への参加・実習、教育に関して意見交換～実習を最大の学びにするために～・SHR見学・リフレクション 【6月20日(木)】 ・SHR見・講義のねらい、組み立て、教授法について・講義の聴講・看護教育の新たな教授法・2年生との交流・リフレクション SHR～1年生へのメッセージ	鹿兒島中央看護専門学校 3年課程看護科	いづろ：3名 総合：1名 谷山：1名 合計：5名
4	最新の精神医療	7/23-7/25	① 各病院から1～3名 ② 研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 ③ 臨床経験 看護師経験3年以上 ④ 精神科看護を学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	① 最新の精神医療における治療について理解できる。 ② 最新の精神医療における看護について理解できる。 ③ 最新の精神医療における作業療法について理解できる。 ④ 最新の精神医療における多職種協働について理解できる。 ⑤ 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの活用について理解できる。	【事前レポート】 「精神科看護研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「精神科看護研修での学び及び学びを自施設での具体的活用」	【7月23日(火)】 ・施設、病院見学・これからの精神科医療と精神保健福祉法・感情障害と看護・心理療法・地域で暮らしを支える～社会福祉制度を知る～・地域包括ケアシステム・デイケア見学・地域移行支援社会復帰施設の役割・問題解決～ロジックツリーから活かす部署の活性化～・リフレクション 【7月24日(水)】 ・身体拘束最小化の取り組み・A3病棟見学・行動制限ミーティングの実際・発達障害と看護・学びの共有・精神科医療における治療の実際・働き方考える TQMで業務改善・意思決定支援 体験、ロールプレイ・精神科作業療法・リフレクション 【7月25日(木)】 ・薬物療法と看護・病棟シャドー・谷山病院のあゆみ・病棟カンファレンス見学・グループワーク	谷山病院	総合：1名 谷山：1名 徳之島：1名 愛結：1名 合計：4名
5	緩和ケア	8/6-8/8	① 臨床経験 看護師経験3年以上 ② 緩和ケアを学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	① 緩和ケアの概念を理解し、症状緩和とQOL向上を目指した療養生活を支援するための基本的な考え方や技術を理解できる。 ② 患者を全人的にとらえる必要性が理解でき、関わり方を意識することができる。 ③ 患者・家族とのコミュニケーションスキルを理解し深めることができる。 ④ 緩和ケア病棟の役割と、病棟で行われている看護の実際を理解できる。 ⑤ 緩和ケアにおけるチームアプローチについて理解できる。 ⑥ 患者家族の希望に沿った入退院支援、地域で支えるための医療資源とその活用について理解できる。	【事前レポート】 「緩和ケア研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「緩和ケア研修での学び及び自施設での具体的活用」	【8月6日(火)】 ・緩和ケア概論/症状マネジメント「がん疼痛」/症状マネジメント(消化器症状・呼吸困難・倦怠感・せん妄)/緩和期における浮腫/リフレクション 【8月7日(水)】 ・病棟実習/病棟案内/緩和ケア病棟概要/病棟実習/がん治療におけるチームアプローチ/がん患者の家族への支援/リフレクション 【8月8日(木)】 ・病棟実習/講義・演習「コミュニケーションスキルを理解する」/デスカンファレンス/特別講演(院内公開講座)/グループワーク	いづろ 今村病院	総合：1名 谷山：1名 合計：2名
6	フィジカルアセスメント	10/23-10/25	① 各施設から1～2名(可能な人数) ② 研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 ③ 全プログラムを受講可能なもの(自主参加者は希望する内容だけでも受講可) ④ 臨床経験 看護師経験3年以上 ⑤ 急性期看護を学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	① 患者の安全を守り重症化を未然に防ぐために、急変の前の小さな予兆に気づく能力を養うことの重要性を理解できる。 ② 急変の前の小さな予兆に気づくためのフィジカルアセスメントの技術を習得できる。 ③ 急変などの緊急事態の際に、適切に必要な行動を理解でき、実践できる。 ④ 急変などの緊急事態の際に備えて、物品や環境、心構えなどの日頃から準備の必要性を理解でき、備えることができる。 ⑤ 急性期病院における患者の特徴をふまえ、チーム医療や看護の役割を理解することができる。 ⑥ 自施設における災害対策のあり方について考えることができる。	【事前レポート】 ①「研修で学びたいこと・自己または自施設の課題」 ②自施設における災害対策の現状と課題について考えてくる 【事後レポート】 「研修での学びと自施設での具体的活用」	【10月23日(水)】 ・講義「フィジカルアセスメント呼吸」・講義・グループワーク「誤嚥性肺炎の予防ケアを考える」・講義「フィジカルアセスメント循環」 【10月24日(木)】 ・病院見学(ER・ICU・SCU・A5東病棟)・講義・グループワーク「急変を未然に防ぐためのフィジカルアセスメント概要」 【10月25日(金)】 ・講義・グループワーク「災害時の対応を考える」 ・講義・実技・急変時の対応、BLS、気道確保、AED、チームダイナミクス	今村総合病院	いづろ：2名 総合：4名 谷山：4名 合計：11名
7	老健・在宅	11/25-11/27	① 各病院から1～2名(可能な人数) ② 研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 ③ 臨床経験 看護師経験3年以上 ④ 在宅・地域連携を学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療介護の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	① 介護保険制度について理解できる。 ② 地域包括ケアシステムにおける在宅支援部(訪問看護ステーション愛の街)・老健・居宅の役割と機能、在宅支援の取組について理解できる。 ③ 高齢者及び認知症の理解とケア・家族支援について理解できる。 ④ 愛と結の街での多職種協働連携について理解できる。 ⑤ 地域の社会資源と地域連携について理解できる。	【事前レポート】 「在宅看護・老健研修で学びたいこと・自己の課題」 ※認知症ケアで困っていること困難事例などありましたら併せて記載してください。 【事後レポート】 「在宅看護・老健研修での学び及び学びを自施設での具体的活用」	【11月25日(月)】 ・愛と結の街の概要・居宅におけるケアマネジメント・老健におけるリハビリテーションと栄養マネジメント・自立支援に向けたケア・DVD視聴・認知症ケア 【11月26日(火)】 ・認知症の理解とその家族・グループワーク・訪問看護とは・在宅看護 【11月27日(水)】 ・訪問看護の実際	愛と結の街	総合：2名 いづろ：1名 奄美：1名 愛結：1名 合計：5名

研修名	開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価 (レポート・評価表)	研修プログラム	開催場所	参加者数
8 感染管理	12/19- 12/20	①各施設から1～2名(可能な人数) ②研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 ③全プログラムを受講可能なもの(自主参加者は希望する内容だけでも受講可) ④臨床経験 看護師経験3年以上 ⑤所属部署長の推薦があるもの	自施設の特性を考慮した感染管理について考えると共に、自己の知識・技術・態度など専門職業人として向上を図ることができる	①感染対策の重要性を再確認すると共に、感染対策について理解を深めることができる。 ②感染対策の実践及び指導をすることができる。	【事前レポート】 「感染管理研修で学びたいこと・自施設や部署の課題」 【事後レポート】 「感染管理研修での学びと自施設での具体的活用」	【12月19日(木)】 【講義・実技】 ・今村病院総合病院看護部概要説明・感染予防策の基本・標準予防策(手指衛生など)・個人防護具の着脱と指導方法の検討・感染経路別予防策・微生物(インフルエンザウイルス・ノロウイルス・新型コロナウイルス等)・感染症・新興感染症・輸入感染症・精神科看護における感染対策・日頃からの備えについて(業務継続計画や吐物処理訓練・個人防具着脱確認) 【グループワーク】 集団発生時の対応と業務継続計画 新興感染症:新型コロナウイルス感染症 【12月20日(金)】 【講義】 ・感染管理とマネジメント・看護師の役割・診療報酬/介護報酬・環境の管理・整備 施設内の感染対策チェックについて・洗浄/消毒/滅菌・感染症/抗菌薬適正使用支援 職業感染防止策 ワクチン接種の必要性について 【職業感染防止の実践】 ・針刺し防止策・粘膜曝露防止策・安全な環境を調整する方法の検討 【講義】 ・手指衛生サーベイランス・医療関連感染サーベイランス 【グループワーク】 ・血流感染/ノロウイルス感染症	今村総合病院	いづろ:3名 総合:4名 谷山:1名 愛結:1名 合計9名

3. 認定看護師その他の資格保有状況

認定看護師課程受講者は2024年度1名であった。認定合格者は集中ケア1名感染管理1名であった。認定看護管理者合格者は3名であった。キャリア支援として計画的に育成しその割合を増やしていきたいところである。

また、取得後の活躍状況は人によつての差もみられている。配置も影響するが、自己の役割を所属病院内や慈愛会内全体で活躍できるようシステム作りや看護管理者による支援も必要である。

看護師資格取得状況一覧 (2024 年度)

		いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	老健	在宅 支援部	鹿中看 3年課程	本部	法人計
認定 看護師	救急看護	資格者	2								2
		受講中									0
	皮膚・排泄ケア	資格者	2								2
		受講中									0
	クリティカルケア	資格者	1								1
		受講中									0
	集中ケア	資格者	1								1
		受講中	1								1
	緩和ケア	資格者	1	1							2
		受講中									0
	がん性疼痛看護	資格者	1								1
		受講中									0
	がん放射線療法看護	資格者	1								1
		受講中									0
	がん薬物療法看護	資格者									0
		受講中	1								1
	感染管理	資格者	2	3	1	1					7
		受講中									0
	糖尿病看護	資格者	1								1
		受講中									0
	脳卒中リハビリテーション看護	資格者		1							1
		受講中									0
	認知症看護	資格者	1	1							2
		受講中									0
	在宅ケア	資格者		1							1
		受講中									0

			いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	老健	在宅 支援部	鹿中看 3年課程	本部	法人計
認定看護師	透析看護	資格者		1								1
		受講中										0
	精神科	資格者			3	1						4
		受講中										0
認定看護管理者	ファーストレベル	資格者	15	26	31	20	7		4	4		107
		受講中										0
	セカンドレベル	資格者	6	14	9	6	2		1	2		40
		受講中										0
	サードレベル	資格者	1	2	2				1	1		7
		受講中										0
	認定看護管理者	資格者	1	2	2				1	1	3	10
		受講中										0
特定行為研修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	資格者	2	13	1				1			17
		受講中										0
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	資格者		8								8
		受講中										0
	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	資格者		2								2
		受講中										0
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	資格者		2	1							3
		受講中										0
	循環動態に係る薬剤投与関連	資格者		2								2
		受講中										0
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	資格者	1	0	1							2
		受講中										0
	創傷管理関連	資格者	1	6	1							8
		受講中										0
	胸腔ドレーン管理関連	資格者		1								1
		受講中										0
	腹腔ドレーン管理関連	資格者		1								1
		受講中										0
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈型 中心静脈注射用カテーテル管理）関連	資格者		1								1
		受講中										0
	栄養に係るカテーテル管理（抹消留置型 中心静脈注射用カテーテル管理）関連	資格者		5								5
		受講中										0
	創部ドレーン管理関連	資格者		1								1
		受講中										0
	動脈血液ガス分析関連	資格者		9								9
		受講中										0
	術後疼痛管理関連	資格者		1								1
		受講中										0
	感染に係る薬剤投与関連	資格者	1	3								4
		受講中										0
	ろう孔管理関連	資格者	1	2	1				1			5
		受講中										0
	在宅コース	資格者		1								1
		受講中										0
	在宅・慢性期領域パッケージ	資格者				1	1	1				3
		受講中										0
	救急領域パッケージ	資格者		4								4
		受講中										0
	混合病棟コース	資格者		1								1
		受講中										0
	透析管理関連	資格者		1								1
		受講中										0
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	資格者										0
		受講中										0

		いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	老健	在宅 支援部	鹿中看 3年課程	本部	法人計
長期	教員養成課程修了	資格者	1	3	2	1				2	9
		受講中									0
	教務主任養成課程修了	資格者									0
		受講中									0
その他の 資格・研修	医療安全管理養成過程終了者		31	34	24	10	4	2	1		106
	臨床指導者講習修了者（看護）		9	17	26	6		7	3		68
	臨床指導者講習修了者（介護）						21				21
	災害支援ナース		5	12	11	1	2		1		32
	糖尿病療養指導士		8	3							11
	呼吸療法士		2	6							8
	消化器内視鏡技師		5	4							9
	透析技術認定士			5							5
	日本救急学会認定 インストラクター ICLS コース		1	11	2		1				15
	アメリカ心臓病学会 インストラクター BLS コース		1	8	1						10
	栄養サポートチーム 専門療法士			1							1
	介護支援専門員		2	1	1			12	1		17
	訪問看護師養成 講習会修了者		1		1	6			5		13

4. 看護管理者の育成とマネジメントリーダーレベル認定状況

マネジメントリーダーの申請率（数）は前年度比較で低下した。看護管理者を目指す看護師が減少している状況もあるが、申請率が上昇しない原因を明らかにし、要因分析、検討を実施し、チャレンジしたい、キャリアアップしたいと思える職場風土や、目指したい看護管理者（モデル）を創出できる機会を次年度検討する。2024

年度副部長対象にしたシャドー研修は効果的であったため、今後各レベルで機会を設けることも検討する。2023年度はマネジメントリーダーレベルⅠ・Ⅱの認定要件に離島看護管理の実際を体験し、慈愛会全体を理解し看護管理の知識技術を習得できることを目標として掲げた。2025年度も自施設に留まらず地域を見据えた管理について学び、視野を広げた看護管理の質向上に取り組んでいく。

慈愛会看護部 管理者任用候補者選考結果及び昇任状況

病院	年度	看護部			介護福祉士			ナースエイド			介護支援専門員			昇任者数	次年度の昇任者数	再受験者数	受験者中
		受験者	合格者	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)				
いづろ 今村病院	2022年度	3	3	100.0%	4	4	100.0%			-			-	1	0	1	
	2023年度	6	6	100.0%	1	1	100.0%							2			
	2024年度	5	5	100.0%													
高麗町クリニック	2022年度	1	1	100.0%			-			-			-	0	1	0	
今村 総合病院	2022年度	4	4	100.0%	1	1	100.0%			-			-	0	0	0	
	2023年度	4	4	100.0%				1	1	100.0%				0			
	2024年度	5	5	100.0%													
七波クリニック	2022年度	1	1	100.0%			-			-			-				
谷山病院	2022年度	1	1	100.0%	2	2	100.0%			-			-	0	1	0	
	2023年度	4	4	100.0%			-							1		0	
	2024年度	1	1	100.0%			-										
GH しらゆりの郷	2022年度			-	1	1	100.0%			-			-				
奄美病院	2022年度	2	2	100.0%			-			-			-	0	1	0	
	2023年度	2	2	100.0%	2	1	50.0%							1		0	
	2024年度	2	2	100.0%	2	2	100.0%									1	
徳之島病院	2022年度			-	1	0	0.0%			-			-				
	2023年度				1	1	100.0%									1	
	2024年度						-										
愛と結の街	2022年度	1	1	100.0%	4	3	75.0%			-	1	1	100.0%	2	1	1	
	2023年度	1	1	100.0%			-										
	2024年度	3	3	100.0%	3	3	100.0%										
訪問看護ステーション 愛の街	2022年度	1	1	100.0%			-			-			-				

2024 年度 マネジメントラダー 認定状況

2025.4.28 現在

		ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	副看護部長職	看護部長職	全体
今村総合病院	対象者	6	1	9	6	2	1	25
	申請者	6	1	2	2	0	1	12
	認定者	1	0	1	2	0	1	5
	申請率	100%	100%	22%	33%	0%	100%	48%
	認定率	17%	0%	50%	100%	0%	100%	42%
いづろ今村病院	対象者	2	3	0	3	1	1	10
	申請者	1	4	0	2	0	0	7
	認定者	1	4	0	0	0	0	5
	申請率	50%	133%	0%	67%	0%	0%	70%
	認定率	100%	100%	0%	0%	0%	0%	71%
谷山病院	対象者	4	2	1	6	1	1	15
	申請者	4	2	1	0	1	1	9
	認定者	1	1	1	0	1	0	4
	申請率	100%	100%	100%	0%	100%	100%	60%
	認定率	25%	50%	100%	0%	100%	0%	44%
奄美病院	対象者	0	1	2	2	1	0	6
	申請者	0	0	0	0	0	0	0
	認定者	0	0	0	0	0	0	0
	申請率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	認定率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
徳之島病院	対象者	0	1	1	1	0	1	4
	申請者	0	0	0	0	0	0	0
	認定者	0	0	0	0	0	0	0
	申請率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	認定率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
愛と結の街	対象者	2	0	0	0	1	0	3
	申請者	2	0	0	0	1	0	3
	認定者	1	0	0	0	1	0	2
	申請率	100%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
	認定率	50%	0%	0%	0%	100%	0%	67%
認定の申請総計	対象者	14	8	13	18	6	4	63
	申請者	13	7	3	4	2	2	31
	認定者	4	5	2	2	2	1	16
	申請率	93%	88%	23%	22%	33%	50%	49%
	認定率	31%	71%	67%	50%	100%	50%	52%

※認定率は申請者に対しての認定率

業 績 一 覧

【論文（論文・著書・雑文）】

今村総合病院

<和文>

1. 徳田勝哉：透析患者における生活目標を取り入れたケアと運動療法の継続とその可能性. 日血浄化技会誌 32 (2) : 269-273, 2025

<著書・雑文>

1. 松山日実子：専任教員を臨床看護教員として配置し、新人看護師のサポート強化！～新人の安心につながり、不安なくゴールに向かえるために～. 看護人材育成 21 (2). 日総研, pp12-20, 2024

【学会発表】

今村総合病院

<国際>

1. Tokuda K : Experience sharing from Japan ～ Puncture education for vascular access ～ Speaker. Subject: Invitation for Virtual Talk at AVF Care Workshop – 2025,23 March 2025,Gurgaon, India(Web)

<国内>

1. 中村倫丈, 小濱奈々, 平川あゆみ, 西垂水和隆：当院の Rapid Response System (RRS) 導入後の経過と課題. 第 28 回日本救急医学会九州地方会, 2024 年 6 月 15 日, 鹿児島
2. 鯉坂いつみ：患者情報の一元化と共有化を目指して. 第 26 回日本医療マネジメント学会, 2024 年 6 月 21-22 日, 福岡
3. 池田清夏, 井手扶紗, 上山りえ, 尾方智恵子, 小村友子, 吉森みゆき, 中谷明実：尿道カテーテル関連尿路感染症予防のための抜去プロトコル導入. 第 26 回日本医療マネジメント学会, 2024 年 6 月 21-22 日, 福岡
4. 小村友子, 尾方智恵子, 上山りえ, 池田清夏, 吉森みゆき, 中谷明実：内服薬確認の標準化と統一に向けた取り組み. 第 26 回日本医療マネジメント学会, 2024 年 6 月 21-22 日, 福岡
5. 吉森みゆき：特定行為研修修了者の現状と課題. 第 26 回日本医療マネジメント学会, 2024 年 6 月 21-22 日, 福岡
6. 嘉村早苗, 中村倫丈, 上野志織：当院 ICU における特定行為の実態調査. 第 20 回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 2024 年 6 月 22-23 日, 沖縄
7. 仲武勇斗, 菅原智恵, 稲森さくら, 中村倫丈, 福留由香利, 嘉村早苗：当院 ICU における皮膚トラブル発生の実態調査. 第 20 回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 2024 年 6 月 22-23 日, 沖縄
8. 平川あゆみ：これからの災害支援・災害看護について 1) 日本医師会災害医療チーム (JMAT) 活動報告 鹿児島県から第 1 陣として派遣された際の活動報告. 鹿児島救急医学会第 52 回看護部会学術集会, 2024 年 9 月 14 日, 鹿児島
9. 徳田勝哉：VA に対するデータと看護 (シンポジウム). 第 28 回日本透析アクセス医学会学術集会・総会, 2024 年 10 月 5-6 日, 京都
10. 徳田勝哉：Patient-centered standard outcome の看護師の役割. 第 30 回日本血液透析濾過医学会学術集会, 2024 年 11 月 3 日, 長崎
11. 徳田勝哉：VA 看護スコアシートを活用した看護介入の 1 例. 第 27 回日本腎不全看護学会学術集会, 2024 年 11 月 10 日, 富山
12. 徳田勝哉：生活目標と SDM Life Targets Making ; LTM & Shared Decision Making ; SDM (シンポジウム). 第 30 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 2024 年 11 月 10 日, 福岡

13. 上山りえ：患者情報の一元化と共有化を目指して．第 21 回日本医療マネジメント学会 九州山口連合大会，2024 年 12 月 6 日，佐賀
14. 池田清夏，井手扶紗，上山りえ，尾方智恵子，小村友子，吉森みゆき：尿道カテーテル関連尿路感染症予防のための抜去プロトコル導入．第 21 回日本医療マネジメント学会 九州山口連合大会，2024 年 12 月 6 日，佐賀
15. 尾方智恵子：内服薬確認の標準化と統一に向けた取り組み．第 21 回日本医療マネジメント学会 九州山口連合大会，2024 年 12 月 6 日，佐賀
16. 吉森みゆき：特定行為研修修了者の現状と課題．第 21 回日本医療マネジメント学会 九州山口連合大会，2024 年 12 月 6 日，佐賀
17. 谷村利行：周術期病棟における当院の特定看護師の活動と見えてきた課題．第 21 回日本医療マネジメント学会 九州山口連合大会，2024 年 12 月 6 日，佐賀
18. 池田清夏，井手扶紗，上山りえ，尾方智恵子，小村友子，吉森みゆき：尿道留置カテーテル管理の適正化への取り組み．第 21 回日本医療マネジメント学会 九州山口連合大会，2024 年 12 月 6 日，佐賀
19. 尾方智恵子，小村友子，上山りえ，池田清夏，井手扶紗，吉森みゆき，中谷明実：内服フローの活用と定着～シングルチェックへの現状と課題～．第 21 回日本医療マネジメント学会 九州山口連合大会，2024 年 12 月 6 日，佐賀
20. 大久保珠里：フットケア実技広場（演者）．第 6 回日本フットケア・足病医学会 九州・沖縄地方会学術集会，2025 年 2 月 8-9 日，鹿児島
21. 永田衣里，徳満莉奈，南由希美，上山りえ：同種造血幹細胞移植後に再発し、再移植となった事例の分析～意思決定に至るまでの患者の背景と～．第 47 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2025 年 2 月 28 日，大阪
22. 中村倫丈，越口晋伍，嘉村早苗，小濱奈々，平川あゆみ，西垂水和隆：RRS 導入後の経過を振り返る－障壁にハシゴをかける－．第 52 回日本集中治療医学会学術集会，2025 年 3 月 14-16 日，福岡
23. 越口晋伍：RRS 導入後の経過を振り返る．第 52 回日本集中治療医学会学術集会，2025 年 3 月 14-15 日，福岡
24. 中村倫丈，高嶺あゆみ，嘉村早苗：当院 ICU の災害対策初めの一步－アクションカードの活用に向けての取り組み－．第 52 回日本集中治療医学会学術集会，2025 年 3 月 14-16 日，福岡
25. 高嶺あゆみ：ICU における災害対策に関する取り組み．第 52 回日本集中治療医学会学術集会，2025 年 3 月 14-15 日，福岡
26. 渡邊喜代美，上荒磯ひとみ：自宅で行える運動療法の周知・実践を目指して～透析センター公式 LINE を用いた運動配信～．第 15 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会，2025 年 3 月 15-16 日，横浜
27. 徳田勝哉：「元気臨床」 良い組織には 8 つの「遊び」が必要 !! ．第 4 回日本臨床腎臓病看護学会学術集会，2025 年 3 月 22 日，福岡
28. 徳田勝哉：患者のための VA 穿刺と VA 看護～ DANTE ．第 22 回日本インターベンショナルネフロロジー学会学術集会，2025 年 3 月 29 日，静岡

いづろ今村病院

<国内>

1. 中窪尊子：家族で紡ぐ亡き母の想い．第 47 回日本死の臨床研究会年次大会，2024 年 10 月 12 日，札幌
2. 今井朋子：途切れない緩和ケアのために 病院と在宅の連携について．第 47 回日本死の臨床研究会年次大会，2024 年 10 月 12-13 日，札幌
3. 宮内智美，宮田美穂，池上いづみ：経鼻内視鏡検査を増加するための取り組み ～人間ドック受検者への普及を試みて～．第 86 回九州消化器内視鏡技師学会，2024 年 11 月 16 日，鹿児島
4. 有村智美，田中美奈子，櫻井雅子：多職種で充実させる看護計画の実践．日本医療マネジメント学会 第 21 回九州・山口連合大会，2024 年 12 月 6-7 日，佐賀

谷山病院

＜国内＞

1. 葛和麻美, 福島愛: 新型コロナウイルス感染症患者の身体拘束と看護師の意識調査. 日本精神科看護学会, 2024年6月28日, 熊本
2. 福盛衣真, 田中聖将, 三好久美子, 福島愛: 精神科病院における新型コロナウイルス感染症患者受け入れから得た学び. 日本精神科看護協会鹿児島県支部看護研究発表会, 2024年10月19日, 鹿児島
3. 児玉智子, 山下美希: 精神科慢性期病棟で勤務する看護師の患者家族に対する思いの変化 患者家族へ定期連絡を行って. 日本精神科看護協会鹿児島県支部看護研究発表会, 2024年10月19日, 鹿児島

奄美病院

＜国内＞

1. 肥後友嘉: 飲水量の自己調節の意識づけをはかる取り組みートークンエコノミー法を活用してー. 第31回日本精神科看護専門学会 in 山口県, 2024年10月26-27日, 山口
2. 川畑美由紀, 榮明菜: アロマテラピーを活用した食事療法ーブラックペッパー香料を活用した食欲増進への取り組み. 第31回日本精神科看護専門学会 in 山口県, 2024年10月26-27日, 山口

(第4回慈愛会学会学術集会での発表業績はP84-87 参照)

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 柳田貴子: 医療安全 医療安全管理の実践. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年4-11月, 鹿児島
2. 平川あゆみ: 成人看護学援助論Ⅴ 救急看護. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年4-5月, 鹿児島
3. 中村倫丈: 成人看護学援助論Ⅰ 呼吸機能障害看護. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年4-6月, 鹿児島
4. 中村倫丈: 医療安全 医療安全管理の実践. 久木田学園看護専門学校, 2024年4-7月, 鹿児島
5. 浜辺恵里佳: 社会福祉Ⅱ. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年4-7月, 鹿児島
6. 厚地絵理: 総合保健医療論Ⅱ. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年5月1日, 鹿児島
7. 浜辺恵里香: ソーシャルワーカーの未来を考えたことがあるか? 何を大事にしながら、何を未来図として描いていくべきなのか?. 第72回公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会, 2024年6月15日, 大分
8. 中村倫丈: 在宅におけるフィジカルアセスメント 入門編. 鹿児島県看護協会訪問看護師養成研修「入門コース」, 2024年6月22日, 鹿児島
9. 福元優一: 成人看護学援助論Ⅰ 循環機能障害看護. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年6-9月, 鹿児島
10. 中村倫丈: 高齢者の心身の理解. 鹿児島県高齢者権利擁護推進事業における看護実務者研修会, 2024年7月4日, 鹿児島
11. 吉森みゆき: COVID-19感染対策の現状. 医療法人良整会 よしのぶクリニック, 2024年7月23日, 鹿児島
12. 中村倫丈: 在宅におけるフィジカルアセスメント 実践編. 公益社団法人日本訪問看護財団訪問看護eラーニングを活用した訪問看護師養成講習会, 2024年7月26日, 鹿児島
13. 吉森みゆき: 集団発生時の対応. 老人福祉施設協議会, 2024年7月27日, 鹿児島 (Web)
14. 中村倫丈: 共通基本技術Ⅱ. 久木田学園看護専門学校, 2024年7-10月, 鹿児島
15. 浜辺恵里香: 入退院支援～多職種との連携と協働～. 鹿児島県看護協会教育研修, 2024年8月7日, 鹿児島
16. 吉森みゆき: 新型コロナウイルス感染症の現状～持続可能な感染対策. 医療法人佑志会 守屋病院, 2024年8月23日, 鹿児島

17. 上山りえ：成人看護援助論Ⅰ 造血器・アレルギー看護. 鹿児島医療福祉専門学校, 2024年8-10月, 鹿児島
18. 池田清夏：成人看護援助論Ⅰ 造血器・アレルギー看護. 鹿児島医療福祉専門学校, 2024年8-10月, 鹿児島
19. 徳田勝哉：ハンズオンセミナーエコー下穿刺. 第12回 九州アクアセスライブフォーラム 2024, 2024年9月8日, 福岡
20. 平川あゆみ：これからの災害支援・災害看護について. 鹿児島救急医学会 第52回看護部会, 2024年9月14日, 鹿児島
21. 徳田勝哉：患者のための穿刺～DANT～. VA看護ハンズオンセミナー, 2024年9月15日, 東京
22. 中村倫丈：フィジカルアセスメント研修. 鹿児島県看護協会大島地区看護研修会, 2024年9月21日, 奄美
23. 大久保珠里：フットケアについて. 第4回かもいけ健康まつり, 2024年9月21日, 鹿児島
24. 大久保珠里：穿刺時の疼痛緩和セミナー. 扶桑薬品株式会社 セミナー, 2024年9月24日, 鹿児島
25. 梅本ゆかり：成人看護方法論Ⅳ 体液調節機能障害をもつ患者の看護. 鹿児島医療技術専門学校, 2024年9-10月, 鹿児島
26. 大久保珠里：成人看護学援助論Ⅲ 腎機能障害看護. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年9-11月, 鹿児島
27. 浜崎彩：成人看護学援助論Ⅲ 脳・神経機能障害看護. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年9-11月, 鹿児島
28. 宇都沙智子：母性看護学援助論Ⅱ. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年9-12月, 鹿児島
29. 中谷明実：看護管理教育課程ファーストレベル研修「労務管理」. 鹿児島県看護協会, 2024年10月9日, 鹿児島
30. 徳田勝哉：穿刺に必要な DANTE と VA 看護. 琵琶湖透析セミナー, 2024年10月13日, 滋賀県近江八幡市
31. 徳田勝哉：シャント穿刺について. 透析医療連携セミナー, 2024年10月17日, 大阪 (Web)
32. 徳田勝哉：災害対策と日常管理. 第14回秋田県腎不全看護セミナー, 2024年10月20日, 秋田
33. 徳田勝哉：ビリーブメントカンファレンスセミナー (JSCNN). CKD ビリーブメントカンファレンスセミナー (JSCNN), 2024年11月10日, 沖縄
34. 米澤美智代：褥瘡ケア (予防と治療). 鹿児島県看護協会教育研修会, 2024年11月14日, 鹿児島
35. 吉森みゆき：集団発生時の対応～ポイントを知ろう！. 鹿児島市地域密着型サービス連合会研修会「介護事業所における感染対策について」, 2024年11月15日, 鹿児島 (Web)
36. 中村倫丈：当院 ICU の栄養管理について. 株式会社大塚製薬工場主催 鹿児島集中治療・ケアセミナー, 2024年11月21日, 鹿児島
37. 徳田勝哉：初級・中級・上級者の穿刺の違い & エコーガイド下穿刺の基礎. 第3回宮崎県透析看護ネットワーク研究会, 2024年11月24日, 宮崎 "
38. 梅本ゆかり：慢性腎臓病 (CKD) 予防と看護. 鹿児島県看護協会研修, 2024年11月28日, 鹿児島 (Web)
39. 前田真紀子：特別講義 放射線療法の看護. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年11月, 鹿児島
40. 谷村利行：特別講義 特定行為実践. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年11月, 鹿児島
41. 中谷明実：看護における情報科学. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年11-12月, 鹿児島
42. 松山日実子：機能病態学Ⅱ 消化機能. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年11-12月, 鹿児島
43. 徳田勝哉：エコーガイド下穿刺の基礎. バスキュラーアクセスハンズオンセミナー in 沖縄, 2024年12月1日, 沖縄
44. 浜辺恵里香：ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現. NPO 法人鹿児島県介護支援専門員協議会 令和6年度主任介護支援専門員研修, 2024年12月19日, 鹿児島
45. 厚地絵理：認知症職員研修. 守屋病院, 2024年12月19日, 鹿児島
46. 米澤美智代：特別講義 褥瘡・皮膚管理. 鹿児島中央看護専門学校, 2024年12月, 鹿児島
47. 徳田勝哉：チームで取り組む VA 管理の中の VA 看護～Redesign アクセス管理～. 第19回 九州・沖縄臨床工学会 第31回 鹿児島県臨床工学会, 2025年1月19日, 鹿児島
48. 松山日実子：臨床判断Ⅰ 概論. 鹿児島中央看護専門学校, 2025年1-3月, 鹿児島
49. 徳田勝哉：カフ型カテーテルの対象・管理・トラブル時の対応 & アクティブライフと VA. びわこバスキュラーア

クセスセミナー 2025, 2025 年 2 月 9 日, 滋賀

50. 浜辺恵里香: Let's collaboration ～医療・介護の連携推進に向けて～. 鹿児島県看護協会 訪問看護師と居宅介護支援事業所の意見交換会 (鹿児島県訪問看護供給体制総合支援事業), 2025 年 2 月 14 日, 鹿児島
51. 浜辺恵里香: ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現. NPO 法人鹿児島県介護支援専門員協議会 令和 7 年度主任介護支援専門員研修, 2025 年 2 月 20 日, 鹿児島
52. 吉森みゆき: 微生物と感染症. 鹿児島中央看護専門学校, 2025 年 2 - 3 月, 鹿児島
53. 浜辺恵里香: 在宅ケアに活かす多職種連携. かごしま臨床栄養連携研究会, 2025 年 3 月 9 日, 鹿児島
54. 浜辺恵里香: Let's collaboration ～医療・介護の連携推進に向けて～. 鹿児島県看護協会 訪問看護師と居宅介護支援事業所の意見交換会 (鹿児島県訪問看護供給体制総合支援事業), 2025 年 3 月 14 日, 出水
55. 見交換会 (鹿児島県訪問看護供給体制総合支援事業), 2025 年 3 月 14 日, 出水
56. 吉森みゆき: 感染対策 個人防護具の正しい着用. 医療法人佑志会 守屋病院, 2025 年 3 月 21 日, 鹿児島
57. 徳田勝哉: バスキュラーアクセス・エコーガイド下穿刺ハンズオン. 第 22 回日本インターベンショナルネフロロジー学会学術集会, 2025 年 3 月 29 日, 静岡

いづろ今村病院

1. 中窪尊子: 緩和ケア論「Total pain(苦痛) への対処の実際」. 鹿児島純心女子大学, 2024 年 6 月 18 日, 鹿児島
2. 中窪尊子: 生き生きと輝きながら看護する職場風土作り. 鹿児島県看護協会 新任看護師長研修, 2024 年 9 月 12 日, 鹿児島
3. 櫻井雅子: 認知症と看護. 令和 6 年度 新人看護職員卒後研修, 2024 年 9 月 19 日, 鹿児島
4. 中窪尊子: 「M 1: エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護」「M 9: 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア」. 日本ホスピス緩和ケア協会 第 10 回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム, 2024 年 9 月 21・22 日, 10 月 5 日, 福岡 (Web)
5. 山元優佳子: 当院における IBD 患者さまとのかかわり. 南薩地区 IBD 医療連携の会, 2024 年 10 月 4 日, 鹿児島
6. 櫻井雅子: 看護職員認知症対応力向上研修. 鹿児島県看護協会, 2024 年 10 月 18 日, 鹿児島
7. 尾堂ゆかり: 糖尿病患者の療養を支えるフットケア. 令和 6 年度糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修, 2024 年 11 月 7 日, 鹿児島
8. 中窪尊子: 「M 1: エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護」「M 9: 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア」. 日本ホスピス緩和ケア協会 第 11 回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム, 2024 年 11 月 23-24 日, 北九州
9. 中窪尊子: 家族看護. 鹿児島中央看護専門学校, 2024 年 12 月 10・17 日, 2025 年 1 月 7・21・28 日, 2025 年 2 月 4・18 日, 鹿児島

谷山病院

1. 杉田真人: 精神疾病論. 久木田学園看護専門学校, 2024 年 4 - 5 月, 鹿児島
2. 杉田真人: 精神看護援助論. 加治木看護専門学校, 2024 年 4 - 8 月, 始良
3. 内田宏貴: 臨床薬理学. たちばな医療専門学校, 2024 年 6 - 8 月, 霧島
4. 杉田真人: 精神看護学概論・精神保健・精神看護学各論. 龍桜高等学校看護専門課程, 2024 年 8 月 - 2025 年 2 月, 始良
5. 有木攻: 性被害・性加害に遭わないためのよりよい人間関係について. 鹿児島市立谷山北中学校 (鹿児島市教育委員会 / 鹿児島県看護協会 性に関する指導推進事業), 2024 年 10 月 4 日, 鹿児島
6. 有木攻: 性被害・性加害に遭わないためのよりよい人間関係について. 鹿児島市立甲東中学校 (鹿児島市教育委員会 / 鹿児島県看護協会 性に関する指導推進事業), 2024 年 10 月 10 日, 鹿児島
7. 内田宏貴: 当院の LAI チームの取り組みについて. 大塚製薬 web seminar, 2025 年 2 月 28 日, 鹿児島 (Web)

愛と結の街

1. 川崎愛：生活支援～食事について～. 鹿児島医療福祉専門学校介護福祉科, 2024年6月15・22日, 5月13・20・27日, 6月3・10・17・24日, 7月1・8・18・22日, 9月2・9日, 鹿児島
2. 山口めぐみ：老年看護学方法論Ⅰ. 鹿児島医療技術専門学校看護科, 2024年9月4・18日, 鹿児島
3. 今西由香：老年看護学方法論Ⅰ. 鹿児島医療技術専門学校看護科, 2024年9月11・25日, 鹿児島
4. 川崎友義：チームマネジメント. 鹿児島女子短期大学, 2024年9月25日, 10月2・9・16・30日, 11月27日, 12月7・11・18日, 1月8・15・22日, 鹿児島

【受賞】

今村総合病院

1. 柏木美恵子：鹿児島県看護協会長賞表彰. 鹿児島県看護協会, 2024年5月
2. 浜辺恵里香：鹿児島県 MSW 協会功労賞. 鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会, 2024年5月

徳之島病院

1. 屋綾子：鹿児島県医師会看護業務功労者表彰. 鹿児島県医師会, 2024年7月

【マスメディア】

今村総合病院

1. 徳田勝哉：第30回日本腹膜透析医学会学術集会・総会 シンポジウム3「SDMの進展～多様なニーズとの協調～」演題「生活目標とSDM」. 糖尿病診療・療養指導のための医療情報ポータル 糖尿病リソースガイド (DMRG)【学会レポート】, 2025年2月7日
<https://dm-rg.net/>
2. 徳田勝哉：対談 02-① 臨床から元気にしたい！腎臓病看護のボトムアップ！. ほぼバスキュラーアクセス ラジオ【ながら視ちゃんねる】スナックかわさん, 2025年2月8日
<https://www.youtube.com/watch?v=SmJonSepPyY&t=191s>
3. 徳田勝哉：対談 02-② 透析していない時の生活に目を向けてほしい！元々あったVA看護という考え方を言語化して共有していく取り組み. ほぼバスキュラーアクセス ラジオ【ながら視ちゃんねる】スナックかわさん, 2025年2月16日
<https://www.youtube.com/watch?v=Q6JNp7jftDM&t=618s>

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

リハビリテーション部門

略称 総合（今村総合病院）・いづろ（いづろ今村病院）・谷山（谷山病院）・奄美（奄美病院）・徳之島（徳之島病院）・愛結（介護老人保健施設愛と結の街）
高麗町（高麗町クリニック）・PT（理学療法士）・OT（作業療法士）・ST（言語聴覚士）

中長期計画	2024年度事業計画(Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
質の高い専門的リハの提供	(1)疾患別の専門的リハの提供 ＊総合スポーツPT：腱板・人工肩関節・膝前十字靱帯手術など術後リハと外来リハにおける高い治療技術提供 ・いづろ(血液内科)：主治医を交えた多職種カンファを通してのチーム医療の提供 ・いづろ(血液内科)：総合病院血液内科チームセラピストとの勉強会開催(年1回) ・いづろ(全診療科)：入院時診療計画の共同作成の徹底 ・総合一般PT：総合・いづろ合同での血液内科リハの勉強会を開催 ・総合一般PT：専門病棟の疾患別チーム(脳卒中・呼吸器・循環器・消化器・腎・血液内科・産科・精神科・他)による豊富な知識を基にした安全で高い治療技術の提供と主治医との情報共有 ・総合OT：脳卒中・精神科・廃用等の疾患知識を基に患者を速やかに生活構築へ導くためのリハを提供。適切な福祉機器を導入し重症患者の離床頻度向上、在宅復帰へ繋げる。 ・総合一般PT/OT/ST：がん治療の知識・血液データ・その他評価を基に安全で効果的なリハを提供 ・奄美：疾患別プログラム導入の検討(精神科作業療法・デイケア) ・高麗町：3カ月に1回必要とする往診のため、院長とともにリハビリ会議を開催。 ・谷山OT：認知症治療病棟でのリハ再考 ・徳之島：統合失調症患者への心理教育の継続	毎週火曜日の朝カンファでの発表やラダー研修での情報・技術研修を実施した。 いづろ・総合PT(血液内科)：6/10合同勉強会開催(いづろ:対面、総合:Zoom)研修講師は総合PTにて 総合：リハ科医師との脳卒中勉強会を定期開催 総合：回復期病棟・一般病棟における移動用リフトの活用推進、重症患者離床頻度向上 総合OT：ドライビングシミュレーター導入 総合PT：一般病棟配属PT新人スタッフによる1週間の回復期リハ見学と体験業務を実施 総合OT：自動車運転再開へ向けたシミュレーターの活用開始。 総合リハ：急性期病棟へ移動用リフト導入し、重症者の離床へ活用。 総合リハ：運転評価、運転再開へ向けての訓練としてドライビングシミュレーターの活用継続 検討したものの感染症クラスター頻発のため実施はなし。 高麗町：3カ月に1回ケアマネジャーに参加を要請してリハビリ会議を開催した。 谷山OT：認知症リハ専従をOTとし院内基準やリハ内容を見直し。必要時の愛結PTとの連携を開始。 徳之島：マンパワー不足により多職種での実施が困難になり、実施はOTR単独での実施となった。	知識面での向上は、確認できるが治療技術面で精度が未完成である。 日頃の臨床の疑問点などを確認することができた。 ガイドラインを用いて脳卒中急性期リハの方針を医師とPT/OT/STにて共有した。 利用頻度は徐々に増えている。 姿勢・動作分析、装具療法、回復期リハ業務を経験で良い刺激となった。 リフトを用いることで重症患者の離床頻度が向上、在宅へ向けてリフトを検討するケースもあった。 感染症クラスター発生時の臨時プログラムは円滑に実施できた。 高麗町：会議は開催できるがCMの参加率は低い 認知症病棟専従OTRとの協力体制強化、認知症リハ件数増にもつながった。 多職種での関与ができず、連携のための情報共有や動機付けに課題が残った。 解析結果により判断とする。年度報告では作業時間が確保できず、業務にも反映しづらい。 対象患者の生活スキルの評価ができ、不足しているスキルの修得に繋がった。 就労支援事業への移行2名、調理プログラム2名の実施ができた。 精神科退院前訪問指導件数2件、施設同行(算定外)2件実施。 WTPは1クール終了し3名のうち2名が就労支援事業に移行。高齢者プログラムも開始。 自部署のみの取り組みとなり不十分であった。 家族指導へのマニュアル等の作成には至らなかった。 精神科退院前訪問指導4件 状態が多様で、共通の評価基準を見いだすことができなかった。	治療技術向上に向けての研修など今後の課題である。 来年度以降も継続予定。 今後どのように生かすか検討必要。来年度の新入職員が使用できるように教育していく。 来年度以降も継続予定である。 リフトの活用について病棟スタッフへの意識づけも必要。 検討した内容を2025年度に実施する。高麗町：ケアマネジャー不在の場合は事後報告する。 認知症治療病棟専従と認知症リハ専従のOTRを入れ替え、見えてくる課題を検討し改善する。 共有に向けた資料作成、短縮プログラムの検討など柔軟な運用体制を目指していく。 毎月の推移集計とすることも検討が必要である。 運用基準を定め、自動車学校での実車評価へもつなげる。 早期に開始することで回数増加を図り余裕をもって退院に繋がると考える。 就労支援事業への移行者への定着支援を継続、入院・外来問わない調理プログラムの再開。 終了者の残り1名を継続支援し、新規利用者の獲得や実施方法を多職種で検討する。 療養棟、他職種を巻き込んでの、施設全体の課題として取り組む必要あり。 施設全体として、資料やマニュアルの充実を図る。 OTRから提案の促進と実施件数の可視化を図る。 行動変化や関与の度合いなど定性評価の導入を検討する。
	(2)病期別(急性期・回復期・生活期：介護分野)の専門的リハの提供 ＊チーム医療の工夫・リハカンファレンス・退院時指導・訪問の工夫・他も含む。 ・いづろ(地ケア病棟)：補完代替リハビリの効果検証と整備 ・総合一般PT：泌尿器科・消化器外科の術前・術後のリハ資料を作成・配布 ・総合スポーツ・一般PT/OT/ST：自宅退院の全患者へ病棟看護師・リハで協働し退院時指導を実施。 ・総合PT：急性期と回復期の双方を経験できる新人教育システムの構築 ・総合：回復期リハビリテーション病棟の充実へ向けた取り組み ・総合OT：自動車運転再開へ向けた取り組みを継続、強化 ・奄美：退院先に応じたプログラムの充実 ・谷山OT：外来作業療法の展開 ・谷山OT：退院前訪問指導の実施 ・谷山デイ：就労準備のためのプログラム開始などデイケアの機能分化 ・愛結：多職種協働、自主訓練等の充実による生活リハ、セルフマネジメントへのシフト ・愛結：在宅限界延伸のための総合的支援の充実(福祉用具・家族指導等) ・徳之島：退院前訪問指導への積極的参加 ・徳之島：意思疎通が難しい患者に対するリハ効果の可視化	いづろ：疾患別リハと補完代替リハの効果比較を行うためデータ収集完了。 解析の準備段階にある。 脳卒中急性期でシミュレーターも活用しながらの運転評価継続、回復期では日々のプログラムとしても実施した。 外泊・外出後の活動制限撤廃後の12月からグループホーム入居予定者の個別アプローチを実施 谷山OT：外来利用者を就労支援事業への移行支援、外来利用者への調理プログラム実施 谷山OT：退院前訪問指導はOTRが担った役割だと他職種にも説明 谷山デイ：就労準備のためのプログラム(WTP)や高齢者プログラムを計画・実施 愛結：自主訓練の充実に向けた準備、話し合いを行った。 愛結：定期的な家族指導の体制を一部整えることができた。 徳之島：OTRが訪問できることをカンファレンス、運営の場で周知。 徳之島：1年を通じ評価指標の模索を継続した。	実施件数は伸びたが運用方法、基準が不確定。 対象患者の生活スキルの評価ができ、不足しているスキルの修得に繋がった。 就労支援事業への移行2名、調理プログラム2名の実施ができた。 精神科退院前訪問指導件数2件、施設同行(算定外)2件実施。 WTPは1クール終了し3名のうち2名が就労支援事業に移行。高齢者プログラムも開始。 自部署のみの取り組みとなり不十分であった。 家族指導へのマニュアル等の作成には至らなかった。 精神科退院前訪問指導4件 状態が多様で、共通の評価基準を見いだすことができなかった。	毎月の推移集計とすることも検討が必要である。 早期に開始することで回数増加を図り余裕をもって退院に繋がると考える。 就労支援事業への移行者への定着支援を継続、入院・外来問わない調理プログラムの再開。 終了者の残り1名を継続支援し、新規利用者の獲得や実施方法を多職種で検討する。 療養棟、他職種を巻き込んでの、施設全体の課題として取り組む必要あり。 施設全体として、資料やマニュアルの充実を図る。 OTRから提案の促進と実施件数の可視化を図る。 行動変化や関与の度合いなど定性評価の導入を検討する。

中長期計画	2024年度事業計画(Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月(DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
超急性期から在宅までシームレスな連携	(1)慈愛会内リハ部での連携の取り組み ●急性期(回復期)病院から生活期施設(病院)へ向けて ・いづろ(医療):施設内での医療保険領域→介護保険領域の密な情報共有、シームレスな支援提供 ・総合:総合→愛結へ転所前後の患者個別カンファ(愛結・総合合同)の開催の提案 ・総合:愛結→総合へ入院する患者のADL・リハについて速やかな情報共有方法の検討 ・高麗町:電子カルテMIRAIsを利用した情報交換・サマリーを作成・パンフレットの配布・医療相談室との連携 ●生活期施設(病院)から急性期(回復期)病院へ向けて ・いづろ(介護):ケアマネジャー、医療機関への密な情報共有、シームレスな支援提供 ・谷山OT:リハビリテーションサマリーの内容や送付先の検討 ・愛結:退所後のアウトリーチ機能の充実(入所から訪問までの担当継続・入所前後訪問・早期リハ開始) ・愛結:病院の退院前カンファレンスへの参加、共同指導(改定情報) ・愛結:地域包括ケア病棟との連携強化 ・愛結:リハサマリーを含めた医療機関への密な情報共有、連携体制の充実 ・愛結:老健パンフレットの作成・配布	総合:訪問リハ開設 サービス提供を開始 高麗町:MIRAIsへの記録を実施。医療相談室へパンフレットを配布 谷山OT:リハビリテーションサマリー作成は定着。 愛結:老健退所からの訪問リハの体制を継続、入所前後訪問は件数昨年度より増加した。 愛結:病院への退院カンファレンスへの参加1件、共同指導加算算定2件であった。 愛結:情報交換などを実施 愛結:サマリーは100%作成する体制ができた。 愛結:訪問リハのパンフレット更新、配布を行った。	件数は月1件程度と少ない 高麗町:作業効率化、連携強化が向上した。 サマリーの内容や送付先は未検討。 入所者に対しての早期の居宅訪問件数は増加している。 新たな加算に対する認識が理解されていない現状にある。 地ケア病棟からの退院先として老健も自宅扱いに一部含まれる情報が浸透していない可能性あり。 電話連絡が以前より取りやすいなど密な連携に繋がりがつつある。 入所の約款等早期から訪問リハを周知することで、在宅への後押しとなる。 新人職員はラダーIを取得し、1年間業務遂行できた。2年間の教育を経て予定通り総合病院へ異動予定。 総合新人スタッフにとって慈愛会他施設や生活期リハを学ぶ良い機会となった。 精神科作業療法士が配属されるリハ科、デイケア、就労支援事業、訪問看護で研修。 老健の訪問リハ(身障)の見学には至らなかった	対象者の確保と拡大に向けて訪問リハについて医師の理解と協力が必要 高麗町:空き状況などを医療相談室に連絡して連携強化を図る。 皆で検討する機会をつくる 今後早期の居宅訪問から、いかに在宅復帰に繋げるか支援方法の充実に課題である。 今後加算に関してケアマネジャーへ積極的に周知していく必要性あり。 今後老健からも積極的に周知していく必要あり。 今後も状況に応じてタイムリーな連携体制を整えていく。 入所部門の作成を行う必要あり。 学生長期実習を兼ねる時期は新人職員への教育が不足した。実習受け入れ体制も併せて整備する必要あり。 来年度も継続していく。 新入職者だけでなく、希望者に対し他部門・他施設での研修を調整 今後互いに見学できる体制等を整えていく必要あり
	(2)慈愛会内施設でのスタッフローテーション ・いづろPT:法人内スタッフローテーション、新人入職の受け入れ、教育体制の構築 ・総合PT:新人教育についていづろとのシステムの共有 ・総合OT:総合病院から谷山病院への異動に向けたシステム作り ・総合:いづろ・愛結・高麗町とのスタッフ異動の取り組み ・総合:新人スタッフの愛結での業務体験を計画 ・総合・いづろ・愛結:3カ月に1回Zoom会議継続 ・谷山:新入職スタッフの他部署研修 ・愛結:訪問看護ステーションとの訪問リハ連携	いづろ:今年度初めて新人PT受け入れ。ラダー認定含め教育体制と定期的な新人受け入れ体制を整備した。 総合OT:精神科への異動について需要が無くなったため検討を一旦中止とする。 総合・愛結:総合新人スタッフの愛結職場体験実施 谷山:新入職者は配属部署以外での研修を実施。希望者は他施設での研修も実施。 愛結:情報交換等実施した	総合新人スタッフにとって慈愛会他施設や生活期リハを学ぶ良い機会となった。 精神科作業療法士が配属されるリハ科、デイケア、就労支援事業、訪問看護で研修。 老健の訪問リハ(身障)の見学には至らなかった	学生長期実習を兼ねる時期は新人職員への教育が不足した。実習受け入れ体制も併せて整備する必要あり。 来年度も継続していく。 新入職者だけでなく、希望者に対し他部門・他施設での研修を調整 今後互いに見学できる体制等を整えていく必要あり
	(3)地域あるいは慈愛会以外の病院・施設との連携の取り組み ・いづろPT:周辺施設病院と合同研修会の開催 ・いづろPT:地域(スタッフの居住地域含む)のコミュニティで健康体操、フレイルサルコペニア予防教室 ・いづろST:合同嚥下勉強会への積極参加による地域病院・施設との連携強化 ・総合:県委託事業(お達者クラブ講話)・垂水事業(小児言語相談会・子育てママの体ケアの講演会)継続・嚥下に関するST派遣業務継続・合同嚥下勉強会開催(連携強化) ・奄美:退院先施設への情報提供の強化 ・高麗町:木四会(在宅療養支援診療所の定例会議)へ参加し、他事業所の他職種・セラピストと交流 ・谷山:小原町高齢者クラブふれあい会食での講話 ・愛結:小原町高齢者クラブふれあい会食での講話・健康教室 ・愛結:介護マルシェの開催 ・徳之島:島内の施設・事業所とLINEを活用した情報共有の検討 ・徳之島:地元保育園での集団運動指導継続	いづろ:県医師会主催の糖尿病重症化予防研修会講師(阿久根開催)、薩摩川内市ミニデイ専門職派遣 総合ST:言語相談会実施 総合ST:ST派遣業務/合同嚥下勉強会開催 総合:かもいけ健康まつりにて体力測定等のブース参加 総合:南鹿見島さくら病院との患者転院前訪問の病痛連携を再開 在宅運営委員会や病在連携委員会を活用し情報共有の強化ができた。 高麗町:定例会議に参加して他事業所・他職種との交流が図れた。 谷山:小原町高齢者クラブふれあい会食での講話、認知症サポーター養成講座講師を担当 谷山:地域交流行事の再開 愛結:小原町高齢者クラブでの講話実施 介護マルシェの開催 徳之島:研修やイベントでの情報共有は実施できた。 徳之島:週1回、年間を通して実施	いづろ地域での取り組みはコロナ後再開できていない。 総合ST:年3回5名実施。(年6回計画していたが対象児の体調不良にて中止) 総合ST:年28回ST派遣業務実施。看護師への嚥下評価指導と体制づくり 総合ST:年6回合同嚥下勉強会実施。 患者情報のやり取り含め滞りなく再開できている。 退院先(奄美病院グループ内)との情報共有が可能となり途切れのない関わりができた。 高麗町:名刺交換だけでなく連絡を取り合う関係性を作る必要性を感じた。 小規模開催の予定が比較的大規模になり、内容や対象者などの課題が残った。 地域のニーズを拾う契機になった。 参加者数は多かったが高齢者の参加が少なかった。 個人情報保護の制約から応用的な活用は難しく課題となった。 担当OTRが1名のため、負担が大きかった。	いづろ地域合同研修会、2025年度に再開予定で準備中 いづろコミュニティ訪問等に取り組み2025年度再開予定で準備中。 年6回実施予定。言語訓練を必要とする人数を把握するために講演会実施。 年12回実施予定。引き続き看護師への嚥下指導実施。 年6回実施予定。近隣病院の参加数を増やし連携につなげる。 患者の利益になるように双方にとってより良い連携を模索する必要がある。 奄美病院グループ外との情報共有の強化を図る。 高麗町:交流を深めて利用者獲得へ繋げていく。 負担のない可能な形で地域交流を目指す。 地域の顧客の確保に繋げる工夫が必要。 高齢者の集客に向けた内容の見直しを図る必要あり。 共有範囲の明確化と活用時の取り決めを検討していく。 負担軽減に向け、支援体制を検討していく。

中長期計画	2024年度事業計画(Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月(DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
財務の視点での目標達成と患者獲得への取り組み	(1)急性期(回復期)病院の目標(基本:一般18単位/day/1名、精神科17件/day/1名)と目標達成のための工夫 - 総合スポーツ：腱板断裂・膝前十字靭帯断裂患者の各種術前・術後評価の業務改善 - いづろ(医療)：算定内・外業務の数値化、実績集計 - いづろ(PT・DPCチーム)：担当者不在時のフォロー体制の充実(目標：月平均8単位) - 総合：スタッフ個人の取得単位と加算取りこぼしチェックを役職者が一元的に管理(DX活用) - 総合：役職者が医事の返戻情報を分析、対策は共有ファイルで全リハスタッフへ提供 - 総合PT：算定単位と算定外業務の数値化による業務量適正化と超過勤務削減への取り組み - 奄美：入院から指示箋処方までの期間の分析及び改善 - 谷山OT：毎月の実績報告会実施と内容検討 - 徳之島：病棟担当制から患者担当制へ移行	グーグルフォームとRPAを用いた業務改善を行った。 総合：急性期加算算定開始 総合PT：稼働達成に向けた管理者によるスタッフのスケジュール管理を開始入院時の指示箋記載を必須とした。 谷山OT：実績報告会を毎月実施 徳之島：各OTRで担当振り分けを実施	紙媒体での作業がなくなり、BIG DATAへの反映も容易になった。 算定漏れの対策などその都度対応できている。 PT管理者によるスケジュール管理を開始し稼働率が向上している。開始までの期間が短縮がで早期のアプローチが可能となった。件数報告が中心となり、作業療法内容についての報告が少ない。件数の増加はなかったが、評価や退院支援の役割分担は容易になった。	RPAのエラー検出作業と同様の業務へこの作業モデルを展開することが課題である。 現場の状況に応じて継続して対応していく。 今後も継続し、必要に応じて各チーム毎に対応を検討する。リハ部からの依頼を要することがあり更なる徹底を図る。作業療法の質について検討する機会をつくる。質の向上を図れたと考えており、運用体制を再検討する。
	(2)生活期(訪問・介護施設)での目標と目標達成のための工夫 - いづろ(PT)：スタッフ数動向に合わせ、訪問リハの拡充を図る。 - 高麗町：単価の向上(早期リハ加算取得、リハ会議開催) - 愛結：算定内外業務の可視化継続と生産性の向上のための施設全体でのプロジェクト継続 - 愛結：顧客獲得のための入所系通所系サービスの情報共有体制の充実 - 愛結：加算とりこぼしチェックと返戻分析及び再発防止策の発信 - 愛結：モバイルベースでの業務の効率化、ケア+の導入検討(DX活用)	高麗町：診療報酬改定や加算を取得したため単価の向上は図れた。 愛結：算定内外業務の数値化は見直しをしながら実施、生産性向上委員会刷新 愛結：入所中からの通所の体験サービスの実施 愛結：加算のLIFE送信ミスの対策を再検討、対策を周知した。 愛結：療養棟では導入、リハは試験的な活用を実施	高麗町：利用者が増加して診療報酬増加に繋がった。 ICT化に向けた研修会、デモの実施を行ったが、機器の導入には至らなかった。通所の新規利用に繋がった。 施設全体の見直しを行い、関係部署に周知した。 導入には費用対効果の意見が分かれている。	高麗町：継続して実施する。 今後無償のデモ機器等の導入を検討。 今後も体験サービス等の充実を図る。 今後も必要時に見直し検討が必要。 次年度も引き続き検証していく。
	(3)患者獲得への取り組み(ホームページでの実績報告・他) - いづろ(OT)：地域連携プロジェクト推進委員活動の継続 - 総合：ホームページ・SNS・他で疾患に特化した専門的リハ提供の実績報告(スポーツ・脳卒中・呼吸器・循環器・消化器・腎・血液内科・産科・他) - 奄美：ホームページやSNSを活用した情報発信の構築 - 谷山：ホームページを活用した情報発信 - 愛結：ホームページでの情報発信継続、居宅事業所への営業活動 - 徳之島：外来作業療法実施に向けての検討を再開	ホームページでの情報発信(主にデイトナイトケア)を実施 不定期で更新数も少なかった。 愛結：居宅事業所への営業活動は定期的に実施 徳之島：開始に向けた外来患者へのアンケートの準備を開始した。	面接希望の問い合わせがあったが人材派遣会社経由のために見送った。 プログラムの内容のみにとどまった。 顔の見える関係ができ紹介率の向上、稼働率の向上に繋がった。 実施前段階のため調査準備が主だった。	SNSでの情報発信が未実施のため今後実施する必要性あり。 研修や勉強会、その他の内容でも掲載を検討。 今後は新規顧客獲得へ向けた居宅支援事業所の開拓を行う。 調査結果をもとに曜日、時間を検討していく。
教育体制の充実	(1)クリニカルラダーで医療倫理から管理者教育まで行い、スタッフのキャリアアップへ繋げる - いづろPT：全スタッフラダー認定終了。ラダーの本格運用の開始。課題抽出と対策を検討していく。 - いづろOT：若手スタッフへのラダー認定支援の継続 - 総合：全スタッフ対象にクリニカルラダー教育の充実(申請100%目標)と必要時の内容更新、キャリア開発ラダーの内容の見直し(より具体化) - 奄美：全職員へのラダー導入 - 高麗町：確認中1名、ラダー4申請中1名 - 谷山：ラダー内容の更新 - 谷山：実習指導やプリセプターシップを通した人材育成 - 谷山OT：定期面談の実施 - 愛結：全スタッフ対象にクリニカルラダー教育の充実(申請100%目標)と必要時の内容更新 - 徳之島：ラダー内容の更新と定期面談の確実な実施 - 徳之島：全スタッフのラダー認定とステップアップのフォロー	ラダー申請・認定手続きをスタッフへ周知しながら体制を整備した。 早期に獲得すべき知識・技能を確認し、かつ、自律性を尊重しながら進められた。 総合：ラダー申請100%、年間教育計画に則った研修を開始 対象者に導入することができた 愛結:100%の申請には至らなかったが、内容の更新は実施した 徳之島：内容の更新は実施、面談は年2～4回程度の実施となった。 徳之島：対象者の申請は100%	期間内に手続きを終え、申請分は全て取得できた。 期限を決めた計画立案、定期的進捗状況の確認、必要に支援・教育で滞りなく進化した。 計画通りに進化した中、中には把握できていないスタッフも存在した。 計画通りに進捗できたが中途採用者への導入ができなかった。 面談の回数やフォローが十分ではなかった 更新は達成したものの面談頻度は目標に届かなかった。 申請者全員が認定、フォローの継続性に課題が残った。	年度途中の研修受講状況など把握が難しく、自主的な取り組みの支援が必要。ラダーレベルに応じた自律性を引き出していく。 評価者のラダーに対する認識を強化する。 法規や制度関連が不足しており今後検討を要する。 ラダーに関して面談や取組時間を業務内に確保できるよう支援を行う 面談時期の明確化と実施管理の仕組みを作っていく 面談の定期化とOJT活用でフォロー体制を充実させていく。

中長期 計 画	2024年度事業計画(Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
教育体制の 充実	(2)PT・OT・ST協会の教育プログラムでの治療知識・技術の習得と専門資格取得 ・いづろPT：スタッフの登録理学療法士、及び認定理学療法士、その他進学・資格取得支援 ・いづろOT：MTDLPに基づく患者支援技能の習得 ・総合PT:全スタッフが日本PT協会教育プログラムの「登録PT」資格、更に「認定PT」「専門PT」資格取得挑戦 ・奄美：MTDLP研修への参加 ・高麗町：登録理学療法士の取得 ・谷山：協会や県士会の研修制度による卒後教育支援 ・愛結：全老健主催の実地研修専門リハビリテーションコース修了者育成 ・徳之島：臨床実習指導者実践研修、認定作業療法士、進学・資格取得挑戦 (3)論文投稿・学会発表・その他の推進、Big Dataの活用 ・総合スポーツPT：全スタッフ1年1回院内整形外科活動報告会発表、院外での学会発表 ・総合スポーツPT：膝前十字靭帯断裂術後のスポーツ復帰基準作成の継続 ・総合スポーツPT：膝前十字靭帯断裂術後のスポーツ復帰・再断裂率等の調査データ収集継続 ・総合スポーツPT：腱板断裂術後、人工肩関節における各種データ収集 ・いづろ（地ケア）：糖尿病教育入院後の運動継続に関する調査・報告 ・いづろPT：活動発表会2演題の発表 ・いづろST：学術集会学会発表1演題 ・総合一般PT：全スタッフ5年に1回院内外での学会発表又は論文投稿 ・脳卒中・呼吸器・循環器・消化器・腎・血液内科・産科・他疾患ごとに治療効果のデータ収集・分析 ・総合ST：院外学会発表・論文投稿2名以上 ・奄美OT：PTと協働した身体リハのデータ収集と分析 ・谷山OT：ハードルの低い事例報告機会の設定 ・谷山：リハスタッフ勉強会の継続とPPPの再開 ・谷山：各種発表の支援 ・愛結：全国老健大会への発表1演題 ・愛結：LIFEのFBデータの分析活用及びFAIのデータ蓄積 ・徳之島：身体的アプローチの継続とデータの収集 ・徳之島：総合ST派遣業務を活用しての嚥下評価技術の取得推進	認定理学療法士1名、登録理学療法士1名、大学院進学1名を予定した。 MTDLPの概念の振り返り、レポート作成、他部門への報告など段階的に教育した。 総合PT：登録PT取得支援継続、慈愛会他施設スタッフを交えた症例検討会の開催 基礎研修1名受講 愛結：希望者がおらずコース受講には至らなかった 徳之島：CVPPPトレーナー研修修了1名 年末研究発表会で全員発表。全国レベル学会へ3演題発表した。 未実施であった。 通常業務としてデータ収集できた。 通常業務としてデータ収集できた。 教育入院退院後の調査方法について情報収集・計画作成を行った。 2演題を1つにまとめて発表実施した。 抄録作成からポスター作成まで、滞りなく進めることができた。 総合PT：慈愛会リハ活動発表会発表（口述/ポスター）4名 総合PT：臨床実習指導者講習会3名受講 総合PT：日本HTLV-1学会にて発表1名 総合PT：日本造血・免疫細胞療法学会にて発表1名 総合PT：慈愛会学会でのポスター発表2名 総合PT：認定理学療法士 補装具1名、呼吸1名、健康増進1名 PTを中心とした身体リハの実施とデータ収集を実施 愛結：全国老健大会で1名、九州老健大会で1名、鹿児島県老健大会で1名発表した 愛結：LIFEのFBデータの活用体制の見直しを行った。FAIのデータ蓄積は継続。 徳之島：寝たきり、歩行不安定者に週2回介入を実施。 徳之島：研修は実施できず、eラーニング等オンライン学習を実施。	認定理学療法士1名取得、登録理学療法士の年度ノルマ達成1名、大学院前期課程1年目修了1名 教育を受ける側、教育する側の波長を揃えたため、共に学ぶことができた。 他施設を交えた症例検討会は実施できた、個々人の登録PT取得に向けた意識が低い 受講者が少ない状況であった。 受講に関する働きかけが不十分であった 支援体制は整備不足もあり実績は乏しかった。 予定通りであった。 作成自体が困難であった。 予定通りであった。 予定通りであった。 調査手法の大半は形成でき、計画の承認を得る段階にある。 演題数は減少したが計画的に取り組めた。 約1年前より発表を計画していたため、終始円滑に準備が進められた。 計画通りであった。 計画通りであった。 計画通りであった。 計画通りであった。 計画通りであった。 データ収集はできたものの分析が不十分な状態。 ろうけん鹿児島に1名寄稿した。 部署単位での分析に留まっている現状である。 機能維持は確認できたものの、改善には至らなかった。 実地研修や病棟での介入には至らなかった。	適宜相談を受け付けアドバイスを実施できた。今年度取り組みができなかったスタッフへの啓発が課題。 他部門への報告でOT専門性をアピールでき、多職種連携に役だった。 スタッフへの声かけや進捗確認を細やかにしていく MTDLPの内容や必要性の啓蒙から図り受講への意欲を高める。 早期の働きかけと面談時に受講への意欲を高める必要あり 希望制だけでなく機会の創出と働きかけを行っていく。 臨床業務の中で準備が大変であるため、業務時間での作業ができるように工夫した。 特になし。 RPS等のDX化を一部取り入れた。 RPS等のDX化を一部取り入れた。 調査を軌道に乗せていく。 引き続き取り組みは継続していく。 引き続き日常的に研究等に取り組みやすい職場風土作り、協力体制構築が必要。 引き続き必要な支援を行っていく。 引き続き必要な支援を行っていく。 引き続き必要な支援を行っていく。 引き続き必要な支援を行っていく。 引き続き必要な支援を行っていく。 他部門への分析結果報告とOTの身体リハ実施の強化を図る。 引き続き発表等への支援を行う。 施設全体としてのデータの分析活用が今後必要である。 継続しながら介入方法の見直しを行う。 計画の見直しや段階的な介入の準備を進めていく。
働き方 改革	(1)スタッフの超過勤務削減への取り組み ・総合スポーツPT：退出勤務によるシフト制継続 ・いづろ（全体）：業務分担によるスタッフ間残業時間格差改善。各月残業時間目標管理 ・総合：時間外業務の計画を作成しない（研修・会議等は全て時間内に） ・総合：DX活用、毎月の責任者会議で業務改善の提案を議題にし、可能なものから速やかに実行していく。 ・奄美：定期的な業務改善の実施 ・高麗町：時間内に業務を終了する。 ・愛結：アンケート調査後のリハミーティングにより業務見直しを毎月実施 ・愛結：業務分析を継続しながら、早出遅出等シフト体制の継続見直し	毎月臨床業務、臨床外業務を20分1単位と換算して集計。部署内で可視化した。 定期的な業務見直しや病棟人数不足の際の協力体制の構築を図った。 愛結：業務見直しはほぼ毎月実施できた。 愛結：業務分析を実施し、状況に応じた早出遅出の試験的導入を継続	委員会など臨床外業務で負担差が大きいが明確に。管理業務の負担も大きかった。 時間内に業務をほぼ終了することができた。 不要と思われる業務については削減し、業務の効率化に繋がった。 療養棟の必要性に応じて実施することができている。	委員会業務を中心に更なるタスクシフトの必要性が明確となった。 今後も定期的な業務内容見直しを図る。 今後も継続予定。 今後もリハ部だけではなく、施設全体での取り組みが必要である。

中長期計画	2024年度事業計画(Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月(DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
働き方改革	(2)ワークライフバランス推進（男性育休取得・他）と推進のための工夫 - いづろ（全体）：早出勤・時間取得などフレキシブルな働き方の積極導入 - いづろ（全体）：役職者による目標管理含む半年面談の実施 - 総合：役職者はスタッフのストレス対策のための面談・その他の時間を積極的に確保する。 - 総合：男性スタッフの育児休暇取得の推進 ・高麗町：育児休業取得実績あり。改善点を考察する。 ・奄美：スタッフ産休・育休・介護休暇取得時のプログラムの検討 ・谷山OT：定期面談の実施 ・愛結：子育て・介護・その他の事情での休暇・時短勤務に関するスタッフ間の協力システムの構築	事務長許可のもと、事前相談にて個人の事情に応じた勤務時間での就労を実践した。 半年面談、最終面談も計画的に実施した。 総合PT：育休取得者2名に対するサポート実施 総合PT：介護休暇取得者1名に対するサポート実施 総合：リフト導入1→2台、スタッフへ使用の推進継続 総合PT：移乗時の皮膚損傷対策で、各病棟へセミモジュール車椅子を配置、介助量に応じた車椅子・リフト等の選定をルール化 総合：移乗ボードを各チームへ配置、活用促進。 プログラムやフォロー体制を構築した。 愛結：時短勤務者への業務の見直しを随時行った。	部署内にて満足度調査を実施。不公平感の意見なし。公私生活の両立に役立った。 必要に応じ適宜面談やサポートを行うことと、離職希望者の勤務継続支援に繋がった。 取得者の業務を周囲にてサポートできた。 取得者の業務を周囲にてサポートできた。 リフトの使用頻度は徐々に増えており、スタッフの使用への意識も定着しつつある。 モジュール車椅子の設置とルール化によりインシデントはほぼなくなった。 全病棟にボードの設置を計画中。 取得者は不在であったが長期有休取得者がいた期間において支障なく運営可能であった。 負担軽減と役割の明確化を行い、離職希望者の勤務継続支援に繋がった。	今後も進学、育児、介護を抱えるスタッフ増の見込み。多様な働き方を当たり前としていく。 働きやすい環境、風通しの良い職場環境整備引き続き対策が必要。 育休等取得しやすい環境づくりを行っていく。 来年度の新入職員への教育も含め、より良い使用に向けた仕組み作りを行っていく。 必要に応じて対応を検討していく。 今後も状況に応じて適時検討を図る。 今後も育児、介護等を抱えるスタッフに対して多様な働き方ができる支援体制、風土を作っていく。
	(3)スタッフの労働安全への取り組み - いづろPT：看護師・介護士等への腰痛予防・介・助技術指導、病棟へのリフト等福祉用具導入支援 - いづろPT：看護介護スタッフへの研修動画の更新、各職種の定期研修への有効活用 ・総合：労働安全衛生委員として看護師・介護士・他スタッフへの腰痛予防対策講義 ・総合：腰痛予防に向けたリフト等の福祉用具導入と対策チームによる利用の推進 ・高麗町：安全運転チームとしての判断を重視する。 ・奄美：定期的なCVPPP勉強会の開催 ・愛結：腰痛対策としての始業前のストレッチ継続と福祉用具の積極的活用及び研修会の実施 ・徳之島：ナースエイドへの介護技術研修	いづろPT：ノーリフティング推進PJ活動発表等を通して、職員への啓蒙、管理職への理解推進を実施。 いづろPT：年間6回コース全日程を終了した。欠席者や復習用の動画作成も行った。 総合：リフト導入1→2台、スタッフへ使用の推進継続 総合PT：移乗時の皮膚損傷対策で、各病棟へセミモジュール車椅子を配置、介助量に応じた車椅子・リフト等の選定をルール化 総合：移乗ボードを各チームへ配置、活用促進 CVPPPの勉強会を1回開催 愛結：新人スタッフ向けの研修会を実施、ポスター作成と掲示を行う等啓発活動を行った。 徳之島：新入職のナースエイド向けに介護技術研修を1回開催。	いづろPT：少しずつではあるが確実に前進している。来年度リフト購入を進めている。 いづろPT：計画的に実施でき、介護職の腰痛予防啓蒙に繋がった。 リフトの使用頻度は徐々に増えており、スタッフの使用への意識も定着しつつある。 モジュール車椅子の設置とルール化によりインシデントはほぼなくなった。 利用場面は増えており、使用に向けてスタッフの意識は定着しつつある。 研修受講者が他部署のために時間調整が困難であった。 全体向けの研修会が実施できなかった。 部署が違うため日時の調整が難しく、実施が年度の後半となった。	いづろPT：リフト（リフター）導入に向け次年度も継続が必要。 いづろPT：看護介護スタッフの腰痛予防に向け、次年度も取り組みの継続が必要。 来年度の新入職員への教育も含め、より良い使用に向けた仕組み作りを行っていく。 必要に応じて対応を検討していく。 全病棟にボードの設置を計画中、購入を依頼していく。 リハ部門も受講し今後も年1～2回の開催を継続する。 今後全職員向けの研修会を開催していく。 教育委員会と連携し、日程調整と計画の共有を行う。
人材確保	(1)ホームページの充実 - 総合：スポーツ・回復期・脳卒中・呼吸器・循環器・消化器・腎・血液内科・産科・他チームでの治療実績報告 - 総合：学会・論文投稿・活動発表会・症例検討会・その他勉強会開催実績・機器の報告 - 総合：リハ部各チームの特徴・取り組みを写真とともに一般市民にもわかりやすく提示 - 高麗町：採用情報については、本部の総務人事課へ依頼している。 - 奄美：プログラム変更時のホームページへの掲載 - 谷山：治療プログラムの紹介に加え、勉強会や研修参加についても情報発信 - 愛結：生活期リハビリの発信 ・徳之島：ホームページにブログページを作成し情報発信を行う	デイトナイトケアは毎月プログラム内容を更新した。 SNS（インスタグラム）開始し、生活リハに関する発信を行った。 徳之島：記事の更新は2回のみ。	精神科作業療法に関しては更新なし。 リハビリ部門の情報発信の取組が少ない現状であった。 担当者が1名のため更新作業が滞っていた。	定期的な更新を図る。事務部門にホームページ担当者が配置されたため内容の検討を図る。 リハビリ部門からの発信増を図る。 更新体制の強化と更新頻度の向上を図る。
	(2)SNS・地域コミュニティ誌への投稿・他 - いづろPT：臨床実習指導受け入れ校（2校以上4名以上）、就職希望者獲得への関係作り - いづろST：臨床実習指導受け入れ（2校以上4名以上） - 総合：働くものにやさしい職場であることを日本PT協会から認定された職員の腰痛予防対策について広報 - 総合：垂水市との連携活動での「言語相談」と「産後の運動指導」についての広報 - 総合：LLかもしいけ（地域の広報誌）のじあいコミュニティ欄へのリハ関連記事の掲載継続 - 奄美：地元新聞や情報誌への掲載 - 谷山：県内全ての養成校実習受入。実習を通しての養成校との連携強化、就職希望者獲得。 - 愛結：臨床実習指導受け入れ（2校） ・徳之島：作業療法室紹介動画の作成	養成校3校8名の実習受け入れを実施した。 総合：PT-OT-ST.NETに「腰痛予防宣言」の取り組みが掲載された。 定期的に地元新聞や情報誌に掲載した。 養成校2校、9名の実習受け入れを実施した。 徳之島：構成と撮影は実施、楽曲の使用申請を行った。	フィードバック時など実習に対して充実していた等の声も聞かれ、就職希望したい旨の申し出もあった。 総合スタッフの取り組みが全国規模で紹介され良いアピールとなった。 掲載したものの影響はほとんど見られなかった。 生活リハ、多職種連携へ興味を持ったとの声も聞かれた。 動画構成にあう楽曲の使用ができず作業停止中。	実習生からの新規就職者はおらず、今後は積極的に法人の魅力などを発信していく必要あり。 SNS等を通じて今後も総合での取り組み内容を外部へ発信していく。 SNSを活用した情報発信を推進する。 今後も実習生を受け入れることで、就職の裾野を広げる一部を担う。 構成の見直しを含め再検討を図る。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会リハビリ部には、2025年3月現在、合計約160人を超える理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）・リハビリ助手が所属しています。

身障系リハビリの領域では、一般急性期病院のいづろ今村病院・今村総合病院、介護保険事業所の老健愛と結の街グループ、地域医療の高麗町クリニックがあります。精神科リハビリ領域では、谷山病院・奄美病院・徳之島病院があり、それぞれの施設で、PT・OT・STが臨床・教育・研究に携わっています。（慈愛会リハ施設概況表参照）

1. 慈愛会身障系リハ施設責任者会議（Zoom）

（参加者：いづろ今村病院・今村総合病院・愛と結の街・高麗町クリニック・慈愛会リハ部統括室長・統括室長補佐）

開催：年4回：5.8.12月の第4水曜日16：30～

（四半期毎の事業計画進捗管理表報告月に設定）

<内容>

①各施設リハ部門の現状報告と展望

各施設の事業計画進捗管理表を共有・意見交換。
スタッフの動向・学生指導・施設内感染対策・他。

②慈愛会リハ活動発表会について

開催時期：例年通り11月。

会場：自治会館をメインに各施設Zoom。

内容：2022年度～3カ年の統一テーマは「連携」とし、2022年度「多職種連携」・2023年度「施設間連携」・2024年度「地域連携」とした。テーマに沿った活動を意識的に実践・報告できた。

③慈愛会リハビリ部内人事異動

*スキルアップ目的で本人希望に沿ったもので、異動後は意欲的に業務に取り組んでいる。

〔2024年度実績〕

今村総合病院→老健愛と結の街へ：言語聴覚士1名
老健愛と結の街→今村総合病院へ：言語聴覚士1名

〔2026年度計画〕

いづろ今村病院→今村総合病院へ：理学療法士1名

④他施設リハ部の見学・体験実習実施

〔2024年度実績〕

今村総合病院で介護分野での経験のない療法士

が、老健施設愛と結の街を見学・体験実習

〔2025年度計画〕

急性期の経験のない療法士のために、今村総合病院での見学・体験実習の機会を設ける。

⑤人材確保についての情報共有

今村総合病院を中心にSNSを活用した人材確保の成功例を共有、具体的方等の伝達を行った。

⑥ラダー教育遂行について周知・徹底

各施設でのラダー教育実践について情報共有し、取り残される施設がないように、共有フォルダを用い進捗状況も可視化した。

⑦かごしまオハナクリニック訪問リハビリの進捗状況を共有

2025年度はST訪問リハビリも開始する計画になった。

2. 慈愛会精神科リハ施設責任者会議（Zoom）

（参加者：谷山病院・奄美病院・徳之島病院・慈愛会リハ部統括室長・統括室長補佐）

<内容>

①各精神科施設リハ部門の現状報告と展望

各施設の事業計画進捗管理表を共有・意見交換。
スタッフの動向・学生指導・施設内感染対策・他。

②慈愛会精神科リハ活動発表会準備

開催時期：例年通り10月。

会場：奄美病院をメインに各施設Zoom。

内容：「内との連携、外との連携」のテーマに沿って各施設から報告。

③人事異動

*スキルアップ目的でご本人希望に沿ったもので異動後は意欲的に業務に取り組んでいる。

〔2024年度実績〕

谷山病院→徳之島病院への異動：作業療法士 1名
徳之島病院→谷山病院への異動：作業療法士 1名

〔2025年度計画〕

谷山病院→奄美病院への異動：作業療法士 1名
徳之島病院→谷山病院への異動：作業療法士 1名

④人材確保についての情報共有

今村総合病院を中心にSNSを活用した人材確保の成功事例を共有し、具体的方法等の伝達を行った。

⑤ラダー教育遂行について周知・徹底

各施設でのラダー教育実践について情報共有し、

取り残される施設がないように、共有フォルダを用い進捗状況も可視化した。

- ⑥慈愛会リハ部全体に向けたSNSを利用した研修
YouTubeの慈愛会リハ部内限定公開の形式でリハ研修動画発信を継続、本会議で案内。

合同研修会

「第13回慈愛会リハビリテーション合同活動発表会」

- ・2024年11月9日（土）14:30-17:30
- ・メイン会場：自治会館 4階401号室
- ・サテライト会場：今村総合病院A棟4階大会議室
- ・参加者所属施設：今村総合病院・いづろ今村病院・愛と結の街・高麗町クリニック・谷山病院・奄美病院・徳之島病院

<第1部>

ポスター発表

進行 今村総合病院 理学療法士 科長代理 津曲麻美
今村総合病院 作業療法士 主任 日高まり子

- ①外傷性脊髄損傷後、Overdose等でADL低下を繰り返し難渋したが歩行再獲得に至った症例
今村総合病院 理学療法士 宮島康輔
- ②放線冠梗塞により歩行障害を呈した一症例
今村総合病院 理学療法士 古久保隆生
- ③ラクナ梗塞患者に対して杖歩行獲得に向けアプローチを行った症例
今村総合病院 理学療法士 中山きなり
- ④家庭内での役割、活動の再獲得を目指し自宅退院に至った症例
今村総合病院 作業療法士 井手籠康太
- ⑤看護師による食事形態選定におけるMMASAの有効性
今村総合病院 言語聴覚士 生田鈴奈

<第2部>

進行 今村総合病院 作業療法士 濱田大輔

1. 理事長挨拶

慈愛会 理事長 今村英仁

2. 統括室長挨拶

慈愛会 リハビリテーション部統括室長 浜田香穂麗

3. 口述発表「地域連携」

第1セッション

座長 今村総合病院 理学療法士 科長代理 川崎和也

①能登半島地震におけるJRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）活動報告

今村総合病院 理学療法士 桑野大介

②スポーツ整形リハセンターの障害予防の活動報告と今後の展望

今村総合病院 理学療法士 鮫島智志

③いづろ今村病院リハにおける地域への取り組みと課題：地域活動を推進するために必要な事

いづろ今村病院 理学療法士 土井敦

第2セッション

座長 今村総合病院 作業療法士 主任 新福友果子

④当施設の地域貢献活動について：現状と課題

愛と結の街 作業療法士 宮田雅士

⑤垂水市言語相談事業活動について

今村総合病院 言語聴覚士 若松藍

4. 総括

慈愛会リハビリテーション部 部長 堂園浩一郎

「第13回慈愛会精神科リハビリテーション合同活動発表会」

- ・2024年10月19日（土）15:30-17:20
 - ・メイン会場：奄美病院（作業療法室）
 - ・サテライト会場：谷山病院・徳之島病院
 - ・参加者所属施設：今村総合病院・愛と結の街・谷山病院・奄美病院・徳之島病院
- 進行：奄美病院 作業療法士 森山祐樹

1. 理事長挨拶

慈愛会 理事長 今村英仁

2. 活動発表

<第1セッション>

座長 奄美病院 作業療法士 森野大将

①開放病棟におけるアフターコロナ～病棟とOTの連携～

奄美病院 作業療法士 四本沙里

②欲求と上手く付き合えるようになるために～計画的な外出計画練習を通して～

徳之島病院 作業療法士 田中智大

③パーソン・センタード・ケアカンファレンスによる、作業提供における活動の質について～A-QOA（Assessment Quality of Activities）を用いて～

谷山病院 作業療法士 中山陽平

<第2セッション>

座長 奄美病院 作業療法士 松元美幸

- ①精神科デイケアにおける機能分化を考える～誰でも参加できるスポーツプログラム～

谷山病院デイケア 作業療法士 川井田翔悟

- ②当院における理学療法士の関り～病棟勉強会を通して～

奄美病院 理学療法士 加納道貴

- ③笹貫訪問看護ステーション愛の街におけるBCP策定の過程

笹貫訪問看護ステーション愛の街 作業療法士 黒木貴博

3. シリーズ併設施設紹介

指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま

所長 中井慎二

就労支援センター ステップ

作業療法士 小澤孝典

徳之島地域の就労継続支援B型事業所

作業療法士 真喜志元希

4. 総括

慈愛会リハビリテーション部統括室長 浜田香穂麗

技能・能力向上に向けた取り組み

(主な資格取得状況：2024年度内取得)

今村総合病院

- ・厚労省臨床実習指導者講習会修了 PT 2名
- ・日本理学療法協会 認定理学療法士（補装具）取得 1名
- ・日本理学療法協会 認定理学療法士（呼吸）取得 1名
- ・日本理学療法協会 認定理学療法士（健康増進）取得 1名
- ・日本理学療法士協会 スポーツ専門理学療法士 取得 1名
- ・鹿児島大学大学院修士課程修了 PT 1名
- ・日本理学療法士協会 臨床実習指導者講習会修了者 3名
- ・日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士（摂食嚥下障害） 1名

いづろ今村病院

- ・日本理学療法協会 認定理学療法士（健康増進・参加）取得 1名
- ・日本理学療法協会 認定理学療法士（呼吸）更新 1名
- ・厚労省臨床実習指導者講習会修了PT 1名
- ・鹿児島県地域糖尿病療養指導士更新PT 4名
- ・日本糖尿病療養指導士 更新PT 2名
- ・3学会合同呼吸療養認定士 更新PT 2名

谷山病院

- ・厚労省臨床実習指導者講習会修了 OTR 1名
- ・A-QOA認定評価者 OTR 1名
- ・ノーリフトケアコーディネーター OTR 1名
- ・食品衛生責任者 OTR 1名
- ・SST初級研修修了 OTR 1名

奄美病院

- ・厚労省臨床実習指導者講習会終了 OT 1名

*各リハスタッフは、PT・OT・STの国家資格だけでなく配属先の臨床に役立つ資格を取得し、個人のスキルアップと他職種とのチーム医療に役立てている。

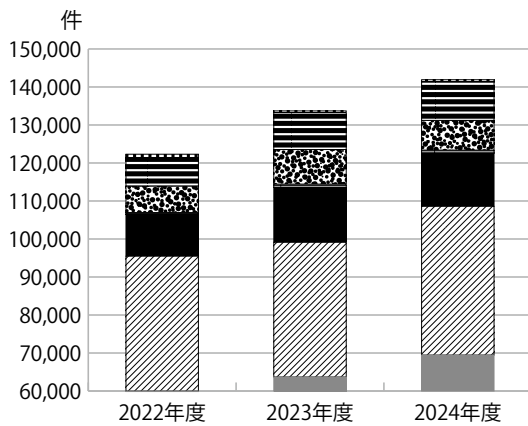
公益財団法人慈愛会 各施設リハビリ概況表 (2025年3月現在)

施設名	今村総合病院		リハビリテーション基準 / 脳血管Ⅰ・運動器Ⅰ・呼吸器Ⅰ・廃用Ⅰ・心大血管Ⅰ・がんリハ					
病床数	428床	外来患者：530名／日	リハビリ対象患者：入院 240～270名、外来 80～100名／日					
職員数	理学療法士	58名(一般総合45名、スポーツ13名)	作業療法士	19名	言語聴覚士	17名	リハ助手	5名
参考事項	脳血管障害等の急性期(ICU・SCU含む)と回復期を中心に、リハビリ専門Dr.(複数名)、病棟看護師と共にPT・OT・STアプローチを密に行い、MSWの協力のもと早期の家庭・社会復帰を目指しています。その他、運動器・呼吸・心大血管・廃用症候群・身体合併症の精神科患者への廃用予防や、がん(血液・消化器等)に対してのリハビリテーション等、様々な経験が可能です。更に、産前産後の理学療法として専門的な取り組みも行っています。新人教育、ラダー制度を用いたキャリア形成や、院内勉強会・学会活動にも注力しています。また、スポーツ整形外科(スポーツ専門Dr.複数名)があり、スポーツ整形リハセンターにてPTとAT(アスレチックトレーナー)が協力し、機能回復・スポーツ復帰・障害予防の為のリハを行っています。							
施設名	いづろ今村病院		リハビリテーション基準 / 脳血管Ⅲ・廃用Ⅲ・運動器Ⅱ・呼吸器Ⅰ・がんリハ					
病床数	115床	外来患者：190名／日	リハビリ対象患者：入院 患者様 40～50名／日					
職員数	理学療法士	9名(病棟・通所・訪問兼務)	作業療法士	2名 (病棟配属)	言語聴覚士	2名(病棟・通所・訪問兼務)	リハ助手	0名
参考事項	13名のスタッフで医療保険分野(DPC病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟)と介護保険分野(通所、訪問)領域を担います。病棟での個別リハは主にがん、廃用、運動器での算定ですが、地ケア病棟では補完代替リハ(生活リハ、集団体操、自主訓練指導等)も行い、在宅復帰を支援しています。また糖尿病療養の教育支援や特定保健指導(予防リハ)などにも従事し、業務は多岐に渡ります。その他、口腔ケア、摂食嚥下、NST、褥瘡対策、認知症対応、医療安全など、委員会活動を通して多職種間での連携強化にも力を注いでいます。院内にリハ専門医の在籍はありませんが、今村総合病院のリハ専門医の週1回来院など、適時サポート、アドバイスを受けられます。また認定理学療法士、糖尿病療養指導士等の専門的な資格を持ったセラピストも多数在籍しており、キャリアアップ等のサポートを行うことが可能です。スタッフは本人希望をもとに医療、介護それぞれの分野で活躍できるよう配慮し、配属しています。ただし、緩和ケア病棟に携わるには「がんリハ研修」受講済みである必要があります。予防～在宅、看取りまで幅広く関わられるのが当院の特徴です。							
施設名	高麗町クリニック		リハビリテーション基準 / 訪問リハビリテーション(介護・医療)					
病床数	0床	外来患者：11～13名／日 訪問・往診：10～12名／日	リハビリ対象患者：8～12名／日					
職員数	理学療法士	2名	作業療法士	0名	言語聴覚士	0名	リハ助手	0名
参考事項	在宅療養支援診療所としての支援部門として、診療部門や各利用者の主治医・事業所と連携を図り、訪問リハビリテーション(予防・介護・医療)を提供しています。理学療法士が利用者及びご家族の状況やニーズに合わせ、心身機能の維持・回復、日常生活の自立を図るよう支援を行っています。							
施設名	老健施設愛と結の街グループ		老健施設基準 / 超強化型老健					
病床数	100床	外来患者：0名／日	リハビリ対象患者：入所100名、通所リハ60名／日					
職員数	理学療法士	6名(うち通所3名)	作業療法士	4名 (うち通所1名)	言語聴覚士	2名(通所、訪問兼務)	歯科衛生士	(非常勤職員) 1名
参考事項	超強化型老健、在宅復帰・在宅支援施設として、入所のリハビリだけでなく、訪問リハビリ、通所リハビリ(長時間・短時間)、ショートステイのリハビリ、他事業所との連携等幅広く実施しています。セラピストを各階専従・専任制度にし、多職種と協働し、目標達成型のリハビリテーションを行っています。生活を見る視点として、環境調整(ポジショニング、福祉用具等)や作業機会の積極的な提供を行うとともに、認知症のケア、リハビリテーションにも力をいれています。またSTは言語障害だけでなく、提携の歯科衛生士と訪問歯科と連携し、口腔機能への専門的なアプローチを行っています。							
施設名	谷山病院		リハビリ基準 / 精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション					
病床数	392床	外来患者：120名／日	リハビリ対象患者：入院120名、外来15名、デイケア50名／日					
職員数	理学療法士	0名	作業療法士	23名 (+訪問4名)	言語聴覚士	0名	音楽療法士	(非常勤職員) 3名
参考事項	精神一般病棟に加え、急性期治療病棟・療養病棟・認知症治療病棟の機能を持つ病院です。24時間365日の精神科救急への対応を備えており、早期作業療法に取り組んでいます。教育的プログラム(心理教育、アルコール学習会、退院準備プログラムなど)は作業療法士が中心となり多職種で取り組んでいます。嚥下機能をはじめ、その他身体的リハビリテーションへの対応も進めています。デイケア、就労支援センター、訪問看護ステーション精神科チームにも作業療法士が配置され、在宅部門にも力を入れています。							
施設名	奄美病院		リハビリ基準 / 精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション					
病床数	326床	外来患者：85名／日	リハビリ対象患者：入院60～70名／日、デイケア38名／日					
職員数	理学療法士	2名	作業療法士	7名	言語聴覚士	0名	リハ助手	0名
参考事項	現在7名作業療法士が在籍しており、精神科作業療法、認知症病棟、デイナイトケア、就労継続B型で従事しております。精神科にも対応した地域包括ケアシステムに基づいて早期作業療法、社会的入院患者の退院促進(マンツーマンでの介入)、地域生活における支援に取り組んでおります。また、高齢患者への対応として理学療法士が中心となり身体的リハビリテーション(非算定)を実施しております。							
施設名	徳之島病院		リハビリテーション基準 / 精神科作業療法・精神科デイケア					
病床数	206床	外来患者：40.1名／日	リハビリ対象患者：入院100名、デイケア20名／日					
職員数	理学療法士	0名	作業療法士	7名	言語聴覚士	0名	リハ助手	1名
参考事項	7名の作業療法士が精神科作業療法、訪問看護ステーション、精神科デイケアに配置されています。早期作業療法に加えて、長期入院患者の退院支援にも重点的に取り組んでおり、Ns・PSWと連携しながら、退院前訪問や外出支援などを進めています。患者の高齢化により、病棟と協力して歩行不安定者や寝たきりの方への身体リハも継続中です。また、心理教育や地元保育園での運動指導など、地域・院内での取り組みも継続して実施しています。							

各種指標

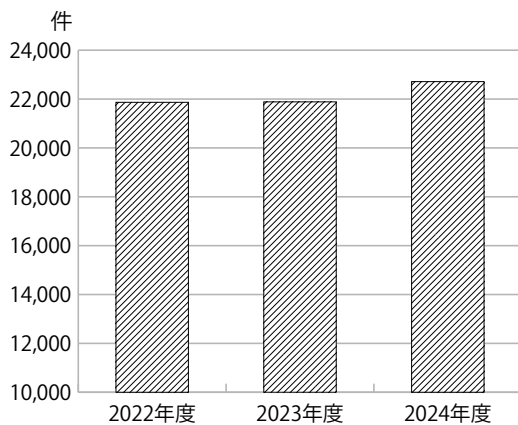
今村総合病院

リハビリテーション部 件数



	2022年度	2023年度	2024年度
脳血管	59,864	63,685	69,456
運動器	35,609	35,439	39,135
呼吸	11,099	14,441	13,907
心大血管	297	833	852
廃用	7,014	9,144	7,846
がん	7,502	9,743	10,236
摂食	922	416	475
件数合計	122,307	133,701	141,907

スポーツ整形PT 件数



	2022年度	2023年度	2024年度
脳血管	0	0	0
運動器	21,867	21,885	22,714
呼吸	0	0	0
心大血管	0	0	0
廃用	0	0	0
がん	0	0	0
摂食	0	0	0
件数合計	21,867	21,885	22,714

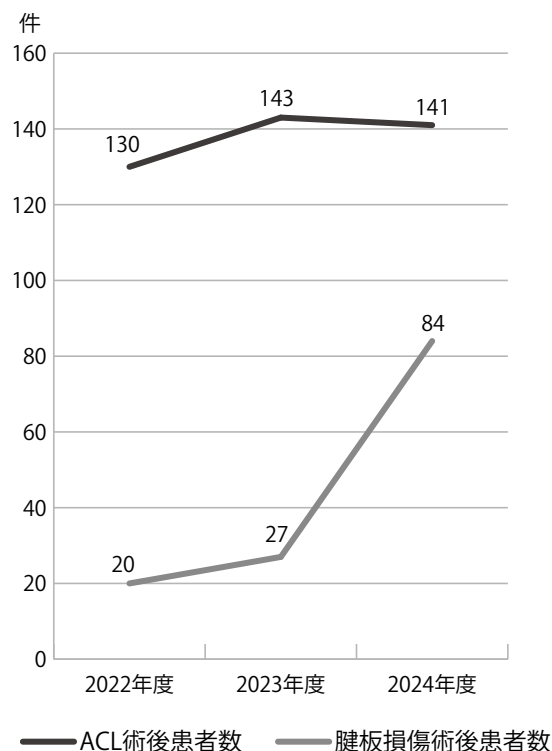
【今村総合病院リハビリテーション部の実績・特色】

スポーツ整形PTでは、局所の検査と治療に加え、障害を引き起こした本当の原因を診て、適切な治療を行い、メディカルリハ、アスレティックリハとともに全身的にアプローチを行います。また、日常生活に支障のない体の動きや、自信をもった競技復帰につなげていきます。

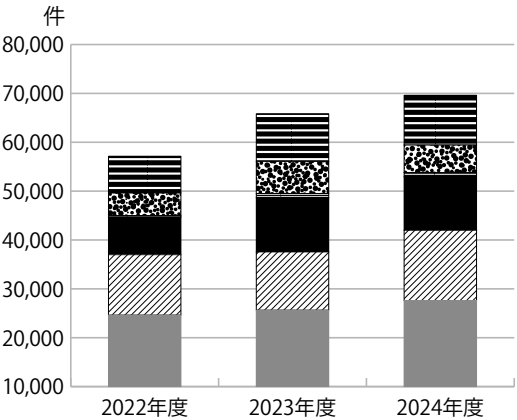
一般総合PT・OT・STでは、リスク管理のもと入院後すぐにリハビリテーションを開始し、365日（土日・祝日含む）継続して実施しています。また、脳卒中、心大血管疾患、呼吸器、運動器、がん、外科術後・内科治療後の廃用症候群、嚥下障害、高次脳機能障害等について、専門セラピスト（PT・OT・ST）による質の高いリハビリテーションを提供します。麻痺の回復を助け運動量増加に繋がる電気刺激装置、体重の一部を免荷しながら歩く練習ができる歩行補助装置、身体筋肉量を測定できる装置、その他の最新の機器を用いています。STでは嚥下内視鏡検査（VE）・嚥下造影検査（VF）もリハビリテーション科医師と協力して取り組んでいます。

リハビリテーション部全体で鹿児島市地域リハビリテーション支援活動に積極的に協力しています。

ACL・腱板損傷術後のリハ件数

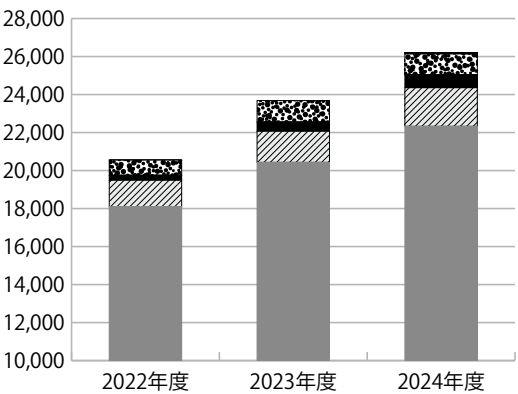


一般総合PT 件数



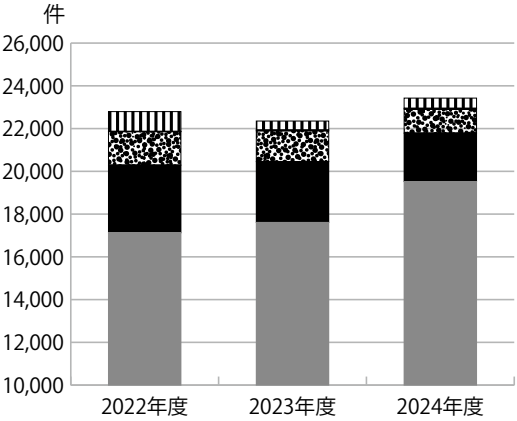
	2022年度	2023年度	2024年度
脳血管	24,630	25,642	27,605
運動器	12,362	11,922	14,390
呼吸	7,671	11,106	10,962
心大血管	297	833	852
廃用	4,652	6,576	5,623
がん	7,485	9,701	10,143
摂食	0	0	0
件数合計	57,097	65,780	69,575

OT 件数



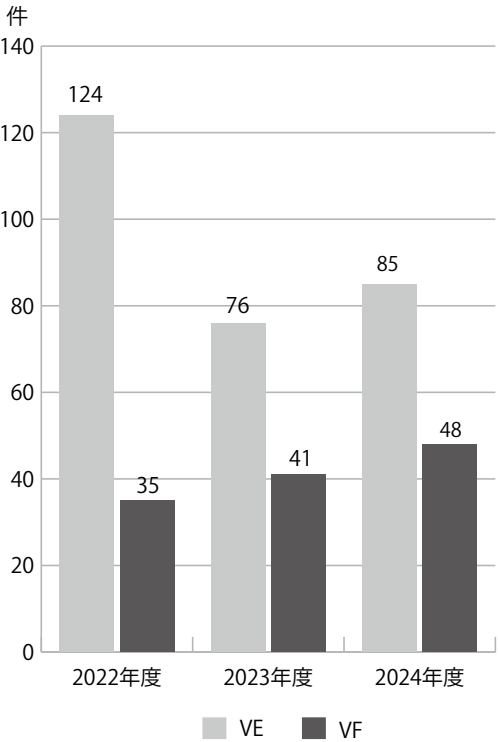
	2022年度	2023年度	2024年度
脳血管	18,107	20,432	22,328
運動器	1,380	1,632	2,031
呼吸	265	490	681
心大血管	0	0	0
廃用	796	1,129	1,096
がん	1	0	56
摂食	0	0	0
件数合計	20,549	23,683	26,192

ST 件数

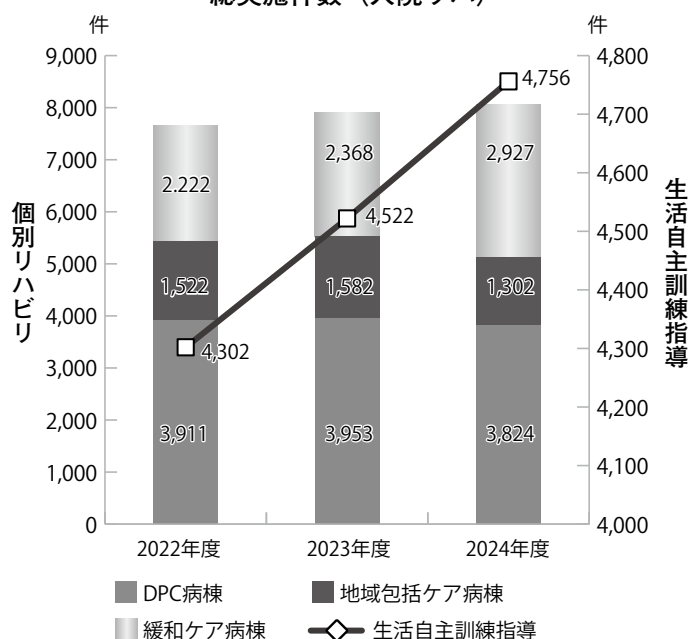
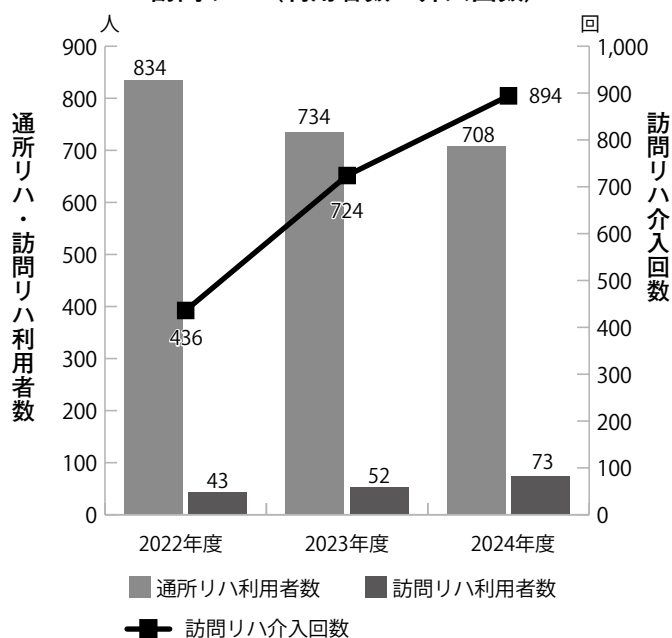


	2022年度	2023年度	2024年度
脳血管	17,127	17,611	19,523
運動器	0	0	0
呼吸	3,163	2,845	2,264
心大血管	0	0	0
廃用	1,566	1,439	1,127
がん	16	42	37
摂食	922	416	475
件数合計	22,794	22,353	23,426

嚥下内視鏡検査(VE)、嚥下造影検査(VF)実施件数



いづろ今村病院

個別リハビリ・生活自主訓練指導
総実施件数（入院リハ）通所リハ（利用者数）
訪問リハ（利用者数・介入回数）

【いづろ今村病院 入院リハビリテーションの実績・特色】

- ・「DPC病棟」「地域包括ケア病棟」「緩和ケア病棟」の3病棟に対し、チーム制でリハビリ支援しています。基本的には在宅復帰を目指しますが、病気の状態や介護度によっては転院、施設入所あるいはお看取りとなる場合もあり、転帰先やADLの伸びしろ、全身状態を考慮して介入頻度、介入時間を加減し支援しています。
- ・地域包括ケア病棟では、個別リハビリ以外に補完代替リハビリも行っており、超高齢の方や認知機能の低下した方など積極的な介入が困難な方にも生活動作に即して短時間対応します。また、ご家族の都合で一時的に介護が困難になった場合のレスパイト入院も積極的に受け入れており、対象者のニーズに応じたケア・支援を多職種で行っています。
- ・さらに糖尿病や炎症性腸疾患（IBD）で長期療養を要する方には医師、看護師、栄養士、薬剤師などと連携しながら個々に応じた支援を行っています。特に糖尿病療養者には運動指導の講義のみでなく実技指導まで手厚く介入しています。

【通所リハビリテーション ウェルネスじあいの実績・特色】

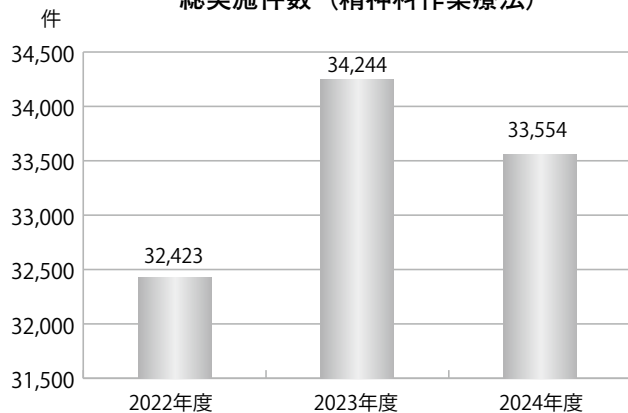
- ・通所リハビリの実施場所の移転に伴い定員が各16名から各12名に減員した状態で1年経過しました。2024年度の年間平均利用率73%でした。体験利用は15件あり13件が利用に結びついています。2025年度はハード面の調整を行い受け入れ枠を徐々に増やし最終的に一日4名の利用者増加を目指します。
- ・前年度までは要介護の利用者様のみにリハビリテーション会議を開催していましたが、今年度より全利用者へ開催拡大しました。医師からの説明があることで満足度の向上につながっています。また利用者全員に対してリハビリ計画の見直しを必要に応じて行い、個々の要望に応じたサービス提供を心がけています。
- ・包括支援センター担当者、居宅介護支援事業所ケアマネージャーをはじめとする関連事業所と細やかに連携を図るようにして信頼を得よう努めています。

【指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあいの実績・特色】

- ・2024年度は、当院から理学療法士と言語聴覚士が訪問リハビリテーションに従事しています。生活リハビリテーション、環境調整にもしっかり対応できるよう人材育成しており、依頼数の増加、訪問件数の増加を認めます。
- ・訪問リハ指示の問題から、原則として当院の訪問リハビリテーションは当院退院後の患者様、もしくは当院をかりつけとされている方を対象としています。来年度以降、往診の医師も常勤で勤務開始の予定ですので、より多くの利用者様のニーズにお応えできるよう、人員体制強化予定です。制度上、当院から訪問困難な利用者様に関しては、状況に応じて、慈愛会をはじめとする他の訪問リハ事業所をご紹介します。そのため、常日頃から他訪問リハ事業所との連携に努めています。
- ・病院退院後に訪問リハ開始となる患者様に関しては、入院中から、リハ見学を含め、様々な情報を収集し、よりスムーズな在宅支援に繋げられるよう、連携を図っていきます。

谷山病院

総実施件数（精神科作業療法）

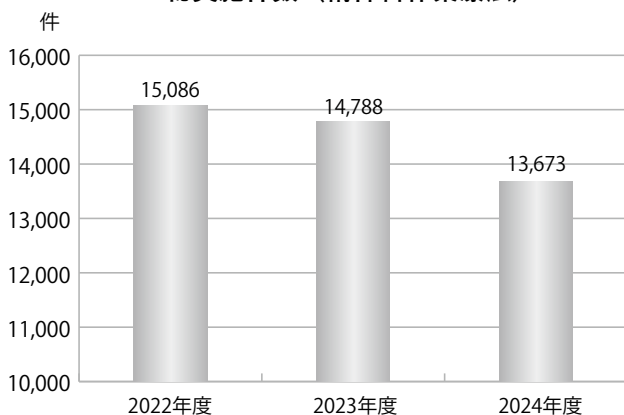


【谷山病院 精神科作業療法の実績・特色】

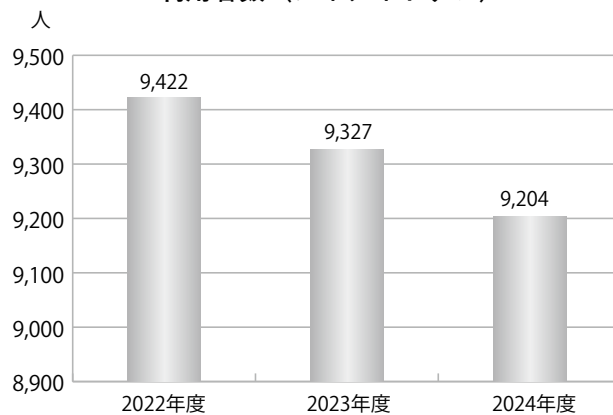
- ・急性期治療、退院支援、在宅部門、と作業療法士の職域が広く、作業療法士の視点で入院から退院後まで切れ目ない支援を提供できます。
- ・院内の教育的プログラム（心理教育、退院準備プログラム、アルコール学習会など）は作業療法士が中心となり多職種と協業し実施しています。
- ・院内のプロジェクトとしてワークトレーニングプログラム（WTP）をデイケアで開始。
- ・認知症リハビリテーションや身体的リハビリテーションの担当に作業療法士を置き、対象者の様々なニーズに応えられるよう力を入れています。

奄美病院

総実施件数（精神科作業療法）



利用者数（デイナイトケア）



【奄美病院精神科作業療法の実績・特色】

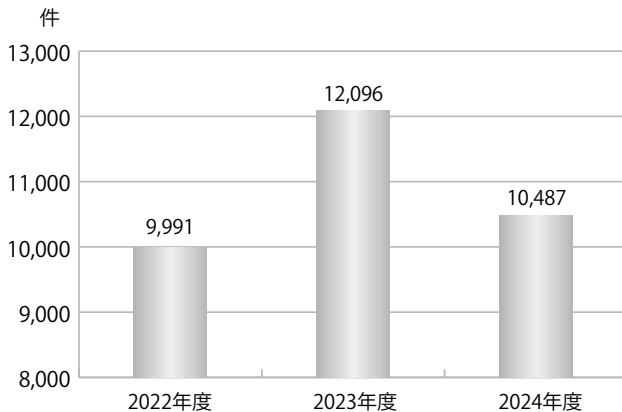
- ・患者の年齢層やニーズに対応したプログラムを実施しています。
- ・必要に応じて1対1の個別アプローチを実施しています。
- ・長期入院者の退院支援を多職種連携で強化しており地域移行加算を達成しています。
- ・理学療法士を中心とした身体的リハビリテーションを実施しています。

【奄美病院デイナイトケアの実績・特色】

- ・病院や地域の社会資源との連携が充実しており地域定着者が増加しています。
- ・送迎サービスや入浴サービス（身体的・環境的理由）を実施しています。
- ・個々に応じた支援をが充実しています。
- ・他施設での受け入れ困難者に対しての支援に取り組んでいます。

徳之島病院

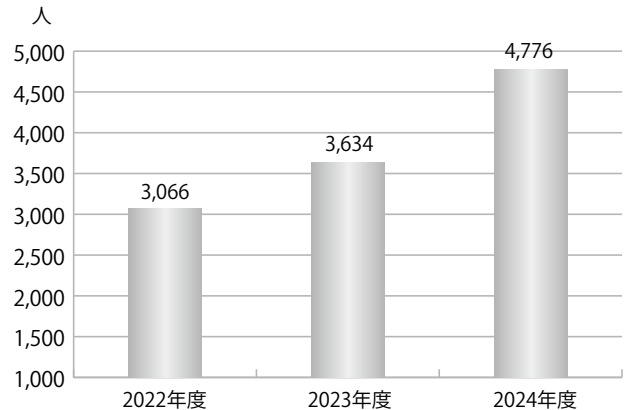
総実施件数（精神科作業療法）



【徳之島病院 精神科作業療法の実績・特色】

- ・早期介入とともに、長期入院患者への退院支援に重点的に取り組んでいます。
- ・心理教育プログラムを作業療法士を中心に実施し、対象者に応じた柔軟な運用を行っています。
- ・個別での外出支援や地域資源の体験支援を実施し、退院後を見据えた支援を行っています。
- ・歩行や安定や寝たきりの方に対して、病棟と連携しながら定期的な身体的アプローチを実施しています。
- ・地域貢献活動として、地元保育園での運動指導を継続しています。

利用者数（デイケア）

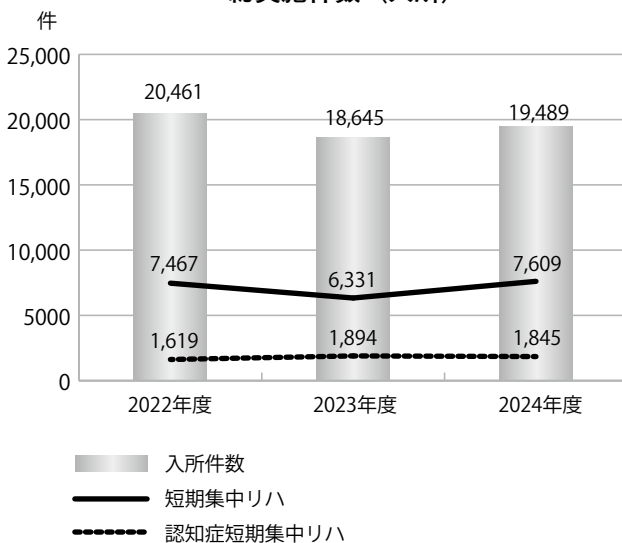


【徳之島病院 デイケアの実績と特色】

- ・2024年12月より小規模→大規模へ変更。
- ・30代～80代の幅広い年代の利用者を対象に個別的な支援を実施しています。
- ・精神保健福祉士が2名在籍し、障がい福祉サービスにスムーズに繋がっています。

介護老人保健施設 愛と結の街

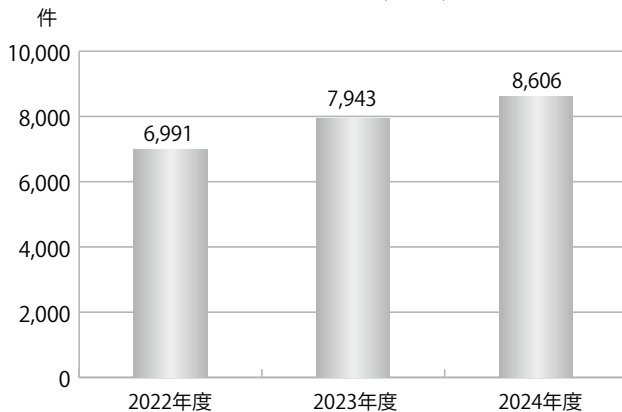
総実施件数（入所）



【入所リハビリの実績・特色】

- ・当施設は在宅復帰・在宅療養支援機能をもつ超強化型老健として稼働しています。各階に専従・専任セラピストが配置されています。
- ・入退所前後訪問、家屋調査等を実施し、多職種と入所時より連携を図るとともに、ご家族への介護指導等を行い、積極的に在宅復帰を支援します。
- ・老健退所後も通所リハビリ、訪問リハビリ、ショートステイ等を提供できる体制をとり、在宅支援に向け、シームレスな取り組みを行っています。
- ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が常勤、歯科衛生士が非常勤で勤務しています。
- ・対象疾患は脳血管障害、整形外科疾患、認知症のみならず、呼吸器疾患、精神疾患、がん等、幅広く受け入れています。
- ・リハビリは、ご本人、ご家族と一緒に目標設定したADL（日常生活動作）やIADL（家事等を含めた応用動作）が向上するように、セラピストや介護福祉士等多職種協働で、生活リハビリを支援しています。また生け花や書道といった活動にも力を入れています。
- ・LIFE（科学的介護情報システム）を活用しています。リハビリ計画だけでなく、自立支援促進、栄養マネジメント、排泄支援等多職種で取り組み、厚生労働省に定期的な情報の提出、フィードバック情報の活用等行うことで、質の向上に努めています。
- ・老健以外との連携として、グループホーム、通所介護等理学療法士等のリハビリ専門職が不在の事業所に対し、生活機能向上連携加算を算定する体制を整えています。

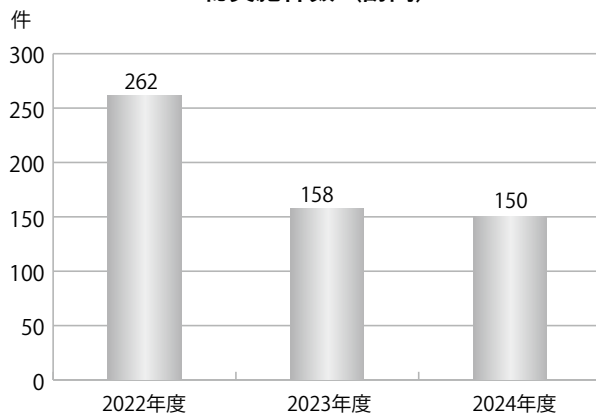
総実施件数（通所）



【通所リハビリ（デイケア）の実績・特色】

- ・ご利用者のニーズに応じて、1日型サービス（6～7時間/食事・入浴サービス有）と短時間通所リハビリ（午前・午後2～3時間）の2つのプログラムを提供し、一緒のフロアで実施しています。両サービス共にADLの維持向上を目指し、1日でも長く在宅で生活できるよう支援しています。短時間型サービス利用者で加齢や障害により心身機能が低下した場合でも必要に応じて1日型サービスに移行することができます。長期的な視点で安心して利用できます。定員を1日50名から60名へ変更しております。
- ・介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が協働して支援しています。「生活」や「活動」に焦点を当てたプログラムを提供しています。介護、リハビリ専門職が送迎業務に従事しており家族の相談に応じ、車両の乗り降り、自宅での動作の評価、練習、助言を行っています。
- ・要介護の方はリハビリマネジメント加算2、3、4に対応しており、医師が参加するリハビリ会議を開催しています。医学的管理やリハビリの目標設定、進捗の確認を行っています。要支援の方もリハビリ専門職が定期的にリハビリ会議をし、目標設定、進捗管理、助言を行っています。LIFE（科学的介護情報システム）を活用しており、算定要件の一つであるリハビリデータを定期的に厚生労働省に提出し、フィードバックを受け、質の向上につなげています。
- ・管理栄養士と連携し、栄養マネジメントに対応しています。
- ・歯科衛生士と連携を取りながら看護師、言語聴覚士が口腔機能に関するアセスメント、支援を行っています。

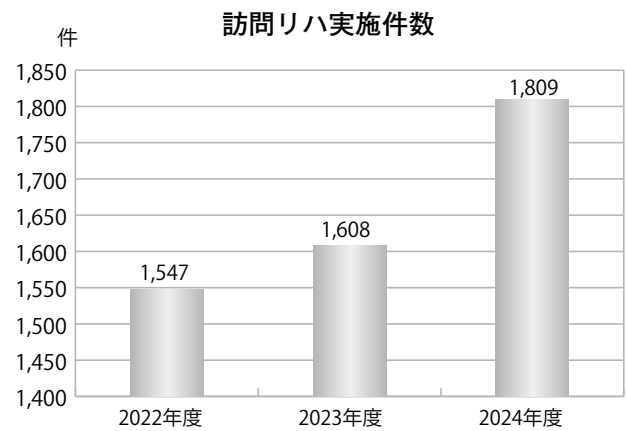
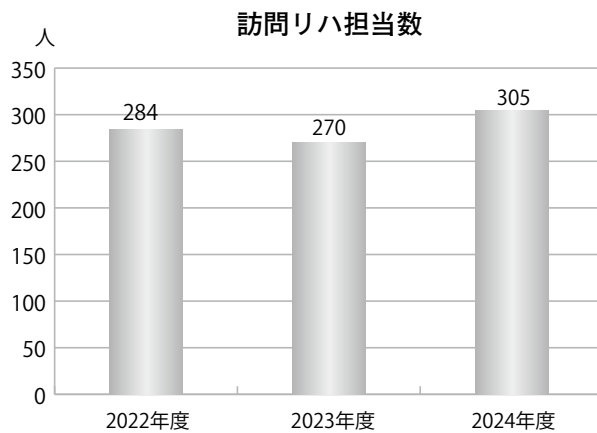
総実施件数（訪問）



【訪問リハビリの実績・特色】

- ・訪問リハビリは、安心して在宅生活が行えるように、原則、入所担当セラピストが訪問まで引き続き担当します。退所後、短期間、集中的に訪問リハを行い、在宅生活を支援する体制をとっています。
- ・新規のご利用者も状況に応じて受け入れます。
- ・実際の生活の場である自宅での動作確認を行い、ご利用者ご家族が互に行いやすい介助方法等を助言します。また家事動作や実際の外出等も確認し、アドバイス等行います。
- ・自宅での福祉用具の使用法の確認等、環境面の調整を行います。
- ・理学療法士や作業療法士だけでなく、言語聴覚士の訪問リハビリを状況に応じて提供できます。
- ・言語聴覚士の訪問リハビリは、言語機能だけでなく、摂食嚥下機能の訓練の他、食事に関する助言、環境調整等を行います。
- ・リハマネジメント加算2、3に対応しています。
- ・本加算は、医師や多職種が参加するリハビリ会議にて、医学的管理やリハビリの目標設定、進捗の確認を行いながら、医師が主体となって説明等を行います。また、リハビリに関するデータを厚生労働省に定期的に提出し、フィードバック情報を活用するもので、リハビリの質の向上に努めています。
- ・リハビリ会議は3カ月に1度行います。ご自宅まで医師が伺う体制とオンライン体制の両方を整備し、ご要望、感染対策等に応じて柔軟に対応します。

高麗町クリニック



【高麗町クリニック訪問リハの実績・特色】

- ・ 基本的な歩行練習や応用歩行練習、日常生活活動などの応用動作練習に加え、生活への楽しみづくり、ご家族の健康や運動の相談、介助方法の指導・助言などを行います。
- ・ 要支援1～要介護5と幅広い介護度の支援を担当。また、疾患も整形外科疾患や脳梗塞、糖尿病、腎不全、呼吸器疾患や癌末期など、幅広い疾患をもつ利用者の支援を行っています。
- ・ 南は谷山地区から北は伊敷地区まで、幅広い地域へ訪問しています。
- ・ 慈愛会内では、今村総合病院、いづろ今村病院、愛と結の街、かごしまオハナクリニックと連携しています。
- ・ 緊急時には在宅診療を行っている当クリニック医師に相談し対応します。
- ・ 感染症対策を十分に行い訪問リハビリを提供しております。

業 績 一 覧

【論文（論文・著書・雑文）】

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

<欧文>

1. Takekiyo T, Utsunomiya A, Nara S, Nakashima N, Okamura O, Tokunaga M, Miyazono T, Nakano N, Ito Y, Dozono K : Recovery of physical function, muscle mass, and quality of life in patients undergoing allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. Blood Cell Therapy 7 (3) : 64-74,2024. <https://doi.org/10.31547/bct-2023-034>

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

<和文>

1. 吉田研吾, 迫田彩夏, 岡弥津希, 白尾泰宏, 海江田英泰, 福島佳織 : 骨付き膝蓋腱と膝屈筋腱を用いた膝前十靱帯再建術後における膝筋力値の比較～同性同年代間での検証～. 九州・山口スポーツ医・科学研究会誌 35 : 41-44,2024 (Jul)

谷山病院 作業療法士

<和文>

1. 中山陽平 : 精神科認知症治療病棟の認知障害高齢者に対するパーソン・センタード・ケアの実践～カンファレンスを通じた介入認識の変化と多職種と連携した専従作業療法士の役割～. 作業療法鹿児島 31(1) : 20-26, 2025 年 3 月

愛と結の街 理学療法士

<雑文>

1. 有菌大紀, 村井真由美 : 多職種連携による生産性向上の取り組み～フロア業務と送迎の検討～. ろうけん鹿児島 No. 118, pp 4-5, 2025 年 1 月

【学会発表】

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

<国内>

1. 武清孝弘, 堂園浩一郎, 岡村敏之, 中島徳久, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清, 宇都宮與 : ATL 患者における同種造血幹細胞移植後の身体機能・筋肉量回復 - 急性白血病との比較 -. 第 10 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2024 年 11 月 8-10 日, 東京
2. 武清孝弘, 堂園浩一郎, 奈良聡一郎, 吉田一成, 堂園充代, 下山秀一郎, 中島徳久, 藤野聡司, 小田原淳, 徳永雅仁, 中野伸亮, 宮園卓宜, 伊藤能清, 宇都宮與 : 同種造血幹細胞移植を 2 回受けた患者の移植前後の身体機能変化. 第 47 回日本造血・免疫細胞療学会, 2025 年 2 月 27 日 - 3 月 1 日, 大阪

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

<国内>

1. 迫田彩夏, 白尾泰宏, 福島佳織 : 女性における膝前十字靱帯再建術後 8 ヶ月における WBI に関連する因子について. 第 10 回日本メンズヘルス・ウィメンズヘルス理学療法学会学術大会, 2024 年 10 月 19 日, 川崎
2. 吉田研吾, 海江田英泰, 福島佳織 : 鏡視下腱板修復術後の再断裂と危険因子の保有数について. 第 51 回日本肩関節

学会, 2024 年 10 月 25 日, 京都

3. 迫田彩夏, 轟原与織, 多田克史, 白尾泰宏, 福島佳織: 足部トレーニングによる膝前十字靱帯再建術後の足部アライメントと歩行の変化. 第 11 回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2025 年 1 月 25 日, 横浜
4. 轟原与織, 吉田研吾, 白尾泰宏, 海江田英泰: 高校野球投手に対する肩肘検診 - 投球障害の有無と関節可動域について -. 第 11 回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2025 年 1 月 26 日, 横浜
5. 轟原与織, 吉田研吾, 岡弥津希, 白尾泰宏, 海江田英泰: 鹿児島県内の高校野球部に所属する投手を対象とした肩肘検診の結果報告. 第 38 回鹿児島県理学療法学会, 2025 年 2 月 9 日, 鹿児島

今村総合病院 作業療法士

<国内>

1. 門田良子, 村田耕一, 鮫島悠子, 浜田香穂麗: 日本初! ? 片手でも髪を結べる簡単な自助具ができた!. 第 58 回日本作業療法学会, 2024 年 11 月 9-10 日, 札幌
2. 村田耕一, 門田良子, 桑野大介, 若松藍: キャリア開発ラダーの作成と運用により期待されること. 第 58 回日本作業療法学会, 2024 年 11 月 9-10 日, 札幌

今村総合病院 言語聴覚士

<国内>

1. 鮫島悠子: 言語聴覚士が在籍しない医療機関における嚥下リハビリテーションへの支援. 第 25 回日本言語聴覚学会, 2024 年 6 月 21-22 日, 神戸
2. 田中光: 皮膚筋炎による嚥下障害へのアプローチ. 第 25 回日本言語聴覚学会, 2024 年 6 月 21-23 日, 神戸
3. 福元麻衣: 表出面に重度の障害を持つ患者に対して拡大代替コミュニケーションを導入し「活動」～「参加」を中心に検討した一例. 第 25 回日本言語聴覚学会, 2024 年 6 月 21-24 日, 神戸
4. 岡元芽育: アウェアネス向上により主訴が具体化し訓練意欲が変容した一症例. 第 13 回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会鹿児島大会, 2025 年 3 月 22-23 日, 鹿児島

谷山病院 作業療法士

<国内>

1. 中山陽平: 精神科認知症治療病棟の認知障害高齢者に対するパーソン・センタード・ケアの実践. 鹿児島県作業療法学会, 2024 年 9 月 8 日, 鹿児島

愛と結の街 理学療法士

<国内>

1. 有蘭大紀, 村井真由美, 原田良二, 安森潤子, 原口悦江: 多職種連携による生産性向上の取り組み ～フロア業務と送迎の検討～. 第 23 回九州ブロック介護老人保健施設大会, 2024 年 7 月 11-12 日, 宮崎

愛と結の街 作業療法士

<国内>

1. 宮田雅士: 当施設の地域貢献活動について～現状と課題～. 第 29 回鹿児島県老人保健施設大会, 2025 年 2 月 19 日, 鹿児島

愛と結の街 言語聴覚士

< 国内 >

1. 寺尾香織, 大脇万喜, 川崎友義: グループホームとの連携と今後の課題～よりよい食支援に繋げるために～, 第35回全国介護老人保健施設大会岐阜, 2024年11月14-15日, 岐阜

(第4回慈愛会学会学術集会での発表業績はP84-87参照)

【研究会・講演会】

今村総合病院 理学療法士 (一般総合)

1. 村山芳博: チーム医療の実践, 鹿児島大学医学部保健学科, 2024年6月11日, 鹿児島
2. 武清孝弘: 移植リハビリテーション, 第33回西福岡臨床血液研究会, 2024年6月18日, 福岡
3. 武清孝弘: 造血細胞移植リハビリテーションの実際 ～移植前からLTFUまで～, 第4回造血細胞移植地域拠点病院事業 造血細胞移植患者に対するリハビリテーションの現在地, 2024年11月20日, 京都
4. 武清孝弘: 造血幹細胞移植リハビリテーションの質向上を目指して, 第52回四国理学療法士学会 教育セミナー, 2024年11月23日, 松山
5. 村山芳博: CVA 理学療法の評価 (OSCE 実践), 鹿児島大学医学部保健学科, 2024年12月9日, 鹿児島
6. 武清孝弘: 同種造血幹細胞移植患者の身体機能と動作困難感, 第9回鹿児島SCT研究会, 2025年2月22日, 鹿児島
7. 武清孝弘: 造血幹細胞移植早期におけるリハビリテーションと身体機能変化 ～長期的変化も含めて～, 第47回日本造血・免疫療法学会 リハビリワークショップ, 2025年2月28日, 大阪
8. 宮島康輔: レッツ! 家庭でできるリハビリテーション, 手足のつっぱり「痙縮」市民公開講座, 2025年3月29日, 鹿児島

今村総合病院 理学療法士 (スポーツ整形)

1. 白尾泰宏: 臨床推論と腰部に対する徒手理学療法, 鹿児島県理学療法士協会運動器専門領域研修会, 2024年6月9日, 鹿児島
2. 吉田研吾: オーバーヘッドスポーツに必要な筋力や柔軟性について, 奄美障害予防教室 (上肢編), 2024年6月15日, 奄美
3. 白尾泰宏: 膝関節障害に対する徒手療法 (触診・評価・治療), 鹿児島県理学療法士協会霧島・始良地区研修会, 2024年7月6日, 霧島
4. 多田克史: ケアの重要性と動きの度台作り, 奄美障害予防教室 (腰部・下肢編), 2024年7月14日, 奄美
5. 轟原与織: 鹿児島県ウエイトリフティング協会障害予防, 鹿児島県スポーツ医科学委員会スキルアップ事業, 2024年8月8日, 鹿屋
6. 多田克史: ケアの重要性と動きの度台作り, 沖永良部障害予防教室, 2024年9月22日, 沖永良部
7. 轟原与織: 鹿児島県ボウリング連盟障害予防について, 鹿児島県スポーツ医科学委員会スキルアップ事業, 2024年10月6日, 鹿児島
8. 轟原与織: 県警コンディショニング事前研修会について, 鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部研修会, 2024年10月20日, 鹿児島
9. 岡弥津希: 成長期の障害予防, 垂水中央中学校 体育授業, 2024年10月23日, 垂水
10. 多田克史: 県警察コンディショニング術講習会, 鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部, 2024年11月6日, 鹿児島
11. 吉田研吾: 高校球児のための肩肘検診, 鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部, 2024年11月24日, 鹿児島

12. 轟原与織：県警察コンディショニング術講習会。鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部，2024年11月27日，伊佐
13. 轟原与織：理学療法士による病院と地域のスポーツサポート。鹿児島県理学療法士協会大隅地区研修会，2024年12月6日，Web
14. 白尾泰宏：足部機能障害の診方。鹿児島県理学療法士協会運動器専門領域研修会，2024年12月8日，鹿児島
15. 轟原与織：小学生におけるスポーツ活動でのケガ予防。鹿児島県理学療法士協会小児・学校保健部研修会，2024年12月21日，鹿児島
16. 吉田研吾：高校球児のための肩肘検診。鹿児島県理学療法士協会スポーツ事業部，2025年1月12日，奄美
17. 白尾泰宏：膝関節障害に対する徒手療法（触診・評価・治療）。鹿児島県理学療法士協会奄美地区研修会，2025年2月1日，奄美

いづろ今村病院 理学療法士

1. 土井敦：人材不足の世の中において理学療法士の役割とは。公益社団法人 日本理学療法士連盟，2024年6月28日，Web
2. 西賢一郎：姿勢と運動の呼吸への影響。2024年度第1回大隅地区研修会，2024年7月11日，Web
3. 土井敦：福祉用具と生活環境支援。公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会，2024年7月21日，鹿児島
4. 土井敦：介護技術習得に向けて現場で役立つ基礎的知識。公益財団法人介護労働安定センター 介護実務者研修，2024年10月31日，鹿児島
5. 土井敦：運動学Ⅳ。学校法人 原田学園 作業療法学科2年 後期授業，2024年10月-2025年3月，鹿児島
6. 土井敦：基本動作と生活環境。鹿児島 POS 連絡協議会 訪問リハ研究会 実務者研修，2024年11月30日，鹿児島(Web)
7. 土井敦：快適な住環境整備と介護。鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修，2025年2月21日，鹿児島

谷山病院 作業療法士

1. 田畑典子：精神科分野における調理活動。原田学園鹿児島医療技術専門学校作業療法学科1年 特別講義，2024年12月6日，鹿児島

【マスメディア】

今村総合病院 作業療法士

黒肱知弘：入院患者が気持ちを表現 水彩画の個展。NHK 鹿児島放送局 情報 WAVE かごしま，2025年1月21日

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

薬 剤 部 門

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
人材育成・教育体制の構築	(1)全体の薬剤師数 ①新卒薬剤師採用数 2023年度実績：3名 2024年度計画：6名 ②薬剤師採用試験実施回数 2023年度実績：1回 2024年度計画：2回 ③薬学実務実習生受け入れ数 2023年度実績：9名 2024年度計画：11名 (いづろ今村病院7名、今村総合病院4名) ④薬学生の病院見学受け入れ数 2023年度実績：8名 2024年度計画：10名 (いづろ今村病院10名、今村総合病院10名、谷山病院5名)	(1)全体の薬剤師数 ・新卒採用については5/13採用試験を行い3名の内定者を選考(福岡大1名 崇城大1名 長崎国際大1名) 2/22-23薬剤師国家試験 発表3/25：3名中2名合格 1名不合格(国試浪人) 1/22 福岡大学1名 今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院見学 ・奄美病院薬剤師 1月1名 3月1名退職 ・69歳佐賀在住薬剤師 奄美病院へ応募、複数年希望あり。断念 ・50代前半調剤薬局勤務 谷山病院へ応募。条件合わず断念 ・2/3 安田女子大学1名 今村総合病院見学 ・2/28 熊本大学1名 いづろ今村病院・今村総合病院見学 ・2025年4月より谷山病院主任⇒奄美病院異動 ・3/11 長崎国際大学1名 今村総合病院見学 後、就職 ・3/2 福岡大学合同就職説明会 3名参加	(1)全体の薬剤師数に対する退職者割合14.0% (常勤薬剤師6名《今村総合病院3名/谷山病院1名/奄美病院2名》助手2名退職) 15%以内達成 中途採用薬剤師1名 ・新卒採用については5/13採用試験を行い3名の内定者を選考 (福岡大1名 崇城大1名 長崎国際大1名)。6名の目標に対し3名、うち1名は国試不合格。未達 ・奄美病院の薬剤師、谷山病院から派遣、奄美病院の薬剤師確保 未達 ・見学生10名。受け入れ目標達成	福岡大学合同説明会を参考に、来年度より入職試験を前倒し(従来：5月と8月⇒3月と6月に変更)、薬局長の面接再開。 ・新卒採用目標数4名に修正 育成薬剤師の負担軽減 ・奄美病院の薬剤師確保急務 高校の進路指導、奨学金の説明 ・見学生に奨学金の説明
	(2)認定薬剤師の養成 ・各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成計画(新規目標)、指導薬剤師育成 ・病院薬学認定薬剤師《日病薬》(新規目標)：今村総合病院2名 ・精神科薬物療法認定薬剤師《日病薬》：谷山病院1名	(2)認定薬剤師の養成 ・周術期認定薬剤師新規取得準備中：今村総合病院2名合格	(2)認定薬剤師の養成 ・各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成計画(新規目標)、指導薬剤師育成 達成 ・病院薬学認定薬剤師《日病薬》達成 ・精神科薬物療法認定薬剤師 谷山病院1名 達成 ・周術期認定薬剤師新規取得準備中：今村総合病院2名合格 達成	(2)認定薬剤師の養成 ・各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成計画(新規目標)、指導薬剤師育成 ・病院薬学認定薬剤師《日病薬》来年5年目を迎える薬剤師認定 ・新人の改訂教育体制整備、実施しながら、調整していく。
	(3)症例検討会の実施 ・年間76回：今村総合病院・谷山病院 年間12回/いづろ今村病院・奄美病院 年間4回/徳之島病院	(3)症例検討会の実施 ・年間98回：今村総合病院45回/谷山病院14回/いづろ今村病院10回/奄美病院26回/徳之島病院3回 (3)勉強会検討会の実施 ・年間99回：今村総合病院47回/谷山病院24回/いづろ今村病院17回/奄美病院10回/徳之島病院1回	(3)症例検討会の実施 達成 ・年間98回：今村総合病院45回/谷山病院14回/いづろ今村病院10回/奄美病院26回/徳之島病院3回 (3)勉強会検討会の実施 達成 ・年間99回：今村総合病院47回/谷山病院24回/いづろ今村病院17回/奄美病院10回/徳之島病院1回	(3)症例検討会の実施 引き続き開催 ・年間82回今村総合病院40回/いづろ今村病院・谷山病院・奄美病院12回/徳之島病院6回 (3)勉強会検討会の実施 引き続き開催 ・年間99回：今村総合病院47回/谷山病院24回/いづろ今村病院17回/奄美病院10回/徳之島病院1回
	(4)薬剤部合同研修会 ・年1回開催：いづろ今村病院《2演題》 今村総合病院《3演題》 谷山病院《2演題》 奄美病院《1演題》	(4)薬剤部合同研修会 ・年1回開催：いづろ今村病院《1演題・1地域演題》 今村総合病院《3演題・1教育演題》 谷山病院《2演題》 奄美病院《1演題》 11/16開催変更	(4)薬剤部合同研修会 達成 ・年1回開催：いづろ今村病院《1演題・1地域演題》 今村総合病院《3演題・1教育演題》 谷山病院《2演題》 奄美病院《1演題》 11/16開催変更	(4)薬剤部合同研修会 ・年1回開催：いづろ今村病院《1演題・1地域演題》 今村総合病院《3演題・1教育演題》 谷山病院《2演題》 徳之島病院《1演題》 11/22開催
	(5)学会発表・論文化 ・学会9回 論文1報	(5)学会発表・論文化 ・第14回日本臨床腫瘍薬学会学術大会2025 2025年3月15-16日 横浜 ・学会(院外) 今村総合病院 演題：2題		
地域連携の強化	(1)薬業連携交流会の開催 ・基調講演発表目標：今村総合病院1題、谷山病院1題	(1)薬業連携交流会の開催 ・第9回慈愛会薬業連携交流会：ワークショップ形式開催65名参加 ・第10回慈愛会薬業連携交流会：100名参加「認知症、がん患者・家族のこころのケア」	(1)薬業連携交流会の開催 達成 ・第9回慈愛会薬業連携交流会：ワークショップ形式開催65名参加 ・第10回慈愛会薬業連携交流会：100名参加「認知症、がん患者・家族のこころのケア」(講師：横浜鶴見リハビリテーション病院院長 吉田勝明先生)	(1)薬業連携交流会の開催 引き続き開催 ・第11回慈愛会薬業連携交流会「緩和ケア」いづろ今村病院8/8開催 ・第12回慈愛会薬業連携交流会 今村総合病院 当番世話人2/7開催

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域連携の強化	(2)退院時薬剤情報連携加算件数増加 ・年間78件：いづろ今村病院《6件》今村総合病院《70件》奄美病院《2件》 (3)連携充実加算件数増加 ・年間320件：今村総合病院 (4)入退院支援センターでの業務 ・今村総合病院：継続して薬剤師1名配置準備 (5)在宅医療への取組（在宅患者訪問薬剤管理指導） ・慈愛会内での連携確認・多店舗調剤薬局グループとの地域密着による慈愛会患者さまフォロー継続	(2)退院時薬剤情報連携加算件数増加 ・46件：いづろ今村病院《7件》今村総合病院《39件》徳之島病院《0件》 (3)連携充実加算件数 ・219件：今村総合病院 (4)入退院支援センターでの業務 ・今村総合病院：継続して薬剤師1名配置準備⇒未配置 (5)在宅医療への取組（在宅患者訪問薬剤管理指導） ・外来がん治療認定薬剤師《JASPO》による認定施設として今村総合病院が継続中。地域の調剤薬局から2名の研修生の受け入れ中	(2)退院時薬剤情報連携加算件数増加 未達 ・46件：いづろ今村病院《7件》今村総合病院《39件》徳之島病院《0件》 (3)連携充実加算件数 未達成継続 ・219件：今村総合病院 (4)入退院支援センターでの業務 ・今村総合病院：継続して薬剤師1名配置準備⇒未配置 継続 (5)在宅医療への取組（在宅患者訪問薬剤管理指導） ・外来がん治療認定薬剤師《JASPO》による認定施設として今村総合病院が継続中。地域の調剤薬局から2名の研修生を受け入れ、1名終了。達成	(2)退院時薬剤情報連携加算件数継続して増加 (3)連携充実加算件数 継続して行う (4)入退院支援センターでの業務 ・今村総合病院業務の多様化に向けて薬剤師30名超えを目指す。再度検討 (5)在宅医療への取組（在宅患者訪問薬剤管理指導） ・外来がん治療認定薬剤師《JASPO》による認定施設として今村総合病院が継続中。地域の調剤薬局から研修生2名受け入れを継続する。
	(1)医薬品の安定供給体制の確保 ・医薬品採用品の統一化（慈愛会統一電子カルテへの対応及び医薬品ロスの縮小を図る）：目標品目10品目 (2)調剤業務の効率化 ・薬剤師と薬剤助手の調剤業務の棚卸を行い、調剤業務の分担を行う。手順書統一運用開始 (3)病棟薬剤業務の標準化 ・科別による病棟薬剤業務の特色を鑑みて、入院から退院の薬剤の流れの標準化を行う。 (4)薬剤管理指導件数増加 (21,650件) (5)退院時服薬指導件数増加 ・薬剤管理指導目標件数(算定)/年 いづろ今村病院 2,800 (2,000) 今村総合病院 16,500 (11,000) 谷山病院 2,000 (1,500) 奄美病院 80 徳之島病院 590 (522) ・退院時服薬指導目標件数(算定)/年 いづろ今村病院 1,140 (600) 今村総合病院 5,600 (5,400) 谷山病院 100 (30) 奄美病院 30 徳之島病院 34 (23)	(1)医薬品の安定供給体制の確保 ・医薬品採用品の統一化：慈愛会統一電子カルテ更新が来年度に実施予定。統一化については薬局長会議で情報共有継続中である。 (2)調剤業務の効率化 ・薬剤師と薬剤助手の調剤業務の棚卸を行い、調剤業務の分担を行う。手順書統一運用開始 (3)病棟薬剤業務の標準化 ・科別による病棟薬剤業務の特色を鑑みて、入院から退院の薬剤の流れの標準化を行う。 (4)薬剤管理指導件数増加 (5)退院時服薬指導件数増加 ・薬剤管理指導件数(算定)/年 いづろ今村病院 3,145 今村総合病院 18,328 (11,806) 谷山病院 759 奄美病院 304 徳之島病院 609 ・退院時服薬指導件数(算定)/年 いづろ今村病院 1,422 今村総合病院 5,694 谷山病院 24 奄美病院 35 徳之島病院 25	(1)医薬品の安定供給体制の確保 ・医薬品採用品の統一化：慈愛会統一電子カルテ更新が来年度に実施予定。統一化については薬局長会議で情報共有を継続中。電カル更新来年 継続 (2)調剤業務の効率化 ・薬剤師と薬剤助手の調剤業務の棚卸を行い、調剤業務の分担を行う。手順書統一運用開始 達成 (3)病棟薬剤業務の標準化 達成 ・科別による病棟薬剤業務の特色を鑑みて、入院から退院の薬剤の流れの標準化を行う。 (4)薬剤管理指導件数増加(21,650件)⇒23,145件 達成 (5)退院時服薬指導件数 谷山病院未達 他4病院達成 ・精神科3病院の特に谷山病院は外来が多く、調剤業務に時間を取られ、病棟業務に時間を取れなかった。	(1)医薬品の安定供給体制の確保 ・来年度に向けて、電カルの新規、準備を行っていく。 (2)調剤業務の効率化 ・薬剤師と薬剤助手の調剤業務の棚卸を行い、調剤業務の分担を行う。手順書統一運用開始。継続して行う (3)病棟薬剤業務の標準化 継続中 ・科別による病棟薬剤業務の特色を鑑みて、入院から退院の薬剤の流れの標準化を行う。 (4)薬剤管理指導件数増加 ・調剤薬局に出しているいづろ今村病院と今村総合病院は今後も薬剤管理指導業務に力を入れていく。精神科3病院は調剤をしながらの業務になるため更なる工夫をしていく。
薬剤業務の効率化・生産性向上	(6)向精神薬調整連携加算件数増加 ・年間46件：谷山病院《14件》奄美病院《2件》徳之島病院《30件》 (7)薬剤総合評価調整加算件数増加 ・年間29件：いづろ今村病院《5件》谷山病院《10件》奄美病院《2件》 (8)薬剤調整加算件数増加 ・年間8件：いづろ今村病院《1件》谷山病院《5件》奄美病院《2件》	(6)向精神薬調整連携加算件数増加 ・37件：谷山病院《9件》奄美病院《0件》徳之島病院《28件》 (7)薬剤総合評価調整加算件数 ・年間1件：今村総合病院《1件》いづろ今村病院《0件》谷山病院《0件》奄美病院《0件》 (8)薬剤調整加算件数増加 ・年間1件：いづろ今村病院《0件》今村総合病院《1件》谷山病院《0件》奄美病院《0件》	(6)向精神薬調整連携加算件数 未達 ・37件：谷山病院《9件》奄美病院《0件》徳之島病院《28件》 (7)薬剤総合評価調整加算件数 未達 継続 ・年間1件：今村総合病院《1件》いづろ今村病院《0件》谷山病院《0件》奄美病院《0件》 (8)薬剤調整加算件数増加 ・年間1件：いづろ今村病院《0件》今村総合病院《1件》谷山病院《0件》奄美病院《0件》未達	(6)向精神薬調整連携加算件数 継続して増加 ・向精神薬調整連携加算件数 精神科3病院 重要継続 (7)薬剤総合評価調整加算件数 増加 継続 (8)薬剤調整加算件数 継続して検討中

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
薬剤業務の効率化・生産性向上	(9)その他 ・薬局長WEB会議での情報共有化(毎月第3水曜日【人事交流】【IT化・機械化・DX】【診療報酬】【地域貢献】の共有化) ・業務の標準化(上記個別事項以外)を図る。 効率化・生産性向上のため取組項目 ・いづろ今村病院：外来再編や人間ドック移設に対応しながら、薬剤管理指導等算定業務を中心にシフトし、実習生の受け入れ増で大学へのアピールに繋げる。 ・今村総合病院：＜調剤薬局との連携＞門前薬局以外との連携をさらに強化する。まず院外処方箋を多くの調剤薬局が応需できる体制を構築し、慈愛会と連携できる調剤薬局と薬業連携を進め、患者の薬物療法の切れ目なく実施できる体制をつくる。 ・谷山病院：機能評価に向けて手順マニュアル、病棟の薬剤管理の見直し。院内勉強会の開催を増やし参加する。 ・奄美病院：常勤職員の確保。業務の見直し・効率化を図り、薬剤管理指導件数を増やす。 ・徳之島病院：業務の見直し・ITの活用により生産性を向上させ、薬剤管理指導等の患者サービスのための稼働時間を確保し、顧客満足度の向上を図る。 ・向精神薬多剤減算(2023年度平均金額ベースの15%減確保を目指す) ・2023年度後発品割合(品目数)目標：いづろ今村病院《85% (340)》今村総合病院《80.90% (490)》谷山病院《90.9% (280)》奄美病院《90% (280)》徳之島病院《85%》 ・2024年度後発品割合(品目数)目標：いづろ今村病院《90% (350)》今村総合病院《93% (500)》谷山病院《90% (340)》奄美病院《85% (240)》徳之島病院《85%》 ・2024年度向精神薬多剤投与減算改善目標：谷山病院《85%》奄美病院《85%》徳之島病院《85%》	(9)その他 ・薬局長WEB会議での情報共有化(毎月第3水曜日【人事交流】【IT化・機械化・DX】【診療報酬】【地域貢献】の共有化)、在庫管理システム完了 ・業務の標準化(上記個別事項以外)を図る。 ・いづろ今村病院：薬剤部で無菌調製された抗がん薬をそのまま箱に入れて各部署へ払い出していたため、無菌調製後の薬剤をジッパー付き袋に入れ密封して払い出すように運用の見直しを行った。 ・今村総合病院：年間を通して人員はほとんど変わらず。病棟関連業務業績は前年比増。内服外用調剤で薬剤助手タスクシェアとして薬剤部門システムの運用変更を検討開始。(電子カルテ導入遅延により年度内計画が遅れた) ・谷山病院：12月に副主任が1名退職、更に2025年4月に主任1名が異動となるため業務の引き継ぎを行うも役職者減のため難渋した。発注システムの切り替えも時期が重なったため3月は特に負担が多くなってしまった。 ・奄美病院：薬剤管理指導件数は第3四半期と比較すると半減している。前任の管理者によると業務分担を十分にできなかったとのことで、今後業務分担と業務手順の見直しを検討。勉強会の開催は定期的に実施しているが、症例検討会についても今後定期的に実施予定。まずは調剤業務をしつつ薬剤管理指導も定期的に実施できる環境を整備する。 ・徳之島病院：発注管理システムの切り替えを完了し、既存システムのサポート終了に伴う影響を抑えることができた。また、切り替えの際に各種帳票をシステム側で出せるようにしてもらい、省力化を図れた。 ・向精神薬多剤減算(2023年度平均金額ベースの15%減確保を目指す) ・2023年度後発品割合(品目数)目標：いづろ今村病院《85% (340)》今村総合病院《80.90% (490)》谷山病院《90.9% (300)》奄美病院《90% (280)》徳之島病院《85%》 ・2024年度後発品割合(品目数)目標：いづろ今村病院《90% (350)》今村総合病院《93% (500)》谷山病院《85%》徳之島病院《90%》 ・2024年度向精神薬多剤投与減算改善目標：谷山病院《111%》奄美病院《117%》徳之島病院《105%》 ・向精神薬多剤減算は医師の裁量もあり、現実的には進んでいない。	(9)その他 達成 ・薬局長WEB会議での情報共有化(毎月第3水曜日【人事交流】【IT化・機械化・DX】【診療報酬】【地域貢献】の共有化)達成 ・業務の標準化(上記個別事項以外)を図る。継続検討中 ・いづろ今村病院：薬局長が12月に交代し、業務改善ができるようになった。達成 ・今村総合病院：スタッフは変わらず、病棟関連業務は増加している。また、運用変更の検討が開始された。達成 ・谷山病院：薬局長が交代したが、人員不足に加え体調不良のスタッフが増え、病棟業務ができなかった。未達 ・奄美病院：不安定な人員で、病棟業務もできたり、できなかったりで、人員確保が急務である。情報はあがるが、採用に至らない。未達 ・徳之島病院：発注管理システムの切り替えを完了し、既存システムのサポート終了に伴う影響を抑えることができた。また、切り替えの際に各種帳票をシステム側で出せるようにしてもらい、省力化を図れた。達成 ・向精神薬多剤減算(2023年度平均金額ベースの15%減確保を目指す) 未達 ・向精神薬多剤減算は精神科特有の項目であり、引き続き目標達成に取り組んでいく。 ・後発品は相変わらず入荷困難な品目があるが、目標達成に継続して取り組む	(9)その他 ・薬局長WEB会議での情報共有化(毎月第3水曜日【人事交流】【IT化・機械化・DX】【診療報酬】【地域貢献】の共有化)継続 ・業務の標準化(上記個別事項以外)を図る。継続 ・2025年度業務の標準化 ・いづろ今村病院：薬剤部の移動、外来再編成、電子カルテ更新による医療DXの推進により、業務改善、効率化を図っていく。 ・今村総合病院：働き方改革に伴い、薬剤助手へのタスクシフトを拡大する。 ・電子カルテ入れ替えに伴い、①注射部門システムを導入し業務効率化を図る。 ・谷山：発注管理システム入れ替えに対応し、適正在庫や購入金額分析等コスト削減を目指す。 ・奄美病院：常勤職員の確保。業務の見直し・効率化を図り、薬剤管理指導件数を増やす。 ・徳之島病院：発注管理システム入替に伴う業務見直し、出力データ変更に伴う各種システムの修正対応。 ・向精神薬多剤減算(2023年度平均金額ベースの15%減確保を目指す) ・向精神薬多剤減算は精神科特有の項目であり、引き続き目標達成に取り組んでいく。 ・後発品は相変わらず入荷困難な品目があり、継続して取り組んでいく。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 薬局長会議の開催(適宜第3水曜日にWEB会議を開催)

《主な協議・確認事項》

- ・人事配置について

- ・業務計画及び進捗状況の確認について
- ・レセプト集計、実績資料について
- ・新規後発医薬品の安定供給について
- ・各病院の薬剤師充実について
- ・処方オーダーリングについて
- ・薬剤部合同研修会について
- ・薬業連携交流会について

- ・2024年度診療報酬トリプル（医療・介護・福祉）改定について

2. 薬薬連携交流会の開催

第9回 慈愛会 薬薬連携交流会/在宅緩和ケアワーク
ショップ

- ・2024年8月16日（金）19：00～
- ・ホテルウェルビュー鹿児島
- ・開催担当：今村総合病院
- ・参加数62名
- ・挨拶 慈愛会 帆北修一理事長補佐
- ・基調講演
「病院と地域をつなぐ病棟薬剤師による自宅退院支援について」
座長 今村総合病院 薬局長 鬼丸俊司
演者：今村総合病院 薬剤部 薬局長代理 橋本直美
- ・ワークショップ
「自宅療養にサポートが必要な患者さんに対する退院時共同指導」
司会：鬼丸俊司
ファシリテーター・発表者：ファルマコム 在宅部門 責任者 諸岡慎也先生、白男川薬局 薬剤師 白男川静香先生、今村総合病院 橋本直美
- ・閉会挨拶 今村総合病院 常盤光弘院長
- ・交流会開催：ホテルウェルビュー鹿児島

第10回 慈愛会 薬薬連携交流会 第10回記念講演会

- ・2025年2月7日（金）19：00～
- ・かごしまオハナビル3階大会議室（ハイブリッド）
- ・開催担当：谷山病院
- ・参加数：会場64名Zoom36名 計100名
- ・情報提供
「抗精神病薬 レキサルティについて」大塚製薬株式会社
- ・挨拶 慈愛会 今村英仁理事長
- ・特別講演
「認知症、がん患者・家族のこころのケア」
座長：谷山病院 福田恭哉院長
演者：横浜鶴見リハビリテーション病院
院長 吉田勝明先生
(主催：大塚製薬株式会社、後援：鹿児島市薬剤師会)

合同研修会

「第14回 薬剤部合同研修会」

- ・2024年11月16日（土）15：00～
- ・かごしまオハナビル3階大会議室
- ・総合司会：今村総合病院 森川沙織
- ・第1部
座長：今村総合病院 薬局長 鬼丸俊司
講演：「介護保険について」
鹿児島県社会福祉士会 平田大介先生

・第2部

1. 研修発表会（各演題 発表8分、質疑応答4分）

座長：今村総合病院 薬局長代理 松山淳史

- ①整形外科病棟における周術期の薬剤師のかかわりについて
今村総合病院 横山大樹
- ②谷山病院における持続性注射（LAI）適正使用における薬剤師の関り
谷山病院 新留亜希子
- ③薬剤管理指導記録の効率化
今村総合病院 松野下公佳

<地域講演>

- ④チームで取り組む糖尿病療養指導～当院薬剤師の関わり～
いづろ今村病院 神門孝典

座長：今村総合病院 薬局長代理 橋本直美

- ⑤当院におけるバルベナジントシル酸塩の使用状況について
谷山病院 四本晶子
- ⑥一般名処方加算について～当院での取り組みと特徴～
いづろ今村病院 東條知子
- ⑦コロナ禍での薬局における無料検査を経験して
奄美病院 早出仁
- ⑧婦人科病棟における化学療法施行時の病棟薬剤師の介入
今村総合病院 横山里穂

<教育講演>

- ⑨冷所保管医薬品の在庫管理運用
今村総合病院 鬼丸俊司

2. 総括 今村総合病院 堀口大輔
挨拶 慈愛会 今村英仁理事長
懇親会開催：鹿児島県市町村自治会館

技能・能力向上に向けた取り組み

1. 人材育成、指導等の取り組み

- 各病院において、薬剤部クリニカルラダーに基づく人材育成
ラダー認定：11名
【レベルⅤ：0名 レベルⅣ：2名 レベルⅢ：5名
レベルⅡ：3名 レベルⅠ：1名】

2024年度末在籍有資格者

今村総合病院	がん専門薬剤師	1	いづろ今村病院	がん薬物療法認定薬剤師	1
	外来がん治療認定薬剤師	2		日本糖尿病療養指導士	4
	感染制御認定薬剤師	1		公認スポーツファーマシスト	1
	NST専門薬剤師	4		NST専門療法士	1
	インфекションコントロール ドクター（ICD）	1		日病薬病院薬学認定薬剤師	4
	公認スポーツファーマシスト	2		認定実務実習指導薬剤師	3
	実務実習指導薬剤師	2		日薬研修センター研修認定薬剤師	3
	日病薬病院薬学認定薬剤師	19	谷山病院	精神科薬物療法認定薬剤師	2
	精神科薬物療法認定薬剤師	1		糖尿病薬物療法履修薬剤師	1
	日薬研修センター研修認定薬剤師	2		日本糖尿病療養指導士	2
	医療薬学専門薬剤師	1		日病薬病院薬学認定薬剤師	3
	周術期管理チーム認定薬剤師	2		実務実習指導薬剤師	2
				日薬研修センター認定薬剤師	1
奄美病院	日薬研修センター認定薬剤師	1	徳之島病院	日薬研修センター認定薬剤師	2
				医療情報技師	1

4. 症例検討会・勉強会

- 各病院において、症例に基づく人材育成、情報共有・勉強会による医薬品情報収集
いづろ今村病院：症例検討10症例・勉強会17回
今村総合病院：症例検討45症例・勉強会47回
谷山病院：症例検討15症例・勉強会29回(医局合同)
奄美病院：症例検討26症例・勉強会10回
徳之島病院：症例検討3症例・勉強会1回

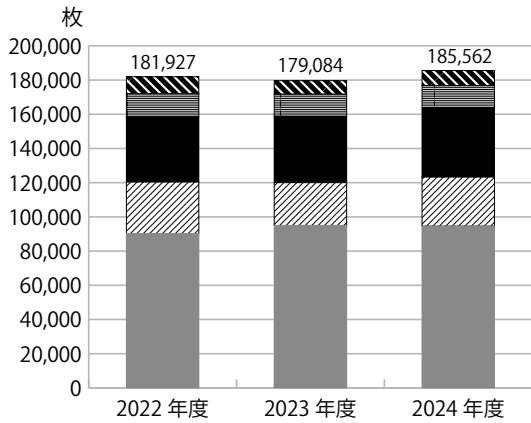
- ジェネラリスト薬剤師として日病薬病院薬学認定薬剤師の単位取得を推進
- 2. 薬学生実務実習受け入れ：9名
 - 今村総合病院：崇城大学2名、
 - いづろ今村病院：崇城大学3名、福岡大2名、安田女子大1名、第一薬科大1名
- 3. 資格取得状況（新規）
 - 日本病院薬剤師会薬学認定薬剤師（今村総合病院：2名）
 - 周術期認定薬剤師（今村総合病院：2名）
 - 精神科薬物療法認定薬剤師（谷山病院：1名）

5. 研修施設認定

- 日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院（今村総合病院）
- 日本病院薬剤師会：がん薬物療法認定薬剤師研修施設（今村総合病院）
- 日本医療薬学会：がん専門薬剤師研修施設（今村総合病院）

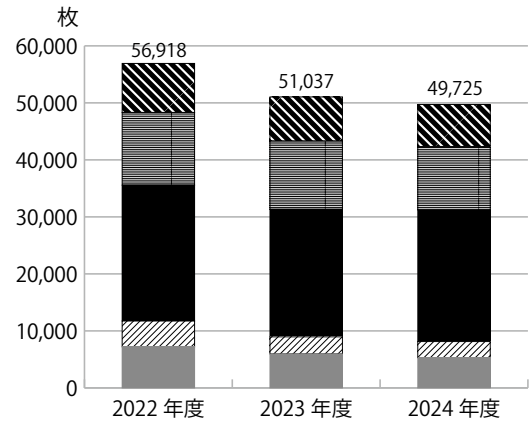
各種指標

入院（内服・外用）処方箋枚数



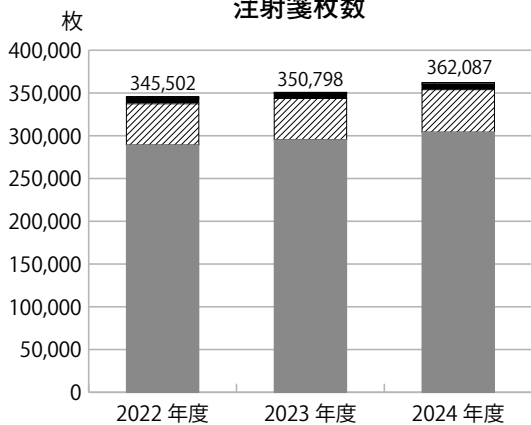
	2022年度	2023年度	2024年度
■ 今村総合病院	90,206	94,990	94,583
▨ いづろ今村病院	30,144	25,020	28,679
■ 谷山病院	38,076	38,752	40,475
▤ 奄美病院	13,574	12,968	13,046
▩ 徳之島病院	9,927	7,913	8,779
慈愛会合計	181,927	179,643	185,562

外来（内服・外用）処方箋枚数



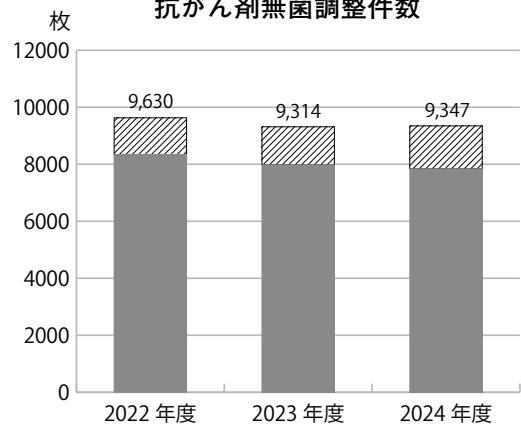
	2022年度	2023年度	2024年度
■ 今村総合病院	7,215	5,957	5,292
▨ いづろ今村病院	4,519	2,998	2,837
■ 谷山病院	23,832	22,367	23,082
▤ 奄美病院	12,753	11,983	11,127
▩ 徳之島病院	8,599	7,732	7,387
慈愛会合計	56,918	51,037	49,725

注射箋枚数



	2022年度	2023年度	2024年度
■ 今村総合病院	289,180	295,351	304,192
▨ いづろ今村病院	48,170	48,212	49,717
■ 谷山病院	6,169	5,875	5,896
▤ 奄美病院	1,569	1,116	1,802
▩ 徳之島病院	414	244	480
慈愛会合計	345,502	350,798	362,087

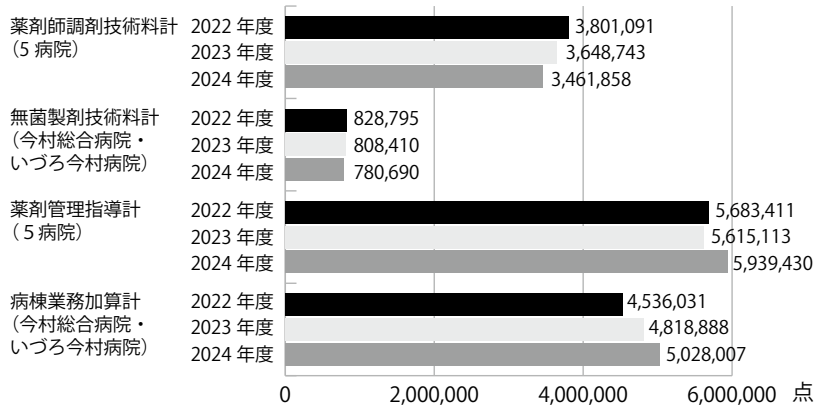
抗がん剤無菌調整件数



	2022年度	2023年度	2024年度
■ 今村総合病院	8,341	7,979	7,836
▨ いづろ今村病院	1,289	1,335	1,511
慈愛会合計	9,630	9,314	9,347

診療報酬項目別点数

	2022年度	2023年度	2024年度
薬剤師調剤技術料計 (5病院)	3,801,091	3,648,743	3,461,858
無菌製剤技術料計 (今村総合病院・いづろ今村病院)	828,795	808,410	780,690
薬剤管理指導計 (5病院)	5,683,411	5,615,113	5,939,430
病棟業務加算計 (今村総合病院・いづろ今村病院)	4,536,031	4,818,888	5,028,007



業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. 堀口大輔, 橋本直美, 鬼丸俊司: 大腸がん化学療法におけるベバシズマブ+トリフルリジン/チピラシル療法の治療成績と薬剤師の介入効果. 第14回日本臨床腫瘍薬学会 学術大会 2025, 2025年3月15-16日, 横浜
2. 橋本直美, 堀口大輔, 鬼丸俊司: がん薬物療法時のインシデント・アクシデントに対する薬剤師の介入の重要性(血管外漏出対応を中心に). 第14回日本臨床腫瘍薬学会 学術大会 2025, 2025年3月15-16日, 横浜

いづろ今村病院

<国内>

1. 田原七海, 遠矢素子, 古澤夕紀子, 東屋敷史織, 東條知子, 内山ゆかり, 神門孝典: インスリンボール発現患者への教育介入により血糖コントロール改善を認めた症例について. 第83回九州山口薬学大会, 2024年10月13日, 鹿児島
2. 遠矢素子, 東屋敷史織, 古澤夕紀子, 内山ゆかり, 東條知子, 田原七海, 松山淳史, 神門孝典: イメグリミンの効果・安全性に関する検討. 第8階鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2025年2月16日, 鹿児島

谷山病院

<国内>

1. 稲森志織, 染川考佑, 四本晶子, 新留亜希子, 永井未仁, 長曾我部翔, 新村味穂子, 吉永浩之: クロザピン服用患者に対する薬剤師の介入効果. 第83回九州山口薬学大会, 2024年10月13-14日, 鹿児島
2. 新留亜希子, 新村味穂子, 四本晶子, 染川考佑, 永井未仁, 長曾我部翔, 青崎春菜, 神門孝典, 吉永浩之: 谷山病院における持続性注射(LAI)に対する取り組み. 第8回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2025年2月16日, 鹿児島

(第4回慈愛会学会学術集会での発表業績はP84-87参照)

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 堀口大輔: 小学生を対象としたがん教育授業. 令和6年度外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業, 2025年1月11日, 鹿児島

いづろ今村病院

1. 東屋敷史織: 当院における薬剤師とIBD患者様との関わり. 霧島始良地区IBD医療連携の会, 2024年4月19日, 鹿児島
2. 神門孝典: 医療安全について. 第46回新任薬剤師研修会, 2024年8月25日, 鹿児島
3. 神門孝典: チームで取り組む糖尿病療養指導～当院薬剤師の関わり～. Diabetes Seminar in Kagoshima, 2024年9月12日, 鹿児島(Web)
4. 東屋敷史織: 当院薬剤部における糖尿病患者への関わり～体重管理を含めた糖尿病治療の実践～. 第17回九州糖尿病看護スキルアップWebセミナー, 2025年2月9日, Web

谷山病院

1. 染川考佑：精神科領域における薬剤師の役割と魅力. 令和6年度日本病院薬剤師会新人研修会, 2024年6月30日, 東京

【受賞】

いづろ今村病院

1. 東屋敷史織：「週1回 GLP-1 受容体作動薬の使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討～薬剤適正使用への取り組みと課題～」優秀発表賞. 第7回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2024年6月

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

画像診断／放射線治療部門

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
放射線治療部門・安定稼働の継続	(1)安定稼働 ・照射件数3,200/年を目標 ・外照射件数の共有 ・小線源治療件数の共有 ・品質管理 月1回	トモセラピー 202症例を実施 (前年度比105.8%) 照射件数 2,882件 (前年度比108.7%) 密封小線源治療 件数 30件 (前年度比100%) 使用線源 1,849個 (前年度比84.2%) ガンマナイフ 照射件数 112件 体外照射合計件数: 2,994件	体外照射件数が2,994件 目標達成率 93.6%であった。 トモセラピー 症例数、照射件数ともに前年度を上回ることができた。 密封小線源治療 件数は前年度を維持することができたが、サルベージ症例が多かったため使用線源は減少した。 ガンマナイフ 事前に放射線障害予防規定の更新、放射線防護規定の策定を行い、特定放射性同位元素防護管理者等育成プログラム研修やプラハを含めた実機施設での研修へ参加し準備を行った。	引き続きQA、点検等を徹底し、安定稼働と質の高い放射線治療の提供を行っていく。 単月ではあるが、3月の体外照射合計が403件(トモセラピー+ガンマナイフ)であった。 総合入院体制加算2の項目の一つである、放射線治療(体外照射) 4,000件/年以上の項目(333.3/月ベース)を算定していくためにも、3月のベースを維持していきたい。 ガンマナイフ・小線源治療・トモセラピーの治療法、認定施設をアピールしていき、施設連携等の強化を推進し更なる地域医療への貢献を目指す。
	(2)専門性の向上 認定取得、研修受講、学会研究会発表、ガンマナイフ導入準備	放射線治療品質管理室活動としての品質管理、医学物理士指導の下QA施行 密封小線源治療安全取扱講習会 受講: 2名 第127回日本医学物理学会学術大会 発表: 1名 放射線治療専門技師 取得: 1名 プラハ研修: 2名、特定放射性同位元素防護管理者等育成プログラム研修: 1名 ガンマナイフ実機施設研修: 2名	消防・保健所・原子力規制庁の立入を経て、2025年2月25日より稼働。 新規にスタッフ2名、小線源治療へ対応可能となった。 スタッフ1名放射線治療専門技師を取得することができた。 JASTRO施設認定(日本放射線腫瘍学会)を取得することができた。	医学物理士、放射線治療品質管理士などの取得、チャレンジ積極的な各学会、研究会等への発表・参加による技術・知識レベルの向上 ガンマナイフのローテーター育成
生産性の向上、効率化	(1)機器の安定稼働 モダリティ件数の共有 (昨年度件数を維持・増加) 昨年度件数を維持増加 点検状況の共有 ・一般撮影系	【今村総合病院】 44,846件 (前年度比104.7%) 【いづろ今村病院】 11,668件 (前年度比96.2%) 【全体】 56,514件 (前年度比102.8%)	【今村総合病院】 核医学検査において、ガンマカメラ更新に約1か月のダウンタイムを要したが、前年度件数を19.3%上回ることができた。 Angioは7.3%減であったが、その他のモダリティは前年度を維持することができた。	【今村総合病院】 引き続き医療安全に留意し、効率化・改善を行い件数増加を目指す。
	・CT	【今村総合病院】 16,433件 (前年度比97.7%) 【いづろ今村病院】 3,163件 (前年度比96.8%) 【全体】 19,596件 (前年度比97.5%)	【いづろ今村病院】 MRI更新により、検査時間の短縮や紹介患者増加につながり、検査件数が25%増加した。 その他のモダリティに関しては前年とほぼ同数であった。	【いづろ今村病院】 検診者数増加への対応や放射線技師による乳腺超音波検査の対応を進めていく。 検診部門の胸部X線装置について、来年度に全国労働衛生団体連合会の精度管理調査を受審する予定である。
	・MRI	【今村総合病院】 7,120件 (前年度比104.8%) 【いづろ今村病院】 976件 (前年度比125.3%) 【全体】 8,096件 (前年度比106.9%)	【全体】 計画的に機器更新をすることができ、安定的にモダリティを稼働することができた。	【全体】 引き続き機器のパフォーマンスを維持し、効率化を図り最良の画像情報を提供する事で件数増加を目指す。ソフト面をバージョンアップしていくためにも、専門的な知識・技術の習得、認定等の取得を啓発。 タスクシフト・シェアを推進し、業務の効率化を図る。
	・透視	【いづろ今村病院】 1,284件 (前年度比95.1%)	【いづろ今村病院】 343件 (前年度比92.7%)	
	・Angio	【今村総合病院】 241件 (前年度比119.3%)	【今村総合病院】 7,884件 (前年度比101.7%)	
	・RI	【いづろ今村病院】 2,374件 (前年度比99.8%)	【いづろ今村病院】 2,374件 (前年度比99.8%)	
	・腹部超音波	【今村総合病院】 13種28台のモダリティ 計画通りに定期点検施行 【いづろ今村病院】 8種13台のモダリティを計画通りに定期点検施行	計画的に点検を行うことで、予測できる故障等の発生を減少させることができた。	診療への影響を極力抑えた、点検計画の作成。
	・乳腺撮影	【いづろ今村病院】 2,374件 (前年度比99.8%)	医療監視へ対応できた。	引き続き始業・終業点検を徹底し、機器の品質管理を行っていく。
	モダリティ点検状況	【今村総合病院】 13種28台のモダリティ 計画通りに定期点検施行 【いづろ今村病院】 8種13台のモダリティを計画通りに定期点検施行	計画的に点検を行うことで、予測できる故障等の発生を減少させることができた。	診療への影響を極力抑えた、点検計画の作成。
	(2)地域連携強化 ①他医療機関からの検査紹介増加 目標460件/年 C@RNAコネクタの登録施設数の共有 ②技師による施設訪問の継続 目標15施設/年	他施設からの検査紹介 617件 (前年度比115.5%) うちカルナコネット使用の紹介 356件/年 (前年度比110.9%) 登録施設 22件 (+1) 訪問件数 10施設	検査紹介件数は83件増加となった。近隣の施設からのMRIが増加していた。 またカルナコネットからの検査紹介は10.9%増であった。 前年度よりも訪問を行うことができたため、件数増に繋がったと考えられる。 地域貢献として両院ともにいづろ介護・健康まつり、かもい健康まつりにて骨密度測定を行うことができた。また市民健康まつりへスタッフとして2名参加。	放射線科医と協力しクリニック等への訪問を多く行い、カルナコネット導入施設を増加させ、検査紹介増加・満足度向上へ繋げる。 紹介医や患者へ機器の紹介を行い検査件数増加を目指す。

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
人材育成	(1) 技師連携強化 ・部署内全体の研修、一体化会議の開催 (2) スペシャリストの育成 ・認定・資格取得、ラダー教育（慈愛会、JART） ・学会・研究会発表、研修受講 (3) 多職種連携 ・告示研修の受講進捗の共有 ・タスクシフト、タスクシェアの推進と実施	6/8 第18回慈愛会画像診断部合同研修会：35名+熊本放射線外科4名 症例検討の実施 一体化会議/月の開催 いづろ今村病院技師による、今村総合病院・谷山病院への助勤 今村総合病院技師による、いづろ今村病院欠員時の助勤 取得更新 胃がん検診専門技師認定 更新2名、画像等手術支援認定診療放射線技師 更新1名 放射線治療専門技師 取得1名、マンモグラフィ検診撮影認定技師 取得1名 JASTRO施設認定：取得、医療被ばく低減施設：更新 発表 慈愛会学会：3題、県外：3題、各研究会：11演題、慈愛会合同研修会：5題 研修 「MRI安全運用に関する研修会」「MRI造影剤に関する研修会」：2名 2024年厚生労働省告示第273号研修：3名、原子力災害医療研修：1名 多職種合同キャリア開発推進委員研修：2名、ミドルマネジメント研修：3名 管理者任用候補者研修：1名 実習生、研修生の受け入れ・教育 告示研修受講状況：今村総合病院24名、いづろ今村病院10名 いづろ今村病院：5月より静脈路確保を開始 今村総合病院：2月より造影剤注入を開始	毎月の一体化会議にて情報を共有/支援対応の継続 相互サポート体制の強化、横断的な支援体制 昨年度同様に慈愛会画像診断部合同研修会へ外部施設参加による他施設との交流 キャリア開発 ラダーレベル取得 レベルⅠ:2名 レベルⅡ:1名 レベルⅢ:1名 レベルⅣ:3名 レベルⅤ:0名 鹿児島医療技術専門学校の臨床実習生を延べ12名受け入れ（いづろ今村病院5名、今村総合病院7名） 熊本放射線外科 技師研修受け入れ（今村総合病院1名）、鹿児島中央整形外科スポーツクリニック技師研修受け入れ（いづろ今村病院1名） 告示研修を延べ34名が修了 いづろ今村病院 5月より放射線技師によるCT・MRI造影時の静脈路確保を開始し、364件の静脈路確保を行った。 今村総合病院 2月より外来造影CT、MRIを技師のみで施行開始。外来看護師の業務を低減できた。 CT業務のスループットも向上し、効率化が図れた。 STAT画像報告への準備を行った。	情報共有を密に行い、引き続き施設間の技師レベルでの連携強化を行う。 引き続き各施設に合った認定資格・施設の取得、学会・研究会への発表、講習会の受講を積極的に行っていく。 日本診療放射線技師会ラダーの啓発推進、法人ラダーの見直し、マネジメントラダーの作成。 引き続き医療安全の徹底、ノンテクニカルスキル・コンプライアンスの教育 学生の実習生受け入れを継続し、慈愛会放射線部の取り組みや魅力を伝え学生に選ばれる病院を目指していく。 P-MET講習会を受講し、臨床実習指導教員資格取得の人員を増やす。 今後も地域のクリニック等から研修生を受け入れ、医療技術提供で地域に貢献する。 いづろ今村病院 CT・MRI造影時の静脈路確保の継続と全てのスタッフが対応できるよう教育を行う。 今村総合病院 造影に対応できるスタッフの育成・教育を行う。 読影の補助としてSTAT画像報告の教育を行う。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1：画像診断部一体化会議

毎月第3火曜日、いづろ今村病院・今村総合病院の役職者により開催

- ・施設間の報告による情報共有
- ・慈愛会画像診断部合同研修会における企画運営
- ・モダリティごとの技術・情報共有、業務支援、定期点検、始業・終業点検、更新
- ・人材交流、育成、人員配置、実習生受け入れ、技師研修受け入れ
- ・感染症標準予防策、感染経路別予防策、撮影対応法、撮影後清掃、廃棄物取扱
- ・法改正への対応

2：施設間の業務支援

- ・いづろ今村病院技師による午後からの今村総合病院への助勤
- ・谷山病院技師への業務支援
- ・計画停電、休日当番医の緊急時対応、相互支援
- ・機器トラブル時の相互サポート
- ・病欠、産休育休時の業務サポート

合同研修会

「第18回慈愛会画像診断部合同研修会」

- ・2024年6月8日(土)14:00-16:00
- ・今村総合病院A棟4階 大会議室
- ・司会・進行 今村総合病院 吉見敦、若松沙樹

【内容】

1. メーカー講演
 「最新のガンマナイフ Elekta Esprit(エスプリ)のご紹介」
 エレクタ株式会社 Business Line Lead,
 Neuroscience Solutions 村上雅和先生
2. 講演
 「コンプライアンスについて」
 今村総合病院 恵智徳
3. 一般演題
 - (1) 当院の施設紹介
 熊本放射線外科 田崎誠
 - (2) 新MRI導入から見えてきた改善点と課題点
 いづろ今村病院 上舞優介
 - (3) 造影CT時の適切な静脈路確保について
 今村総合病院 西田崇友

(4) マンモグラフィ健診に対する意識調査

いづろ今村病院 下田知佳

(5) 膝関節正面X線撮影における脛骨上関節面の

double plateau解消と定量化

今村総合病院 小林晃也

4. 新入職員紹介

いづろ今村病院 林里紗、今村総合病院 福田萌乃、中馬修平

5. 理事長総括

慈愛会 今村英仁理事長

6. 写真撮影

○施設認定

医療被ばく低減施設	今村総合病院
臨床実習指導施設	今村総合病院
JASTRO認定施設	今村総合病院
マンモグラフィ検診 施設・画像	いづろ今村病院
画像診断管理認証施設	今村総合病院、いづろ今村病院

○2024年度実績 認定資格

放射線治療専門技師	取得	高山
	更新	市来
放射線治療品質管理士	更新	市来
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	取得	林
胃がん検診専門技師	更新	脇田、上舞
画像等手術支援認定診療放射線技師	更新	恵

○2024年度実績 施設認定

JASTRO(日本放射線腫瘍学会)認定施設	取得	今村総合病院
医療被ばく低減施設	更新	今村総合病院

○2024年度実績 講習会・研修会

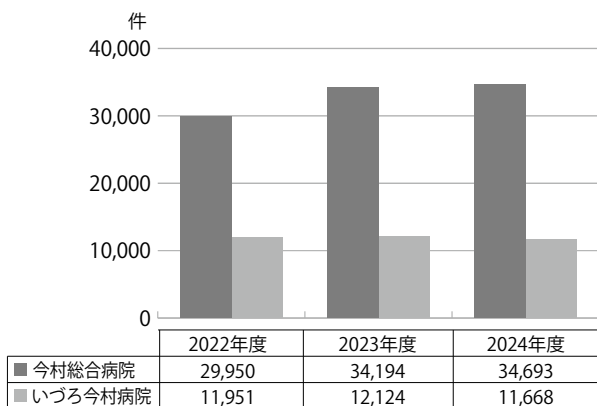
令和6年厚生労働省告示第273号研修	修了	前田、中馬、山元、前田(麗)
原子力災害医療研修	修了	脇田
密封小線源治療安全取扱講習会	修了	橋口、和田
特定放射性同位元素防護管理者等育成プログラム研修	修了	蓑田
「MRI安全運用に関する研修会」「MRI造影剤に関する研修会」	修了	中窪、上釜
2024年度第9回胃がん検診専門技師研修会	修了	上釜
X線CT認定講習会	修了	二間瀬
臨床実習指導教員講習会	修了	二間瀬

技能・能力向上に向けた取り組み

取得認定資格一覧	今村総合病院	いづろ今村病院
第1種放射線取扱主任者	2	
第1種作業環境測定士	1	
第2種作業環境測定士	1	
放射線治療専門放射線技師	2	
放射線治療品質管理士	1	
超音波検査士		1
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	1	3
胃がん検診専門技師	1	4
肺がんCT検診認定技師	1	1
大腸CT検査技師		1
X線CT認定技師	3	1
放射線管理士	6	2
放射線機器管理士	8	1
医療画像情報精度管理士	2	1
臨床実習指導教員	4	2
放射線被ばく相談員	2	
Ai認定診療放射線技師	1	1
画像等手術支援認定診療放射線技師	1	
アドバンスド診療放射線技師	3	3
シニア診療放射線技師	2	1
エックス線作業主任者	3	
ガンマ線透過写真撮影作業主任者	3	
今村総合病院 いづろ今村病院		
厚生労働省 告示研修修了者	24	10

各種指標

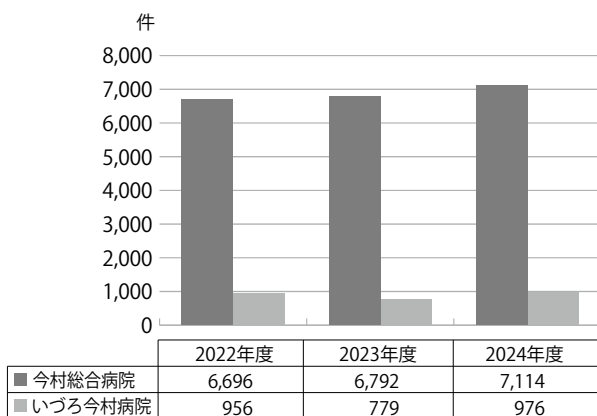
一般撮影検査



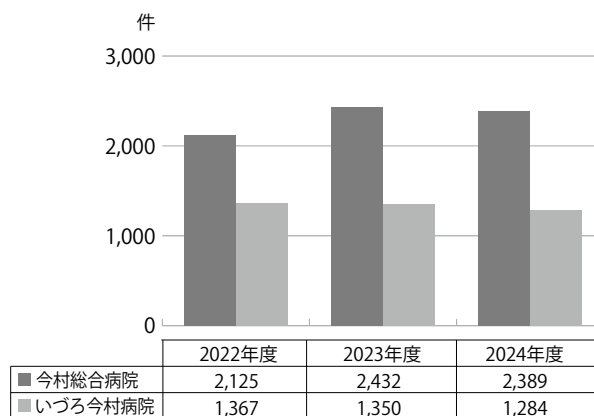
CT検査



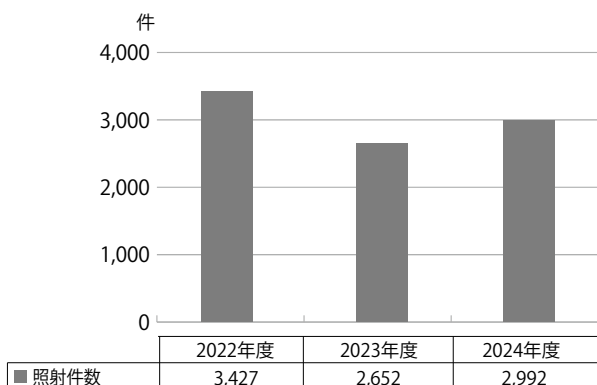
MRI検査



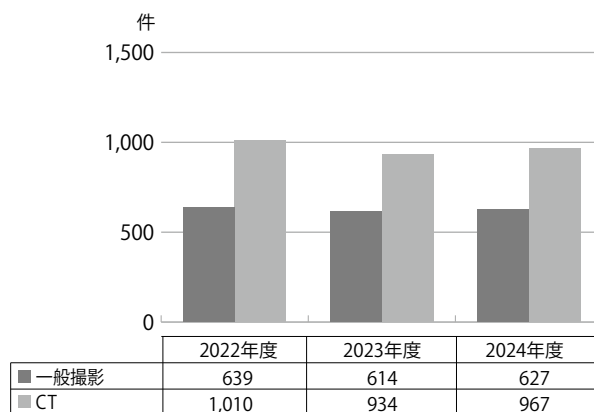
透視検査



放射線治療



谷山病院検査数



業 績 一 覧

【論文（論文・著書・雑文）】

今村総合病院

<欧文> <共著>

1. Tsunemine S, Ozawa S, Nakao M, Miura H, Onishi T, Ichiki M, Sugimoto S, Inoue T, Oki Y, Akasaka H, Hanmura M, Harada H, Nishimura T, Murakami Y, Nagata Y : Improved stoichiometric model for megavoltage computed tomography number conversion and dose calculation within the TomoTherapy delivery system. Physica Medica : Online ahead of print, 2025, <https://doi.org/10.1016/j.ejmp.2025.104915>

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. Ichiki M, Ozawa S, Makino T, Takayama D, Tsuru S, Nakata Y, Megumi T : Analysis of beam control in different delivery modes with High-Speed Plastic Scintillator Detector. 第 127 回日本医学物理学学会学術集会, 2024 年 4 月 11-14 日, 横浜
2. 馬場隆行: 角度計測テンプレートと補助具を活用した高精度手関節 TRUE LAT 撮影法. 鹿児島県診療放射線技師会 令和 6 年度春季学術大会, 2024 年 6 月 16 日, 鹿児島
3. 馬場隆行, 中馬修平, 福田萌乃, 松元遥, 下茂大輝, 上川翔美, 小林晃也, 蓑田辰則: X 線撮影を受ける幼児へのプレパレーションの取り組み: マッピングシートを活用したディストラクションの実践. 第 1 回日本放射線医療技術学術大会, 2024 年 10 月 31 日 -11 月 3 日, 沖縄県宜野湾市 (Web)

いづろ今村病院

<国内>

4. 脇田慎一: 当院における静脈路確保業務への取り組み. 第 19 回九州放射線医療技術学術大会, 2024 年 12 月 21-22 日, 宮崎

(第 4 回慈愛会学会学術集会での発表業績は P84-87 参照)

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 上川翔美: 放射線概論 I. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 4 月 23 日, 鹿児島
2. 川上真司: 臨床画像 II 救急画像 (STAT 画像). 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 4 月 10 日, 鹿児島
3. 牧野竜大: 臨床画像 II 肝胆脾. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 4 月 17 日, 鹿児島
4. 蓑田辰則: 臨床画像 II 上肢. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 4 月 24 日, 鹿児島
5. 恵智徳: 臨床画像 II 透視画像 1. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 5 月 1 日, 鹿児島
6. 吉見敦: 臨床画像 II 頭頸部 1. 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 5 月 8 日, 鹿児島
7. 川上真司: 臨床画像 II 胸部 (マンモ含む). 鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科, 2024 年 5 月 15 日, 鹿児島

8. 牧野竜大：臨床画像Ⅱ 消化器。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年5月22日，鹿児島
9. 蓑田辰則：臨床画像Ⅱ 下肢。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年5月29日，鹿児島
10. 恵智徳：臨床画像Ⅱ 透視画像2。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年6月5日，鹿児島
11. 恵智徳：キャリア開発とマネジメント。熊本放射線外科診療放射線技師向け研修，2024年6月8日，鹿児島
12. 吉見敦：臨床画像Ⅱ 頭頸部2。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年6月12日，鹿児島
13. 川上眞司：臨床画像Ⅱ 循環器（心臓を含む）。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年6月19日，鹿児島
14. 牧野竜大：臨床画像Ⅱ 泌尿器・婦人科。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年6月26日，鹿児島
15. 蓑田辰則：臨床画像Ⅱ 脊椎。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年7月3日，鹿児島
16. 吉見敦：臨床画像Ⅱ 頭頸部3。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年7月3日，鹿児島
17. 馬場隆行：「闊達自在！ライブなCアーム業務を上達するための秘訣を簡単解説すべてはそこで結実する。第2回 Moments!」，2024年9月21日，Web
18. 吉見敦：臨床画像Ⅰ 放射線診断学概論。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年10月2日，鹿児島
19. 馬場隆行：馬場ちゃんの部屋 明日から撮影の達人 ～膝関節 後編～。第2回九州島津ユーザー会，2024年10月5日，福岡(Web)
20. 牧野竜大：臨床画像Ⅰ 脊椎・脊髄の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年10月9日，鹿児島
21. 川上眞司：臨床画像Ⅰ 腹部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年10月16日，鹿児島
22. 小林晃也：臨床画像Ⅰ 胸部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年10月23日，鹿児島
23. 馬場隆行：一般撮影におけるトモシンセシスの臨床有用性。第1回日本放射線医療技術学術大会ランチョンセミナー，2024年10月31日，沖縄県宜野湾市(Web)
24. 牧野竜大：臨床画像Ⅰ 消化管の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年11月6日，鹿児島
25. 蓑田辰則：臨床画像Ⅰ 頭部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年11月13日，鹿児島
26. 川上眞司：臨床画像Ⅰ 骨盤部の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年11月20日，鹿児島
27. 高山大史：臨床画像Ⅰ 上肢の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年11月27日，鹿児島
28. 蓑田辰則：文部科学省委託事業：放射線に関する教職員研修及び出前授業。嬉野市立塩田中学校，2024年12月3日，佐賀
29. 吉見敦：臨床画像Ⅰ 血管・リンパの画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年12月4日，鹿児島
30. 西田崇友：臨床画像Ⅰ 脳神経の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年12月11日，鹿児島
31. 高山大史：臨床画像Ⅰ 下肢の画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2024年12月18日，鹿児島
32. 牧野竜大：臨床画像Ⅰ 頸部画像解剖。鹿児島医療技術専門学校診療放射線技術学科，2025年1月22日，鹿児島

33. 前田裕介：施設紹介. 第43回鹿児島核医学技術検討会, 2025年2月8日, 鹿児島 (Web)
34. 牧野竜大：当院の小児撮影. 夜間急病センター 当直者研修会, 2025年2月12日, 鹿児島
35. 前田裕介：育児休業を経験して. 令和6年度鹿児島さくらRT研修会, 2025年2月27日, Web
36. 市来守, 小澤修一, 牧野竜大, 高山大史, 中田有希乃, 恵智徳：高速プラスチックシンチレーション検出器を利用した静的 TomoTherapy における MLC の品質管理手法の検討. 第1回広島神戸放射線治療研究交流会, 2025年3月1日, 神戸 (Web)
37. 市来守, 小澤修一, 牧野竜大, 高山大史, 中田有希乃, 恵智徳：The “裏技”. 第6回九州山口トモセラピーユーザーズフォーラム, 2025年3月22日, 福岡 (Web)

いづろ今村病院

1. 上釜健作：これからの超音波に期待すること (シンポジウム). 第340回鹿児島超音波医学研究会春季大会, 2024年4月19日, Web
2. 脇田慎一：医療コミュニケーション講座. 日本診療放射線技師会令和6年度フレッシュャーズセミナー, 2024年7月28日, 鹿児島
3. 上釜健作：実技指導. 2024年度鹿児島超音波医学研究会実技講習会, 2024年8月4日, 鹿児島
4. 脇田慎一：実技指導. 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科, 2024年8月7日, 鹿児島
5. 脇田慎一：実技指導. 日本放射線技師会, 2024年8月11日, 鹿児島
6. 脇田慎一：実技指導. 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科, 2024年8月16日, 鹿児島
7. 上釜健作：膀胱癌の1例. 第345回鹿児島超音波医学研究会, 2024年9月24日, Web
8. 脇田慎一：実技指導. 日本放射線技師会, 2024年10月13日, 鹿児島
9. 上釜健作：症例から学ぶ ～腹部領域～. 第26回鹿児島超音波研究会, 2024年10月23日, Web
10. 脇田慎一：業務拡大に伴う統一講習会. 日本放射線技師会, 2024年11月17日, 鹿児島
11. 上釜健作：画像解剖学・超音波. 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科, 2025年1月8日, 鹿児島
12. 脇田慎一：実技指導. 日本放射線技師会, 2025年1月12日, 鹿児島
13. 脇田慎一：画像解剖学・乳房&消化管. 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科, 2025年1月23日, 鹿児島
14. 上釜健作：小児上腕撮影の1例. 夜間急病センター 当直者研修会, 2025年2月12日, 鹿児島
15. 林里紗：検診2次精査で偶発的に見つかった症例. 第77回鹿児島消化器画像研究会, 2025年2月19日, Web

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

臨床検査部門

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～ 2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
臨床検査業務を改善し、より質の高い検査結果を提供する	(1)検査内容 (検体検査・輸血検査・生理検査・病理検査)の把握 ・数値目標 前年比1.02 (2023年実績) 生化学検査 175,909件 (今村総合病院126,025件・いづろ今村病院46,435件) 心電図検査 18,076件 (今村総合病院6,165件・いづろ今村病院11,557件) 心血管超音波検査 7,835件 (今村総合病院5,543件・いづろ今村病院2,138件) 血液型検査 3,134件 (今村総合病院2,537件・いづろ今村病院536件) 交差適合試験検査 3,698件 (今村総合病院2,946件・いづろ今村病院679件) 組織診検査 3,526件 (今村総合病院3,457件) 細胞診検査 2,776件 (今村総合病院2,722件) (2)検査業務の改善 ・いづろ今村病院健診センター移転稼働 (6月) に向けて検査業務の準備 ・診療科からの要望に対応した新規検査項目の導入と検討 (院内・外注) ・適切な検査結果提供のための計画的な機器更新と管理 ・患者様とスタッフにも安心・安全な検査環境の改善	(1)検査内容 (検体検査・輸血検査・生理検査・病理検査)の把握 検査実績 生化学検査 177,002件 (今村総合病院131,392件・いづろ今村病院45,610件) 心電図検査 17,944件 (今村総合病院6,389件・いづろ今村病院11,555件) 心血管超音波検査 8,144件 (今村総合病院 6,218件・いづろ今村病院1,926件) 血液型検査 3,024件 (今村総合病院2,642件・いづろ今村病院382件) 交差適合試験検査 3,591件 (今村総合病院2,913件・いづろ今村病院678件) 組織診検査 3,409件 細胞診検査 2,627件 ・いづろ今村病院の健診センター移転で、健診棟に生理検査室を新設、臨床検査部では、心電計・スパイロメーター・尿一般検査機器・便潜血測定機器など必要物品・機器を更新し、検査件数の増加に対応した。また担当人員の確保のために、検査部全体の業務体制を整えて9月より稼働を開始した。 ・新規検査項目の導入 <院内検査> HBs 抗体・フローサイトメトリー検査項目(名称変更項目として白血球解析・リンパ腫解析)・RPR(試薬変更で今村総合病院での一括検査) CLDN18・甲状腺癌遺伝子検査 (病理部) <外注検査> ・皮膚科遺伝子検査(施設基準や検体搬送方法や結果報告までのフローの作成) ・検査機器の導入・更新 自動ガラス封入装置グラスG2導入(病理部) 生理検査室で心電計(LP検査対応機器)、ホルター心電図記録器・ホルター判読ソフト・筋電計 検体検査室フローサイトメトリー・フィロムアレイ(迅速遺伝子検査) ・血沈検査機器の検査データ通信システムの導入 ・採血管準備装置の更新の検討	(1)検査内容 2024年度目標達成率 (前年度比1.02) 100.6% (目標達成) 99.3% 103.9% (目標達成) 96.5% 97.1% 96.7% 94.6% ・健診センター生理検査室については、検査室でパート職員2名、派遣職員1名の採用で人員補充して生理検査担当者確保、検査機器や業務のトラブル等はなく運用できた。今後は技師の急な休暇取得にも対応できる体制構築が必要になる。 ・新規検査項目のHBs 抗体は外注検査から院内検査になり、入職時の抗体価検査や、針刺し粘膜暴露発生時の結果報告が迅速になった。 ・機器更新は、メーカー耐用年数を超えた検査機器より順次実施していく(故障後の速やかな更新の準備)。検査機器の効率的な運用を検討し、診療科に迅速で適正な検査結果を報告し、患者待ち時間の短縮に繋げる。 ・通信システムの運用で入力ミス防止のダブルチェックの業務軽減を図ることができた。 ・次年度の導入・稼働にむけて、多職種連携して検討継続	・検査件数の増加に対応できるように、検査人員の体制を整え、業務の効率化に努める。 ・2025年度新入職員は2名(いづろ今村病院)で人員の補充と教育をおこない、患者様とスタッフ共に安全な業務体制を整える。 ・部署内業務のタスクシフト・シェアを実施する。 ・人為的ミスが起らないDXを活用した臨床検査体制を進めていく。
正確で迅速、安全な検査結果提供の維持	(1)外部・内部精度管理の実施 ・外部精度管理 (日臨技・日本医師会・各種メーカーサーベイランス等)の受検 ・内部精度管理の維持と徹底 ・検体検査・生理検査の試薬・消耗品データ管理の導入と維持 (2)医療安全・接遇教育の実施で質の高い検査提供の維持 ・今村総合病院の365日24時間体制に対応できる人員の確保と計画的な教育 ・インシデント等の事例発生時の報告・改善策の検討と、部署内周知の徹底	・日本臨床衛生検査技師会精度管理参加 (今村総合病院・いづろ今村病院) ・日本医師会精度管理参加 (今村総合病院・いづろ今村病院) ・鹿児島県医師会精度管理調査 (今村総合病院) ・日本超音波検査学会コントロールサーベイ (心臓領域) (いづろ今村病院) ・内部精度管理の継続 ・新人技師が、入職後3～4カ月で、休日日勤・当直業務が一人でできるように、教育・指導体制を整えて実施した。業務中の機器の不具合や検査手技のトラブル時に問題解決のためのバックアップ体制を整えて、当直業務を開始できた。 ・年間インシデント7件発生 (内 針刺し1件)、すべての事例を当事者だけでなく部署内で改善策を検討し医療安全に報告。部署内外へ報告、周知をした。	・今村総合病院 日臨技評価 A+B99.6% 229/230 日本医師会評価項目修正点 97.8点 鹿児島県医師会 (2SD) 37/37 ・いづろ今村病院 日臨技評価 A+B98.2% 日本医師会 (2SD)33/33項目 日本超音波学会コントロールサーベイ A判定 (心臓領域) ・7月より日当直業務を1人体制で業務可能になる。大きなトラブルなく業務できた。 ・昼礼や部署ミーティングで改善策を検討、再発防止策を報告し、周知した。	・外部精度管理については受検の継続 ・個人の確認不足によるインシデントが複数回あり、部署内で再発防止の周知徹底をする。

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
検査結果迅速、安全な維持	(3)コストを意識した業務改善 ・耐用年数やトラブル時の修理を考慮した適正で計画的な検査機器の管理 ・検査関連必要物品まで意識した業務改善	・検査機器の定期点検実施 ・検査機器の保守未加入の超音波機器は、メーカー保守契約を締結し、故障時に迅速に対応 ・慈愛会垂水サテライトクリニック・高麗町クリニックの採血容器（消耗品）の一括管理の実施	・超音波検査機器でメーカー保守契約を結んでいない機器の突発的な故障に対応できなかった、メーカー保守契約新たに締結、継続で迅速に修理を依頼し、今後の業務に支障がないようにした。 ・法人内のコスト削減のため、採血管使用量が少ない施設は、今村総合病院での採血管在庫管理とした。	・検査機器の故障期間が長びき、診療に影響が出ないように機器保守点検項目の見直しをする。
関連病院内外の連携強化	(1)連携病院間での強化 ・臨床検査一体化会議の隔月開催 ・病院間での人的交流や業務協力の検討と実施 (2)院内外への検査部業務のアピール ・慈愛会臨床検査部のパンフレットの作成 ・ホームページの更新 ・職員採用ホームページの更新 ・多職種業務連携の検討と取り組み	・谷山病院の突発的な傷病体での人員不足に対して、今村総合病院から生理検査業務の応援を実施した。 ・2024年度、人員不足のため、今村総合病院といづろ今村病院の人事交流は中断 ・慈愛会垂水サテライトクリニックの開設時、今村総合病院で検体検査受託業務の検討、検査依頼方法から移送、報告体制の構築。サテライト内の検査機器選定の検討と運用の協力。 ・インフルエンザ流行期の検査試薬不足に、今村総合病院といづろ今村病院の間で、協力して試薬在庫の確保をおこなう。 ・今村総合病院といづろ今村病院の尿・一般検査のシステム統合作業は次年度継続 ・臨床検査部パンフレットの作成は最終校正中で、次年度発行を目指す。 ・今村総合病院で開催されたかもいけ健康まつりで、健康チェックブースとして簡易頸動脈エコー検査を60名に実施 ・職員採用ホームページを更新し、学生病院見学フォームからの病院見学4学校11名を受け入れ ・研修医コメディカル研修の受け入れと、希望の研修医に超音波検査実習のサポート ・医学生向けの合同セミナーへのエコー担当技師の協力（心臓・腹部） ・中学生、高校生の職場体験の受け入れ	・1月～3月に週2日、生理検査業務の応援業務を実施 ・慈愛会垂水サテライトクリニックの機器選定してトラブルなく稼働中。検体検査受託は、依頼から報告まで問題なく実施中。 ・年末年始のインフルエンザ検査試薬不足時の在庫管理は、事務部門・試薬問屋も含めて協力体制をとり、必要数の確保ができ、診療科に迅速に報告できた。 ・一般検査のシステム統合は継続 ・パンフレットの早期発行を目指す ・健康まつりで頸動脈超音波検査の希望者全員に検査実施できた。参加者には、後日の脳神経内科受診につながる方もいた。 ・2025年度採用試験の受験者は10名、今村総合病院ホームページ経由の病院見学後の受験者が7名。職員採用試験応募者増加につながった。	・次年度の谷山病院人員減に対し、応援体制の継続を含め、今村総合病院からの人事異動を検討。 ・感染症流行期の検査試薬やキットの在庫確保を事前に検討実施する。 ・法人全体での臨床検査技師の募集の検討
人材育成を行い、検査技術のスキルアップを行う	(1)担当業務に対する専門性の高い知識と、検査技術の習得 ・計画的な教育・研修・育成 ・タスクシフトで多職種協働を意識した検査技術の教育と習得 ・臨床検査業務拡大の検討と実施 (2)各種認定資格の取得でスキルアップを行う ・各種認定資格の受験を推奨 ・資格取得者の資格維持と更新の環境整備 (3)ラダーに沿った指導・教育を行う ・キャリア開発ラダーに沿った教育の計画と実践 ・管理者任用候補者選考試験受験の推奨	・タスクシフト研修受講者 6名 ・慈愛会学会で3演題のポスター発表と学会参加 ・慈愛会検査部合同研修会の開催 ・認知症認定検査技師受験：1名（いづろ今村病院） ・臨地実習指導者研修受講：1名（いづろ今村病院） ・細胞検査士資格受験2名（病理） ・日本臨床検査同学院二級臨床検査士（血液学）1名受験（今村総合病院） ・認定病理検査技師資格取得1名（病理） ・緊急臨床検査士資格認定試験受験1名（いづろ今村病院） ・2024年度 ラダー申請者12名（今村総合病院9名・いづろ今村病院3名）	・1月～3月に週2日、生理検査業務の応援業務を実施、2025年度の谷山病院人員減（定年退職）に対し、応援体制の継続を含め、今村総合病院からの人事異動を検討 ・タスクシフト研修修了者：27名/30名中（今村総合病院）、いづろ今村病院4名/9名中、多職種協働のタスクシェアの検討を始めていく。 ・認知症認定検査技師試験合格：1名（いづろ今村病院） ・臨地実習指導者研修受講：1名（いづろ今村病院） ・細胞検査士資格取得者2名（病理） ・日本臨床検査同学院二級臨床検査士（血液学）1名（今村総合病院） ・認定病理検査技師資格取得（病理） ・2024年度 ラダー認定11名（今村総合病院8名・いづろ今村病院3名） ・管理者任用候補者選考試験2名合格	・2025年度中の全技師研修修了を目指す。
働きやすい環境づくり	(1)必要な休暇取得ができる職場環境の維持 ・安全に検査業務を遂行できる適正な人員の確保 ・休暇取得に対応できる業務体制づくり (2)身体的にも精神的にも健全に業務できる環境を整える ・部署内外のコミュニケーションの活性化 ・担当業務拡大により、合理的で柔軟な検査体制づくり	・前年度末の退職者2名、今年度内の退職者2名、産休育休取得者6名、時短取得者3名 ・新入職員2名（今村総合病院）、中途採用2名、パート事務1名 ・部署内の担当業務ローテーションを実施し、各技師業務の拡大を図った。 ・法人全体で新入職員採用試験の実施（2025年7名採用） ・1回/月のミーティングの開催（慈愛会フィロソフィの音読など） ・毎日の昼礼で、連絡事項の伝達 ・環境測定の実施（年2回）	・専門的な業務担当者が休暇取得する場合も、人員減でも、安全に適正な検査報告ができる体制づくりのため、計画的な部署内タスクシェアを進めていく。 ・有休申請者の取得率100%（いづろ今村病院） ・休暇取得に対応できるように、担当業務を複数持つことで、担当者の業務軽減につながった。	・人員不足に迅速に対応できるように、専門的業務だけでなく多分野業務が可能な人材教育の検討 ・外来採血業務のタスクシェアで、看護部の業務軽減と効率化を検討していく。 ・有休取得できる職場環境の継続 ・新たな検査業務の習得のため、計画的な教育を行う。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

【人事交流】

- ・谷山病院の突発的な傷病体による人員減に対し、今村総合病院の臨床検査技師が2025年1月～3月（4月以降も継続予定）の週2日午後に、生理検査の応援業務を実施。
- ・退職者や産休・育休取得、時短取得による人員減と、いづろ今村病院健診センターの移転稼働に向けての準備のため、いづろ今村病院と今村総合病院の人事交流を一時中断。
- ・2025年度新入職員採用試験を法人全体で実施。

【情報共有】

- ・今村総合病院で新規の院内検査導入時に、いづろ今村病院からの検査受託が可能になるようにシステムを更新した。
- ・年末年始のインフルエンザ流行期の迅速検査キット不足時に、今村総合病院・いづろ今村病院の検査部門・事務部門と、試薬問屋も含めて協力、在庫が確保できた。
- ・今村総合病院の職員採用ホームページをリニューアルし、多数の学生の病院見学につながった。また、新卒採用試験を法人全体で実施し、必要人員の確保ができた。
- ・慈愛会垂水サテライトクリニックの開設に伴い、今村総合病院で検体検査受託を開始。血算検査機器の統一や、電子カルテ上で、法人内での検体検査の時系列比較が可能となる。
- ・慈愛会臨床検査部一体化会議を奇数月に6回開催した。参加は、今村総合病院（臨床検査部・病理部）・いづろ今村病院・谷山病院。

合同研修会

「第12回慈愛会臨床検査部合同研修会」

- ・2024年10月5日（土）14:00-16:00
- ・今村総合病院4階大会議室

【内容】

1. 理事長挨拶

2. 一般演題 4題

演題1

当院における腹部超音波検査走査方法の評価ポイントと現状

今村総合病院 生理検査部 今村杏奈

演題2

細胞診における免疫染色について

今村総合病院 病理部 轟木泰代

演題3

血小板測定にPLT-Fチャンネルが有用であった症例
いづろ今村病院 臨床検査科 飯谷弘美

演題4

当院におけるファブリー病検査の現状
今村総合病院 臨床検査部 炭谷一行

3. 特別講演

血液ガス分析の基礎

ラジオメーター株式会社

4. 総括・閉会挨拶

今村総合病院 臨床検査部 坂江清弘部長

技能・能力向上に向けた取り組み

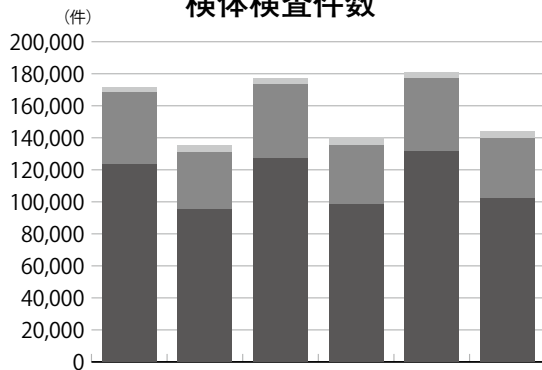
- ・2024年度ラダー申請12名（今村総合病院9名、いづろ今村病院3名）
- ・臨床検査部内の担当業務ローテーションを実施し、それぞれ新たな技術を習得した。各技師業務の拡大を行い、部署内の業務効率化につながった。
- ・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の受講（基礎講習、実技講習）の修了者は今村総合病院27/30名、いづろ今村病院4/9名。今後は臨床検査部の業務拡大、多職種連携を検討する。
- ・細胞検査士資格取得2名合格（今村総合病理部）
- ・スキルアップや各種取得資格の更新などのため、各種研修会へ参加できる環境を整える。

各種認定資格取得状況

資格名等	総数(人)	2024年度 新たな取得者
超音波検査士	6 (のべ8領域)	
細胞検査士	4	野元将太郎 南園輝
化学物質管理者	1	
保護具着用管理責任者	1	
認定輸血検査技師	2	
JSCN専門技術師	1	
細胞治療認定管理士	3	
認定一般検査技師	1	
2級甲類臨床病理技術士	1	
JHRS認定心電図専門士	1	
病院感染制御スタッフ	1	
臨地実習指導者講習修了	2	飯谷弘美
認知症認定検査技師	1	精松裕乃
2級臨床検査士	1	比良泰士

各種指標

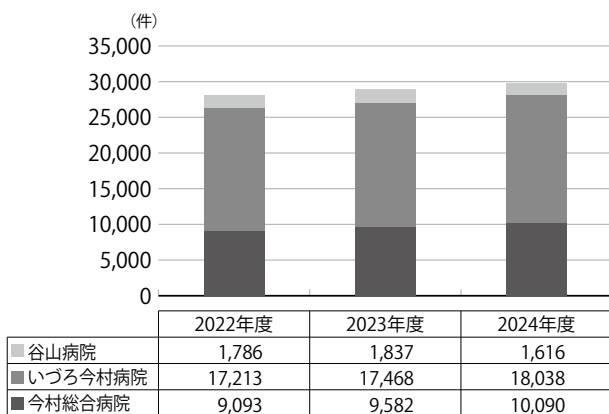
検体検査件数



輸血関連検査件数



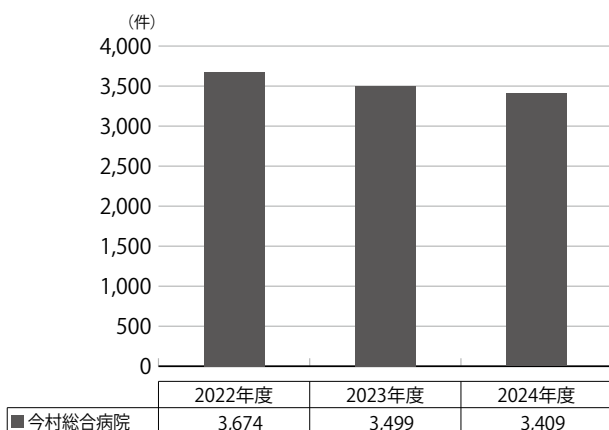
生理機能検査件数



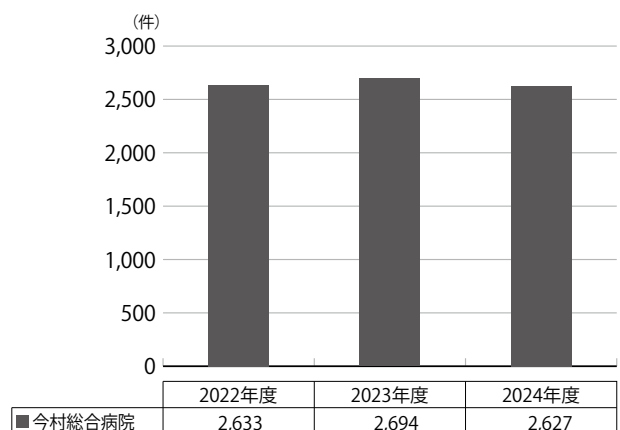
超音波検査件数



病理検査件数(組織診)



病理検査件数(細胞診)



業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. 炭谷一行：当院におけるファブリー病検査の現状. 第58回日臨技九州支部医学検査学会 in 鹿児島, 2024年11月9-10日, 鹿児島 (Web)
2. 井上彩乃:RhD 陰性血輸血後に抗Dを産生したRhD 陰性患者症例. 第58回日臨技九州支部医学検査学会 in 鹿児島, 2024年11月9-10日, 鹿児島 (Web)
3. 藤山裕輝：当院における日当直スタッフへの輸血業務再教育と支援体制について. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第71回総会・第92回例会, 2024年11月30日, 福岡
4. 藤山裕輝：造血幹細胞移植の実際と適切な血液製剤の選択. 鹿児島臨床検査技師会第6回輸血細胞治療部門研修会, 2025年2月22日, 鹿児島

(第4回慈愛会学会学術集会での発表業績はP84-87 参照)

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

栄養管理部門

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
栄養ケアマネジメントの機能強化と人材育成	(1)急性期から在宅まで一貫した栄養マネジメント機能の強化 ①管理栄養士の病棟配置に向けた取り組み (急性期病院) ・病棟業務の拡充、運用や体制を整える。 ・人材育成、地域に向けたNSTの取り組みを目指す。 ②精神科における栄養マネジメントの取り組み ・低栄養対策の継続、栄養ケア体制の運用や体制を整える。 ・NST導入に向けた取り組み、人材確保と人材育成 ③介護における栄養マネジメントの機能強化 ・介護報酬改定に合わせた基盤を作り、取り組む。 ・NST委員会と担当医との連携、研修会への参加 (人材育成)	①病棟担当制にて、ラウンド・カンファレンス参加など継続 ・栄養管理計画書、スクリーニングの継続 ・GLIM基準導入 (総合) ②入院時のスクリーニング、栄養管理計画書・昼食時病棟訪問継続 ・GLM基準導入に向けた取り組み ③入所時のスクリーニング、昼食時の食事観察継続実施 ・多職種連携の強化。	①病棟訪問 (ラウンド) や食事摂取状況、疾患に即した栄養を提供できているか、検査値等の確認を行う。また必要に応じて主治医・多職種と連携協働した。 ②食事摂取状況・食形態などの確認。体重の変化、検査値を確認する。多職種と連携して行った。 ③定期的にスクリーニング、摂取量、検査値、体重変化を把握し多職種と情報共有を図った。	①病棟配置に向けて体制を整え、スキルアップをはかるGLIM基準導入に向けての準備 (いづろ今村病院) ②栄養カンファレンスを行い途切れない栄養管理に向け取り組む。 ③多職種連携を強化、継続しながら栄養マネジメント維持に努める。
	(2)地域一体型NSTに向けた取り組み ①在宅・地域への栄養マネジメント (医療) ・体制の構築、運用についての検討 (多方面との協議など) ・栄養書類等の見直し、栄養ケアセッションへの協力 ②在宅・地域への栄養マネジメント (医療 精神科) ・体制などの検討および構築 ・栄養書類等の見直し ③在宅・地域への栄養マネジメント (介護) ・ふれあ会食にて栄養講話の継続、栄養マネジメントの体制および書類整理 ・訪問給食の継続	①かもいけ健康まつり 栄養相談 (今村総合病院) 2024/9/21開催 いづろ健康・介護まつり 栄養相談 (いづろ今村病院) 2024/10/19開催 ②秋祭りを「こころのマルシェ」と名を改め開催 (谷山病院2024/8/8開催) 認知症カフェ (バランスのいい食事・レンジでできる簡単調理 (谷山病院2024/5/19開催) 小原町町内会講話 (谷山病院2025/1/16開催) ③訪問給食は継続中。秋祭りを「愛と結の街介護マルシェ」と改め12月開催	①各種イベントが開催された時は、協力参加できた。栄養に関する情報を必要に応じて出せるようにした。 ②イベント等へ協力できる体制を整えている。 ③前回同様の協力・参加体制を整えられた。	①各種イベントへ参加協力できた。 ②在宅や地域への栄養マネジメントに向け協力継続する。 ③地域で暮らす高齢者に根付いた栄養管理を目指し協力体制を整えていく。
	(3)人材育成 ・管理栄養士のラダー運用と見直し、その他の職種ラダー構築、実習生の受け入れ ・栄養部および調理師WGの継続、合同研修会の継続	・管理栄養士のラダー運用に至らなかった。2月から見直しを始めている。 ・栄養部WG継続中。調理師WG継続中。(鹿児島市内のみだったが、3月より離島も参加) 第11回慈愛会栄養部門合同研修会 2025/2/22開催 谷山病院会議室 (離島はWeb参加) 参加者38名 ・栄養士実習の受け入れ いづろ今村病院(3名) 谷山病院(2名) 愛と結の街(1名) 鹿児島県短・鹿児島純大・鹿児島純短・今村学園	・栄養士としてのスキルアップ、資格取得 (維持) への取り組みはできている。 ・慈愛会のラダーへの反映・評価等の擦り合わせが必要。 ・研修会やセミナー等の開催情報を共有声かけして参加を促した。 ・栄養部門WG、調理師WGの継続。 ・栄養部門合同研修会など慈愛会内での研修会を継続。 ・実習生受け入れの継続	・ラダーの見直しを早急に行い、運用に向けて動く ・合同研修会、職種ごとの勉強会の継続 調理スタッフの連携、自立に向けた体制作り ・実習生受け入れ、資格取得への取り組み
	(4)その他 ・地域イベント、院内外行事への参加協力 ・各種講師派遣、関連団体への参加協力	・第67回 日本糖尿病学会年次学術集会発表 ・第88回 日本循環器学会年次学術集会 (オンライン) ・第137回 日本循環器学会九州地方会、第28回 日本病態栄養学会年次学術集会 ・鹿児島糖尿病療養指導士事務局、日本病態栄養学会 学術評議員 ・J-seatyナース研修会 (緩和) 食事の話、鹿児島県糖尿病対策推進会議 ・糖尿病および肝疾患専門管理栄養士セミナー ・鹿児島小児糖尿病ミニサマーキャンプ、垂水研究 協力参加 ・市民のための糖尿病講演会 (食事の話) ・鹿児島中央看護専門学校 栄養学講義 ・世界腎臓デー inかごしま (食事の話)、スタッフ協力、実行委員	・地域イベント、院内外の行事へ参加協力できた。 ・講師依頼、関連団体からの協力依頼に応えられた。 ・資格取得および維持のため、学会や研修会に参加できた	・人材育成、協力体制の継続 ・人材育成、協力体制の継続

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
病院給食、介護給食の合理化と更なる発展に向けた取り組み	(1) 厨房運営の合理化や品質向上に向けた取り組み ① 調理スタッフ不足への対策 ・体制の見直し、求人依頼の方法など拡充に向けて検討 ・状況に応じた給食の提供（完調品、カット野菜、献立簡素化など） ② 品質向上、給食運営の発展に向けて ・ニーズに合わせた給食提供の維持、適正な材料費維持の検討	① 各施設の状況に合わせて取り組み、食事提供できた。 施設間の応援協力もあった。体制の検討や変更、完調品やカット野菜の導入、献立の簡素化など 学校の就活状況の共有 ② 食材の価格高騰が続いており、情報共有継続中。 給食材料品も共有し、お互いの対策を参考にして継続する。 谷山病院、愛と結の街協働に向けて月1回会議実施。(1月より調理師も参加)	① 各施設、調理スタッフ不足の状況に対応し給食提供できた。 その都度できる限りの対応を検討し、安全な給食提供をした。 ② 食材高騰の情報について、慈愛会内で情報共有できた。 各施設で状況に応じた対策がとれた。 協業に向けて業者を交えての話し合いも行っている。問題点に対して話し合いを重ねている。	① 給食提供維持に向けた取り組み 調理スタッフ不足への対応 人材育成、マニュアル更新 ② ニーズに合わせた給食提供維持のために体制等の検討、給食方式について学ぶ。 他施設の取り組みなど、必要に応じて見学・情報共有に努める。
	(2) 安全管理における連携 ① 衛生管理、感染対策、その他安全管理 ・大量調理施設衛生マニュアルの遵守、マニュアルの見直し ② 非常食 ・非常食について情報共有、在り方と内容検討 ・自助・互助・共助など連携への検討	① 各施設にてマニュアルを更新している。 必要に応じ、情報共有している。 ② 自助・互助・共助など地域性も含めた対策を整えていく。(現時点では各施設)	① 安全対策は、施設の状況に応じて見直しできた。 ② 必要に応じ情報共有できた。	① 必要に応じた対策の更新 ② 自助、互助、共助など連携 各自治体の情報収集など、具体的に取る。
栄養部門の組織体制の整理、財務の視点	(1) 慈愛会栄養部門の組織体制の検討 ・栄養マネジメントと給食管理の整理、進捗状況をみながら組織体制など検討	・今後の給食方式について、情報共有中(理事長・法人事業本部より) 意見交換会、施設訪問前後の情報共有	・感染や、病欠、休職など人員の少ない状況での給食提供維持のため、対策を立て対応できた。 他施設の取り組み、今後の給食に関して情報共有できた。	・給食施設維持のために体制等の検討、給食方式について学ぶ。 他施設の取り組みなど、必要に応じて見学・情報共有に努める。
	(2) 栄養部門からの収益増に向けて 今村総合病院 個別90件 いづろ今村病院 個別100件 集団40件 透析予防20件 谷山病院 個別20件 集団1件 慈愛会クリニック 個別10件 透析予防180件 七波クリニック 個別30件 亀美病院 個別10件 徳之島病院 個別10件 集団1件 愛と結の街経口維持20件栄養改善 1件 ② 診療報酬、介護報酬の算定拡充 ・対象項目をピックアップして点数獲得に向けて取り組む。	今村総合病院 個別68件 いづろ今村病院 個別118件 集団46件 透析予防29件 谷山病院 個別19件 集団1件 慈愛会クリニック 個別9件 透析予防200件 七波クリニック 個別33件 亀美病院 個別0件 徳之島病院 個別2件 集団0件 経口30件 栄養改善0件 ② 栄養相談、NST関連で実行可能なことに取り組んでいる。	・栄養相談及び、介護(経口維持)の目標との比較 半数は達成できた。 ② 目標に向けて計画的に取り組めた。	・目標を設定して取り組む。 ② 診療報酬・介護報酬の算定拡充に向けて取り組む。 診療報酬・介護報酬改定に合わせ、取り組んでいく。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

管理栄養士のワーキンググループ (WG) に加え、鹿児島市内4施設にて調理師WGも継続している。2024年3月からは、離島の調理師も加わり法人内での調理師間の連携も深められた。調理スタッフ不足により不定期ではあったが、お互いの取り組みや工夫、問題点など共有し、施設間での協力もできた。今後の給食システムについては、法人事業本部とも情報共有しながら、継続的な給食提供に向けて取り組んでいる。

① 栄養ケアマネジメントの機能強化と人材育成

- ・病棟配置に向け、担当の振り分けを検討し、管理栄養士のスキルアップと情報共有に取り組んだ。感染の状況をみながら病棟訪問、入院・入所時のスクリーニングを実施し、適切な食事形態を提供できるよう努めた。健康まつり等のイベントへの参加・協力もできた。
- ・人材育成では、マニュアル見直し等を行い、調理スタッフも新人教育の検討を行った。学会発表、各種研修会への参加・単位取得や新たな資格取得など、自己研鑽に努めている。各種講師依頼への協力、各種関連団体への参加協力にも応じた。栄養士実習生も可能な

限り受け入れ協力している。

- ・学会、院外セミナー、研修会への参加

②給食の合理化と発展に向けた取り組み

- ・感染対応やスタッフ策情報を共有し、各施設の状況に合わせて、体制変更・完調品やカット野菜の導入・献立の簡素化など工夫して給食提供維持に努めた。
- ・食材高騰が続く中、情報と互いの対策を早期共有することで適正な食材費へと対応できた。

③栄養部門の組織体制の整理、財務の視点

- ・慈愛会調理師WGは離島も含み継続し、また合同研修会にてグループワークを行い、顔の見える関係づくりができ、業務改善に繋がる情報交換もできた。
- ・給食システムについて、施設への見学や前後の情報共有や意見交換を法人事業本部と共にいった。
- ・谷山病院・愛と結の街給食部協業化に向け、試作やお互いの作業工程について等、事務部、調理師も含めた協議の場を月1回設けている。
- ・慈愛会の方針など情報共有しながら体制等の検討を進めていく。
- ・診療報酬、介護報酬の算定拡充に向け、対象項目があれば対応できるよう体制を整えていく。栄養相談などは目標設定して取り組みを継続する。

合同研修会

集合（鹿児島市内）とZoomを利用して開催。（栄養部門全職種合同 29名参加）

「第11回 慈愛会栄養部門合同研修会」

・2025年2月22日（土）15：00～17：30

【内容】

I. 報告①

「慈愛会栄養部門WG事業計画と進捗状況」

谷山病院 管理栄養士 四本悠佳

II. 報告②

「徳之島病院での取り組み」

徳之島病院 管理栄養士 清水崇

III. ラダーについて

愛と結の街 管理栄養士 今村瑞香

〔グループワーク内容〕

①調理師ラダーについて

②その他（インシデント、調理の工夫）

IV. 谷山病院厨房見学

技能・能力向上に向けた取り組み

資格取得（2024年度に取得した資格）

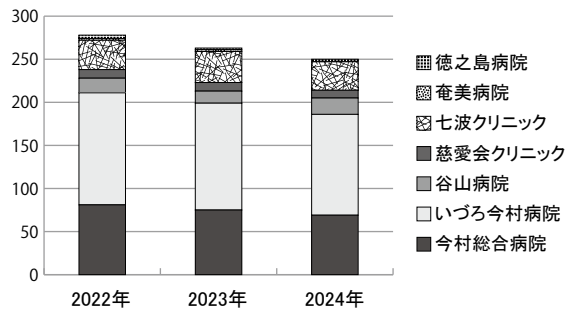
- ・肝疾患病態栄養専門管理栄養士（日本病態栄養士会）
慈愛会クリニック 加藤実穂

院内外活動

- ・病院広報誌へレシピ提供「じあいのとびら」「にじ」
今村総合病院・いづろ今村病院
- ・鹿児島糖尿病療養指導士会役員兼事務局
いづろ今村病院
- ・糖尿病患者会「ななみ会」「いずみ会」
いづろ今村病院・七波クリニック・慈愛会クリニック
- ・鹿児島中央看護専門学校講師
慈愛会クリニック
- ・介護講習会
今村総合病院
- ・鹿児島県栄養士会への協力（DM重症化予防・くらし健康フェスタ・市民健康まつり）
今村総合病院・いづろ今村病院
- ・施設新聞へレシピ提供「愛と結の街新聞」
愛と結の街
- ・院内IBDチーム活動
いづろ今村病院

各種指標

個別栄養食事指導件数（件／月）



	2022年	2023年	2024年
今村総合病院	90	81	69
いづろ今村病院	113	130	117
谷山病院	16	17	19
慈愛会クリニック	12	10	9
七波クリニック	32	34	33
奄美病院	3	2	0
徳之島病院	7	4	3

*糖尿病透析予防指導管理料

いづろ今村病院 353 件／年（2023 年度 311 件／年）

慈愛会クリニック 2,391 件／年（2023 年度 2,461 件／年）

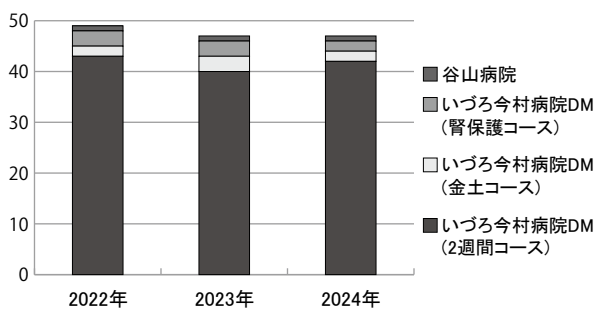
*無料栄養相談（公益事業）

慈愛会クリニック 57 件／年（2023 年度 61 件／年）

*介護関連

愛と結の街 経口維持 360 件／年（2023 年度 328 件）

集団栄養食事指導件数（件／月）



	2022年	2023年	2024年
いづろ今村病院DM (2週間コース)	46	43	42
いづろ今村病院DM (金土コース)	3	2	2
いづろ今村病院DM (腎保護コース)	3	3	2
谷山病院	1	1	1

業 績 一 覧

【学会発表】

いづろ今村病院

<国内>

1. 萬福有理, 内田紗弥, 下野真央, 中藺智美, 植祐美, 藏元まどか, 濱崎静夏: 食事ガイドライン改訂後での高齢者糖尿病患者の栄養評価と BMI 別評価 (外来栄養指導の聞き取り情報から). 第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2024 年 5 月 17-19 日, 東京

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 中村ひとみ: 生活習慣病と食事. 社会福祉協議会 介護講習会, 2024 年 7 月 20 日, 鹿児島

いづろ今村病院

2. 中藺智美: 病院栄養士の体験から. 鹿児島県立短期大学キャリアデザイン, 2024 年 9 月 18 日, 鹿児島
3. 内田紗弥: 糖尿病の食事療法～上手に付き合うためのコツ～. 市民のための糖尿病講演会, 2024 年 11 月 20 日, 鹿児島
4. 萬福有理: 腎臓を守るためにできる、食事の工夫. 世界腎臓デー in かごしま 慢性腎臓病 (CKD) 予防講演会, 2025 年 3 月 15 日, 鹿児島

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

ソーシャルワーカー部門 (JSW)

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域貢献	(1)地域交流会等に参加し、社会福祉・精神保健福祉に関する知識の普及啓発活動に参画する - 鴨池校区コミュニティ協議会への参加1回/月 (今村総合病院) - 鴨池地区福祉合同研修会への参加 (今村総合病院) - かもいけ健康まつりへの参加 (今村総合病院) - いづろ健康・介護まつりへの参画 (いづろ今村病院) - 秋祭りへの参加 (谷山病院・老健愛と結の街) - 自助グループ支援 (谷山病院、奄美病院、徳之島病院) (2)認知症疾患医療センターの役割の充実と機能強化 - 各地域でのお出かけカフェの実施 (奄美病院) - 離島企画、しまロバ隊の継続 (奄美病院)	【いづろ今村病院】 - いづろ健康・介護まつり (相談ブース設置) - 地区介護支援専門員向け勉強会・意見交換会 【谷山病院】 (1)(2) - 秋祭り (谷山病院・老健愛と結の街) は今年度は別々に実施。谷山病院主催「こころのマルシェ」に参加。 - 認知症疾患医療センター合同症例検討会 ・認知症カフェ ・認知症サポーター養成講座 - 認知症疾患医療連携会議 ・介護従事者、医療従事者向け認知症研修会 - かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修 【奄美病院】 (1)(2) - 認知症フレンドリートークライブ ・離島キックオフミーティングシンポジスト - 認知症ケア学会(発表、展示) ・認知症カフェ、後見人相談会 - 認知症疾患医療連携協議会 ・認知症啓発活動(あまみエフエム) - 認知症総合支援対策促進協議会 ・初期集中支援チームへの協力 - 認知症地域支援推進員ネットワーク構築研修 ・認知症かかりつけ医対応力向上フォローアップ研修 - 子ども支援ネット ・ピア交流会 ・精神保健福祉士全国大会発表 ・生活保護ケースワーカー研修 【愛と結の街】 - 本年度より谷山病院と愛と結の街別々で地域交流開催。愛と結の街では「介護マルシェ」と名称変更し、12/1開催。	【いづろ今村病院】 - 本年度より地区コミュニティとの共催となり来場者数が増加。相談ブース利用者は少なかったが、ACP等新たな取り組みも開始している。 【谷山病院】 (1)(2) - 地域交流行事「こころのマルシェ」平日開催にも関わらず子供から高齢の方も参加。 - 認知症疾患医療センター 鹿児島大学、パルランド病院と合同で症例検討会を実施、多職種で実施できた。 【奄美病院】 - 地域に向けて医療や福祉に関する知識の普及活動ができた。また全国規模の学会に参加し、離島における認知症疾患医療センターの役割や取り組みの紹介ができた。 【愛と結の街】 - 介護マルシェに100名以上の来場があり、地域での愛と結の街の存在や役割を紹介することができた。	【いづろ今村病院】 - 親しみやすく、訪れやすいブース作りを検討する。 【谷山病院】 (1)(2) - 地域交流行事「こころのマルシェ」今後もできる範囲で開催 - 認知症疾患医療センター 来年度は認知症カフェを地域で共同開催予定 【奄美病院】 - 引き続き、地域のニーズを把握し福祉活動の普及に貢献していく。 【愛と結の街】 - キッチンカーの出店やゲームなどの催し物があったこともあり、若年者の来訪が予想よりも多かったが、実際に現在介護をされている、もしくは、近未来で予測される方の来場が少なかった。地理的に交通手段等が少ないことも影響している可能性があり次年度の課題となった。
地域連携	(1)関係機関との連携強化 - 外部機関との連携 (全病院) - 地区居宅介護支援事業所向け研修・意見交換会 (いづろ今村病院)	【いづろ今村病院】 - 他医療機関との連携実績：344回 (内訪問：53件) - 地域連携のつどい (医療機関向け) - 地域連携のつどい 地区介護支援専門員向け勉強会・意見交換会 【谷山病院】 - 自立支援協議会への参加 ・県居住支援ネットワーク会議 ・鹿児島市地域移行戦略会議 - 鹿児島市地域生活支援拠点協定法人ミーティング ・セルフヘルプネットかごしま定例会 - 鹿児島市障害者基幹相談支援センター運営協議会 ・ゆうあいフェスティバル実行委員 - 鹿児島南特別支援学校障害者支援施設等説明会 ・鹿児島市重層的支援体制整備事業推進委員会実務者会議 - こころで描く絵画展実行委員 ・日置市相談支援部会 ・鹿児島市地域活動支援センター連携会議	【いづろ今村病院】 - 連携実績は昨年度に比べ変化はないが、訪問件数は増加。診療科医師、多職種で訪問できている。 - 単独での医療機関向け連携の集いを初開催。参加機関からも好評いただいた。 - 地区介護支援専門員向け勉強会・意見交換会も例年通り開催。当院の取り組み等紹介できた。 【谷山病院】 - 行政、医療、福祉、介護機関と緊密に連携を図ることができた。	【いづろ今村病院】 - 継続して連携を図っていく。診療科医師等との訪問も継続。 - 医療機関向け、介護支援専門員向けの連携のつどいも開催。介護支援専門員向けは対象を広げ複数回開催する。 【谷山病院】 - 今後も関係機関との連携を継続していく。

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域連携		【奄美病院】 ・自立支援協議会への参加 ・医療連携室協議会への参加 ・障害支援区分審査会、介護認定審査会 ・龍郷町地域ケア会議 ・龍郷町ケアマネ研修会 ・在宅医療介護連携推進情報共有検討会 ・要保護児童対策地域協議会 ・権利擁護ネットワーク会議 ・医療介護連携協議会 ・在宅医療連携支援研修会 ・自殺対策地域ネットワーク会議 【徳之島病院】 ・自立支援協議会（地域移行地域定着部会）の運営 ・母子連絡会への参加 ・とくのしま居住支援協議会への参加 ・とくのしま居住支援部会（身寄りのない方の支援部会）への参加 ・精神保健業務に係る関係者会への参加 ・自殺対策策定委員会メンテナンス会議への参加 ・徳之島地区入退院支援ルールに係るメンテナンス会議	【奄美病院】 ・医療機関や公的機関と連携し専門性を生かした関わりが持てた。 【徳之島病院】 ・行政や他の医療機関、福祉、介護等の関係機関との連携を図ることができた。	【奄美病院】 ・引き続き、保健所や自立支援協議会と連携し地域が抱える問題の解決に取り組んでいく。 【徳之島病院】 ・今後も関係機関と連携を図り、地域の課題解決への取り組みの継続及び地域のニーズに応えられる病院づくりに向け取り組んでいく。
法人内連携強化	(1) 慈愛会ソーシャルワーカー(JSW)部門の組織体制の強化 ・JSW代表者会開催1回/月（全病院） ・総会準備委員会の開催1回/月（全病院） ・教育委員会1回/月（全病院） ・3精神科病院会議1回/月（谷山病院、奄美病院、徳之島病院） (2) 人材確保 ・合同企業説明会等への参加	【全体】(1)(2) ・JSW代表者会開催1回/月（全病院）12回 ・総会準備委員会の開催1回/月（全病院）12回 ・教育委員会1回/月（全病院）12回 ・3精神科病院会議1回/月（谷山病院、奄美病院、徳之島病院）12回 ・鹿児島国際大学学内合同企業説明会へ参加 3/4	【全体】(1)(2) ・少人数の事業所は複数の会議に兼務で参加したり参加できない状況。 ・説明会では面談ブースに学生が来てくれた。企業説明会で使用する慈愛会のポスターや看板を慈愛会本部看護支援室から借りた。	【全体】(1)(2) ・各種のJSW会議の目的やあり方を検討し見直す。 ・企業説明会で使用できる慈愛会のタペストリーや椅子カバー、テーブルクロスも今後は必要と考える。
教育体制	(1) キャリアラダーを活用した教育体制の充実 ・ラダー内容の見直し（社会福祉士、精神保健福祉士協会に準ずる） (2) 大学や専門学校等の実習生受け入れの継続 ・今村総合病院 1～2名/年 ・谷山病院 2～5名/年 ・奄美病院 1～2名/年 (3) 支援者としての質の担保、向上 ・新人教育研修開催4回/年（全病院） ・活動報告会1回/年（全病院） ・合同事例検討会1回/月（今村総合病院、いづろ今村病院） ・MHSW定例会1回/2カ月（谷山病院） ・MHSW定例会1回/1カ月（奄美病院）	【全体】(1)(3) ・職員能力開発プログラム（キャリアラダー）の申請と認定 ・JSW初任者研修（全4回実施） ・JSW総会、活動報告会の開催（6演題）6/15 【谷山病院】(1)(2)(3) ・キャリアラダー（Ⅰ～Ⅴ）の申請者6名 ・実習生3名受け入れ ・MHSW定例会1回/2カ月（谷山病院） 【奄美病院】(2)(3) ・実習生：1名受け入れ ・実習指導者養成研修サポーター実施 ・月1回の伝達研修実施	【全体】(1)(3) ・キャリアラダーの申請者13名中、認定者は6名。 ・全員が最後の個別発表まで参加できた。 ・集合研修で開催し、活動報告だけでなくグループワークもできて、法人内ソーシャルワーカー同士で関係性や連携を深めることができた。 【谷山病院】(1)(2)(3) ・キャリアラダー（Ⅰ～Ⅴ）の認定者6名。 ・実習生は、志学館大学と鹿児島国際大学。うち2名の実習生は入職希望。採用試験を受験し採用。 ・毎月開催は、できなかった。 【奄美病院】 ・九州医療専門学校	【全体】(1)(3) ・キャリアラダー申請者に対する支援体制の強化。 ・職員能力開発プログラム（キャリアラダー）の内容の見直し。 ・来年度も継続実施。ラダーⅤ以上の方に研修講師を依頼していく。 ・職員数によっては、毎年、同じ職員が活動報告する等負担増もある。演題募集の方法を検討する。 【谷山病院】(1)(2)(3) ・同職種（4名）でキャリア開発推進委員会を開設。キャリアラダー申請者の支援をサポート。キャリアラダー認定証に評価コメントを記載し本人に振り返りと承認をした。 ・志学館大学と鹿児島国際大学の受け入れ体制を整えていく。 ・年度計画に入れて月担当を計画する。 【奄美病院】 ・実習生の受け入れ体制を整えていく。
退院支援	(1) 地域移行・地域定着支援の充実を図る	【谷山病院】 ・鹿児島市保健所 地域移行戦略会議・地域移行推進会議に参加 【奄美病院】 ・「ピア交流会in奄美病院」を2回実施 ・「ピアと語ろう会」を1回実施 【徳之島病院】 ・徳之島保健所 徳之島地区、沖永良部地区、与論地区地域移行・地域定着推進会議に参加 ・ピアサポート専門員との語ろう会への参加	【谷山病院】 ・びあサポーターを活用した地域移行地域定着事業の対象患者を挙げて、退院支援を実施 【奄美病院】 ・入院患者やスタッフに刺激を与えられた。 【徳之島病院】 ・ピアサポーター活用必要性について関係機関との課題の共有を図れた。 ・ピアサポーターの啓発活動につながった。	【谷山病院】 ・多職種連携を密にして退院支援を強化する。 【奄美病院】 ・ピアサポーターの協力の下、さらなる地域移行地域定着支援の充実を図る。 【徳之島病院】 ・ピアサポーターの普及・啓発活動の継続とピアサポーター育成に向けた体制作りへの調整を進め、地域移行地域定着支援の充実を図る。

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
財務	(1)算定可能な加算等を積極的に取得していく ・診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定への順応 (全病院) (2)相談支援専門員を増員し、契約者数の増加を目指し支援の充実を図る。	【谷山病院】(1) ・介護支援等連携指導料：12件 ・精神科急性期医師配置加算：464件 ・地域移行実施加算：10件 ・精神科退院前訪問指導料(指導料・共同訪問) ・退院調整加算：13件 (2024.5まで算定) 【奄美病院】 ・依存症集団療法：28件 ・介護支援等連携指導料：67件 ・精神科急性期医師配置加算：8,507件 ・地域移行実施加算：5件 ・精神科退院前訪問指導料：191件 ・退院調整加算：8件 【徳之島病院】 ・介護連携等指導料：15件 ・地域移行実施加算：10件 ・精神科退院前訪問指導料：19件 (2)【あゆみ】 ・相談支援従事者現任研修1名参加 ・相談支援専門員1名補充したが1カ月で退職した。	【谷山病院】(1) ・算定可能な診療報酬を積極的に算定した。 【奄美病院】 ・多職種へも積極的に働きかけ算定ができた。 【徳之島病院】 ・算定可能な診療報酬について人員不足や院内連携不足等により、確実な取得には至らなかった。 (2)【あゆみ】 ・年度末には相談支援専門員の退職あり。職員が適正人数に足りず契約者数も減少となった。	【谷山病院】(1) ・継続的に算定できる体制を整える。 【奄美病院】 ・引き続き算定可能な加算を取得していく。 【徳之島病院】 ・人員体制や算定までの院内連携の見直しを行い、確実に取得できるよう改善を図っていく。 (2)【あゆみ】 ・引き続きリクルート活動を行う。またタスクシフトやITの活用で人手不足を補う。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会ソーシャルワーカー部 (JSW)

いづろ今村病院：2名

今村総合病院：11名

谷山病院：30名 (奄美病院への派遣1名は除く)

奄美病院：9名 (内1名は谷山病院から派遣)

徳之島病院：3名

介護老人保健施設愛と結の街：4名 計59名

【人事交流・施設間の協力体制】

谷山病院より奄美病院に(1名)、精神保健福祉士を派遣

【2023年度の活動】

1. JSW代表者会議 (12回/年)

(目的)

慈愛会内のソーシャルワーカー間の情報共有を図ることで、質の高いマネジメントを行い、互いの業務、役割、現状を知ること、法人内の連携を強化することを目的としている。

2. JSW総会・合同研修会準備班 (1回/年)

(目的)

総会準備、合同研修会の企画立案を目的としている。

3. JSW教育委員会 (2017年12月より教育プログラム作成委員会として活動。2019年4月名称変更) (12回/年) (目的)

統一した教育プログラムの作成、運用により、援助の質の担保、離職防止を図ることを目的としている。

合同研修会

【慈愛会ソーシャルワーカー部門総会・研修会】

・2024年6月15日(土) 13:30-17:30

・集合とオンライン (Zoom) のハイブリット開催

<内容>

・理事長挨拶

・「キャリアラダーについて」(10分間：質疑応答含む)

・JSW活動報告会 (5事例+グループワーク)

①「地域連携室合同パンフレットの作成報告」

いづろ今村病院 南尚江

②「病院から在宅へ切れ目のない支援の実現を目指して～退院後訪問の導入に向けた取り組み～」

今村総合病院 馬場園望

③「多飲水と体重コントロール～長期入院患者の退院後支援を通して～」

相談支援事業所あゆみ 悦本遼

④「精神障害者の地域移行～地域移行推進会議に参加して～」

谷山病院 佐々木奈美

- ⑤「地域活動支援センター事業における現状と今後の課題 ～TQM活動を通して見えた地域を巻き込んだ今後の事業展開について～」

地域活動支援センターひだまり 佐澤佳史朗

・グループワーク「慈愛会ソーシャルワーカーとして」

【慈愛会ソーシャルワーカー 初任者研修】

対象：2024年度新規採用者3名、2023年度中途採用者1名
計3名

会場：集合研修・Zoom使用

①2024年5月25日（土）8:30-12:30

- ・慈愛会でのSWの役割、JSW、慈愛会フィロソフィについて（講師：谷山病院 内門直人）
- ・慈愛会における各施設の機能や連携について（講師：各施設代表者）
- ・倫理綱領、SWの価値・倫理について（講師：いづろ今村病院 南尚江）

②2024年8月24日（土）8:30-12:30

- ・スーパービジョンについて（講師：奄美病院 西牟田智子）
- ・面接技法、コミュニケーションスキルについて（講師：共同生活援助事業所しらゆりの郷 満窪圭吾）
- ・精神保健福祉について（講師：谷山病院 別府千尋）
- ・ストレスマネジメントについて（講師：いづろ今村病院 南尚江）

③2024年11月16日（土）8:30-12:30

- ・無料低額診療について（講師：谷山病院 黒瀬絢未）
- ・社会保障（年金、公的扶助）について（講師：今村総合病院 上野彩乃）
- ・障害者福祉について（講師：共同生活支援事業所しらゆりの郷 遠矢ふみ）
- ・介護保険について（講師：居宅介護支援事業所愛と結の街 山中ゆかり）
- ・ケース記録の必要性、個人情報の取扱いについて（講師：今村総合病院 日高洋美）

④2025年3月8日（土）8:30-12:30

- ・離島医療について（講師：奄美病院 吉村あゆみ）
- ・個別発表（1年間の総括、自己覚知および事例発

表を行う）

【いづろ今村病院・今村総合病院 合同症例検討会】

①2024年4月24日

症例提供者：相羽遙日（今村総合病院）

テーマ：意向決定が難しい患者様とご家族への支援

②2024年5月29日

症例提供者：辻恵里（今村総合病院）

テーマ：多面的支援でのMSWの役割

※オンラインでの疎通性の難しさ等あり、合同での開催は中止とした。

【今村総合病院 事例検討会】

①2024年6月26日

症例提供者：原田美和

テーマ：身寄り問題について考える

②2024年7月31日

症例提供者：迫山富貴子

テーマ：長期入院者の家族との関わり方と感情コントロールの仕方について

③2024年9月25日

症例提供者：上野彩乃

テーマ：社会福祉士の倫理基準を果たしているかの振り返り

④2024年10月23日

症例提供者：倉英子

テーマ：本人と在宅チームで意向が異なった事例

⑤2024年11月27日

症例提供者：前岡未玖

テーマ：ソーシャルワーカーとしてのアセスメント

⑥2025年1月22日

症例提供者：平山翔大

テーマ：身寄りがいない・KPがいない患者に対しての支援

⑦2025年2月26日

症例提供者：平山翔大

テーマ：身寄りがいない・KPがいない患者に対しての支援

⑧日付：2025年3月26日

症例提供者：久松聡一郎

テーマ：パーソナリティ障害をもつ患者様の治療継続を支えるには

【谷山病院 事例検討会】

①2024年6月15日

症例提供者：鈴木朋哉

テーマ：ご本人、ご家族の意向と医療機関側の意向
の不一致について

②2024年7月20日

症例提供者：濱崎健志

テーマ：入退院を繰り返す患者の退院支援について

③2024年8月7日

症例提供者：元見竜也

テーマ：再入院患者の荷物について

④2024年9月7日

症例提供者：濱田凌

テーマ：ご本人とご家族の意向が違う方の退院支援
について

⑤2024年12月21日

症例提供者：黒瀬絢未

研修報告：強度行動障害について ストラテジー・
シートの活用について

⑥2025年2月15日

症例提供者：新谷真由子

テーマ：退院支援の基本に立ち返る ～自閉傾向が強
い患者の事例を通して～

⑦2024年3月15日

症例提供者：有馬喜隆

テーマ：長期入院患者の退院支援について ～どこか
ら、何から始めたら良いか～

【奄美病院 院内勉強会】

①2024年8月10日

症例提供者：貴島世梨香

テーマ：意思決定支援について

②2024年10月5日

症例提供者：有村美幸

テーマ：本人中心の支援とは～子どもとの関わり
の中で～

③2025年1月11日

症例提供者：吉村あゆみ

テーマ：お仕事に役立つWRAPを作ろう

④2025年3月22日

症例提供者：濱平真維

テーマ：離島医療の実践を通して

技能・能力向上に向けた取り組み

【2024年度取得資格】

- ・両立支援コーディネーター基礎研修：1名
今村総合病院：1名 谷山病院：1名
- ・がん相談支援センター相談員基礎研修（1）（2）知識確認コース：4名
今村総合病院：4名 日高洋美、平山翔大、相羽遙日、久松聡一郎

【有資格者数】

- 社会福祉士：42名（実習指導者：6名）
 - ・今村総合病院：8名（実習指導者：5名）
原田美和、辻恵里、日高洋美、上野彩乃、倉英子、相羽遙日、久松聡一郎、平山翔大（実習指導者）原田美和、日高洋美、辻恵理、上野彩乃、倉英子
 - ・いづろ今村病院：2名（実習指導者：0名）
南尚江、内屋敷香織
 - ・谷山病院：20名（実習指導者：0名）
岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、久保早苗、上ノ堀知美、今元大祐、松崎里香、満窪圭吾、遠矢ふみ、染川悠希、内門直人、住吉亜紀美、別府千尋、前田結華、濱田凌、黒瀬絢未、元見竜也、濱崎健志、鈴木朋哉、新谷真由子
 - ・奄美病院：8名（実習指導者：1名）
下田清一、吉村あゆみ、西牟田智子、有村美幸、貴島世梨香、悦本遼、濱平真維、上堂雅美（実習指導者）西牟田智子
 - ・愛と結の街：4名（実習指導者：0名）
齋藤尚美、今元浩子、高城明子、中西鉄矢
- 精神保健福祉士：45名（実習指導者：15名）
 - ・今村総合病院：4名（実習指導者：0名）
上野彩乃、前岡美玖、迫山富貴子、永田悠果
 - ・谷山病院：29名（実習指導者：13名）
岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、島由紀子、久保早苗、上ノ堀知美、古園友理恵、佐澤佳史朗、今元大祐、茅野真奈美、栗坂林子、満窪圭吾、遠矢ふみ、染川悠希、芹ヶ野春美、清水一寿子、有馬喜隆、内門直人、住吉亜紀美、宮竹敦史、

佐々木奈美、別府千尋、前田結華、濱田凌、
黒瀬絢未、元見竜也、濱崎健志、鈴木朋哉、
新谷真由子

(実習指導者) 岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、
満窪圭吾、久保早苗、内門直人、住吉亜紀美、
宮竹敦史、清水一寿子、佐々木奈美、別府千尋、
新谷真由子、佐澤佳史朗

・奄美病院：9名(実習指導者：2名)

下田清一、吉村あゆみ、西牟田智子、有村美幸、
森越志保、貴島世梨香、悦本遼、濱平真維、
上堂雅美

(実習指導者) 下田清一、西牟田智子

・徳之島病院：3名(実習指導者：0名)

梅岡啓香、山口いずみ、本山和秀

○介護福祉士：4名

・愛と結の街：3名

齋藤尚美、今元浩子、中西鉄矢

・奄美病院：1名 勝田英明

○介護支援専門員：2名

・いづろ今村病院：1名 南尚江

・愛と結の街：1名 中西鉄矢

○相談支援専門員：13名

・谷山病院：8名

岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、島由紀子、
久保早苗、上ノ堀知美、古園友理恵、前田結華

・奄美病院：5名

下田清一、吉村あゆみ、有村美幸、悦本遼、
勝田英明

○サービス管理責任者：7名

・谷山病院：4名 満窪圭吾、岩元利保子、佐々木奈美、
遠矢ふみ

・奄美病院：3名 下田清一、吉村あゆみ、有村美幸

○がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)知

識確認コース終了者：8名

・今村総合病院：7名 原田美和、辻恵理、上野彩乃、
日高洋美、平山翔大、相羽遥日、久松聡一郎

・いづろ今村病院：1名 南尚江

○福祉住環境コーディネーター：2名

・愛と結の街：1名 中西鉄矢

・奄美病院：1名 西牟田智子

○公認心理師：3名

・いづろ今村病院：1名 南尚江

・奄美病院：2名 西牟田智子、貴島世梨香

○認定社会福祉士認証・認定機構 認定社会福祉士(障
害分野)：1名

・奄美病院：1名 西牟田智子

○認定社会福祉士認証・認定機構 認定スーパーバイ
ザー：1名

・奄美病院：1名 西牟田智子

○認知症ケア専門士：1名

・奄美病院名：1名 西牟田智子

○認定精神保健福祉士：1名

・谷山病院：1名 内門直人

○両立支援コーディネーター基礎研修：17名

・今村総合病院：11名 原田美和、日高洋美、辻恵理、
上野彩乃、倉英子、前岡美玖、平山翔大、相羽遥日、
久松聡一郎、迫山富貴子、永田悠果

・いづろ今村病院：1名 南尚江

・谷山病院：1名 内門直人

・奄美病院：4名 吉村あゆみ、西牟田智子、森越志保、
貴島世梨香

○WRAPファシリテーター養成研修：4名

・奄美病院：4名 吉村あゆみ、西牟田智子、森越志保、
悦本遼

院内外活動

【啓発活動】

・鹿児島県生活保護ケースワーカー研修会「地域におけ
る精神障害者の自立支援」

奄美病院：西牟田智子

・成年後見相談会・認知症カフェ in宇検村(宇検村地域包

括支援センター主催)「成年後見相談会・認知症講演会」

奄美病院：森越志保

- ・介護予防はつらつ教室(笠利町地域包括支援センター主催)「認知症講演会」

奄美病院：森越志保

- ・龍郷町おでかけ相談カフェ(龍郷町地域包括支援センター主催)「成年後見相談会・認知症講演会」

奄美病院：西牟田智子

- ・嘉渡どうくさ会(龍郷町地域包括支援センター主催)「認知症講演会」

奄美病院：森越志保

【院外活動】

- ・介護認定審査会（奄美地区）

奄美病院：吉村あゆみ、西牟田智子、有村美幸、

貴島世梨香、悦本遼

- ・鹿児島県精神医療審査会委員

谷山病院：住吉亜紀美

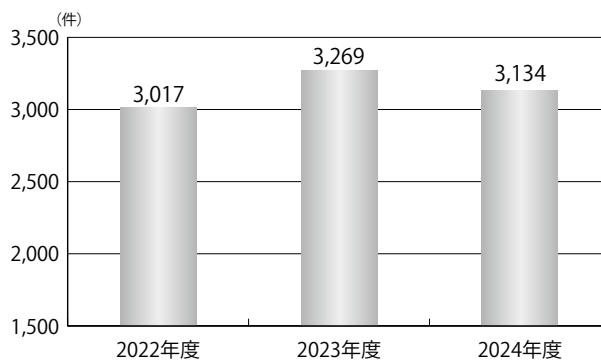
- ・鹿児島国際大学 非常勤講師

谷山病院：内門直人

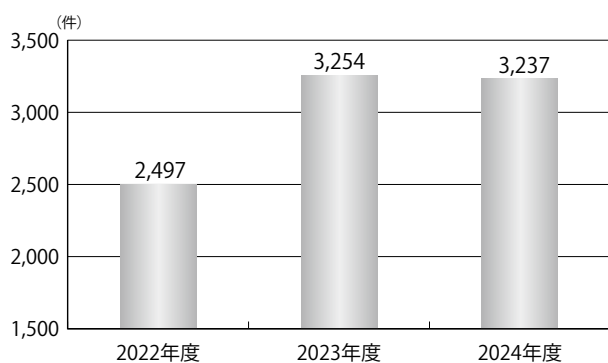
各種指標

今村総合病院

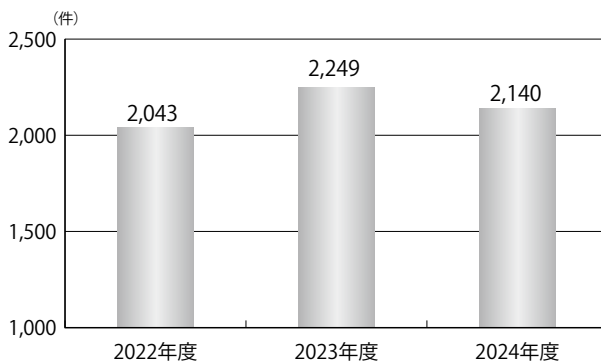
介入者数（延べ患者数）



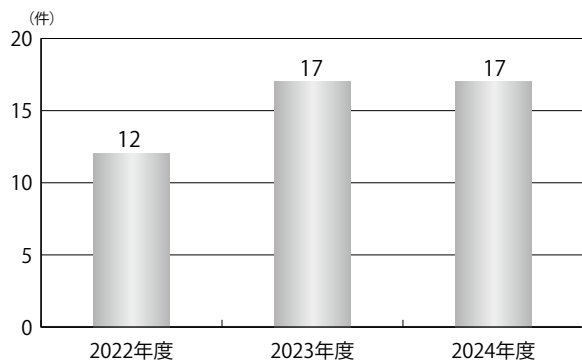
終了者数（延べ患者数）



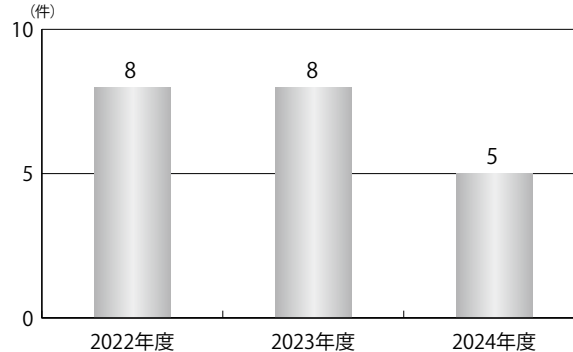
入退院支援加算1



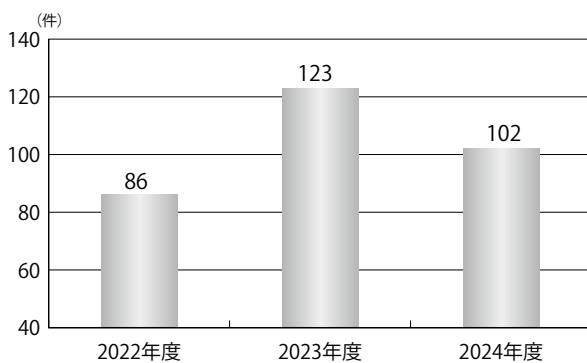
退院時共同指導料2



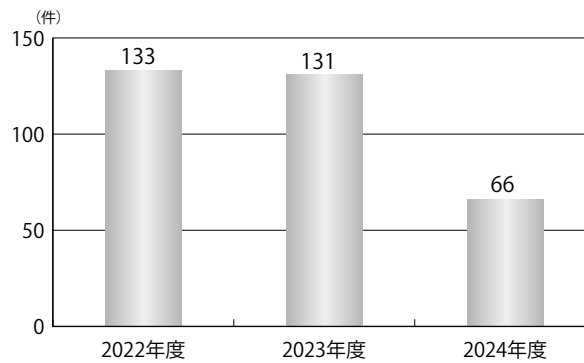
多機関共同指導加算



介護支援等連携指導料

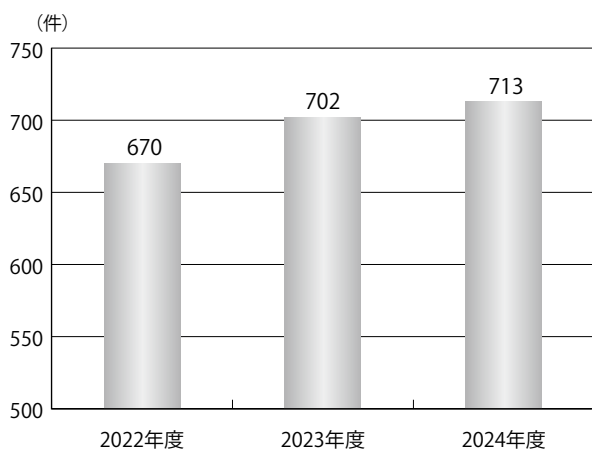


地域連携診療計画加算

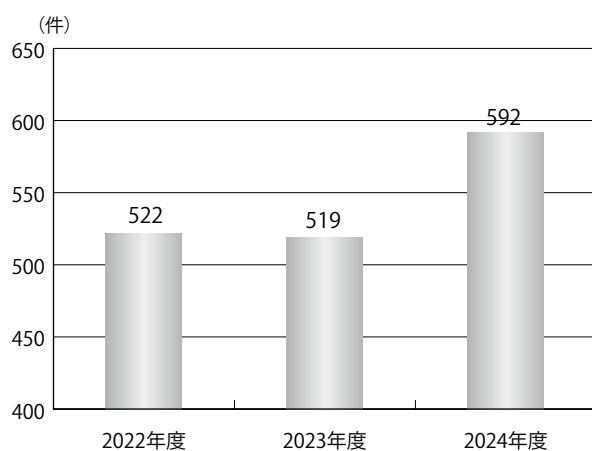


いづろ今村病院

介入者数（延べ患者）



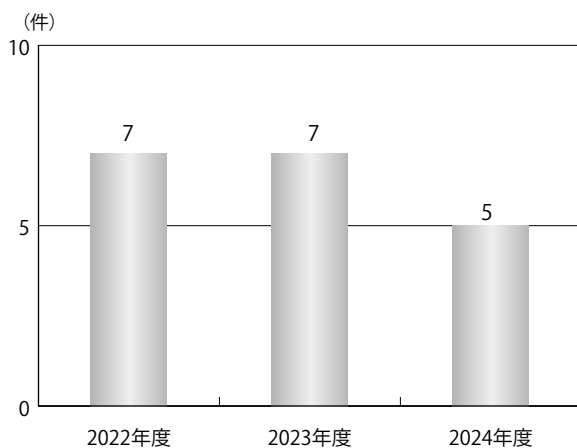
入退院支援加算1



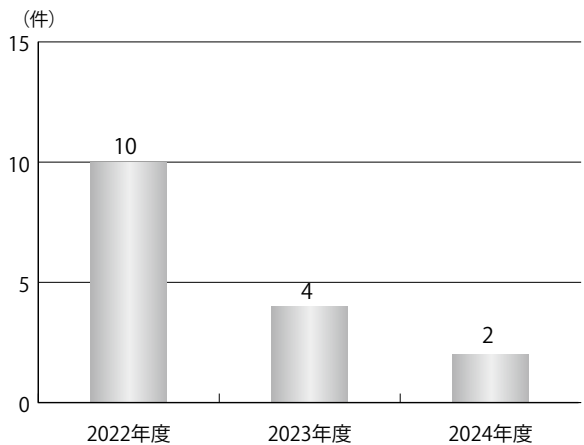
退院時共同指導料2



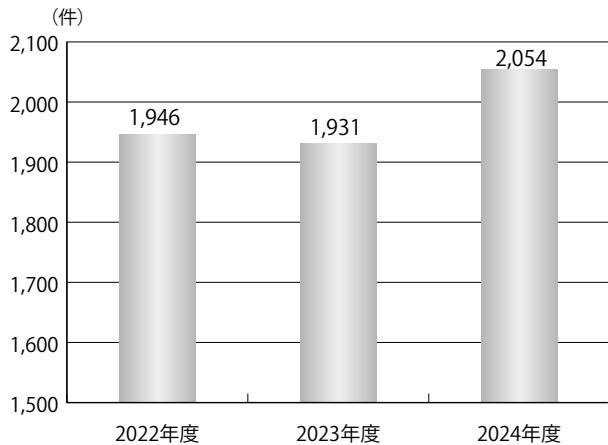
多機関共同指導加算



介護支援等連携指導料

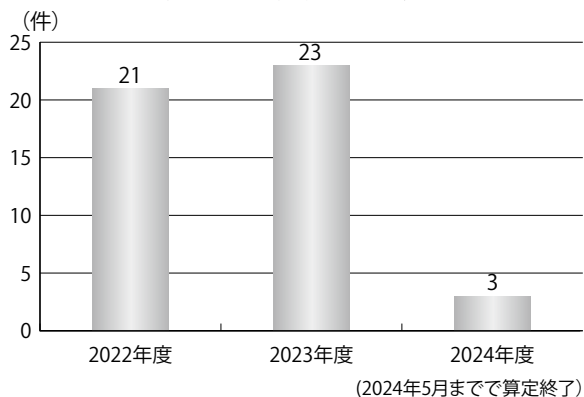


患者サポート体制充実加算

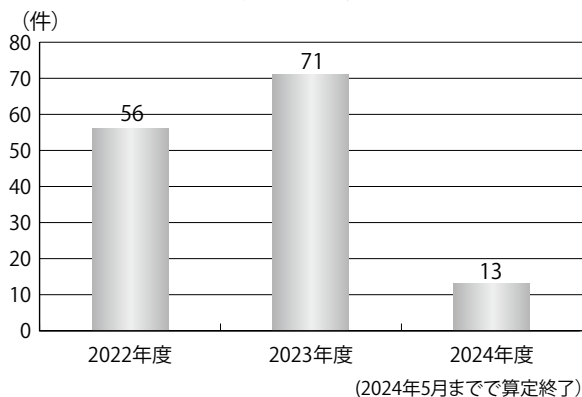


谷山病院

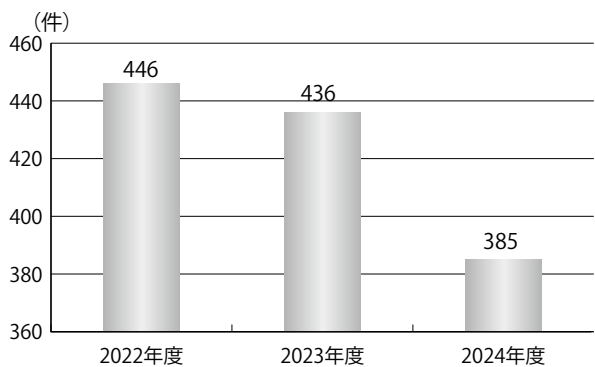
院内標準診療計画加算



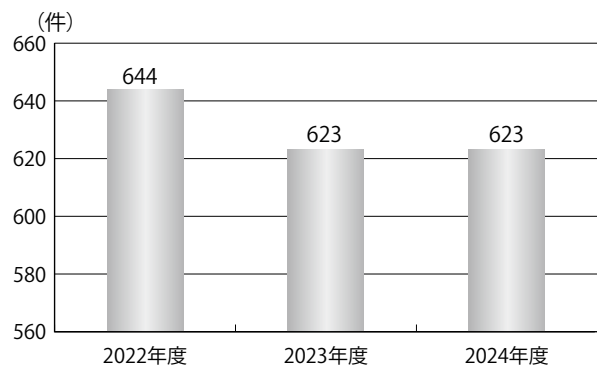
退院調整加算



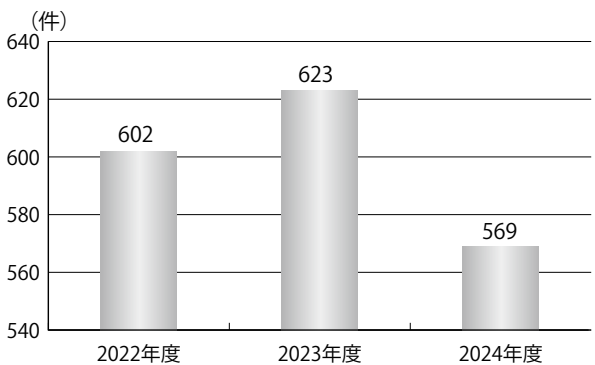
患者サポート体制加算



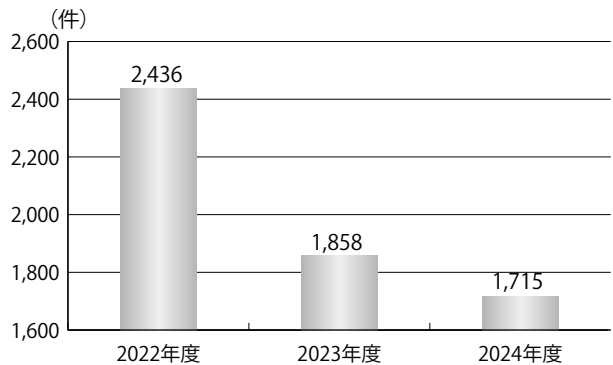
療養病棟退院支援委員会件数 C5病棟



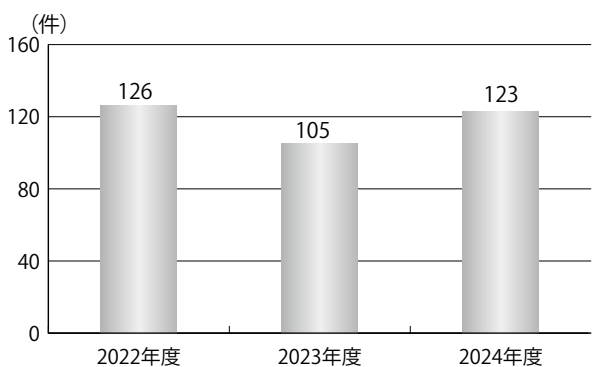
療養病棟退院支援委員会件数 C6病棟



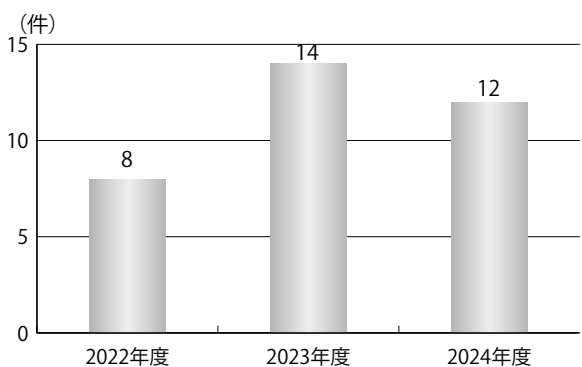
受診入院相談件数



退院前訪問指導料

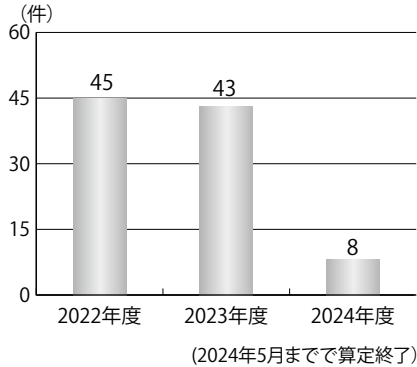


介護支援等連携指導料

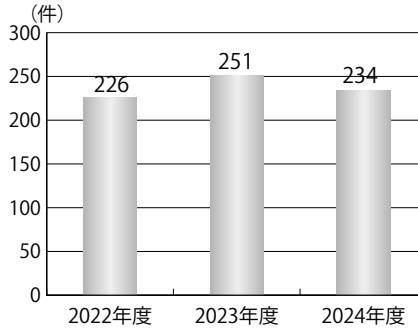


奄美病院

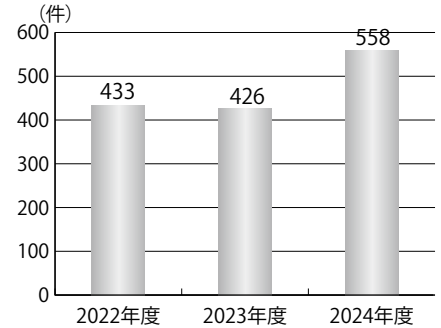
退院調整加算



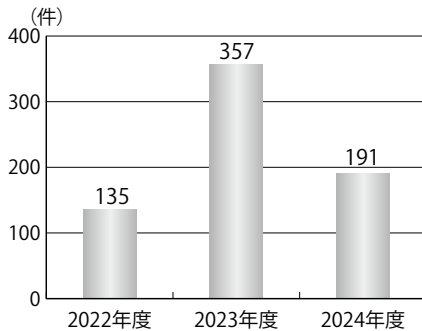
患者サポート体制加算



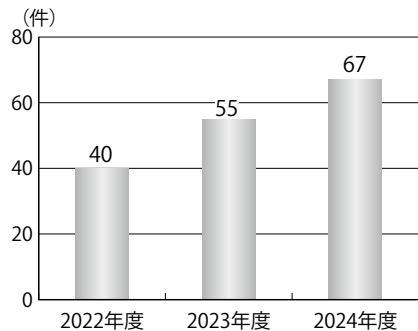
療養病棟退院支援委員会件数
(2西病棟)



退院前訪問指導料

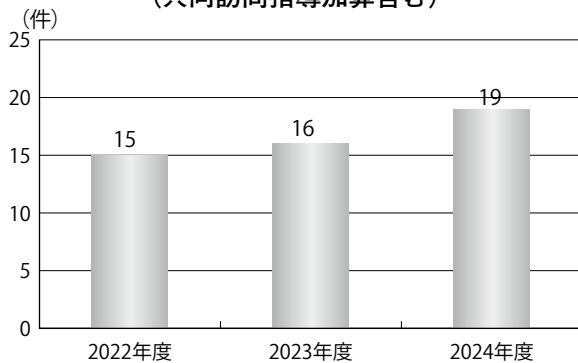


介護支援等連携指導料

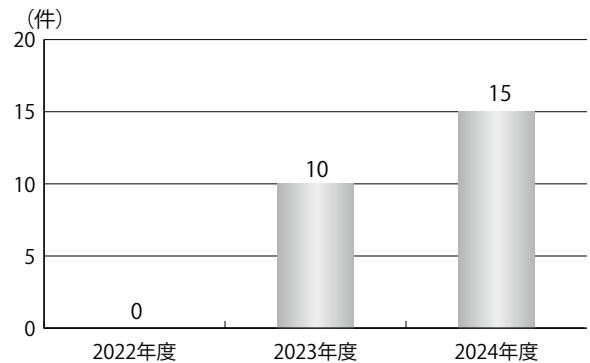


徳之島病院

退院前訪問指導料
(共同訪問指導加算含む)

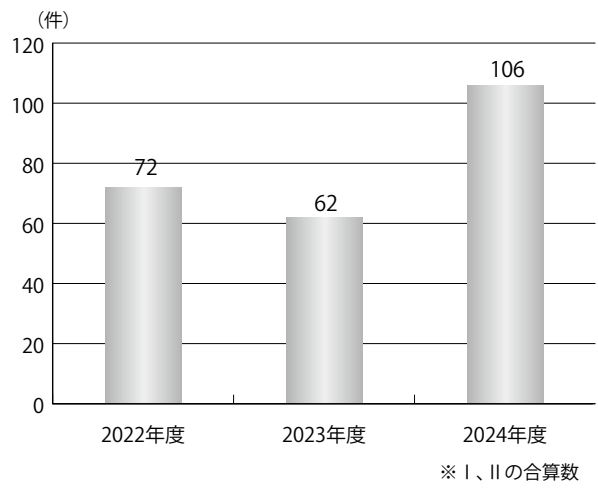


介護支援等連携指導料

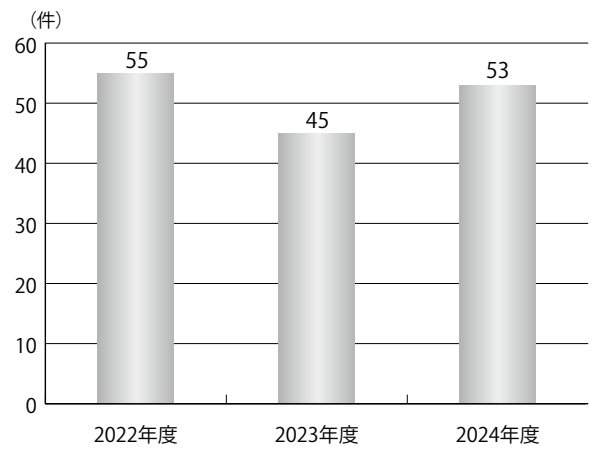


介護老人保健施設 愛と結の街

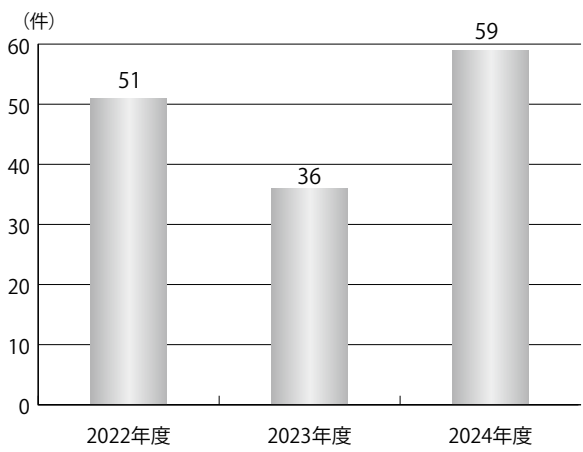
退所時情報提供加算



入退所前連携加算 II



入所前後訪問指導加算 I



業 績 一 覧

【学会発表】

谷山病院

1. 別府千尋：鹿児島市における認知症疾患医療センターの活動と今後の課題。第59回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会，2024年9月28日，姫路

奄美病院

< 国内 >

1. 西牟田智子，森越志保：認知症支援の啓発「しまロバ隊」で鹿児島をオレンジに染める～SNSやオンラインツールで離島の距離的ハンデを強みに変えて～。第25回日本認知症ケア学会，2024年6月15日，東京
2. 西牟田智子，濱平真維：認知症企画展しまロバ隊～SNSを活用した合同展示で鹿児島の離島をオレンジに染める。第59回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会，2024年9月28日，姫路

(第4回慈愛会学会学術集会での発表業績はP84-87 参照)

【研究会・講演会】

谷山病院

1. 佐々木奈美：地域移行・地域定着の実践に向けて。令和6年度鹿児島県精神障害者地域移行・地域定着推進研修会，2025年2月10日，鹿児島

奄美病院

1. 森越志保：認知症について。龍郷町介護保険専門員研修会，2024年9月17日，大島郡龍郷町
2. 西牟田智子：地域における精神障害者の自立支援。鹿児島県生活保護ケースワーカー研修会，2024年12月3日，鹿児島

【マスメディア】

奄美病院

1. 森越志保，西牟田智子：認知症啓発。あまみエフエム，2024年9月21日
2. 森越志保，西牟田智子：世界アルツハイマー月間の取り組みについて。南海日日新聞，2024年9月22日

臨床工学技士(CE)部門

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会の臨床工学部門は本年度も今村総合病院にのみ在籍しており関連施設との連携、共同事業は行えないが、いづろ今村病院への業務支援を2018年の臨床工学部門業務統合より継続している。

本年度から、週3回の午後訪問支援から週3回の常勤業務に変更し、中央機器管理以外の業務支援や委員会活動にも参加し始めた。業務支援の追加点として、白血球除去療法や腹水濃縮再静注療法などアフエレーシス業務を院内で行える体制を再建できた。

今村総合病院においては、透析センターでの血液浄化部門と病棟でのME部門に分かれ業務を行っている。ME部門では、各領域の医療機器の選定と購入や保守契約等に介入し、中央材料室等のCE管理への移行と拡充が進んだ。業務の効率化を目的に手術室・ICUモニタの遠隔モニタリングシステムをA棟4階に導入し、効率的な業務運営が可能となった。

人員不足により中断されていた透析センター勤務者のローテーションを再開し、15時からの1時間程度ではあるが、輪番で1名がME部門業務を行っている。これによって、グローバルな業務を担える若手の育成を推進することが可能となった。

透析センターでは、4名の退職者があり人員確保のため、臨床工学技士養成校からの実習生受け入れや鹿児島県臨床工学技士会活動を通じて人員確保のための情報収集などを行い、中途採用者2名と、当院で実習を行った学生2名を受け入れることができた。

本年度は血液内科の治験参加や下甕手打診療所（薩摩川内市）の透析室より業務支援要請があり11月から奇数月に1名の業務支援担当者を派遣し、現地スタッフへの指導にあたっている。来年度も継続し手打診療所のニーズに合った業務支援を行っていく予定である。

学会・研修会参加

第34回日本臨床工学会

第69回日本透析医学会学術集会

第19回九州・沖縄臨床工学会鹿児島大会（ポスター発表）
かごわい2024（発表）

第15回日本腎臓リハビリテーション学会

第4回日本腎臓病看護学会学術集会

第24回心電図セミナー

第26回エンドトキシン血症治療研究会

技能・能力向上に向けた取り組み

【資格・認定取得実績】

- ・透析技術認定士：2名
- ・3学会合同呼吸療法認定士：1名
- ・植込み型心臓不整脈デバイス認定士：1名
- ・第2種滅菌技士：1名
- ・業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修：4名
- ・認定血液浄化臨床工学技士受験：1名
- ・認定集中治療関連臨床工学技士受験：1名

各種指標

（単位：件）

	2022年度	2023年度	2024年度
透析	25,236	25,859	25,410
病棟透析	275	234	329
CRRT	275	234	255
DFPP	15	31	15
PE	18	14	56
CART	34	29	26
PMX	19	6	8
HBO	198	212	328

業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. 中鶴良登, 竹之内聖三, 田淵智久, 中村英仁, 坂口政人: ビタミン E 固定化膜使用前後での栄養状態の比較. 第 69 回日本透析医学会学術集会・総会, 2024 年 6 月 7-9 日, 神奈川

(第 4 回慈愛会学会学術集会での発表業績は P84-87 参照)

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 中鶴良登: 当院のブラッドアクセス管理について. かごわい 2024, 2024 年 10 月 19 日, 鹿児島

部門別 事業報告(PDCA) 総括 業績一覧

事務部門

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
公正・公平な処遇の実現	(1)ドクターパフォーマンスレビューの進化(深化)、部門別原価計算の導入 ・医師年俸への賞与導入に向けての実施策検討 ・管理原価計算および病棟別原価計算等を活用した目標設定 (2)一般職員給与体系の見直し ・採用競争力向上に資する給与制度構築 ・役割等級制度への移行 (3)一般職員の評価制度見直し、人事考課システムの導入 ・原価計算を活用した部門業績を個人の処遇に反映させる評価制度の構築 ・人事考課に基づく賞与査定導入に向けての検討 ・効率的な人事考課システムの選定作業実施 (4)嘱託職員の給与水準の適正化 ・定年後再雇用職員の給与体系見直し ・正職員給与体系見直しに伴い同程度幅での給与水準への見直し	(1)2024年冬季賞与より、プラス査定による賞与支給実施 (2)2024年9月分給与(10/10支給分)より新給与体系に移行 ・給与制度改定延期による一時金支給10/31 給与制度改定延期期間昇給分(4月～8月)を一時金として支給 ・2025年7月定期昇給に向けたシステム構築 (3)人事評価制度改定、評価システム導入に向けて日本経営と打ち合わせ実施 ・人事評価制度構築支援について日本経営と契約締結 ・日本経営「人事評価NAVIGATOR」システム導入予定 (4)嘱託職員の給与水準の適正化 ・定年後再雇用職員について、定年時の給与の75%未満に下げるという規定は廃止。再度経歴換算を行い、職務内容に見合った給与支給額へ見直し。 ・昇給額は正職員の9割程度となるよう改定。・嘱託職員給料表を改定し、初任給は正職員とほぼ同水準とし、その後の定期昇給額は正職員の9割程度となるよう改定。	(1)査定の基準について、業績への貢献度を反映できるよう見直しが必要 (2)給与制度改定は完了 - 引き続き、職員への丁寧な説明に努めることが必要 (3)人事評価制度について日本経営との協議開始 - 各職種のメンバーも含め制度構築していく (4)実施済み	(1)査定の基準項目の検討、見直し実施 (2)給与制度については、より良い制度を目指し検討を継続する。 引き続き、職員への丁寧な説明に努めることが必要 (3)幅広い意見を聞きながら、職員の成長、やりがいにつながる制度を構築していく。
多様性に対応できる人事施策の展開	(1)更なる法人内連携強化に向けての組織体制の構築 ・在宅支援部門および水産会館跡地活用におけるプロジェクトへの参画 (2)地域社会および法人外事業所等との連携の展開 ・県内外医療機関との人材交流の実施、および高いスキルを有する職員派遣による業務・経営支援の展開 ・大学生のインターンシップの継続実施および異業種事業所からの人材導入 (3)効果的なリクルート活動の実施、多様な働き方への対応 ・奨学金制度、リファerral制度の拡充 ・求人情報発信媒体の見直し ・リクルート専担者の配置検討 ・中途採用者の受け入れ強化、早期戦力化 ・正職短時間制度対象職種拡充等による柔軟な働き方への対応による離職防止 (4)人事情報の集中一元管理システムの構築 ・タレントマネジメントに対応できるシステムの選定作業実施	(1)慈愛会トータルヘルスケアシステム構築検討 ・2025年4月より経営マネジメント推進室を立ち上げ予定。法人全体の課題解決に取り組む。 (2)外部医療機関の経営支援、関連法人の資金繰り管理等実施中 (3)効果的なリクルート活動の実施、多様な働き方への対応 ・リファerral制度の対象職種拡大、柔軟な運用試行 ・医療従事者養成校学生向けの奨学金制度改定 - 対象職種を拡大し、採用力強化を図る。	(1)スピード感を持って各種課題解決を図る必要あり (2)引き続き支援を継続し、利益確保できる水準を目指すことが必要 - 当法人職員の派遣については不十分な水準 (3)リファerral制度、奨学金制度等新たな取り組みができた。 - 実際の採用に繋がるよう、効果検証行う。 - 中途採用者の早期戦力化については更なる取り組みが必要	(1)慈愛会トータルヘルスケアシステムの早期構築 - 経営マネジメント推進室を中心としたスピーディーな課題解決 (2)引き続き支援を継続し、利益確保できる水準を目指す。 - 慈愛会アド・ベンチャー制度の構築、副業規程の制定 (3)中途採用者の早期戦力化への取り組み (4)2025年度中のシステム構築

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域社会、地域医療機関他に貢献できる人材の育成	(1)キャリアラダーに基づく人材育成、若手職員の積極的登用・法人内開業制度の検討・幹部候補者に対する研修制度構築・役職者任期制度の見直し (2)長期研修派遣制度、キャリアアップ支援強化継続 ・派遣者の研修修了後活用状況の検証 ・派遣要領、奨学金制度の見直し (3)法人外医療機関他との人材交流および人的派遣 ・法人外事業所への人的支援制度の構築 ・スタッフ派遣の形態、報酬についての検討	(1)給与制度改定済。今後、人事評価制度および人材開発・教育開発制度の見直しを進めていく。 (2)資格取得奨学金制度の見直し実施 (3)外部医療機関、関連法人の経営改善支援実施中	(1)給与制度については引き続き検討が必要 (3)引き続き支援を継続し、利益確保できる水準を目指すことが必要	(1)マネジメントラダーの整備 慈愛会アド・ベンチャー制度の構築 (2)資格取得後の活動・勤務状況・組織への貢献等検証 (3)支援を継続し、利益確保できる水準を目指す。
収益性と安全性を維持できる医療経営への転換	(1)的確に財務状況を認識できる管理会計の展開、法人予算達成への取組み ・事業利益、償却前事業利益に着目した管理会計の実施 ・補助金等を控除した実力ベースでの利益管理 ・予実管理の徹底、課題に対する具体的対策を迅速に実行 (2)事務長会の活性化による各種課題の解決 ・予算達成のための具体的な取組み事項立案、実行 ・法人全体の課題に関する協議、解決策の提案実施 (3)計画的設備投資による事業の継続 ・事業継続に必要とされる設備投資実施状況の検証 ・本部貸付制度の積極的活用 ・柔軟な金融資産運用方法の検討 (4)将来の建物改修準備資金の確保 ・将来の投資規模、時期、必要積立額の明確化 ・建物再建設準備資金確保に基づく目標キャッシュフロー管理の実施	(1)2025年3月末実績 (単位: 百万円) ⇒事業収益: 24,141、事業費用: 24,821 ⇒事業利益▲681 償却前利益: 460、長期借入金返済: 761、自己資金設備投資: 408、リース調整: 11 → 最終C/F▲701 (2)経営マネジメント推進室を立ち上げ予定、収益改善へ取り組んでいく。 (3)2025.3月までの自己資金による設備投資額 408百万円 ・リース、割賦等も活用し、計画的に設備投資実施中 ・資金運用規程の見直し実施 2025年度より積極的な運用も開始予定 (4)同左 ・2025.3月までの積立額 39百万円	(1)大幅な赤字計上 ・迅速な対策の実施が必要 (2)同左 (3)リース・割賦も活用し、必要な投資は計画的に実施されている。 (4)2024年度目標 177百万円 目標比▲138百万円	(1)2025年度予算 (単位: 百万円) ⇒事業収益: 25,160、事業費用: 24,970 → 事業利益: 190 償却前利益: 1,199、長期借入金返済: 832、自己資金設備投資: 284、→ 最終C/F+82 (2)予実管理の徹底 経営マネジメント推進室を中心としたスピーディーな課題解決 (3)引き続き、リース・割賦も活用し、適切なタイミングでの投資を促していく。 (4)2025年度目標 109百万円
各種会計基準に基づく適正・適確な経理処理の実施	(1)インボイス制度、電子帳簿保存法への適切な対応 ・適格請求書登録事業者の継続的な確認の実施 ・インボイス特例適用対象の取引の事例把握と情報の共有化 (2)職員「保全協会」の制度見直し ・職員貸付基準の緩和措置の検討 ・職員貸付金の貸付金利の見直し (3)トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握、サポートの充実 ・本部職員による併設施設への定期的な監査の継続実施 ・併設施設への適切な経理処理の指導・教育の実施 ・会計基準が変更となった場合の迅速な対応実施	(1)消費税経理処理上の特例適用の事例周知の徹底を各施設でその都度実施 (2)職員向け貸付金制度新設 2025年度より運用開始 (3)鹿児島市より消費税相当額の入金があり消費税申告の時期について協議 監査法人トーマツへ修正申告用の資料を提供 ・10月8日～11日にかけて鹿児島税務署による税務調査実施 中元・歳暮に係る源泉税の徴収漏れを指摘されたため適切な対応実施 ・鹿児島県公益法人検査⇒概ね適正の評価。指摘事項についても改善済 ・経理DX推進のための情報収集 経費精算、請求書支払いシステムなどメーカーからの情報収集	(1)適切に対応できている。 (2)保全協会の累積赤字解消については困難な状況となっている。 (3)監査等については、都度適切に対応できている 各施設の経理担当者のスキルアップを引き続き図る必要あり	(1)引き続き、適切な対応を行う。 (2)保全協会の廃止に関する検討 (3)今後も継続して施設監査の実施、経理担当者向け勉強会の実施

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
法人保有資産の有効活用 有効活用 の保全体制の強化と	(1)本部管財機能の見直し ・本部管財課の総務人事部組織内での位置づけ見直し (2)法人保有資産のCEIAシステムによる一元管理 ・CEIAシステムの入力継続及び登録施設、登録項目の拡充 (3)法人保有資産の保全計画策定 ・本部管轄資産の保全計画、修理計画の策定、実施 (4)法人保有資産の有効活用 ・法人所有の遊休資産の売却、賃貸等有効活用の実施継続	(2)新規購入機器のCEIAへの入力継続 ・CE部門による既存医療機器の入力継続 (3)保有資産の修繕、点検等適切な維持・管理に努めた (4)いづろ交差点周辺まちづくり協議会へ参加、再開発にむけた情報交換実施	(1)担当者の後任選定が課題 (4)今後、具体的な協議が開始される	(1)後任者の選定 (2)新規購入機器のCEIAへの入力継続 (3)引き続き、保有資産の修繕、点検等適切な維持・管理に努める。 (4)協議会での情報収集、当法人のメリットについて検討
適正な物品管理の実施（購入、更新、配置）	(1)本部における価格交渉の定型化 ・本部における、まとめ交渉、二次交渉による、適正かつ妥当な価格による取引の実施継続 (2)医療および施設関係機器の更新計画策定 ・CE部門との協力。慈愛会施設の機器等過去の更新年数の把握、修理履歴の把握により、適正な更新年数の決定及び更新計画、保守計画を策定 (3)医療機器の適正配置 ・法人施設の医療機器保有数と他医療機関の保有数比較の資料作成	(1)リース見積・割賦見積本部交渉 71件 ・旧看護学校トランス交換/コーポ谷山改修工事 ▲1,078千円 ・慈愛会ビルエレベータ保守変更 ▲500千円/年 (2)昨年作成した主要機器・備品の使用期間一覧の修正継続。現保有機器の使用年数の把握と更新時期の把握継続	(1)コスト削減できる部分を幅広く検討していく必要あり	(1)幅広い分野でのコスト削減策検討

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 給与・人事制度の改定

- ・2024年9月正職員給与制度改定を行い役割等級制度へ移行し、頑張りが処遇へ反映される仕組みとなった。
- ・正職員給与制度改定と同時に職種毎基本給のベースアップを行い採用力向上に努めた。
- ・2025年度人事考課制度改定を実施予定。
- ・2025年度嘱託職員給与改定を実施（嘱託職員給料表の改定。全職種のベースアップを実施）

2. 外部人材の受け入れ

- ・2024年5月より、株式会社鹿児島銀行職員1名の出向受け入れを実施。経営企画室にて勤務。

3. 奨学金制度創設

- ・2024年度効率的かつ有効的な人材確保策として、看護学生、薬学部生に向けた奨学金制度を創設。看護

学生2名、薬学部生2名貸与実施。奨学金貸与希望看護学生の病院見学希望連絡が増えてきている。

4. 医療機器管理システムCEIAへの登録継続

- ・昨年同様に急性期及びクリニックを中心に登録を継続。新規物件を中心に購入価格や本部の償却資産システムの資産番号、リース情報も登録し、より情報共有ができる体制を進めた。

技能・能力向上に向けた取り組み

1. 「役職者を対象とした多面評価」の実施

2024年度役職者多面評価については、日本経営「多面評価Navigator」システムを導入して実施し、評価、結果集計、フィードバックの効率化を図った。
<実施状況>

170名（看護部82名、診療支援部44名、事務部44名）

合同研修会

1. 新入職員研修会

(1) 入職式

開催日：2024年4月1日

- ・リモートによる理事長の式辞、新入職員は各配属病院・事業所にて参加

(2) 新入職員研修会

開催日：2024年4月1日

- ・リモートで実施 116名参加

＜研修の目的＞

- ①慈愛会職員として理念、基本方針、法人概要等の基礎知識を身につける
- ②社会人・医療人として必要なマナー・接遇について学ぶ
- ③医療安全・感染管理の基本について学ぶ
- ④健全な生活設計（消費者トラブルの対処）について学ぶ
- ⑤401kの説明
- ⑥慈愛会教育体制、キャリア開発プログラムラダー認定制度について学ぶ
- ⑦新卒同期職員の親睦を図る

2. 総務担当者合同研修会

(1) 第1回 2024年10月29日

＜主なテーマ＞

- ・年末調整について
- ・年末調整電子申告について
- ・マイナ保険証について
- ・iDeCo法改正について
- ・育児休業給付金の支給対象期間の延長手続き（保育所等に入れない場合）について

(2) 第2回 2025年2月26日

＜主なテーマ＞

- ・2025年4月～5月の業務スケジュール確認
- ・社会保険料額表変更について
- ・2025年4月採用者に関するお知らせ・お願い
- ・2025年度年間休日予定表について
- ・成長祝金について
- ・36協定について

- ・宿日直時に提供される食事の課税について
- ・就業規則等の改定について
- ・タイムプロのバージョンアップについて
- ・嘱託職員給与改定について
- ・ハローワーク給付金について（高年齢雇用継続給付、育児短時間給付金、出生後休業支援給付金）
- ・育児休業延長時の育児休業取得者申出書の記載方法について
- ・人事評価制度について

業 績 一 覧

【論文（論文・著書・雑文）】

法人事業本部

<雑文>

1. 今村英仁：病院給食の未来を見据え、持続可能なモデルを構築する。病院経営羅針盤。産労総合研究所，pp11-17，2024

【学会発表】

今村総合病院 事務部

<国内>

1. 鈴木大輔：高齢化が進む地域コミュニティとの包括連携協定について－人材確保が困難な時代における地域との支え合い－。全国病院経営管理学会 第59回大会，2024年11月15日，東京

今村総合病院 診療情報管理室

<国内>

1. 前田雄介：重症度、医療・看護必要度を用いた転倒転落リスク因子の検討。第50回日本診療情報管理学会学術大会，2024年8月22-23日，福岡

今村総合病院 医師事務補助課

<国内>

1. 溝口天馬：泌尿器科退院時サマリー代行業務におけるマニュアル作成とダブルチェックの重要性。日本医師事務作業補助者協会第13回全国学術集会，2024年10月20日，東京

（第4回慈愛会学会学術集会での発表業績はP84-87参照）

【研究会・講演会】

今村総合病院 診療情報管理室

1. 前田雄介：診療情報管理士 医療管理各論（病院管理、医療安全・医療の質管理）。鹿児島キャリアデザイン専門学校，2024年4月15・22日，6月10・17・24日，7月8日，9月2日，鹿児島
2. 前田雄介：診療情報管理士 医療管理総論。鹿児島キャリアデザイン専門学校，2024年10月7・28日，11月11・18日，12月2・9日，2025年1月20日，鹿児島

法人事業本部

1. 今村英仁：病院給食を再考する。一般社団法人医療関連サービス振興会，2024年4月22日，東京

部門別 事業報告(PDCA) 総括

医療情報室 慈愛会総合情報システム (J-TIS)

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
J-TISの安定稼働	(1)J-TIS基盤の更新 ・J-TISハードウェア基盤の更新に伴い、ホスティングサービスの利用を検討し、クラウド運用への移行を推進する。	・J-TISハードウェア基盤について、今後のハードウェア拡張を考慮したHCI（ハイパーコンバージドインフラ）の検討 ・SSI社電子カルテ（NEWTONS2/eカルテ）の場合、SSI社調達のサーバをデータセンターにハウジングして導入する提案である。	・次期電子カルテシステムの検討において、MIRAIとNEWTONS2/eカルテのサーバハードウェアをそれぞれのベンダーで設計した構成で費用積算していたが、次期電子カルテの導入延期により、システム更新より先にハードウェア更新を行う必要がある。	・サーバ更新について、MIRAIとNEWTONS2/eカルテのどちらでも導入・稼働可能となるハードウェア構成とすることを検討。 ・現在、サーバハードウェア構成の設計を行っている。
	(2)システムの最新化 ・医事システム（MegaOakIBARS）の更新 ・電子カルテシステム（LIVE/MIRAI）の更新 ・慈愛会職員管理システムの更新 ・勤怠管理システム、財務・経理システムの更新	・電子カルテシステムおよび医事システムの更新について、MIRAI（SSI社）NEWTONS2/eカルテ（SSI社）の2社で比較検討を行う。 ・MIRAIのデモを対象全施設で実施。 ・ファインデックス社文書管理システム（DocuMaker,C-SCAN）のデモを実施。 ・NEWTONS2/eカルテのデモを対象全施設で実施。 ・SSI社部門システムのデモを実施 ・SSI給食システムデモ（いづろ今村病院・今村総合病院栄養科向け） ・SSIドック・健診システム/特定保健指導システム（いづろ今村病院健康管理センター向け） ・放射線情報システム（RIS）（いづろ今村病院・今村総合病院放射線科向け） ・医用画像管理システム（PACS）（いづろ今村病院・今村総合病院放射線科向け） ・SSI NEWTONS2（精神科機能）（谷山病院、奄美病院、徳之島病院） ・スマートフォン・ナースコール連携システムデモを実施 ・医療介護連携システム（MINET）デモ&紹介 ・勤怠管理システム（TimePro）バージョンアップ関連作業	・電子カルテシステム（MIRAIとNEWTONS2/eカルテ）について、デモを実施し機能の比較検討を行ったが、現在の業務を見直し、どちらの電子カルテシステムがより効率的な業務を実現できるかをさらに検討する必要がある。	・次期電子カルテシステムの導入を1年延期し、業務の見直しと合わせて検討することとなった。 そのため、現行システムを1年半～2年利用し続ける必要があるが、ハードウェア老朽化によるリスク回避のために電子カルテ更新に先行してJ-TISハードウェアの更新を行うこととした。
	(3)慈愛会ネットワークの強化 ・VPNワイド網のレスポンス品質改善に向けて、VPN網更新やセキュリティを含めたネットワークの強化を行う。 ・かごしまオハナビ内ネットワーク機器の更新 ・高麗町クリニック内ネットワーク機器の更新 ・七波クリニックLAN環境の整備 ・慈愛会クリニックLAN環境の整備 ・老健愛と結の街ー谷山病院間ネットワーク環境の整備	・高麗町クリニック～MICデータセンター間ダークファイバ敷設。回線切替実施	・高麗町クリニックのネットワーク環境は、ダークファイバ敷設によりレスポンスが向上した。 ・慈愛会垂水サテライトクリニックのネットワークレスポンスの改善のために、回線の切替を予定している。	・高麗町クリニックのネットワークについて、セキュリティ環境の整備を進める予定である。 ・垂水サテライトのネットワークについて、フレッツVPNワイドからフレッツVPNプライオへの切替を計画している ・電子カルテシステム更新に合わせて、Wi-Fi環境の整備を行う予定だったが、先にWi-Fi環境の整備を行う予定である。
	(4)セキュリティの強化 ・IT資産管理環境整備 ・サイバーセキュリティ対策	・IT資産管理ツール（MOTEX、SSI）について、情報収集を行いシステムの検討を行う。 ・NGAV/EDR/MDR/SOCシステムについてサイバーリズン、クラウドストライクを検討 ・NGAV（次世代型アンチウイルス）について、「DeepInstinct」「Cylance PROTECT」について情報を収集して検討中	・IT資産管理ツールは、電子カルテシステム更新に合わせて導入する予定である。	・サイバーセキュリティ対策については、引き続きエンドポイント対策を更新し、電子カルテ更新時にNGAVやEDRを導入したいと考えている。
	(5)仮想端末環境の拡充 ・仮想端末の拡充に向けたハードウェアの強化 ・セキュリティを担保したネットワーク基盤の構築	・診察呼び出しシステムの開発（今村総合病院の2診療科に展開）		
活用拡大	(1)急性期電子カルテと介護システムの連携 ・急性期電子カルテ「MIRAI」と介護システム「寿」で、相互にデータを閲覧できる環境を検討。 ・セキュリティを担保しながら情報共有できる環境を整備	・電子カルテシステムの更新検討課題として介護連携を含め検討中	・電子カルテ更新検討の中で、医療介護連携についてもシステムを検討した。	・医療介護連携システム（MINET）の検討と、NEWTONS2/eカルテ+SSI介護システムでのデータ連携を検討していく。

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
DWHの活用拡大	(2)精神科基盤のDWH構築 ・精神科電子カルテ情報・医事情報をDWHへ取り込む環境の整備を進める。	・電子カルテシステムの更新検討課題としてDWH環境を含め検討中	・精神科電子カルテについても、電子カルテシステムのDWH機能を検討。	・医療介護連携システム (MINET) によるデータ連携と、NEWTONS2/eカルテでのデータ連携を検討していく。
	(3)介護・福祉基盤のDWH構築 ・介護情報をDWHへ取り込める環境の整備を進める ・「科学的介護情報システム」LIFEデータ活用の検討			
	(4)DWHの利活用拡大 ・精神・介護を含めたDWHの構築と活用方法の検討 ・標準化に対応したデータ出力機能の検討 ・国が進める医療DXに沿ったデータの標準化を意識したDWHの構築	・次期電子カルテシステムとして検討中のシステムに搭載のDWH機能について検討	・次期電子カルテシステムでの対応状況を検討。	
人材育成	(1)職員教育 ・SE会議の開催 ・国が進める医療DXに関して情報の共有と意見交換を行い、各施設でのDX推進に貢献できるようにする。	・毎月1回SE会議を開催。情報共有を行っている。 ・VHJ-IT部会への参加。部会参加病院との情報共有を行っている。	・各個人の持っているノウハウや各種手順について、共有すべき情報が共有フォルダでのExcel管理となっており、情報の検索に手間がかかる。	・週報と同様に、情報共有ツールとしてWikiシステムを構築して、手順やノウハウを情報共有できる環境を構築した。
	(2)スキルの向上 ・勉強会の開催 ・慈愛会ネットワーク図と各施設内LAN構成図を作成し、現在のネットワーク状況を把握し、ネットワークに関するスキルの向上を目指す。			

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. J-TIS基盤ハードウェア更新検討

J-TISの基盤となるハードウェアの更新時期について検討。

次期J-TIS基盤について、

- ・今後のハードウェア拡張を考慮したHCI（ハイパーコンバージドインフラ）の導入を検討。
- ・次期電子カルテシステムの検討において、MIRAI sV（CSI社）とNEWTONS 2 / eカルテ（SSI社）のいずれにも対応可能な構成でハードウェアを設計。ソフトウェア（電子カルテ、医事システム）の更新より先にハードウェアを更新する。

2. 次期電子カルテシステム更新検討

電子カルテシステムおよび医事システムの更新を検討。当初、MIRAI sV（CSI社）、NEWTONS 2 / eカルテ（SSI社）、Man・go（コア・クリエイト社）の3社のシステムを検討。最終的にCSI社とSSI社の2社に候補を絞り、比較検討を行った。

次期電子カルテ更新では、以下の機能を導入の必須条件とし、電子カルテで不足する機能については

サブシステム・部門システムの導入も含めて検討した。

- ・電子処方箋
- ・二要素認証機能
- ・HL 7 FHIR対応
- ・電子署名・タイムスタンプ
- ・DWH機能
- ・スマホ対応

電子カルテ以外の部門システムについては、MIRAI sV採用時は既存システムを継続またはバージョンアップを検討。NEWTONS 2 / eカルテ採用時は、SSI社の部門システムの採用可否を精査し、システム間連携の効率化を図るため、導入範囲を検討した。

また、歯科電子カルテ、精神科電子カルテの更新またはバージョンアップも検討。急性期・精神科・介護の各施設における情報共有を目指し、医療介護連携システムのデモを実施。精神科電子カルテおよび介護システムにおいても、NEWTONS 2 / eカルテとの統合による情報共有の可能性を検討している。

部門システムについては、健診システム、栄養管理システム、リハビリシステム、輸血システム、PACS、分娩管理システム、インシデント・アクシデント管理システム、看護勤務システムについて、他社システムへの入れ替えを検討。

3. 慈愛会ネットワーク品質改善対策

・高麗町クリニック

高麗町クリニック～データセンター間に専用回線（ダークファイバ）を敷設し、ネットワーク遅延を解消。

・慈愛会垂水サテライトクリニック

慈愛会垂水サテライトクリニック～データセンター間のネットワークを、NTTフレッツVPNワイドからNTTフレッツVPNプライオ回線（IPv 6、ベストエフォート型）へ切り替え予定。

を開発（2025年3月：消化器内科）

○法人事業本部

・退職金管理システムのデータバックアップ処理を毎月実施

・スタッフカードシステムのデータ一括更新関連作業を実施（2025年2月）

4. オンライン資格確認「診療情報・手術情報閲覧対応」

慈愛会のMIRAIsを利用している病院・クリニック9施設において、オンライン資格確認の「診療情報・手術情報閲覧対応」を実施（2024年9月）。

5. 重度心身障害者等医療費助成制度対応

慈愛会の病院・クリニック10施設において、医事システムの重度心身障害者等医療費助成制度に対応するため、CSV出力機能および統計機能を追加（2024年9月）。

6. 業務支援・システム構築

○いづろ今村病院

・医事課向け「保険外費用表作成ツール」を開発（2024年10月）

・医事課向け「会計カード作成ツール」を改修（2024年6月）

・医事課向け「未収金管理ツール」を開発（2025年1月）

○今村総合病院

・医事課向け「保険外費用表作成ツール」を開発（2024年9月）

・総務課向け「職員配置表作成支援ツール」を開発（2024年5月）

・イントラネット「病棟別入退院転入出患者一覧」プログラム開発（2024年10月）

・医事課向け「未収金管理ツール」を開発（2025年1月）

・「診察待合番号呼出しツール」を開発（2025年2月：ガンマナイフ棟）

・「診察待合番号呼出しツール（複数診察室対応版）」

部門別 事業報告(PDCA) 総括

教育開発センター

※2025年度より「教育開発室」へ改称

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
医療の達人プロフェッショナル育成	(1)職員能力開発プログラムの活用推進 ・2024.4改訂した能力開発プログラム活用	(1)職員能力開発プログラムの活用促進 ①職員能力開発プログラムの見直しと修正 ・2020年多職種の能力開発プログラムが完成、2025年に運用開始5年目となるため、全部門に、見直しと追加・修正を依頼。 ・キャリア開発推進委員研修において、ワーク形式で見直しを実施。 ②職員能力開発プログラム（キャリア開発ラダー）、申請・認定状況の把握 ・診療支援部、事務部のラダー申請、認定状況についてキャリア開発推進委員へ入力依頼（共有フォルダを活用） ・ラダーレベル認定者の把握（キャリア開発推進委員へ認定者数・氏名入力を依頼） *2024年度診療支援部、事務部のキャリア開発ラダー認定率・認定者（4/30現在） ・薬剤部 申請者14名、認定者14名（認定率100%） ・臨床工学士 申請者13名、認定者12名（認定率92.3%） ・臨床検査部門、ソーシャルワーカー部門は、認定者氏名の入力を確認	・診療支援部・事務部にキャリア開発ラダーが導入（運用開始）され4年目となった。運用中での気づき・課題について、各部門で修正見直しを実施。 ・キャリア開発推進委員研修において、ワークを実施し意見交換を行い、共通認識を図った。 ・キャリア開発ラダー未構築の職種について、構築への支援が必要である。 ・キャリア開発ラダーの認定状況については、4月末で未入力の部門・職種がある。	(1)職員能力開発プログラムの活用推進 ・キャリア開発ラダーを作成している部門・職種において、活用を推進。 ・キャリア開発ラダー未導入の職種について、能力開発プログラムの作成支援。
	(2)スペシャリスト、ジェネラリストの育成 ・キャリアアップ支援セミナー定期開催 ・SNS発信	(2)キャリアアップ支援セミナー ・2024年度、未開催。2023年度経験者発表データの動画を編集し、公開予定	・キャリアアップ支援セミナー未開催。 ・進学、資格取得を希望する者への情報提供は重要である。セミナーの開催について、時期や情報発信方法の検討を行う。	(2)スペシャリスト、ジェネラリストの育成 ・資格取得についての情報発信（セミナー開催、SNS） ・進学、資格取得希望者への支援（情報発信）
	(3)多職種合同研修 ・新入職オリエンテーション:hop step jump 〔開催日〕 2024.4/1、5/18、12/7 ・中途入職者研修：〔開催日〕 2024.4/25、8/22、10/24、12/26、2025.2/27 ・初期キャリア支援研修：〔開催日〕 2024.8/9	(3)多職種合同研修 ①新入職者オリエンテーション（研修）開催 対象）2024年度新入職者94名 部門：診療部10名、診療支援部26名、看護部43名、事務部15名 施設：いづろ今村病院13、今村総合病院67、谷山病院8、奄美病院3、徳之島病院1、愛と結の街1、訪看護の街1 ・4/1（月）新入職者オリエンテーションⅠ（hop） *入職式に引き続き開催。診療部（研修医）10名、一部の講義を除き受講 ・5/18（土）新入職者オリエンテーションⅡ（step）集合研修 *心に届く慈愛の物語を紡ぐ会に引き続き開催 ・12/7（土）新入職者オリエンテーションⅢ（jump）集合研修 ②中途入職者研修会（5回開催） 対象：中途入職者会場）かごしまオハナビル3階大会議室+リモート（Zoom） 開催日：4/25、8/22、10/24、12/26、2/27 延べ参加人数：102名 部門）看護部43名、診療支援部29名、事務部30名 施設）いづろ今村病院17、今村総合病院37、谷山病院11、奄美病院19、徳之島病院6、慈愛会クリニック1、七波クリニック1、かごしまオハナクリニック1、愛と結の街4、訪看護の街1、鹿児島中央看護専門学校2、法人事業本部2 *中途入職者研修のプログラム見直しと検討 2025年度に向けて、総務人事課、経営企画室、危機管理室と検討・協議し、研修プログラム（内容）・担当者を見直した。オリエンテーション冊子の内容と構成の見直しも行った。 検討会） 8/30、9/5、9/10、9/26、11/26、12/16、1/14、1/21、1/29、2/12 *初期キャリア支援研修（管理者研修の欄に記載）	・新入職者オリエンテーションは、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを「hop・step・jump」とし、各々の段階に合わせて研修内容を企画した。 ・オリエンテーションⅡとⅢは集合研修とし、同期入職者が一堂に会し、絆を深める機会となった。 ・オリエンテーションⅡ（step）は、心に届く慈愛の物語を紡ぐ会への参加を研修内容に含み、エピソード発表（朗読）を聞いて感じたことを発表・共有し、慈愛の心について考える機会となった。同期で語り合う時間（グループワーク）を主とし、全グループにファシリテーターを配置。入職後1カ月が経過した時期の研修開催であり、各々が感じ、抱えている思いや気持ちを共有する機会となった。ファシリテーターの関わりにより、1カ月で成長した自分を認めることができ、思いを表出することができていた。 ・オリエンテーションⅢ（jump）は12月の開催であり、2年目に向けて気持ちを高める機会となるよう、内容を計画した。研修前課題として、所属長から部署目標とBSCについて説明を受けることを提示し、チャレンジプランとの関連や、具体的なシートの記載方法について学ぶ機会とした。2年目に取り組みたいことを、具体的に文字や言葉にすることで前向きな気持ちを持つことができた。考える。また、8カ月間の臨床経験の中で、心に残った場面を「慈愛の物語」として文字に起こし、グループ内で発表し共有した。ファシリテーターの関わりにより、自分自身の成長を認めることにつながっていた。 ・12/26、2/27の中途入職者研修では、ストレスマネジメントの講義を精神科認定看護師へ依頼し、担当していただいた。2025年度も引き続き、講義を依頼する。 ・中途入職者研修のプログラム（内容）・担当者の見直しを行った。2025年度は、経営企画室、危機管理室にも講義を担当していただき、研修内容の充実を図る。 ・受講生の受講中の反応、受講後アンケートにより、評価を行っている。	(3)2025年度研修計画 ①新入職者オリエンテーション（研修）開催 Ⅰ（hop）4/1（火）、入職式に引き続き開催 Ⅱ（step）5/31（土）、心に届く慈愛の物語を紡ぐ会に引き続き開催 Ⅲ（jump）12/6（土） ②中途入職者研修会 *3カ月に1度開催 5/22、8/28、11/27、2/26

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
医療の達人プロフェッショナル育成	・ラダーレベル研修: 〔開催日〕 2024.6/22、8/3	③ラダーレベル研修 対象) キャリア開発ラダーレベルⅢ取得者でレベルⅣを目指す者 外部講師) 田之頭智子先生 「リーダーが身につけておきたいスキル『アンガーマネジメント』」 延べ参加人数) 83名 部門: 看護部56、診療支援部16、事務部11 施設: いづろ今村病院7、今村総合病院52、谷山病院18、奄美病院3、愛と結の街1、訪看護の街1、法人事業本部1 〔第1回〕 6/22 (土) かごしまオハナビル3階大会議室 ・参加者38名 (看護部25、診療支援部6、事務部7) ・参加職種8職種 (助産師1、看護師24、診療放射線技師1、臨床検査技師1、理学療法士2、作業療法士2、事務員6、司書1) 〔第2回〕 8月3日 (土)、かごしまオハナビル3階大会議室・リモート (Zoom) ・参加者45名 (看護部31、診療支援部10、事務部4) ・参加職種10職種 (保健師1、看護師29、介護福祉士1、理学療法士5、言語聴覚士1、臨床工学士2、精神保健福祉士2、事務員1、医師事務作業補助者2、診療情報管理士1)	・キャリア開発推進委員会において、ラダーレベル研修の受講対象者の検討を行った。ラダーレベル研修は、「キャリア開発ラダーレベルⅢ取得者、ラダーレベルⅣ取得を目指す者」を対象とすることを決定した。 ・外部講師、田之頭智子先生に「アンガーマネジメント」の講義を依頼した。 グループワークでは、「アンガーマネジメントの必要性」「意識がどう変わったか」を話し合った。ラダーレベルⅣ取得者は、職場においてリーダーとなる者、指導にあたる者となる。講義・グループワークの内容を活かし、役割を果たしてくれることを期待している。 ・診療支援部・事務部においては、能力開発プログラム運用開始4年目となった。研修はワーク形式 (講義後に部門に分かれワークを行う) で実施し、能力開発プログラムと、認定について見直しを行った。	③ラダーレベル研修会 *全2回開催 6/14 (土)、8/2 (土)
	・キャリア開発推進委員研修: 〔開催日〕 2024.7/13	④キャリア開発推進委員研修 対象) キャリア開発推進委員、受講希望者 (現場で人材育成・指導に携わっている者) 7/13 (土) かごしまオハナビル3階大会議室、Zoom ・参加者28名 (キャリア開発推進委員27名、希望参加者1名) 部門) 看護部5名、診療支援部19名、事務部4名 職種) 13職種 (看護師3、介護福祉士2、薬剤師2、管理栄養士2、診療放射線技師2、理学療法士2、作業療法士2、言語聴覚士1、臨床検査技師3、臨床工学士2、精神保健福祉士2、視能訓練士1、事務4)		④キャリア開発推進委員研修会開催 *7月会議を研修に充てる。土曜日開催。 7/12 (土)
	・ミドルマネジメント研修: 〔開催日〕 2024.9/14 ・管理者任用候補者研修: 〔開催日〕 2024.11/12・13・21・22 ・筆記試験 12/10	*ミドルマネジメント研修 (管理者研修の欄に記載) *管理者任用候補者選考における研修 (管理者任用候補者選考研修質向上の欄に記載)		
	(4)一人ひとりのスタッフの付加価値を上げる。	(4)一人ひとりのスタッフの付加価値を上げる ・全職員チャレンジプラン導入済み (対応済み)	・チャレンジプランの継続により実績を積み重ねる必要がある。	(4)一人ひとりのスタッフの付加価値を上げる。 ・チャレンジプラン活用推進 (継続)
	(5)多職種協働チームケア実践 (重症化予防、患者満足度向上)	(5)多職種協働チームケア実践 ①キャリア開発推進委員会定期開催 *奇数月の第2火曜日定期開催。但し、7月はキャリア開発推進委員研修とした。 5/14、9/10、11/19、1/14、3/11 ・能力開発プログラム (キャリア開発ラダー) の見直しについて報告・協議 ・多職種合同研修の内容検討、開催後の振り返り	・キャリア開発推進委員会において、各部門の能力開発プログラム (キャリア開発ラダー) について報告し、意見交換することで、修正・見直しにつなげることができた。 ・キャリア開発推進委員が、多職種合同研修のファシリテーターを務めている。教育の重要性、人材育成の必要性について考える機会となっている。 ・2カ月に1回の会議開催であり、時間も限られている。協議事項の事前提示や、意見取りまとめなど、会議時間を有効に使い、会議の充実を図る。	(5)多職種協働チームケア実践 (重症化予防、患者満足度向上) ・キャリア開発推進委員会定期開催、内容の充実 ・多職種協働チーム編成検討
	(6)心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 ・エピソード100以上募集 (全職種) 〔開催日〕 2024.5/18 (土)	(6)心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 ①運営委員会開催4/8、6/10、10/28、1/27、3/24 ②第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会に関すること ・エピソード応募期間: 2023年12月1日～2024年2月29日 ・エピソード応募数: 93 部門別: 看護部67、診療支援部18、事務部6、教育部 (看護学生) 2 施設別: いづろ今村病院10、今村総合病院19、谷山病院18、奄美病院17、徳之島病院11、愛と結の街6、訪看護の街5、鹿児島中央看護専門学校3 (教員1・学生2)、法人事業本部4 ・選考: 選考委員長、選考委員21名。 1次選考) 93作品から30作品を選出。 2次選考) 30作品を順位化。 *4/8選考会にて、2次選考の上位13作品を入賞と決定。入賞作品の中から、選考委員長が最優秀賞、優秀賞2作品を決定。	・運営委員の働きかけにより、第5回のエピソード応募数は93作品であった。 ・5/18「第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」は、かごしま県民交流センター大ホールで開催し、選考委員長の三角みづ紀先生から、ビデオレターにて講評を頂いた。参加者は200名を超え、盛大な催しとなった。 ・冊子発行と配布、入賞者と新入職員のメッセージ交換、慈愛の便り発行、の一連の流れは、職員に「慈愛の心」を感じてもらえる機会となっていると考える。 ・第6回のエピソード応募数は73作品となった。第5回に比べ応募数は減少したが、多職種、特に診療支援部の応募が増加した。診療部 (医師) の応募は0であった。引き続き、運営委員を中心に、医師への応募働きかけ、多施設・多職種の応募働きかけを行う。	(6)心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 ・運営委員会定期開催 ・2025.5/31 (土 第6回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催 会場: カクイックス交流センター (かごしま県民交流センター) 県民ホール ・第7回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会、開催に向けてエピソード募集 (目標100エピソード)

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
医療の達人プロフェッショナル育成		・5/18 (土) 第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催 会場：カクイックス (かこしま県民) 交流センター大ホール 参加者：227名 (会場参加203、Zoom参加24) 内容：入選13作品の朗読 (1題は録画データを再生)。 結果発表と、選考委員長三角みづ紀先生ビデオレターでの講評。 表彰式、受賞者・選考委員代表・理事長挨拶。 ・第5回心に届く慈愛の物語冊子発行 発行数1000冊、慈愛会内の各施設、全部署へ配布 ・メッセージ交換、「慈愛の便り」発出 入賞者へ、新入職員からのメッセージカードを送付 入賞者から、メッセージに対する返信コメントを受領、「慈愛の便り」として作成 ③第6回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会に関すること ・エピソード応募期間：2024.11/1～2025.2/28 ・エピソード応募数：73 部門：看護部43、診療支援部25、事務部3、看護学生2 - 施設：いづろ今村病院14、今村総合病院9、谷山病院グループ19、奄美病院グループ12、徳之島病院グループ1、愛と結の街9、訪看護の街5、鹿児島中央看護専門学校 (学生含む) 4 ・選考：選考委員21名。一次選考で73作品から28作品を選出。二次選考を実施。 *以下、2025年度実施内容 4/7選考会にて、二次選考の上位13作品を入賞と決定。		
	(7)慈愛会フィロソフィバージョンアップ 2024.8月	(7)慈愛会フィロソフィバージョンアップ *メンバー：委員長、副委員長、委員16名、オブザーバー1名 ①バージョンアッププロジェクト会議開催 4/18、5/16、6/20、7/18 *2023.5月～計15回会議開催 ②慈愛会フィロソフィ ver.2発行 発行日：8/1発行数：5,500冊 周知：第4回慈愛会学会学術集会にてプロジェクト副委員長 (帆北修一先生) が発表 演題「慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクトについて」 各施設のプロジェクトメンバーにより施設への周知 配布：7/1付職員配置表記載の全職員へ配布 (2,474冊) 今後の配布) 残冊子を教育開発センターで保管管理中 ・新入職者：新入職員オリエンテーションIで配布 ・中途入職者：中途入職者研修で配布 (診療部は直接配布)	・慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクトは、2023年5月に始動した。今村英仁理事長以下、帆北修一理事長補佐が副委員長となり、委員16名と検討・協議を重ねた。慈愛会創設90周年となる2024年に、慈愛会フィロソフィ ver.2発行となった。 ・慈愛会に所属する2,400名を超える職員が、心をついにし、同じ方向 (目的) に向かって進んでいくための「考え方」を目に見える形としてまとめたものであり、周知と活用が必要である。 ・冊子の保管、慈愛会入職者への配布を、教育開発センターで管理していく。	(7)慈愛会フィロソフィバージョンアップ ・慈愛会フィロソフィ ver.2、2024.8/1発行 ・周知と活用 ・冊子の管理
管理者 (マネジャー) のマネジメント力向上	(1)管理者任用候補者選考研修質向上 研修内容 動画配信	(1)管理者任用候補者選考研修質向上 ①管理者任用候補者選考制度、対象者の基準見直し ・7/4、対象者・プログラム・講師について総務人事部と検討 [対象者基準] 9月より役割等級制度を導入予定であるが、研修案内発出が7月中であるため2023年度と同様の対象者基準で案内することを決定。 [講師の交代・変更] 3名 ・病院長の交代 (谷山病院) ・生涯学習 (今村総合病院臨床教員へ依頼) ・慈愛会フィロソフィ (慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト副委員長へ依頼) ②管理者任用候補者選考制度について、連絡・発信など ・7/29、事務連絡の発出 選考制度、プログラム、受講者案内、各様式、各施設対象者リスト 参加申込締め切り：8/20 (火) ・8/6、講師依頼文書送付 選考制度、プログラム、テキスト作成・試験問題作成について テキスト原稿締め切り：9/2 (月) ・10/18、研修テキスト発送 研修資料 (テキスト)、案内文書の発送 ③管理者任用候補者選考における研修実施 受講者) 60名 部門：看護部21、診療支援部25、事務部14 施設：いづろ今村病院6、今村総合病院26、谷山病院グループ8、奄美病院グループ9、高麗町クリニック1、愛と結の街9、法人事業本部1 会場) かごしまオハナビル3階大会議室 (鹿児島市内施設51名)、リモート (奄美病院グループ9名)	・管理者任用候補者選考制度は、慈愛会の昇任制度として定着している。 ・2024年度の申込者数は68名 (再受験者8名を含む)、合格者は60名 (うち再受験者5名) で、合格率は88.2%であった。 ・合格者の延べ人数は、2014年から制度開始された看護部は270名、2017年から開始された診療支援部204名、同じく事務部116名となっている。 ・合格者は各々昇任し、現場で活躍している。今後も、管理者任用候補者選考制度が、法人内の管理者を目指す職員にとってのキャリアアップの支援となるよう、計画・実施していく。 ・2024年度9月より役割等級制度に変更となった。次年度、対象者基準の見直しが必要である。	(1)管理者任用候補者選考研修質向上 ・2025.11/11・12・20・21 ・筆記試験 2025.12/9(火)

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
管理者（マネジャー）のマネジメント力向上		日程) 3.5日間 11/12 (火) 8:30-17:00講師8名、受講者59名 (1名欠席) 11/13 (水) 8:30-17:00講師6名、受講者59名 (1名欠席) 11/21 (木) 8:30-17:00講師7名、受講者60名 11/22 (金) 8:30-12:30講師2名、グループワーク発表、受講者60名 *欠席者については、個別に対応 ④管理者任用候補者選考選考に関する事項 〔多面評価〕評価対象者: 64名 (再受験者含む) ・11/6 (水) 評価者へ依頼文書発出 (評価期間11/12～11/29) 〔筆記試験〕受験者: 65名 (再受験者含む) ・12/10 (火) 8:30～ ・試験会場: かごしまオハナビル3階大会議室 (鹿児島市内施設)、奄美病院 〔面接試験〕対象者: 61名 (再受験者含む) ・看護部) 12/10 (火) 10:20～*筆記試験終了後 ・診療支援部/事務部) 12/4・9・12・16・17 ⑤管理者任用候補者選考判定会議・可否通知 ・12月19日 (木) 判定会議 対象者: 68名 (うち再受験者8名) *判定結果: 合格60名、不合格8名 ・1/7 (火) 可否通知文書発送施設長・事務長・看護部長宛て、個人宛て ⑥管理者任用候補者選考理事長面談 ・2/17 (月) 10:00～ ・会場: かごしまオハナビル3階大会議室、各施設とリモート (Zoom) 接続 ・対象: 2024年度管理者任用候補者選考合格者60名 *参加者56名、欠席者は、録画データを視聴 ⑦管理者任用候補者選考合格証書発送 ・2/18、合格証書発送 ・合格者: 60名 (うち再受験合格5名)		
	(2)ミドルマネジメント研修 ・9/14 (土)	(2)ミドルマネジメント研修 9/14 (土) 鹿児島県市町村自治会館4階ホール 対象: 診療部を除く部署の部署長 (監督1級以上) 看護部) 看護部長、介護福祉士長 診療支援部) 科長または科長代理、室長 事務部) 課長または課長代理、室長 内容: 理事長講話、多職種協働による働き方改革、実践報告 (7施設) 講義1「現場を変える」、講義2「人事制度改定の方向性について」、グループワーク「人事評価制度について」 キャリア開発ラダー改訂の方向性について 発表 3部門 (リハビリテーション、ソーシャルワーカー、看護師) グループワーク「人材育成について」 参加者: 119名、ファシリテーター 22名 施設) いづろ今村病院16、今村総合病院50、七波クリニック1、谷山病院グループ19、奄美病院10、徳之島病院5、愛と結の街4、訪看2、看護学校3、法人事業本部5、社会福祉法人慈愛会4	・2023年度研修後に取り組んだ多職種チームでのタスクシフト・タスクシェアについて、7施設に取り組む状況を発表してもらい共有した。 ・9月より役割等級制度が導入された。総務人事部長の講義後に、グループワークで「人事評価制度」について、どのような視点での評価が望ましいかを話し合った。内容について、グループワーク記録を総務人事部と共有した。 ・2025年度に向けてのキャリア開発ラダー改訂、及び現在の取り組み状況について3部門に発表してもらった。その後グループでキャリア開発ラダーをどう使っていくかを話し合った。キャリア開発ラダー未導入の職種へ支援が必要だという意見があった。	(2)ミドルマネジメント研修 ・2025.9/13(土)
	(3)初期キャリア支援 (昇任者研修) ・8/9 (金)	(3)初期キャリア支援研修開催 8/9(金)午前、かごしまオハナビル3階大会議室+リモート (Zoom) 対象: 2023年7月から2024年4月までの新任昇任者、2024年7月新昇任者で受講希望の者、2023年度研修未受講者 参加者: 43名(看護部13、診療支援部20、事務部10) 施設: いづろ今村病院7、高麗町クリニック3、今村総合病院12、谷山病院10、奄美病院4、徳之島病院1、愛と結の街4、訪看愛の街1、鹿児島中央看護専門学校1 内容: 「理事長講話」「管理とは、管理者に求められる資質・管理者に必要な能力、人材育成」「人事考課・チャレンジプランについて」「自院の財務状況の把握」「先輩の語り」「グループワーク」 *グループワークテーマ 「管理者としての立ち位置を自覚し、慈愛会役職者としてどう行動するか」 事前課題: ①管理者に求められる資質評価表に回答 ②管理者に求められる行動目標評価表 (看護部マネジメントラダーレベル1) に回答 事後課題: 研修内容の伝達・報告を部署内で実施し、「研修後伝達用紙」に記入し提出。	・初めて昇任した者を対象とした研修である。研修内容は、管理について、目標管理とチャレンジプラン、財務状況の把握について、先輩の語りを計画した。 ・グループワークでは、昇任して思うことを話し合い、新任役職者としての不安な思いや目標を共有した。 ・管理者任用候補者選考における研修の講義内容を振り返り、管理について考える機会となった。また、多施設・多職種でのグループワークで意見交換し、多職種との繋がりを再確認できていた。 ・受講後アンケートには、講義を受講し「改めて自分が責任ある立場にある事を実感できた。実践に活かしていきたい」「一つひとつの課題解決に向けて、上司を補佐する役割を果たしリーダーシップのスキルを高めたい」等記載があった。	(3)初期キャリア支援 (昇任者研修) ・2025.8/8(金)
	(4)看護部他管理者育成プログラム (マネジメントラダー) 作成検討・活用			(4)看護部他管理者育成プログラム ・キャリア開発推進委員会を中心に、多職種のマネジメントラダーを作成

中長期計画	中長期計画と2024年度事業計画 (Stage3)	実施 2024.4月～2025.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域人材派遣・人事交流	(1)スペシャリスト派遣・人事交流			
多職種協働開発および普及	(1)慈愛会クリティカルパス整備 ・慈愛会連携推進委員会による検討 (2)慈愛会連携パス作成による連携推進 ・慈愛会連携シート作成活用			
慈愛会学会学術集会継続開催	(1)学会運営 ・第4回慈愛会学会学術集会 〔開催日〕 2024. 7/27 〔場所〕 カクイックス（かごしま県民）交流センター大ホール	(1)慈愛会学会運営委員会会議開催 4/22、5/27、6/13、7/8、8/26、9/30、11/11、1/27、3/24 (2)慈愛会学会理事会 ・次期（第5回）大会長の変更について承認を受ける いづろ今村病院名菅院長から、いづろ今村病院院長へ ・第4回慈愛会学会学術集会優秀発表演題について承認を受ける (3)第4回慈愛会学会学術集会について 大会長：常盤光弘今村総合病院院長 ・7/27（土）9:15-17:10 ・会場：カクイックス（かごしま県民）交流センター 2階大ホール・展示ロビー、Zoom（離島施設会場） ・発表演題数：70題 口演発表30題（5セッション）、ポスター発表40題 部門）診療部5、診療支援部26、看護部28、事務部11 施設）いづろ今村病院14、今村総合病院32、谷山病院13、奄美病院2、徳之島病院1、かごしまオハナクリニック1、愛と結の街2、訪看護の街1、鹿児島中央看護専門学校1、法人事業本部1、社会福祉法人2 ・パネルディスカッション：テーマ「Jiaikai2040 未来を先取りする創造力」 コーディネーター：常盤光弘（大会長、今村総合病院院長） パネリスト：今村英香（法人事業本部理事長室兼経営企画室）福康浩（今村総合病院データマネジメント室室長）平山拓三先生（ニプロ株式会社メディカル営業本部）碩弘一朗（奄美病院業務統括室課長）林恒存（かごしまオハナクリニック院長） ・参加者数：409名（会場390、Zoom19）＊参加者には、発表者、係・担当者を含む ・優秀発表演題の決定と表彰 口演発表：最優秀賞1、優秀賞3、奨励賞5 ポスター発表：最優秀賞1、優秀賞6、奨励賞5 今村節子賞（看護師発表より選出）1、特別賞1 表彰式9/2（月） (4)第5回慈愛会学会学術集会について ・日時：2025. 7/26（土） ・会場：鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室403号 ・テーマ：JIAIKAI TRANSFORMATION ・大会長：長野真二郎いづろ今村病院院長 ・開催案内ポスター決定と表彰 表彰式11/18（月） ・演題募集と登録状況 登録演題数67題 施設）いづろ今村病院25、今村総合病院16、谷山病院グループ11、奄美病院グループ6、徳之島病院グループ2、愛と結の街2、高麗町クリニック1、鹿児島中央看護専門学校1、社会福祉法人慈愛会3 部門）診療部3、診療支援部27、看護部30、事務部7	・慈愛会学会運営委員会を開催し、学術集会に関する事項について協議・決定した。 ・慈愛会学会理事会において、慈愛会学会に関する必要事項の承認を得ながら進めた。 ・7/27に第4回慈愛会学会学術集会を開催した。演題発表は70題。参加者は409名。 ・口演発表30題（5セッション）、パネルディスカッションもプログラムに計画され、充実した内容となった。タイトなスケジュールで計画されており、タイムコントロールが重要であった。特にパネルディスカッションでは、意見交換の時間が確保できなかった。次回、パネルディスカッションを計画する際には、十分検討を行う。 ・多職種から演題発表が行われた。質疑応答も活発に行われ、慈愛会内の多職種の取り組みを知り、共有できる機会として、学術集会が位置付けられている。	(1)慈愛会学会運営 ・第5回慈愛会学会学術集会 2025. 7/26に開催予定 ・慈愛会学会運営委員会定期開催
	(2)かごしま慈愛会ジャーナル発行 ・第3巻 2024. 4月発刊	(1)かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会 会議開催 4/15、6/3、9/2、10/21、2/3 (2)かごしま慈愛会ジャーナル第3巻発行について ・発行日：4/30＊印刷完了は5月 ・掲載内容）トピックス4、論文14（学術集会入賞13、一般投稿1） ・発行数：1,120冊 全部署・全部門へ2冊ずつ配布 連携施設464箇所へ発送 ・慈愛会ホームページでPDFを公開 (3)かごしま慈愛会ジャーナル第4巻発行について ・2025. 4/30発行予定 ・掲載内容）トピックス2テーマ（野村秀洋先生のご功績、パネルディスカッションまとめ） 論文17（学術集会入賞17）	・かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会を開催、発行に関する詳細事項を協議・決定した。 ・かごしま慈愛会ジャーナル第3巻を発行した。全部門・部署に2冊ずつ配布した。 ・第3巻では、大会長挨拶に続き、トピックスとして、第49回フローレンス・ナイチンゲール記事を受章された今村節子先生のご功績、濱里雄次郎先生を偲ぶ寄稿2編、パネルディスカッションまとめが掲載され、内容がさらに充実したと考える。 ・冊子は、連携施設へも発送し、慈愛会の取り組みを知っていただく機会としている。 ・第4巻は2025年4月に発行予定である。	(2)かごしま慈愛会ジャーナル発行 ・第4巻 4/30発行予定

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

2024年度は、主な事業として「職員（診療部を除く）のキャリア開発推進支援」「管理者任用候補者選考」「管理者研修」「入職者研修」「慈愛会学会」「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」「慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト」について活動した。

キャリア開発推進支援では、キャリア開発推進委員会が中心となり、多職種の能力開発プログラム（キャリア開発ラダー）の見直しを行った。「キャリア開発推進委員研修」においても、自部門のプログラム・運用と認定方法について、講義とワーク形式で見直しと修正を実施した。「ラダーレベル研修」は3年目の開催となり、多施設・多職種が学び合う場となっている。多職種連携・協働を推進できるリーダー育成のためにも継続開催していく。

「管理者任用候補者選考」は11回目（多職種合同では8回目）の開催となり、法人内の昇任・昇格制度として定着している。

「管理者研修」は、新任昇任者対象の「初期キャリア支援研修」と、「ミドルマネジメント研修」を開催した。

「入職者研修」は、新入職者を対象とした「オリエンテーションⅠ（hop）・Ⅱ（step）・Ⅲ（jump）」と、中途入職者を対象とした「中途入職者研修（全5回）」を開催した。新入職者研修ⅡとⅢは、グループワークを中心とした内

容構成とし、お互いの悩みを共有する機会としている。同時に、ファシリテーターの関わりにより、新入職員が自分自身の成長を認める場となっている。同期入職者の絆が深まること、業務継続の意欲が高まること、更には慈愛会内の連携推進を図る機会となるよう、今後も研修を企画していく。また「中途入職者研修」の内容・カリキュラムについて、総務人事課と共に見直し・検討を行った。2025年からは、新カリキュラムで研修を開催する。

「慈愛会学会」では、2024年7月27日に第4回慈愛会学会学術集会を開催。2025年4月に「かごしま慈愛会ジャーナル第4巻」を発行予定である。かごしま慈愛会ジャーナルは、広報活動の一環として連携施設へも送付している。

「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」は、慈愛会職員の“慈愛の心”を共有する場として定着している。2024年5月に第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会を開催し、開催後は入選エピソードを掲載した冊子を発行した。現在、2025年5月の第6回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催に向けて取り組みを開始している。

2023年4月から「慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト」が立ち上がり、委員による検討・協議を重ね、2024年8月に慈愛会フィロソフィ ver.2が完成した。慈愛会に所属する職員が、心をついにし、同じ方向（目的）に向かって進んでいくための「考え方」が41項目にまとめられている。

職員のキャリア開発推進支援

1. キャリア開発推進委員会

*2024年度委員：40名

（施設：いづろ今村病院9 今村総合病院19 谷山病院6 徳之島病院1 愛と結の街3 鹿児島中央看護専門学校1 法人事業本部1）（部門：診療支援部27 事務部5 看護部7 教育部1）

会議開催（いずれも15:00-16:00）と活動内容

開催日	討議内容等
5/14	1. 2024年度キャリア開発推進委員会の目標について、規程の確認 2. キャリア開発ラダー申請・認定状況について ・2023年度認定状況報告、未入力部門への入力依頼 ・2024年度申請状況について、レベルの対象者と申請者の把握（申請率の向上） 3. キャリア開発ラダー見直しについて ・今年度中に各部門見直しを行い、2025年度版として改訂する 4. 多職種合同研修について案内と周知依頼：ラダーレベル研修会（6/22、8/3）、キャリア開発推進委員研修会（7/13） 5. 研修会時のファシリテーター協力依頼：ラダーレベル研修会、新入職員オリエンテーションⅡ・Ⅲ

開催日	討議内容等
9/10	1. キャリア開発ラダー見直し・修正について ・2025年度改訂に向けて、2025年1月完成を目標とし取り組む ・各部門の取り組み状況報告 2. 多職種合同ラダーレベル研修について報告 ・受講者アンケート結果報告 ・ファシリテーター参加者意見を元に、次年度研修内容について検討 3. 研修会アンケート、受講後の反応について共有 ・7/13キャリア開発推進委員研修、8/9初期キャリア支援研修 4. ファシリテーター協力依頼：新入職員オリエンテーションⅢ
11/19	1. 新入職員オリエンテーションⅢ（jump）について ・研修内容確認、ファシリテーター協力依頼 ・新入職員へ向けた指導者からのメッセージ取りまとめ依頼 2. キャリア開発ラダー見直し・修正について ・各部門の取り組み状況報告 ・役割等級制度とラダーレベルの整合性について、各部門へ確認を依頼 3. 2025年度研修計画について共有 ・新入職員オリエンテーションⅠ（4/1）・Ⅱ（5/31）・Ⅲ（12/6） ・ラダーレベル研修（6/14、8/2） - ラダーレベルⅤ実践取り組み発表について、意見交換 ・キャリア開発推進委員研修（7/12）
1/14	1. 新入職員オリエンテーションⅢ（jump）研修報告 ・参加者アンケート結果、ファシリテーターアンケート結果 ・指導者宛てメッセージの記載について意見交換 2. キャリア開発ラダー見直し・修正について共有 3. 2025年度研修計画、内容について意見交換 ・ラダーレベル研修：ラダーレベルⅤ実践取り組み報告、外部講師講演について検討 - キャリア開発推進委員研修：参加対象者の拡大について
3/11	1. 2024年度研修開催状況報告 2. 2025年度研修について検討 ・ラダーレベル研修：ラダーレベルⅤ実践取り組み報告を実施、外部講師は検討 ・キャリア開発推進委員研修：参加対象者の拡大、研修内容検討 3. 2025年度能力開発プログラムについて ・追加・修正終了部門の印刷用PDF作成について ・2024年度キャリア開発ラダー認定状況の入力依頼

2. 多職種合同キャリア開発推進委員研修

1) 目的：将来を見据えて人材を積極的に育成支援する力を養う

2) 内容：能力開発プログラムのアップデート（講義・ワーク）

- ・能力開発プログラムの確認：教育理念、教育目標、能力開発のねらい、体系図
- ・運用と認定方法の確認：認定・評価方法、評価基準、申請から認定の流れ

3) 対象：キャリア開発推進委員、指導者

4) 日時：2024.7/13（土）8:30－12:30

5) 会場：かごしまオハナビル3階大会議室

6) 受講者：キャリア開発推進委員27名、参加希望者1名
部門）診療支援部19名、事務部4名、看護部5名
職種）13職種（看護師3、介護福祉士2、薬剤師2、管理栄養士2、診療放射線技師2、理学療法士2、作業療法士2、言語聴覚士1、臨床検査技師3、臨床工学技士2、精神保健福祉士2、視能訓練士1、事務4）

3. 多職種合同ラダーレベル研修

1) 目的：リーダーに求められる役割を知り、リーダーシップを発揮するための能力を習得する

2) 内容

- (1) リーダーが身につけておきたいスキル「アン
ガーマネジメント」講師：田之頭智子先生
- (2) キャリア開発ラダーレベルⅣに求められること
(講義)
- (3) 医療職のリーダーに求められること（グループ
ワーク）
- (4) リーダーとして取り組んでいく多職種協働（グ
ループワーク）
- 3) 対象：キャリア開発ラダーレベルⅢ取得者、レベル
Ⅳ取得を目指す者

4) 日時と研修会場、受講者 ＊2回開催

	日時	研修会場	受講者	施設別内訳	部門別内訳
第1回	6/22（土） 8:30-17:30	かごしまオハナビル 3階大会議室	38名	いづろ今村病院（2） 今村総合病院（27） 谷山病院・併設事業所（7） 訪看愛の街（1） 法人事業本部（1）	診療支援部（6） 事務部（7） 看護部（25）
第2回	8/3（土） 8:30-17:30	かごしまオハナビル 3階大会議室 リモート（Zoom）：奄美 病院	45名	いづろ今村病院（5） 今村総合病院（25） 谷山病院・併設事業所（11） 愛と結の街（1） 奄美病院（3）	診療支援部（10） 事務部（4） 看護部（31）

管理者任用候補者選考

1) 研修日時

11/12（火）・13（水）・21日（木）8:30-17:30、11/22（金）
8:30-12:30

2) 選考内容、選考日

- (1) 多面評価 11/12（火）-11/29（金）
- (2) 筆記試験 12/10（火）
- (3) 面接試験 12/4日（水）-12/17（火）
- (4) 理事長面談（合格者のみ）2/17（月）

3) 研修受講者・選考受験者

- (1) 研修受講者：60名（診療支援部25名、事務部14
名、看護部21名）
- (2) 選考受験者（再受験者含む）：68名（診療支援部29
名、事務部17名、看護部22名）

4) 選考結果

合格者60名（合格率：88.2%）

施設名	研修受講者数			選考受験者数		
	診療支援部	事務部	看護部	診療支援部	事務部	看護部
いづろ今村病院	1		5	1		5
今村総合病院	14	7	5	18	7	5
谷山病院・併設事業所	5	2	1	5	2	1
奄美病院・併設事業所	2	3	4	2	6	5
高麗町クリニック	1			1		
愛と結の街・併設事業所	2	1	6	2	1	6
法人事業本部		1			1	

部署別	受験者	合格者	合格率
診療支援部	29	25	86.2%
事務部	17	14	82.4%
看護部	22	21	95.5%
計	68	60	88.2%

管理者研修

1. 初期キャリア支援研修

1) 目的

新任昇任者が役職者(副主任・主任・副看護師長)としての役割と責任を自覚し、資質の向上を図る

2) 内容

- (1) 管理者に求められるもの(理事長講話)
- (2) 管理とは、管理者に求められる資質・管理者に必要な能力、人材育成(講義)
- (3) 人事考課について、チャレンジプラン(講義)
- (4) 自院の財務状況の把握(講義)

(5) 先輩(副主任、主任)の語り

(6) 昇任して思うこと～慈愛会役職者として取り組んでいきたいこと～(グループワーク)

3) 日時: 8/9(金) 8:30-12:30

4) 会場: かごしまオハナビル3階大会議室、リモート(Zoom)

5) 対象者: 2023.7月以降の新任昇任者(副主任・主任・副看護師長)、2024.7/1の新昇任者で受講希望の者、2023年度の研修未受講者

6) 受講者: 43名

	診療支援部	事務部	看護部	計
いづろ今村病院	3	2	2	7
今村総合病院	6	5	1	12
谷山病院・併設事業所	8		2	10
奄美病院・併設事業所	1		1	2
徳之島病院	1			1
高麗町クリニック	1	1	1	3
愛と結の街・併設事業所	1		3	4
訪看愛の街		1		2
鹿児島中央看護専門学校			1	1
法人事業本部	1	1		1
計	22	10	11	43

2. ミドルマネジメント研修

1) 目的

管理者としてのマネジメントとリーダーシップを図るための中間管理者の育成

2) 内容

- (1) 理事長講話: 「一人ひとりのスタッフとご利用者(患者)を大事にする組織づくりと、リーダーへの期待」
- (2) 実践報告: 「多職種協働による働き方改革」2023年度研修後の取り組み
- (3) 講義: 「現場を変える」組織変革と変革理論、「人事制度改定の方針について」

(4) グループワーク: 「慈愛会が目指すべき人事評価制度について」

(5) 職員能力開発プログラムについて

① 運用状況報告(3職種の報告)

② グループワーク(改訂の意義と周知、仕組みをどう使っていくか)

3) 日時: 9/14(土) 8:30-17:00

4) 対象者: 診療部を除く部署の部署長: 監督1級以上
看護部: 看護師長・介護福祉士長、事務部: 課長または課長代理・室長、診療支援部: 科長または科長代理・室長

5) 研修会場・参加者

研修会場	施設名	研修受講者数：119			ファシリテーター：22	
		診療支援部 33	事務部 34	看護部 (教育部) 52	事務部	看護部 (教育部)
鹿児島県 市町村 自治会館 4階ホール	いづろ今村病院	5	4	7	1	2
	今村総合病院	17	13	20	2	3
	七波クリニック			1		
	谷山病院・併設事業所	5	3	11	1	2
	愛と結の街	2	1	1		2
	訪看護愛の街			2		1
	鹿児島中央看護専門学校		1	2		1
	法人事業本部		5		3	2
	社会福祉法人慈愛会		4			
リモート	奄美病院・併設事業所	3	1	6		2
	徳之島病院・併設事業所	1	2	2	(1)	(1)

入職者研修

1. 新入職者研修：オリエンテーションⅠ (hop)・Ⅱ (step)・Ⅲ (jump)

1) 目的

慈愛会職員としての役割意識を高め、職場適応を支援する

2) 内容

(1) オリエンテーションⅠ (hop)

「慈愛会の概要説明」「慈愛会フィロソフィ」「社会人・医療人として求められるマナー・接遇について」「医療安全」「感染管理」「健全な生活設計、消費者トラブルの対処」「401k説明」「慈愛会教育体制、キャリア開発プログラム、ラダー認定制度」

(2) オリエンテーションⅡ (step)

「理事長講話」「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会に参加して思ったこと、感じたこと（意見交換）」「グループ討議①入職後1ヶ月経過した今思うことを語り合う②同期との語り合い」

(3) オリエンテーションⅢ (jump)

「グループ活動（多職種交流）①入職後8ヶ月経過し、今思うことを語り合う②私の働いている職場と、部署目標の紹介」「講義・ワーク：目標管理とチャレンジプラン」「グループ活動（多職種交流）③慈愛会クイズ④心に届く慈愛の物語」「ワーク：チームで働く力を伸ばそう」

3) 研修日時と会場、受講者数

研修	日時	研修会場	受講者	部門・施設別受講者数
I (hop)	4/ 1 (月) 10:40-17:30	かごしまオハナビ 3階大会議室、 リモート (Zoom)	94名 (研修医10名含む)	部門：診療部 (10) 診療支援部 (26) 事務部 (15) 看護部 (43) 施設：いづろ今村病院 (13) 今村総合病院 (67) 谷山病院 (8) 奄美病院 (3) 徳之島病院 (1) 愛と結の街 (1) 訪看護愛の街 (1)
II (step)	5/18 (土) 9:20-17:00	カクイックス (か ごしま県民) 交流 センター大ホール	85名	部門：診療支援部 (27) 事務部 (16) 看護部 (42) 施設：いづろ今村病院 (13) 今村総合病院 (58) 谷山病院 (8) 奄美病院 (3) 徳之島病院 (1) 愛と結の街 (1) 訪看護愛の街 (1)
III (jump)	12/ 7 (土) 8:30-17:00	鹿児島県市町村自 治会館4階ホール	79名	部門：診療支援部 (25) 事務部 (15) 看護部 (39) 施設：いづろ今村病院 (13) 今村総合病院 (52) 谷山病院 (8) 奄美病院 (3) 徳之島病院 (1) 愛と結の街 (1) 訪看護愛の街 (1)

2. 中途入職者研修

(7)「現状と将来のビジョン」について考える

1) 目的

2) 内容

- (1) 慈愛会の理念を知り、受講者それぞれの職種・業務において何を実践すべきか考える
- (2) 就業規則・各種規程を通じ、職員として身に付けるべき就業上の知識・ルールを学ぶ
- (3) 慈愛会の組織・各施設の概要について理解する
- (4) 基本的な接遇・ビジネスマナーについて学ぶ
- (5) メンタルヘルスケア（セルフケア）について学ぶ
- (6) 「慈愛会フィロソフィ」について知る

「理事長講話」「慈愛会の概要について①②」「人事制度について」「慈愛会の教育支援体制について」「就業規則のポイント」「接遇について」「メンタルヘルスケア（セルフケア）について」

3) 研修会場

鹿児島市内施設：かごしまオハナビル3階大会議室、離島施設：リモート（Zoom）

4) 研修日時と受講者

研修	開催日	参加数	受講者詳細（施設、部門）
第1回	4/25（木）	14名	【部門】診療支援部（6）事務部（4）看護部（4） 【施設】いづろ今村病院（1）今村総合病院（5）谷山病院（3）奄美病院（4）法人事業本部（1）
第2回	8/22（木）	38名	【部門】診療支援部（13）事務部（8）看護部（17） 【施設】いづろ今村病院（4）慈愛会クリニック（1）今村総合病院（12）七波クリニック（1）谷山病院（3）奄美（8）徳之島病院（4）愛と結の街（1）訪看護愛の街（1）鹿児島中央看護専門学校（2）法人事業本部（1）
第3回	10/24（木）	17名	【部門】診療支援部（6）事務部（7）看護部（4） 【施設】いづろ今村病院（2）今村総合病院（5）谷山病院（2）奄美病院（4）徳之島病院（2）愛と結の街（2）
第4回	12/26（木）	17名	【部門】診療支援部（2）事務部（3）看護部（12） 【施設】いづろ今村病院（5）今村総合病院（6）かごしまオハナクリニック（1）谷山病院（3）奄美病院（2）
第5回	2/27（木）	16名	【部門】診療支援部（2）事務部（8）看護部（6） 【施設】いづろ今村病院（5）今村総合病院（9）奄美病院（1）愛と結の街（1）

* 中途入職者研修検討会

8/30、9/5・10・26、11/26、12/16、1/14・21・29、2/12

慈愛会学会

1. 慈愛会学会運営委員会 会議開催（いずれも15:30-16:30）と活動内容

開催日	討議内容
4/22	1. 応募演題の発表形式決定 口演発表30題、ポスター発表40題 2. ポスター発表の形式について検討 3. プログラム・タイムスケジュールの検討・決定 学術集会終了後、慈愛会創設90周年事業へ会場を引き継ぐ 4. 会場（カクイックス交流センター大ホール・展示スペース）配置について検討
5/27	1. 演題発表の審査について検討 2. 抄録集の構成・掲載内容について検討 3. パネルディスカッションの進行について確認 4. 慈愛会創設90周年事業への会場引き継ぎと、片付けについて

開催日	討議内容
6/10	1. 会場配置、90周年事業への引き継ぎについて 2. 運営マニュアル、前日の会場準備について確認 3. 演題発表審査について決定 4. 第5回学術集会大会長の変更について いづろ今村病院名誉院長から、院長へ変更
7/8	1. 会場配置の最終決定 2. 座長依頼・審査者依頼について最終確認 3. 抄録集の発送・配布について確認
8/26	1. 優秀発表の決定＊8/27：施設長・院長へ報告、承認を得た 口演発表：最優秀賞（1）優秀賞（3）奨励賞（5） ポスター発表：最優秀賞（1）優秀賞（6）奨励賞（5） 特別賞（1）今村節子賞（1） 2. 表彰式について 3. 第4回学術集会開催の振り返り 4. 第5回学術集会について 1）大会長いづろ今村病院院長 長野真二郎先生 2）運営委員について 全員が引き続き委員を務めることを了承 3）開催日時・会場 予定）2025年7月＊日にちは、6カ月前の会場予約時に決定 会場）第1候補：鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室403号 第2候補：カクイックス交流センター2階大ホール、展示スペース
9/30	1. 第5回学術集会に向けて 1）会場予約状況 第2候補のカクイックス交流センターを7/13（日）で仮予約 第1候補の鹿児島県市町村自治会館予約開始を待つ（1/1予約開始） 2）大会テーマの決定「JIAIKAI TRANSFORMATION」 2. 開催案内ポスターの募集について 募集案内を発信、募集期間10/1-10/30
11/11	1. 第5回学術集会開催案内ポスターの決定 応募11作品の中から「優秀賞」「佳作」を決定 2. 演題募集の詳細について決定 募集期間：11/20-2/28 3. 学術集会プログラムについて検討開始
1/27	1. 第5回慈愛会学会学術集会日程・会場の決定 日程：2025.7/26（土） 会場：鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室403号（401号・402号も確保） 2. 第5回学術集会演題登録状況の共有と登録呼びかけについて 3. プログラムとタイムスケジュールについて検討
3/24	1. 第5回学術集会演題登録状況と、発表形式について 演題登録数：67題 発表形式：口演発表24題（4セッション）、ポスター発表43題に決定 2. プログラム・タイムスケジュールについて検討・決定 1）開始時刻、終了時刻の決定 2）パネルディスカッションの時間確保について決定 3. 発表詳細について決定 発表者へ連絡 4. 運営協力について 1）口演発表座長の推薦依頼 2）係・担当者の協力依頼、審査者の推薦依頼

2. 第4回慈愛会学会学術集会

1) 日時：7/27（土）9:15-17:10

2) 会場：カクイックス交流センター 2階大ホール、展示スペース

(施設別演題登録数)

いづろ今村病院	14
今村総合病院	32
谷山病院	13
奄美病院	2
徳之島病院	1
愛と結の街	2
かごしまオハナクリニック	1
訪看愛の街	1
鹿児島中央看護専門学校	1
法人事業本部	1
社会福祉法人慈愛会	2

3) 登録演題数と詳細

(1) 演題数70題（口演発表30題、ポスター発表40題）

(2) 詳細

(職種別発表演題数)

診療部	5
診療支援部	26
薬剤部	4
リハビリテーション部	8
診療放射線技師	3
臨床検査技師	4
臨床工学技士	3
MSW・PSW	4
看護部	28
看護師	24
介護福祉士	3
専任教員	1
事務部	11
事務員	7

4) 学術集会参加数

419名：会場参加402名

リモート参加（離島施設）17名

(施設別参加者人数)

病院・施設	参加者人数			運営協力者
	会場	リモート	合計	
いづろ今村病院	81		81	(20)
今村総合病院	111		111	(30)
谷山病院	86		86	(10)
奄美病院	5	10	15	(5)
徳之島病院	3	7	10	(3)
愛と結の街	13		13	(4)
慈愛会クリニック	1		1	
七波クリニック	2		2	
かごしまオハナクリニック	3		3	(1)
高麗町クリニック	4		4	
訪看愛の街	7		7	
鹿児島中央看護専門学校（学生含む）	54		54	(1)
法人事業本部	17		17	(10)
社会福祉法人慈愛会	13		13	
ニプロ株式会社	2		2	
	402	17	419	

3. かがしま慈愛会ジャーナル編集委員会

1) 会議と活動内容

開催日	討議内容
4月15日	1. 第3巻掲載内容について共有と最終確認 ・大会長挨拶、トピックス4編、論文14編（入賞者13、一般投稿1） 2. 発行日・発行数について確認 ・発行日を2024.4/30とする。 ・1120冊。各部門・部署へ2冊ずつ配布する。 3. かがしま慈愛会ジャーナル投稿規程の見直しについて協議
6月3日	1. 第3巻発行後の反応について意見交換 ・全職員が目を通せるような働きかけが必要 2. 慈愛会ウェブサイト「かがしま慈愛会ジャーナル」公開について ・慈愛会ウェブサイト上でPDFを公開 3. かがしま慈愛会ジャーナル投稿規程の見直し ・第4回慈愛会学会学術集会抄録集に掲載 4. 掲載原稿確認者について協議
9月2日	1. 編集委員長と編集委員の交代について ・編集委員長の交代 ・新編集委員の参加：診療支援部1名追加、事務局1名交代・1名追加 2. 第4巻の掲載論文について検討 ・第4回学術集会表彰者への投稿依頼について 3. トピックス寄稿依頼について検討 ・パネルディスカッション、故野村先生のご功績について
10月21日	1. 寄稿依頼者・寄稿推奨者の返信について共有 1) トピックス:パネリスト1名返事待ち、故野村先生のご功績を石澤隆先生へ依頼 2) 学術集会表彰者：13名へ投稿依頼、10名へ投稿推奨 優秀賞1名投稿辞退、推奨者10名中5名が投稿予定 2. 原稿確認依頼者の決定 ・同職種、知見を有する方へ依頼
2月3日	1. 原稿確認状況について 1) 確認依頼者の確認：1名以外終了 2) 編集委員による校正中 2. 投稿規程について ・記載方法の見本作成について検討 3. 第4巻構成について検討・決定 ・目次、扉デザインの決定

2) かがしま慈愛会ジャーナル第3巻の発行

(1) 掲載内容

- ・大会長挨拶
- ・トピックス4題:「今村節子先生のご功績」
「今村総合病院スポーツ整形外科のあゆみ」2題
「パネルディスカッションまとめ」
- ・論文14題

(2) 発行日

2024.4/30

(3) 発行部数

1120冊（予備20冊含む）

(4) 配布及び送付先：慈愛会内636冊（各部門・部署へ2冊ずつ配布）外部（連携施設等）464冊

心に届く慈愛の物語を紡ぐ会

1. 第5回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」

- 1) 日時：5/18（土）9:20-11:50
- 2) 会場：カクイックス（かごしま県民）交流センター
2階大ホール
参加者227名（会場203、リモート24）
- 3) エピソード応募数と詳細
エピソード応募数：93編

（施設別応募数）

いづろ今村病院	10
今村総合病院	19
谷山病院	18
奄美病院	17
徳之島病院	11
愛と結の街	6
訪看愛の街	5
鹿児島中央看護専門学校	3
法人事業本部	4

（職種別応募数）

診療部	0
診療支援部	18
薬剤部	4
栄養部	3
リハビリテーション部	4
診療放射線技師	2
臨床検査技師	1
MSW・MHSW	3
視能訓練士	1
看護部	67
看護師	51
准看護師	2
介護福祉士	11
ナースエイド	1
専任教員	1
事務部	6
事務員	6
看護学生	2

4) 選考経過

- 一次選考：選考委員により30作品を選出
- 二次選考：選考委員により13作品を選出
- 選考会：入選作品13編を決定
- 選考委員長：入選作品の中から、最優秀作品1編、
優秀作品2編を選出

2. 心に届く慈愛の物語を紡ぐ会運営委員会

(1) 運営委員:21名

（施設別:いづろ今村病院 4 今村総合病院 5 谷山病院
3 奄美病院 3 徳之島病院 1 愛と結の街 1 訪看愛の
街 1 鹿児島中央看護専門学校 1 法人事業本部 2）
（部門別:診療部 2 診療支援部 6 事務部 4 看護部 8
教育部 1）

(2) 会議開催（いずれも14:00-15:00）と内容

開催日	討議内容
4月8日	1. 選考会報告 2. 第5回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」開催について 1) プログラム詳細決定 2) 係・運営委員担当役割の決定
6月10日	1. 第5回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」開催報告 1) 運営に関すること気づき、アンケート結果の共有 2) 次回開催に向けて意見交換 2. 心に届く慈愛の物語冊子発行について検討・決定 発行数・配布先
10月28日	1. 委員の交代 2. 第6回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」について 日程：2025.5/31 会場：カクイックス交流センター県民ホール 3. エピソード募集について ・募集期間の決定 ・各施設の目標値を設定、診療部（医師）への応募呼びかけについて検討

開催日	討議内容
1月27日	1. 第6回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 1) エピソード応募状況について報告 2) 応募呼びかけについて検討 3) 選考委員の検討と決定。委員長：三角みづ紀先生選考 委員：21名 4) プログラムの検討と決定 2. 参加者募集の対象拡大について検討
3月24日	1. 第6回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 1) エピソード応募状況報告：73題 2) 選考について ・1次選考：28作品が2次選考へ ・2次選考中 2. 参加者募集の対象拡大について検討・決定 案内送付) 鹿児島県内の実習受け入れ校、介護福祉士養成校

3. 冊子発行

- 1) 発行数：1,000冊
- 2) 配布先：各施設の部署・病棟・診療科、施設管理者、
看護師長、エピソード応募者、運営委員、選考委員、
研修会参加者、鹿児島中央看護専門学校1年生

4. 第6回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」

- 1) 日時：2025.5/31(土) 9:20-11:30開催予定
- 2) 会場：カクイックス交流センター県民ホール
- 3) エピソード応募数と詳細
エピソード応募数：73編

(施設別応募数)

いづろ今村病院	14
今村総合病院	9
谷山病院	19
奄美病院	12
徳之島病院	1
愛と結の街	9
訪看愛の街	5
鹿児島中央看護専門学校	4

4) 選考経過

- 3/5-3/19 一次選考：28作品選出
 3/25-4/3 二次選考： * 選考中

(職種別応募数)

診療部	0
診療支援部	25
薬剤部	2
栄養部	2
リハビリテーション部	8
診療放射線技師	3
MSW・PSW	2
公認心理師	2
視能訓練士	2
介護支援専門員	4
看護部	43
保健師	1
看護師	32
准看護師	1
介護福祉士	5
ナースエイド	2
専任教員	2
事務部	3
事務員	3
看護学生	2

慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト

1. プロジェクトメンバー

委員長：今村英仁 理事長

副委員長：帆北修一 理事長補佐

委員：16名（いづろ今村病院 2、今村総合病院
3、谷山病院 2、奄美病院 1、徳之島病院
1、愛と結の街 1 名、訪問看護ステーショ
ン愛の街 1、鹿児島中央看護専門学校 1、
法人事業本部 4）

オブザーバー：理事長室 1

2. 会議開催（いずれも14:00-15:00）と内容

開催日	討議内容
4/18	1. 新項目、項目の説明文章について検討
5/16	1. 項目の説明文章について検討 2. 冊子印刷数の協議と決定
6/20	1. 項目の説明文章の最終確認と決定 2. 冊子体裁（表紙デザイン・フォント）の検討と決定
7/18	1. 印刷会社の初校について確認 2. 修正箇所について協議・決定 3. 慈愛会学会学術集会発表内容の共有

3. 慈愛会フィロソフィ Ver.2発行

1) 発行数：5,500冊

2) 発行日：2024.8/1

3) 配布先：2024.7/1付の職員配置表記載の全職員へ配
布（2,474冊）

一年のあゆみ

	病院・施設	主なできごと	
2024年 4月	谷山病院	新院長に福田恭哉医師就任、前院長福迫剛医師が名誉院長就任（4/1）	 公益財団法人慈愛会 第75期 入職式 慈愛会第75期入職式
	愛と結の街	新施設長に海江田一也医師就任（4/1）	
	慈愛会	第75期入職式（4/1）	
	鹿児島中央看護専門学校	3年課程入学式 第22期生35名（4/8）	
	今村総合病院	垂水市で言語発達障害児の相談会実施（4/8、8/5、2025.2/3） ACL教室開催（4/20、9/28） 済生会鹿児島病院へ言語聴覚士を派遣（2023年2月より継続）	 慈愛会垂水サテライトクリニック オープニングセレモニー
	慈愛会クリニック	名山小学校内科健診(低学年4/25、高学年5/1)	
	七波クリニック	「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー in Kagoshima(指宿)」に参加（4/21）	
	慈愛会垂水サテライトクリニック	オープニングセレモニー開催（4/29）	
5月	慈愛会	創設90周年（5/5）	 慈愛会垂水サテライトクリニック オープニングセレモニー
	慈愛会垂水サテライトクリニック	外来診療開始（5/7）	
	今村総合病院	カモカル音楽隊院内コンサート開催（5/13、8/21） 地域連携のつどい開催（講演：循環器内科/肥後建樹郎主任部長、5/16） 地域連携のつどい開催（講演：泌尿器科/一美貴弘主任部長、5/22） 西紫原中学校職場体験受け入れ（5/22-23） 消防・避難訓練（5/28）	 徳之島病院寄付講座開設の協定締結式
	徳之島病院	亀津中学校職場体験学習の受け入れ（5/14-16）	
	慈愛会	第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催（5/18）	
	愛と結の街	谷山病院合同認知症カフェ開催（5/19）	
6月	奄美病院	デイケア移転：別館研修センター⇒本館旧1階南病棟へ（6/1） 病院機能評価訪問審査受審（6/21-22）	 七波クリニック糖尿病教室 「室内でひとり出来る運動」
	今村総合病院	HONDA製ドライビングシミュレーター最新型導入（6/1） 鴨池校区コミュニティ協議会へメディカルバッグ寄贈（6/4） 鴨池校区福祉合同研修会参加（6/15） 大島郡龍郷町でスポーツ障害セミナー開催（6/15、7/13） 投球教室開催（6/29、7/21）	
	鹿児島中央看護専門学校	オープンキャンパス開催（6/14、6/29）	
	七波クリニック	糖尿病教室「室内でひとり出来る運動」開催（6/24）	
	かごしまオハナクリニック	地域コミュニティ誌「LLかもいけ」に記事掲載（6/28）	
7月	徳之島病院	慈愛会と昭和大学(2025.4より「昭和医科大学」)、徳之島・沖永良部島・与論島の6町との協定に基づく「鹿児島県地域離島精神医学寄付講座」開設（7/1）	 ガンマナイフ導入に伴う クラウドファンディング実施
	今村総合病院	ガンマナイフ導入に伴うクラウドファンディング実施（7/1-9/29） 市民公開講座開催（講師：ガンマナイフセンター室長 八代一孝医師、7/1） NHK鹿児島放送局「情報WAVEかごしま」にて、ガンマナイフ導入に伴うクラウドファンディングについて放映（7/5） 病院モニター会議開催（7/16） 鹿児島市花野校区社会福祉協議会介護講習会へ管理栄養士派遣（7/20） 第4回腎臓病教室開催（7/20） 錦江湾潮風フェスタへ看護師派遣（7/20・21） 鹿児島県高野連主催関節機能検査実施（7/21・22・25・27） 第23回高校生・受験生を対象とした病院薬局見学会開催（7/30） 南日本新聞「広がる治療の選択肢/脳腫瘍対応 最新ガンマナイフ」記事掲載（7/30）	
	鹿児島中央看護専門学校	1年目サポートキャンパス開催（7/6） オープンキャンパス開催（7/20）	 慈愛会創設90周年記念事業 建築家 安藤忠雄 特別講演会
	慈愛会クリニック	「糖尿病川柳」いづろ今村病院広報誌「にじ」夏号掲載	
	慈愛会	第4回慈愛会学会学術集会開催（7/27） 慈愛会創設90周年記念事業 建築家 安藤忠雄 特別講演会「人生100年 元気に生きる」開催（7/27）	

	病院・施設	主なできごと
8月	鹿児島中央看護専門学校	オープンキャンパス開催（8/3） 3年目サポートキャンパス開催（8/17）
	今村総合病院	薩摩川内市下甕手打診療所での診療サポート開始 鴨池校区夏まつり救護班参加（8/5） 女性医師の会開催（8/10）
	愛と結の街	鹿児島労働局労働基準部健康安全課による労働災害防止対策ラウンド（8/6）
	奄美病院	奄美まつり参加：奄美病院65周年記念（8/3・4） 第2回ピア交流会in奄美病院 開催（8/7）
	谷山病院	第1回こころのマルシェ開催（8/8）
9月	奄美病院	奄美病院開設65周年（9/18） 認知症サポートキャラバン「ロバ隊長」を完成させよう院内外で企画
	今村総合病院	南鹿児島さくら病院へ看護師派遣 地域連携のつどい開催（講演：脳神経外科/ガンマナイフセンター室長 八代一孝医師，9/5） かもいけ健康まつり開催（9/21） スポーツ障害予防の講義・実技講習実施（NPO法人沖永良部スポーツ クラブELOVE主催，9/22） 救急カンファレンス開催（9/24）
	愛と結の街	老健敬老会開催（9/8）
	いづろ今村病院	地域連携のつどい開催（9/20） 健康管理センター移転オープン（9/24）
	鹿児島中央看護専門学校	オープンキャンパス開催（9/21）
10月	今村総合病院	看護小規模多機能型居宅介護事業所 みま森へ理学療法士派遣開始（10/1） BCP訓練実施（10/18） スポーツ障害予防教室開催（垂水中央中学校，10/23） 鹿児島市社会福祉協議会介護予防講習会に言語聴覚士派遣 （高麗町公民館，10/23） 明桜館高等学校職場体験受け入れ（10/23-24） 院内ディケア初開催（BC6階，10/30）
	かごしまオハナクリニック 高麗町クリニック いづろ今村病院	「在宅医療のご案内 チームで支える在宅医療」 リーフレットを共同で発行（10/2）
	鹿児島中央看護専門学校	第22期生戴灯式（10/7） 2025年度推薦入学選考試験（10/26）
	いづろ今村病院	いづろ健康・介護まつり開催（10/19）
	慈愛会クリニック	インフルエンザワクチン・コロナワクチン接種開始（10/15-3/31） いづろ健康・介護まつりサポート参加（10/19）
	七波クリニック	インフルエンザワクチン・コロナワクチン接種開始（10/21）
	徳之島病院	徳之島町どんどん祭り参加（10/26）
	愛と結の街	鹿児島県老健協会の仲介による他施設見学に5名派遣 （見学先：アメニティ国分，10/29）
11月	かごしまオハナクリニック	訪問リハビリテーション開始（今村総合病院よりスタッフ派遣，11/1） 地域連携つどい 今村総合病院と共同開催（11/28）
	慈愛会	おはら祭夜まつり参加（11/2） 医療DX特別講演会開催（11/20）
	今村総合病院	第8回絵画コンクール表彰式開催（11/2） 薩摩蒸気屋×鴨池校区コミュニティ協議会×今村総合病院コラボ企画 商品購入開始（11/3） HTLV-1感染者コホート共同研究班（JSPFAD）検体登録貢献者として 、血液内科徳永雅仁医師が日本HTLV-1学会より「JSPFAD 5500検体達成記念表彰」を受賞（11/9） 鴨池校区福祉合同研修会参加（「在宅医療について」講師：かごしまオハナクリニック横山大輔医師，11/9） 消防・避難訓練実施（11/26） 地域連携のつどい かごしまオハナクリニックと共同開催（11/28） 令和6年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰における「特定給食施設」（給食の 管理運営が特に優秀であり他の模範とすべき施設）に選定（表彰伝達11/28）
	鹿児島中央看護専門学校	第22期生島しょ体験学習（11/5-7） 2025年度入学選考試験（11/30）
	愛と結の街	愛と結の街全体会開催（11/13）
	慈愛会クリニック	名山小学校就学時健診実施（11/15）
	徳之島病院	オンライン診療開始（11/20）
	谷山病院	病院機能評価受賞（11/21-22）



谷山病院 第1回こころのマルシェ



奄美病院開設65周年（院内で写真展開催）



慈愛会の在宅医療 案内リーフレット



いづろ健康・介護まつり。
慈愛会クリニックもサポート参加



おはら祭夜まつり 慈愛会踊り連



かごしまオハナクリニック・今村総合病院
地域連携のつどい共同開催

	病院・施設	主なできごと
12月	愛と結の街	第2回愛と結の街介護マルシェ開催（12/1）
	今村総合病院	「名医を探せ！」病院検索サイト 肩腱板断裂 関節鏡視下手術特集ページにてスポーツ整形外科 海江田 英泰 医師掲載（2024年12月～2025年12月末まで） LINE公式アカウント開設 秋まつり開催（12/2） 鴨池中学校職場体験受け入れ（12/4-5） カモカル音楽隊クリスマスコンサート開催（12/7） 鹿児島県高校野球連盟主催肩肘検診実施（12/8・29, 1/5・12・19＜1/12は奄美での開催＞） 鹿児島障害者職業センターにて講演会（12/20）
	鹿児島中央看護専門学校	20期生ケーススタディ発表会（12/11・12）
	いづろ今村病院	医療監視（12/12）
	奄美病院	さくらんぼ保育園新園舎移転（12/16） 第3回ピア交流会in奄美病院 開催（12/18）
2025年 1月	今村総合病院	副院長に一美貴弘医師就任（1/1） 患者様個展をふれあいアートストリートで開催（1/3-28） 令和6年度「外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業」（鴨池小学校）に薬剤師を派遣（1/11） ガンマナイフ学術講演会を奄美市名瀬で開催：大島郡医師会・エレクトラ株式会社共催（1/16） NHK鹿児島放送局「情報WAVEかごしま」にて、患者様個展開催について放映（1/21） 救急カンファレンス開催（1/23） BCP訓練実施（1/31）
	かごしまオハナクリニック	オンライン診療開始（1/4）
	谷山病院	Instagram公式アカウント開設
	徳之島病院	徳之島町職員向けメンタルヘルス講演会（1/16）
	いづろ今村病院	介護支援専門員向け研修会及び意見交換会開催（1/22） 消防訓練実施（1/24）
2月	愛と結の街	通所リハビリ増員（25名→30名/1日） 鹿児島労働局労働基準部健康安全課来訪（職場環境）
	今村総合病院	小中学生に対する肩肘検診実施：鹿児島大学整形外科との共催（2/2） 鴨池校区文化祭作品をふれあいアートストリートに展示（2/10-2/24） 南鹿児島さくら病院との地域連携のつどい開催（2/10） ガンマナイフセンターオープニングセレモニー開催（2/22） リハビリテーション専用サイト「PT-OT-ST.NET」に当院PTのインタビュー記事（腰痛予防の取り組み）掲載（2/25）
	かごしまオハナクリニック	鹿児島大学実習生受け入れ（2/3）
	鹿児島中央看護専門学校	2025年度入学選考試験：2次（2/8） 第114回看護師国家試験3年課程43名、2年課程通信制既卒生70名受験（2/16）
	慈愛会	インドネシアで特定技能職員（外国人看護助手）採用試験（2/19）
	徳之島病院	伊仙町職員向けのメンタルヘルス講演会（2/18） 天城町職員向けのメンタルヘルス講演会（2/20）
3月	今村総合病院	ガンマナイフ治療開始（3/3） 女性医師の会開催（3/8） 第5回鴨池校区福祉合同研修会講演に看護師派遣（3/8） 初期臨床研修「錦江湾プログラム」修了式兼祝賀会（3/14） 南日本新聞にて、「最新ガンマナイフ導入 今村総合病院 治療を開始」記事掲載（3/18）
	鹿児島中央看護専門学校	卒業式 第20期生43名（3/6） 2025年度入学選考試験：3次（3/15） 看護師国家試験合格発表、3年課程42名、2年課程通信制既卒生7名合格（3/24）
	七波クリニック	糖尿病教室「健康的な食事について学ぼう」開催（3/10）
	奄美病院	当院初の「特定行為看護師」取得（上原匡史看護師長 ※4月より訪看イルカ所長就任）
	いづろ今村病院	院内研究発表会開催（3/27）



第2回愛と結の街介護マルシェ



奄美病院企業主導型保育施設さくらんぼ保育園 移転リニューアル



徳之島病院医師によるメンタルヘルス講演会



今村総合病院ガンマナイフセンター オープニングセレモニー



鹿児島中央看護専門学校 第20期生卒業式



七波クリニック糖尿病教室「健康的な食事について学ぼう」

編集後記

慈愛会年報作成委員会 副委員長
公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長兼臨床研究センター長
宇都宮 與



慈愛会法人年報が第9号を迎えました。法人年報の作成開始時は施設ごとの情報の収集の違いや活動の幅広さなどから統一書式での年報作成にかなり困難で時間がかかりました。号を重ねるごとに情報の内容、収集の方法も統一され、スムーズに年報作成が行われるようになりました。当初目指した夏までの発行も順調に行えるようになり今年は6月での発刊にたどり着きました。すべての施設の活動実績が3年間の比較で記載されています。病院経営が困難を極める中、それぞれの施設の活動実績や現状を打開するための取り組みが施設長から紹介されています。ぜひご一読していただき、慈愛会施設の現状や目指す方向性を認識する資料となることを希望します。法人年報作成委員のメンバーの皆様ご苦勞様でした。

慈愛会年報作成委員会

委員長 納 光弘（公益財団法人慈愛会 会長）

副委員長 宇都宮 與（公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長 兼 臨床研究センター長）

委員 栗ヶ窪 みゆき（今村総合病院）、福留 浩美・山名 舞子（いづろ今村病院）、松山 匡博（谷山病院）、白原 弘紀（奄美病院）
芳 あずさ（徳之島病院）、前田 有架（愛と結の街）、濱下 千浪（鹿児島中央看護専門学校）、黒瀬 寛（高麗町クリニック）
三反田 直子（慈愛会クリニック）、米元 拓子（七波クリニック）、木原 翔（かごしまオハナクリニック）
瀬地山 寛史・今村 英香・瀬涯 里花（法人事業本部）

公益財団法人慈愛会 年報

—— 第9号 ——

発行日	2025年6月
発行者	今村 英仁
発行所	公益財団法人慈愛会 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号 TEL 099(256)0311
編集	慈愛会年報作成委員会
制作・印刷	株式会社イースト朝日 鹿児島県鹿児島市南栄3丁目30-7 TEL 099(266)5522

医療の原点は慈愛にあり